

平成 28 年度
「食育」に関する
市民及び大学生
アンケート調査
報告書

平成 29 年 3 月
松戸市

目 次

第 1 部 市民アンケート

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果の分析	9
第 1 節 食育に関する意識、関心・食、健康、食育政策に関する意識 (問 1—問 28)	11
第 2 節 歯科の健康に関する意識 (問 29—40)	50
第 3 節 子どもの生活と食育に関する意識 (子属 1—問 52)	63
第3章 質問と回答 (単純集計)	95
第4章 自由記述	131
付録 調査票・関連資料	149

第 2 部 大学生アンケート

第1章 調査の概要	165
第2章 調査結果の分析	173
第3章 質問と回答 (単純集計)	211
付録 調査票	227

第 1 部 市民アンケート

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

松戸市では平成20年3月に松戸市食育推進計画を策定し、「食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」ことができるよう食育を推進してきた。第4回目となる本調査にて、市民の食に関する意識や実態を知ることにより、計画の進行状況を把握し、第3次松戸市食育推進計画策定の基本資料とすることを目的とした。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域・・・・・・市内全域
- (2) 調査対象・・・・・・市内在住の20歳以上の市民3,000人
- (3) 抽出方法・・・・・・住民基本台帳による無作為抽出
- (4) 調査方法・・・・・・配布、回収ともに郵送法
- (5) 調査期間・・・・・・平成28年7月1日～7月31日

3. 調査項目

項目	内容
基本属性	性別、年齢、出身地、職業、同居人数、所得
食育に関する意識・関心	食育の言葉の認知、関心度、食育活動、バランスのとれた食事の意識、伝統行事の実施
食に関する意識	食品購入時の意識、産地チェック、安全性の基礎知識、子どもの食育の場、
健康に関する意識	朝食をとる頻度、朝食の内容、健康維持のための取組み
地域社会への意識	地域活動への参加
生活のゆとり、農作業、食育政策に関する意識	農作業体験、市に期待する施策
歯科の健康に関する意識	現在の歯の本数、歯磨きや歯科検診の頻度、歯科治療の状況、口腔内の状態、健康への意識
子どもの生活と食育に関する意識	子どもの基本属性、朝食をとる頻度、朝食の内容、就寝時間と起床時間、食育への取組み

4. 回収結果

- (1) 調査票送付数 3,000 人
- (2) 回収数 1,288 人
- (3) 回収率 42.9%

5. 集計にあたって

- (1) 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって回収率を合計しても 100% ちょうどにはならないことがある。
- (2) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を分母 n として算出した。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると 100% を超えることがある。
- (3) n (Number of Cases) は比率算出の分母であり、100% が何人の回答者に相当するかを示す。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。
- (5) クロス結果の帯グラフや表について、設問に対する「無回答」がある場合にはこれを表示しないため、分母 n は設問により異なる。また、性別の合計件数・年齢別の合計件数は「無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがある。
- (6) 性別・世代別の表について、設問の各選択肢における世代間の最大回答数を網掛け、各世代の最大回答数を斜体太字にて示している。
- (7) 集計は、①単純集計、②回答者の属性（性別・世代別および世帯所得階層別）とクロス集計を行った。
- (8) 前々回（平成 22 年度実施）、前回（平成 25 年度実施）の調査結果と比較することで、市民の食育への関心や傾向を検討している。

6. 調査研究体制

調査研究チーム代表・総括：大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科）

調査票設計：栗原 伸一・大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科）

後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

祓川 摩有（聖徳大学児童学部）

古井 恒（流通経済大学流通情報学部）

調査票発送、回収、入力、データベース作成：大江 靖雄・栗原 伸一・石田 貴士
（千葉大学大学院園芸学研究科）

調査データ解析：大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科）

歯科データ解析：後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

7. 回答者の基本属性

【性別】

回答者の約8割が女性、2割が男性であった。

(n=1,287)

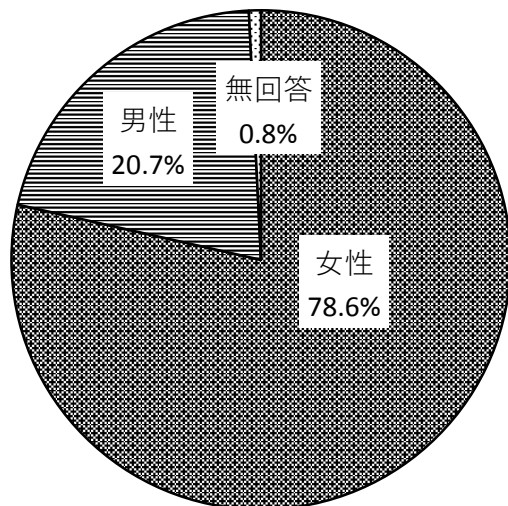


図1-1

【年齢】

20代と30代の割合が低いが、それ以上の世代ではおおむね偏りはないといえる。

(n=1,287)

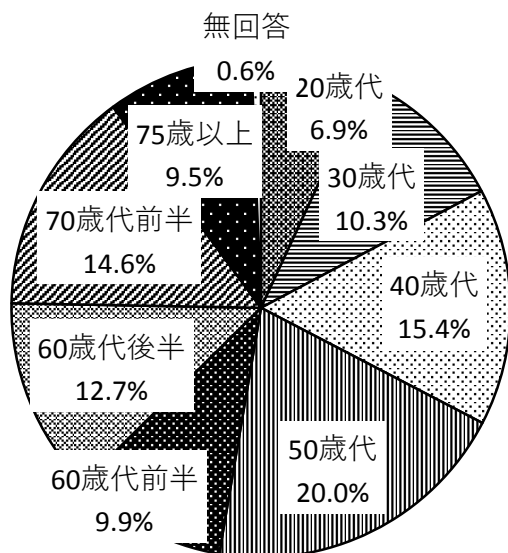


図1-2

【出身地（松戸市）】

県外者が3分の2で大半を占めており、松戸市出身者は2割弱と少ない。

(n=1,287)

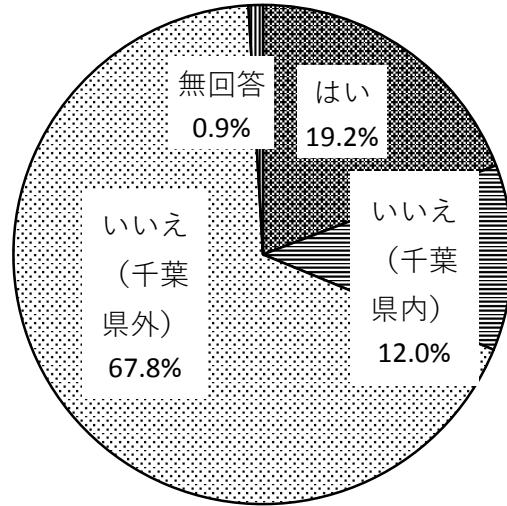


図1-3

【職業】

多い方から専業主婦、パート・アルバイト、会社員の順となっている。

(n=1,287)

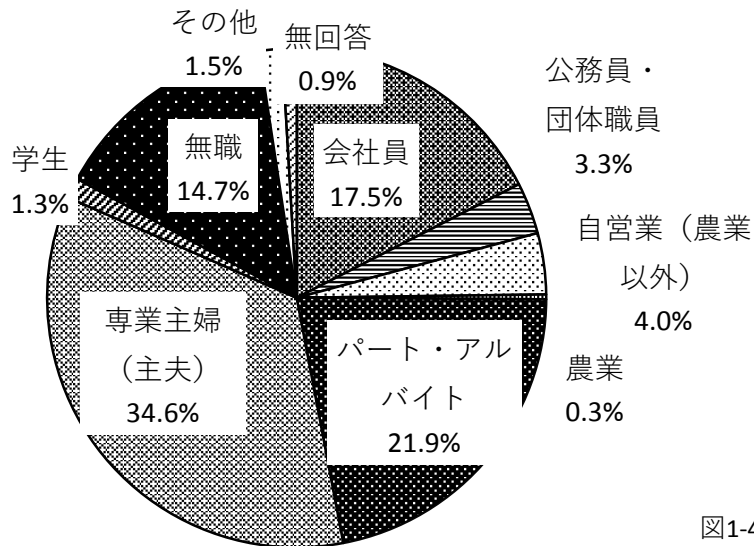


図1-4

【同居家族の人数（うち18歳以下、70歳以上）】

同居家族の人数は、2.1人で核家族の形態となっている。

(n=1,287)

平均 (人)	同居人数	うち18歳以下	うち70歳以上
	2.1	0.8	0.7

【世帯全体の所得（年金を含む手取り）】

所得階層分布は、ほぼ偏りなく分布している。

(n=1,287)

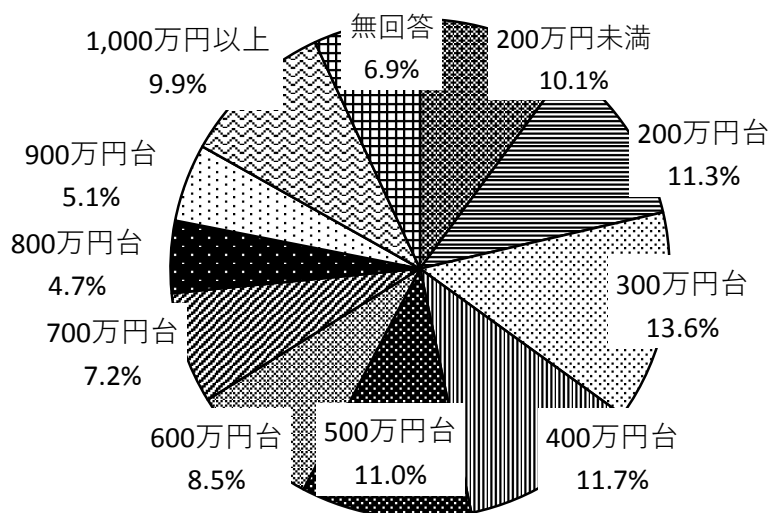
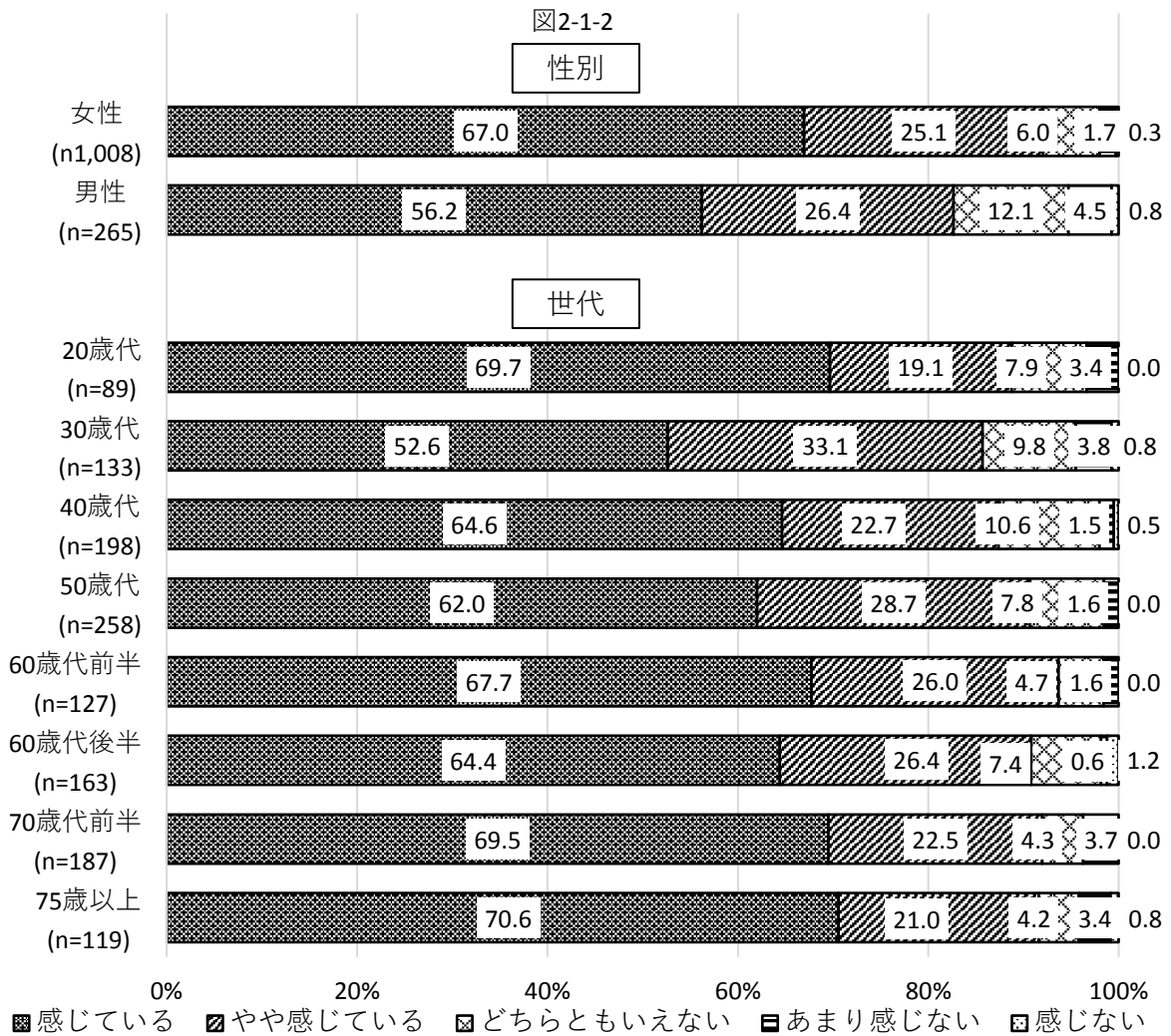
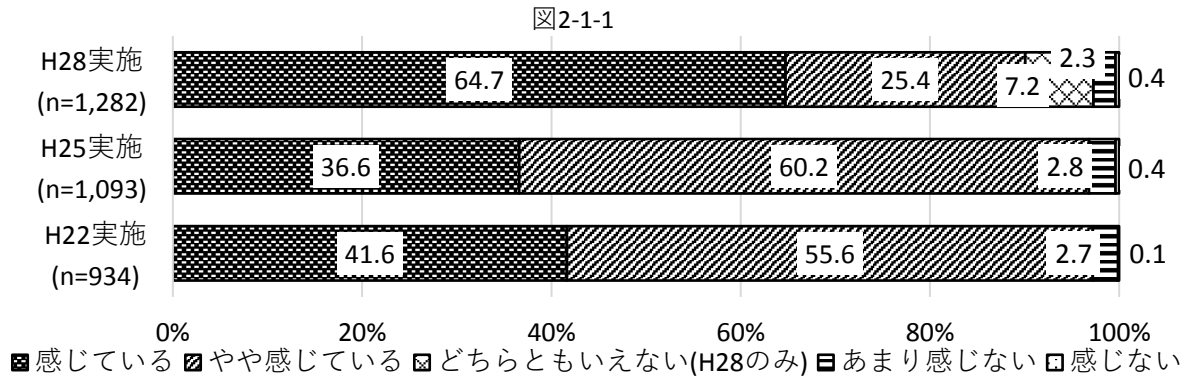


図1-5

第2章 調査結果の分析

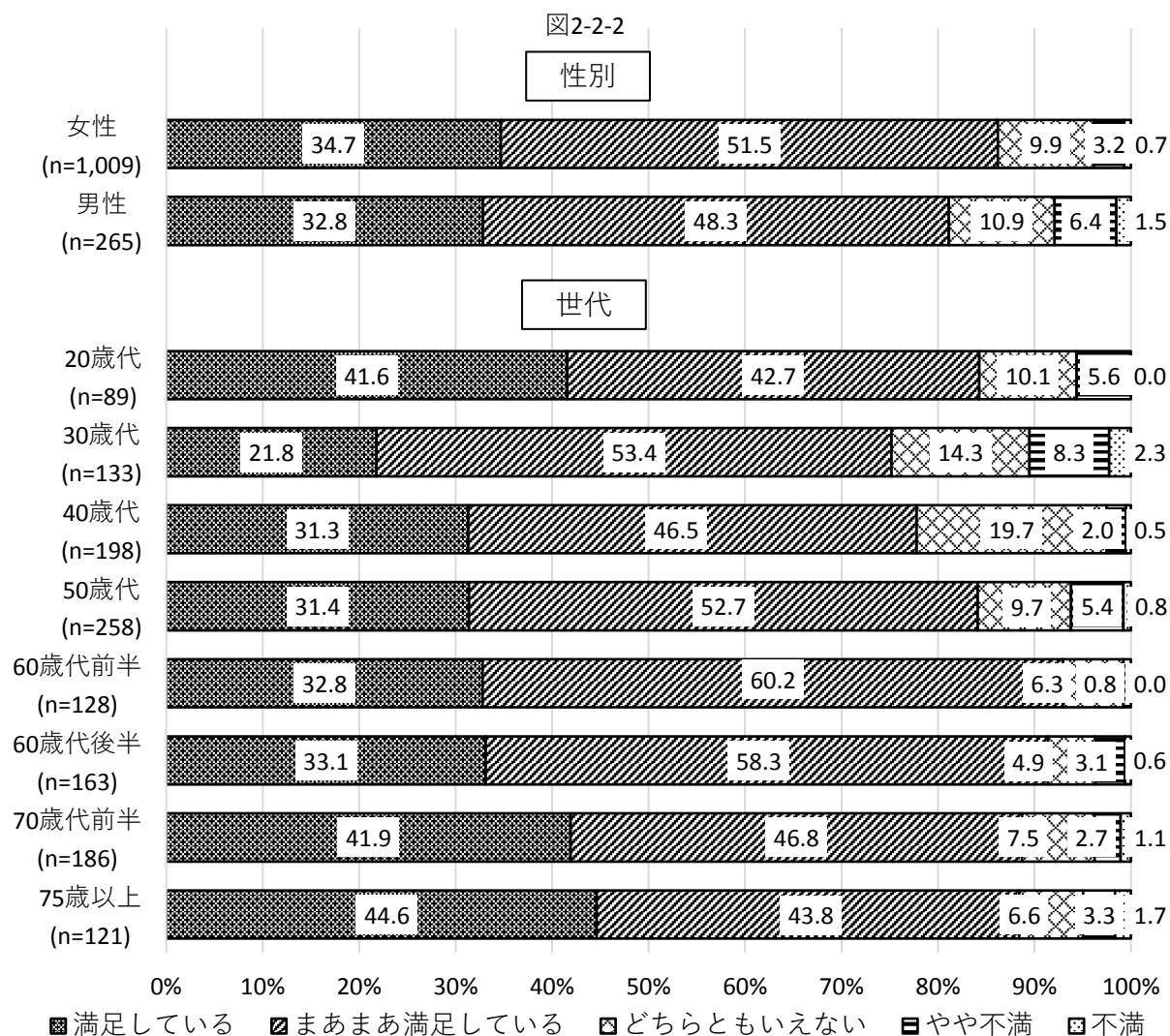
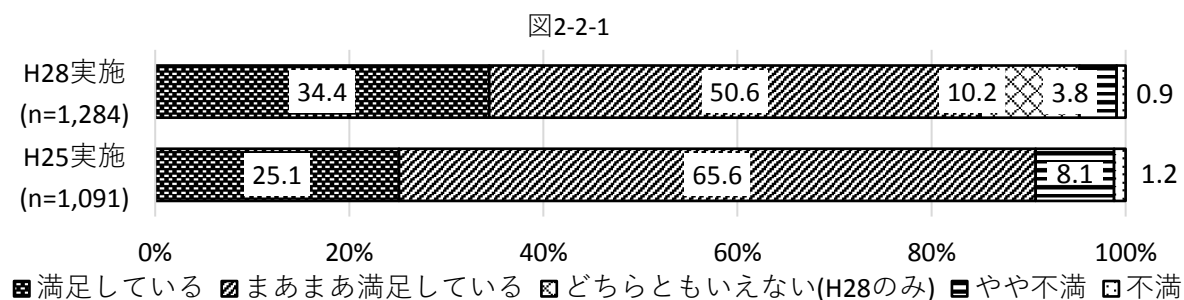
問1 あなたは現在、毎日の食事を「おいしい」と感じていますか？（1つに○）

「おいしいと感じている」（64.7%）と「やや感じている」（25.4%）を合わせて9割の回答者が、おいしいと感じている。男女別では、おいしいと感じている割合は女性の方が高い。世代別では、30歳代でその割合が低くなり、それ以後世代とともに若干増加している。



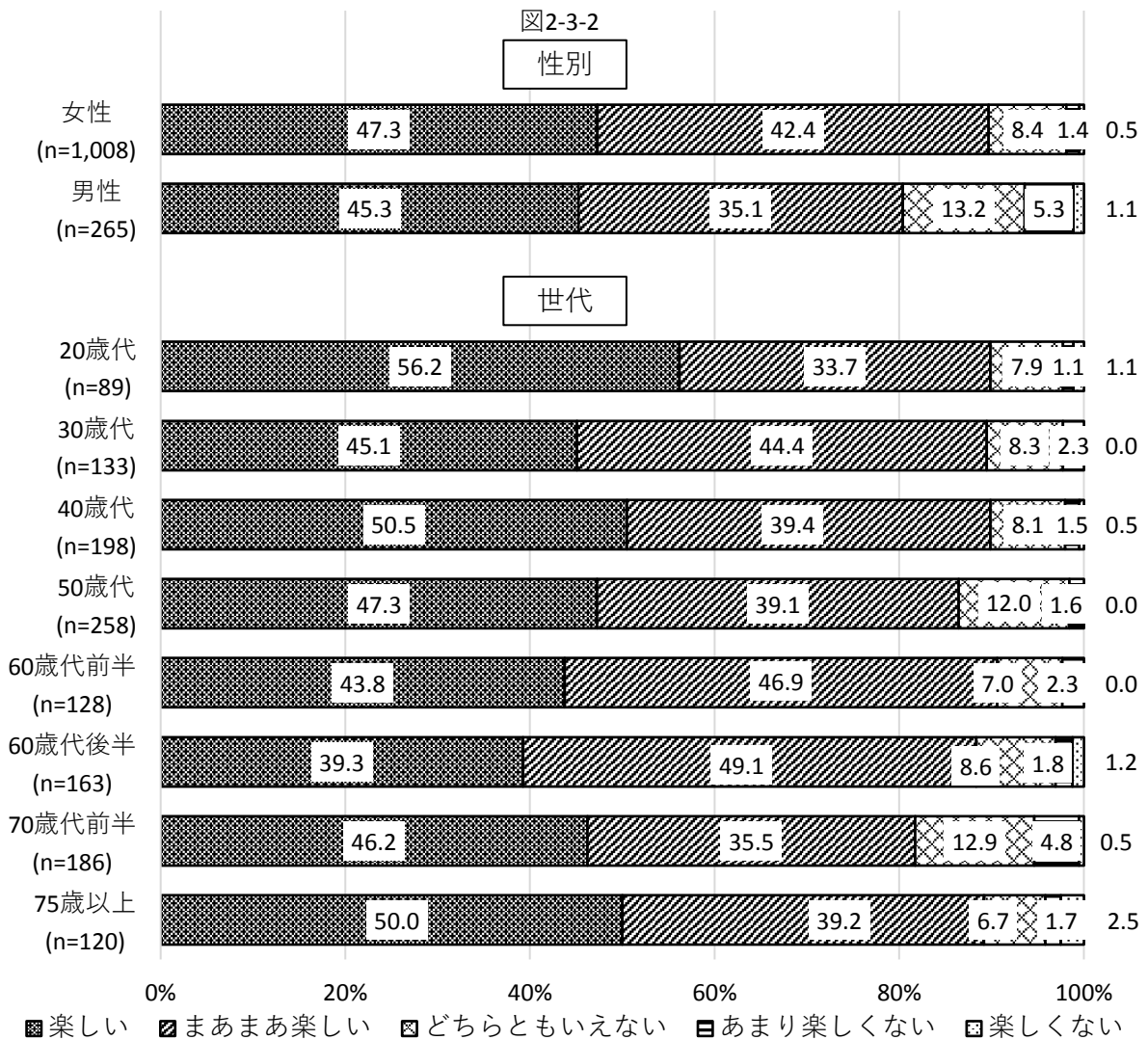
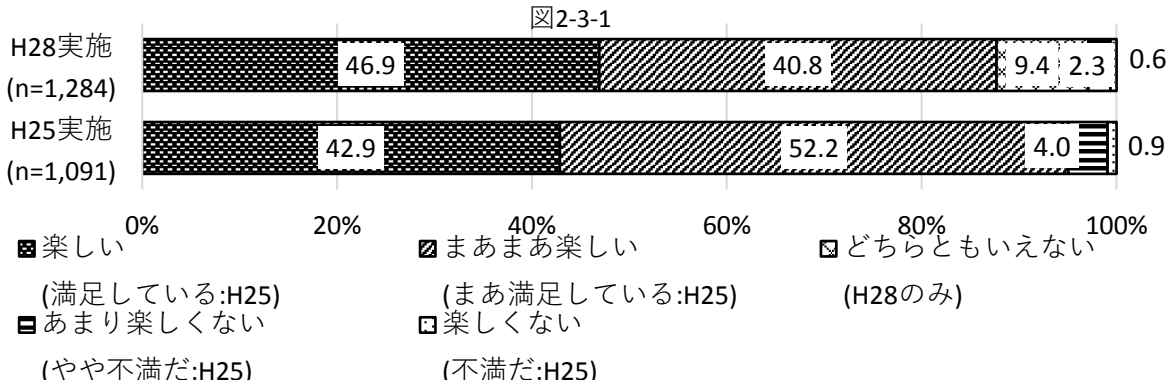
問2 現在の食生活に満足していますか？（1つに○）

全体では、「満足している」、「まあまあ満足している」を合わせて、85%となり、食生活の満足度は高い。男女別では、女性の満足度がやや高くなっている。世代別にみると、30歳代と40歳代で低くなっているものの、高齢世代になるほど、満足度は高くなる傾向にある。



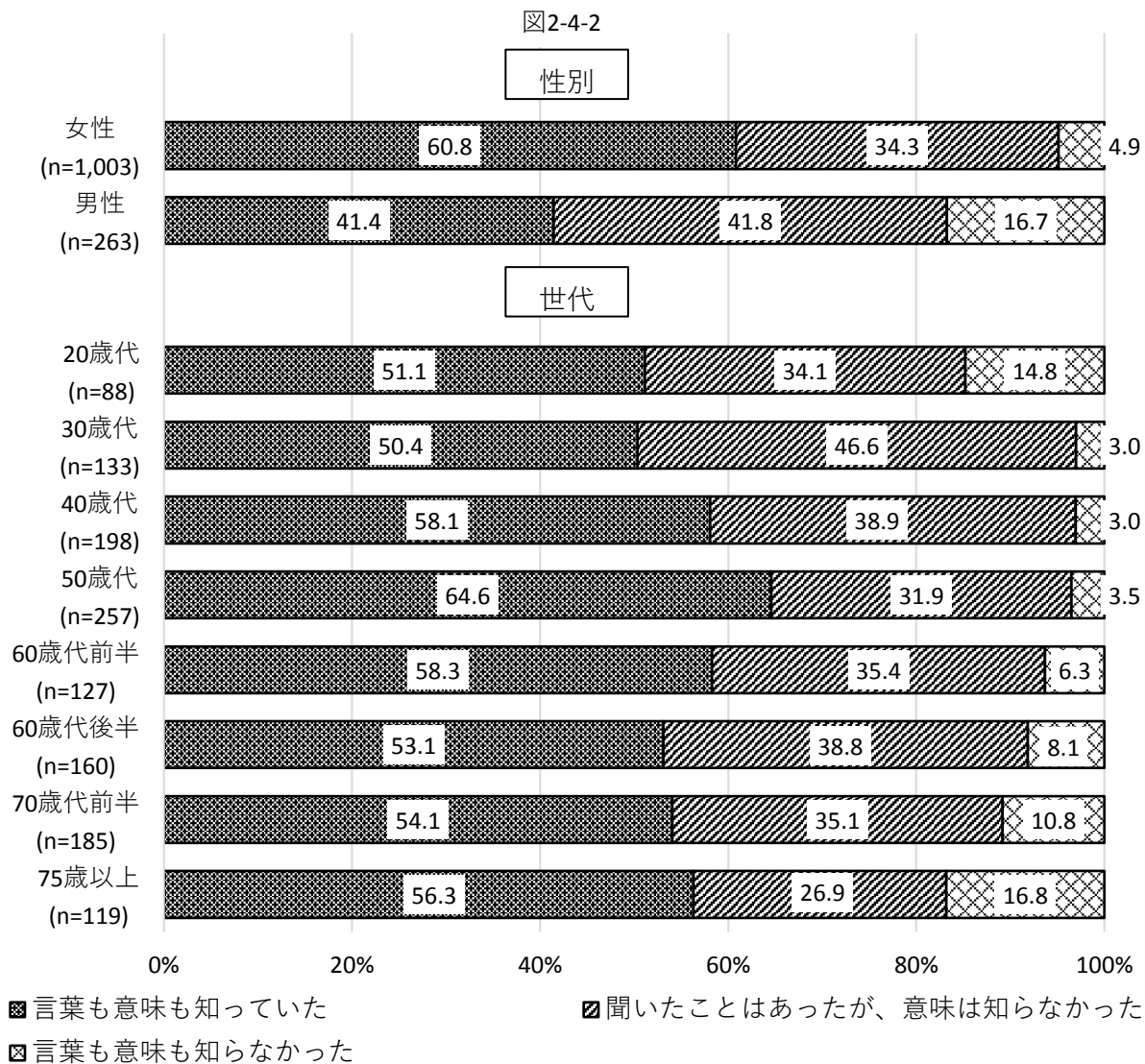
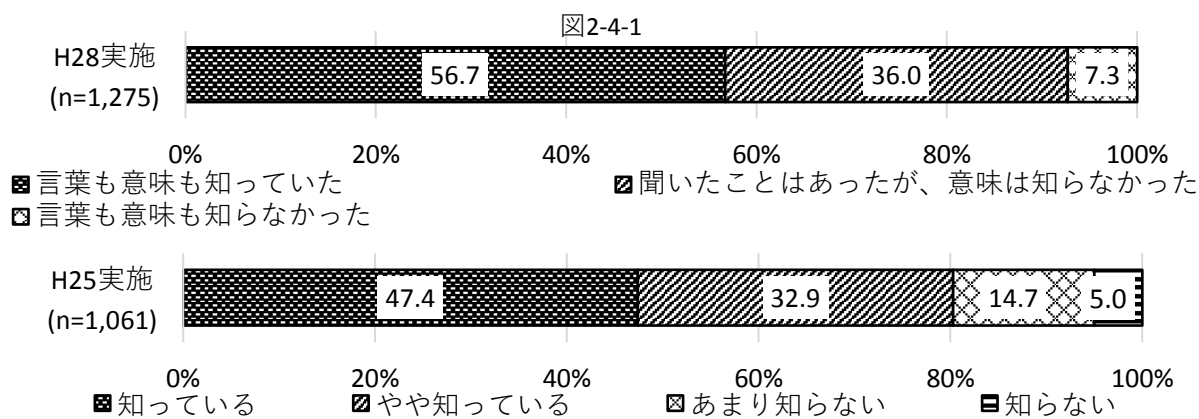
問3 食事は楽しいですか？（1つに○）

全体では、「楽しい」、「まあまあ楽しい」を合わせて9割近くに達しており、食事を楽しんでいる回答者がほとんどを占めている。男女別では、女性で楽しんでいる割合が高い。世代別では、大きな差異はみられない。



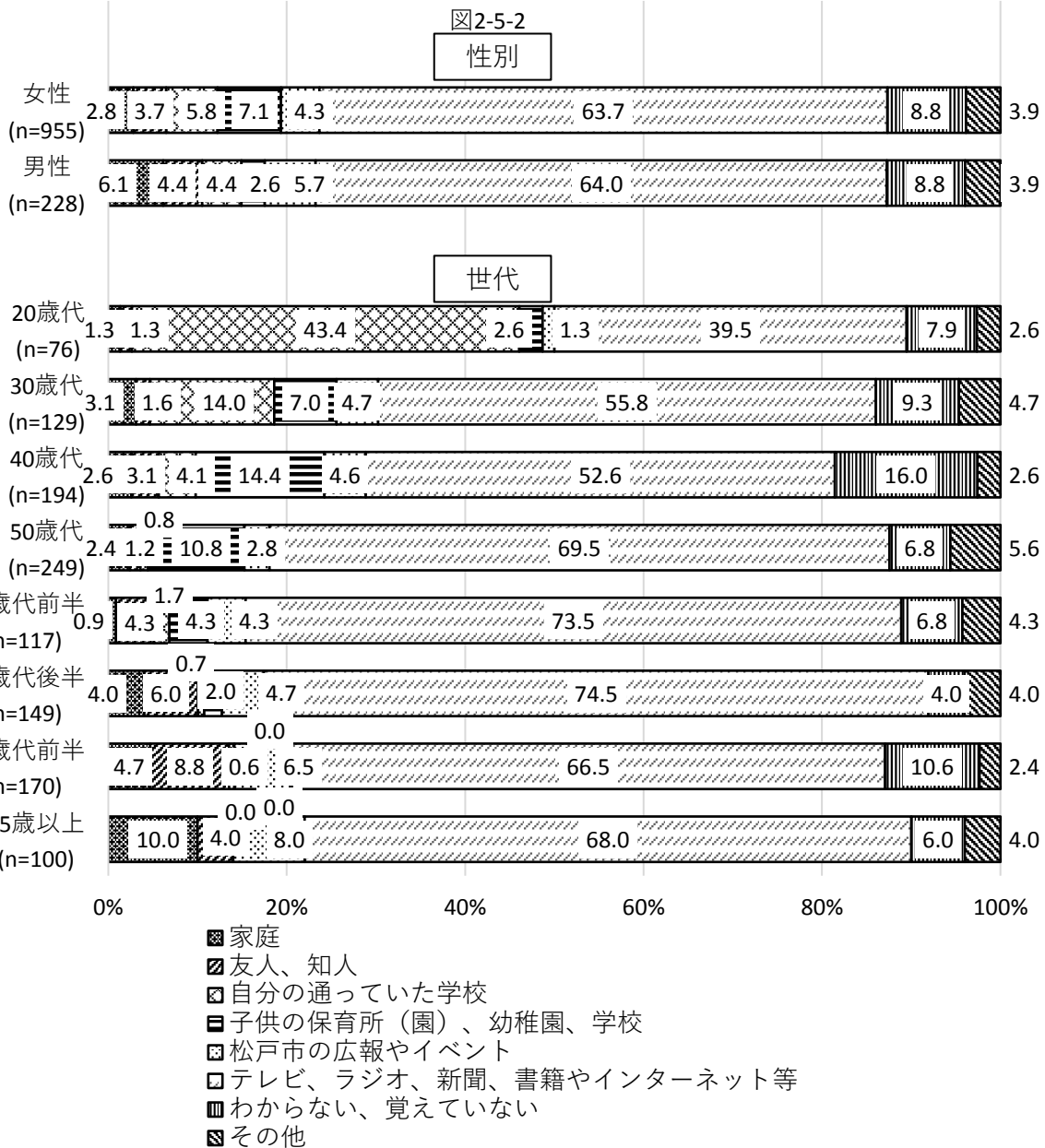
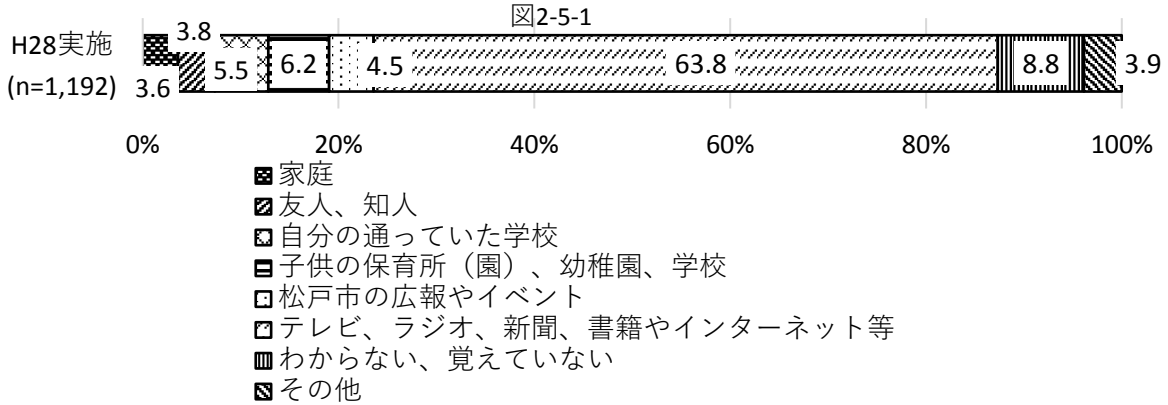
問4 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていますか？（1つに○）

全体で、半数以上が食育の言葉も意味も知っている。その割合は、前回に比べて増加している。男女別では、女性の認識割合がやや高い。世代別では、50歳代、60歳代、40歳代で認識が他の世代より高い傾向にある。



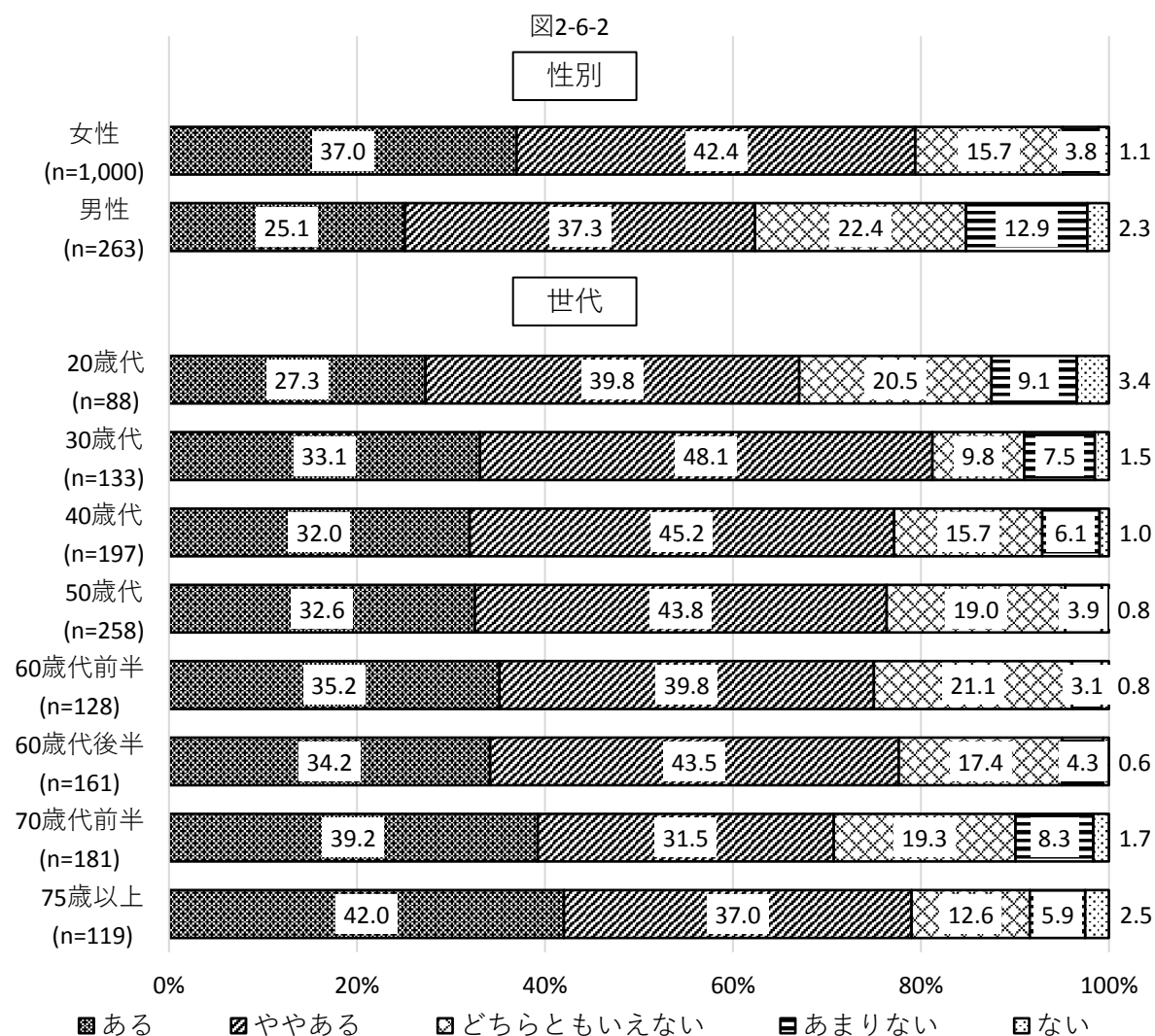
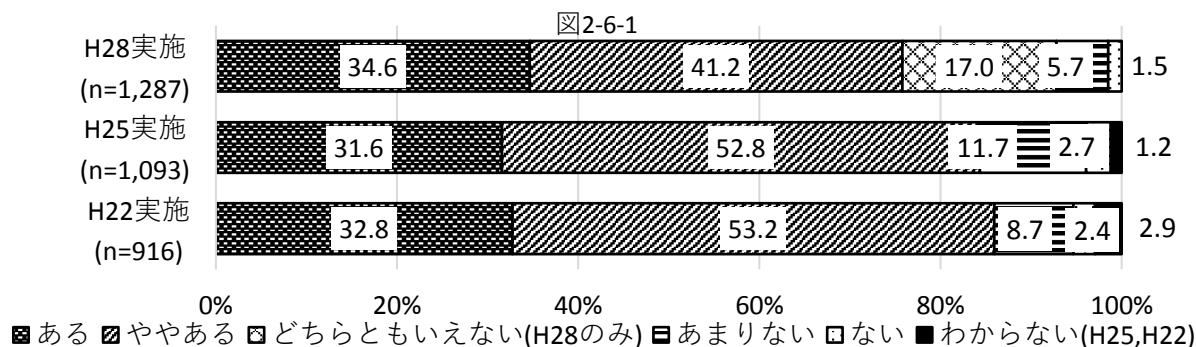
問5 あなたは「食育」という言葉を最初にどちらで知りましたか？（1つに○）

メディアを通じた認知が最も多く6割を超えている。男女別では、差はみられないが、20歳代では学校教育を通して学んでいる点は、食育の効果といえる。



問6 あなたは「食育」に関心がありますか？（1つに○）

食育への関心は、4分の3が肯定的な回答をしているが、女性で関心が高く、男性で低い点や世代別では、20歳代で低い点も、これまでの傾向と変化はない。中高年世代では、世代が上がるにつれ「関心ある」の割合が高くなる傾向にあり、健康寿命の点での関心が背景にあると思われる。



問7 以下の食育活動のなかで、あなたや家庭がすでに取り組んでいる（いた）ものはありますか？

(該当するものにいくつでも○)

食べ物の無駄の削減が最も一般的な取り組みで、次いで食生活の改善、自然や生産者への感謝、安全な食を選ぶ力の養成となっている。食べ物の無駄の削減に関する取り組みでは、女性で割合が高く、世代別では、30歳代が低く、世代が上がるとその割合も高くなる傾向がある。

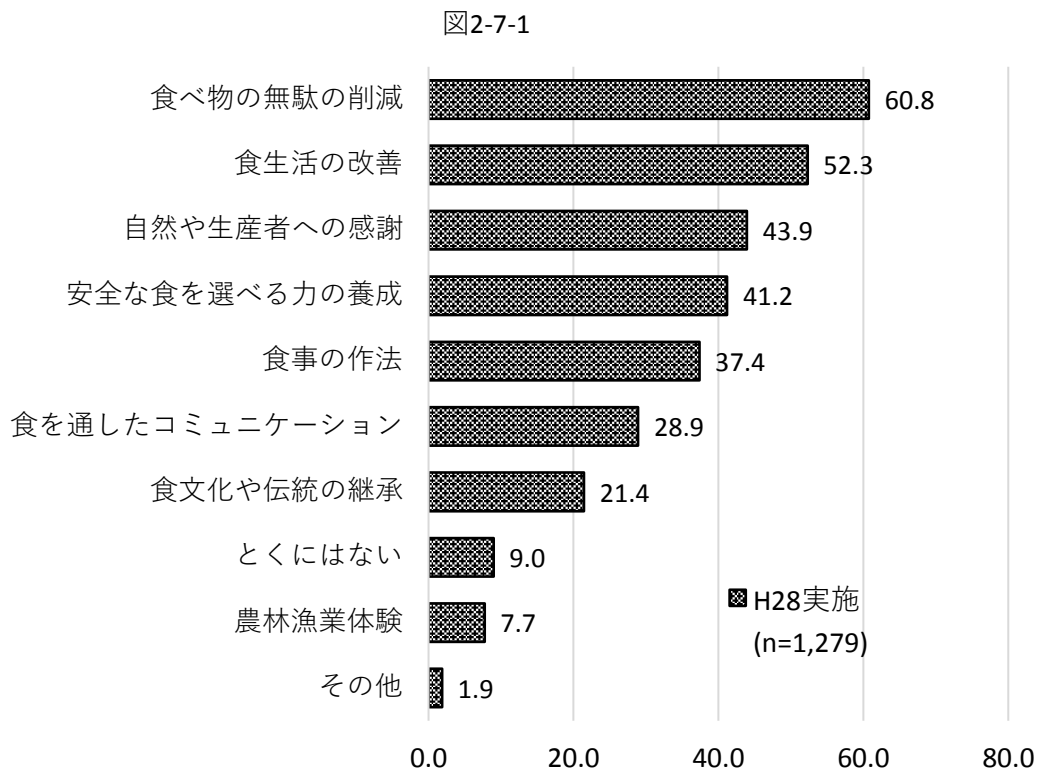


表 1-1

	全体 (人)	食生活の改善	食事の作法	農林漁業体験	食文化や伝統の継承	食を通じたコミュニケーション	食べ物の無駄の削減	自然や生産者への感謝	安全な食を選ぶ力の養成	その他	とくにはない	(%) 計
全体	1,271	52.6	37.6	7.8	21.6	29.1	61.1	44.2	41.5	1.9	9.0	306.5
女性	1,005	54.0	42.1	8.3	24.0	31.1	62.2	45.7	43.6	2.0	7.0	319.9
男性	264	45.1	19.7	6.1	11.7	20.1	55.7	37.1	31.8	1.5	16.3	245.1
20 歳代	89	47.2	41.6	7.9	12.4	25.8	52.8	33.7	25.8	0.0	21.3	268.5
30 歳代	131	45.0	49.6	12.2	14.5	32.1	45.8	35.9	25.2	1.5	15.3	277.1
40 歳代	197	49.7	55.3	16.2	28.4	42.1	56.3	44.7	37.6	2.5	6.6	339.6
50 歳代	258	56.2	44.2	5.8	26.0	36.0	63.6	40.7	40.3	2.3	7.0	322.1
60 歳代前半	128	62.5	32.0	5.5	26.6	28.9	68.8	43.0	60.9	4.7	7.0	339.8
60 歳代後半	161	58.4	24.2	4.3	20.5	22.4	64.6	45.3	47.2	1.2	5.6	293.8
70 歳代前半	186	47.8	23.7	7.0	16.7	17.2	64.0	50.0	41.9	1.6	8.1	278.0
75 歳以上	121	46.3	22.3	1.7	17.4	17.4	66.1	55.4	47.1	0.0	9.1	282.6

問8 同様に、今後、家庭や松戸市、学校が進めていくべきだと思う食育活動はありますか？

(いくつでも○)

食べ物の無駄の削減、自然や生産者への感謝、安全な食を選べる力の養成の3つを50%以上の回答者が選択している。大きな男女差はみられないが、世代別では、子育て世代の30歳代・40歳代では自然や生産者への感謝が最も多く選択されている。

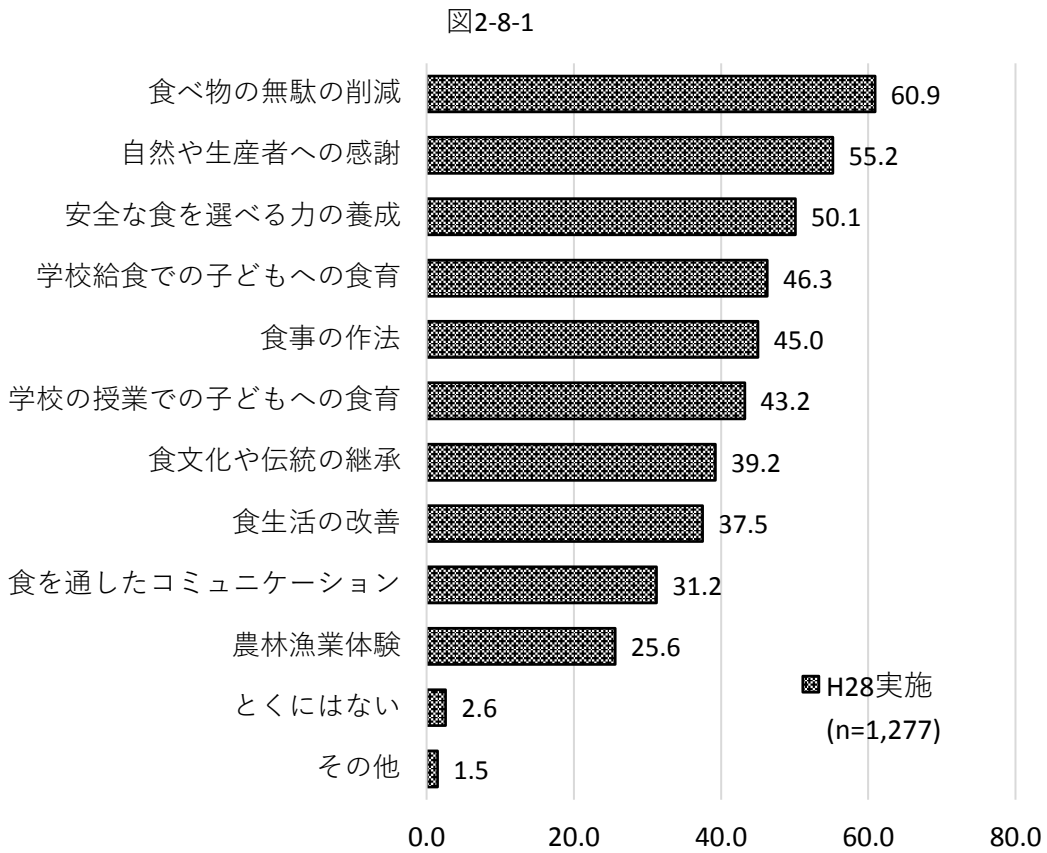


表 1-2

	全体 (人)	食生活の改善	食事の作法	農林漁業体験	食文化や伝統の継承	食を通じたコミュニケーション	食べ物の無駄の削減	自然や生産者への感謝	安全な食を選べる力の養成	学校の授業での子どもへの食育	学校給食での子どもへの食育	その他	とくにはない	計
全体	1,269	37.7	45.3	25.8	39.5	31.4	61.3	55.6	50.4	43.5	46.6	1.5	2.6	441.2
女性	1,003	37.1	47.3	28.1	42.0	33.5	61.6	57.6	52.1	46.7	50.1	1.3	1.9	459.3
男性	265	38.5	35.8	15.8	29.1	22.6	58.5	45.7	42.6	30.2	31.3	2.3	4.5	357.0
20 歳代	89	37.1	49.4	27.0	37.1	39.3	52.8	48.3	44.9	37.1	38.2	2.2	0.0	413.5
30 歳代	133	33.1	51.9	43.6	45.1	33.1	51.9	54.9	47.4	48.1	53.4	0.8	3.0	466.2
40 歳代	198	33.3	48.5	36.9	45.5	35.4	51.5	53.5	44.4	44.9	52.0	1.5	1.0	448.5
50 歳代	258	38.4	44.2	22.1	45.7	35.7	62.0	53.5	46.5	39.9	45.7	1.2	1.9	436.8
60 歳代前半	128	44.5	47.7	25.8	38.3	35.9	69.5	59.4	61.7	55.5	53.1	0.8	0.8	493.0
60 歳代後半	163	39.9	39.3	17.2	33.1	25.8	66.9	54.6	54.0	44.8	43.6	2.5	2.5	423.9
70 歳代前半	183	36.6	41.5	17.5	33.3	21.3	62.8	56.8	51.4	41.5	40.4	1.6	4.4	409.3
75 歳以上	117	37.6	39.3	16.2	28.2	23.9	70.9	60.7	55.6	34.2	40.2	1.7	6.0	414.5

(%)

問9 以下の食育に関するボランティアのなかで、あなたが参加したことのある活動はありますか？

(いくつでも○)

食育ボランティアへの参加経験について、「とくにはない」が4分の3を占めているが、男性ではその割合が8割以上になっている。世代別では、20歳代では農林漁業等に関する体験活動と郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動への参加割合が高いが、40歳代以降の世代では生活習慣予防などのための料理教室への参加が最も多い。子育てで忙しい30歳代は、10%を超えるものはない。

図2-9-1

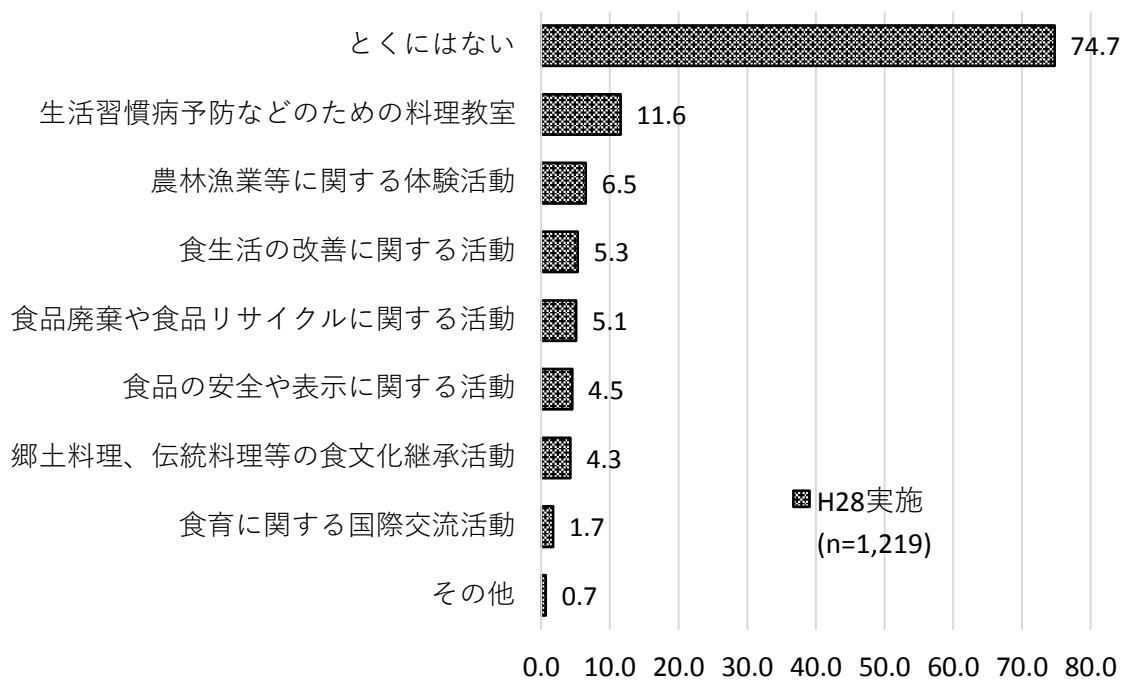


表 1-3

(%)

	全体(人)	郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動	農林漁業等に関する体験活動	食生活の改善に関する活動	生活習慣病予防などのための料理教室	食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	食品の安全や表示に関する活動	食育に関する国際交流活動	その他	とくにはない	計
全体	1,211	4.3	6.5	5.4	11.6	5.1	4.5	1.7	0.7	75.2	115.1
女性	957	4.6	7.0	5.4	13.5	5.2	5.0	2.0	0.6	72.7	116.1
男性	254	2.8	4.7	4.7	4.3	4.7	2.8	0.8	0.8	82.3	107.9
20 歳代	88	11.4	13.6	4.5	2.3	8.0	3.4	3.4	0.0	69.3	115.9
30 歳代	130	0.8	6.2	1.5	4.6	6.9	3.1	2.3	0.0	85.4	110.8
40 歳代	196	2.0	8.2	6.1	13.3	6.1	3.6	1.5	0.5	74.0	115.3
50 歳代	245	5.3	7.8	4.5	10.6	5.3	4.1	2.4	0.8	75.5	116.3
60 歳代前半	118	5.1	5.1	5.1	16.1	4.2	5.1	0.8	0.0	74.6	116.1
60 歳代後半	151	2.6	4.0	4.6	14.6	2.6	2.6	0.7	0.7	75.5	107.9
70 歳代前半	175	5.1	5.1	8.6	15.4	5.1	8.6	2.3	1.7	68.0	120.0
75 歳以上	110	3.6	2.7	6.4	10.9	2.7	5.5	0.0	0.9	76.4	109.1

問10 問9の食育ボランティアで参加してみたいものはありますか？（いくつでも○）

参加したい食育ボランティアとしては、前々回から生活習慣病予防などのための料理教室が最も希望が多いが、次いで特に希望はないという回答で、食育ボランティアへの参加希望が必ずしも高いわけではないことを示している。男女別では、男性では特に希望がないが最も多い。また、世代別では70歳代以降で特に希望がないが最も多くなっている。

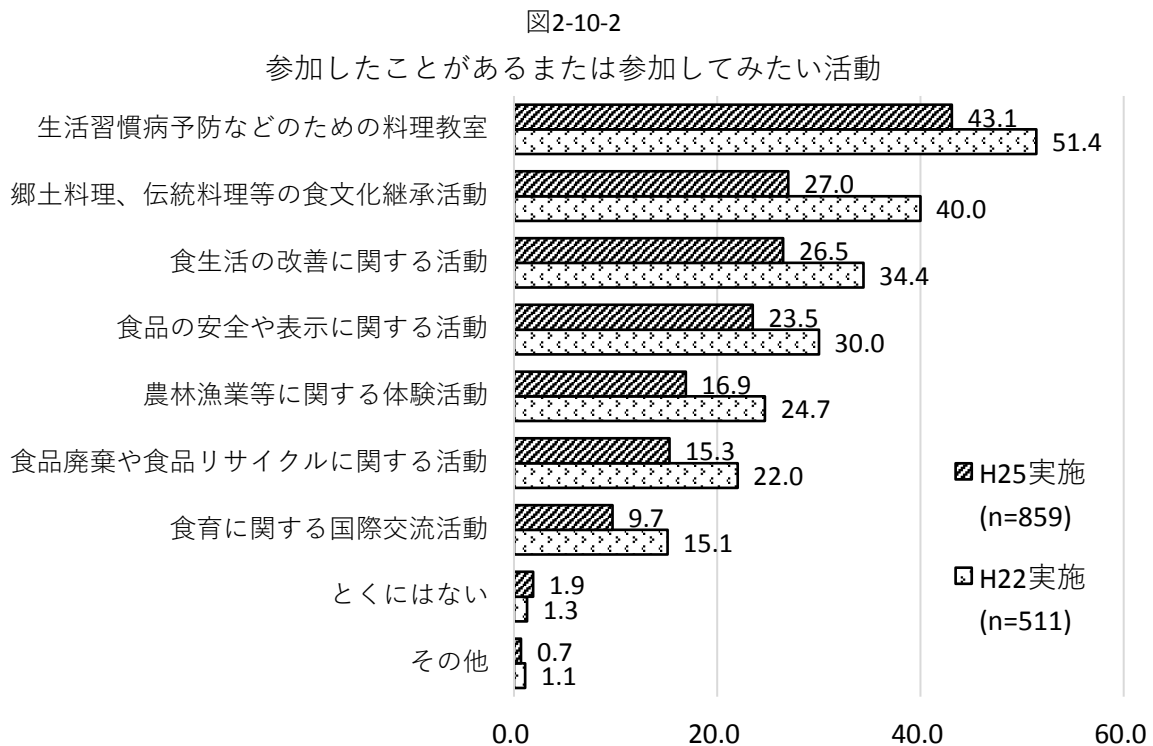
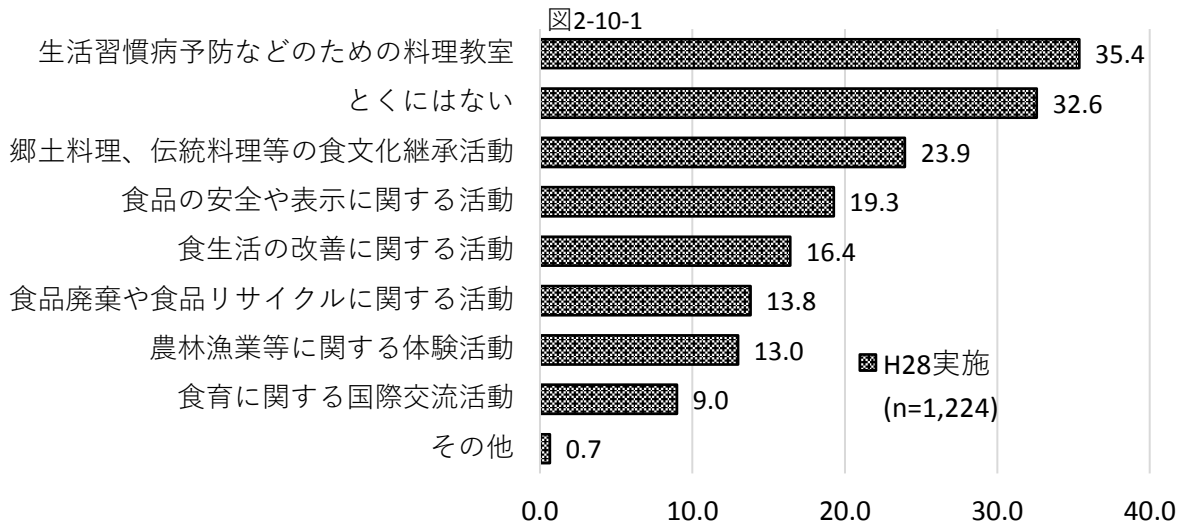


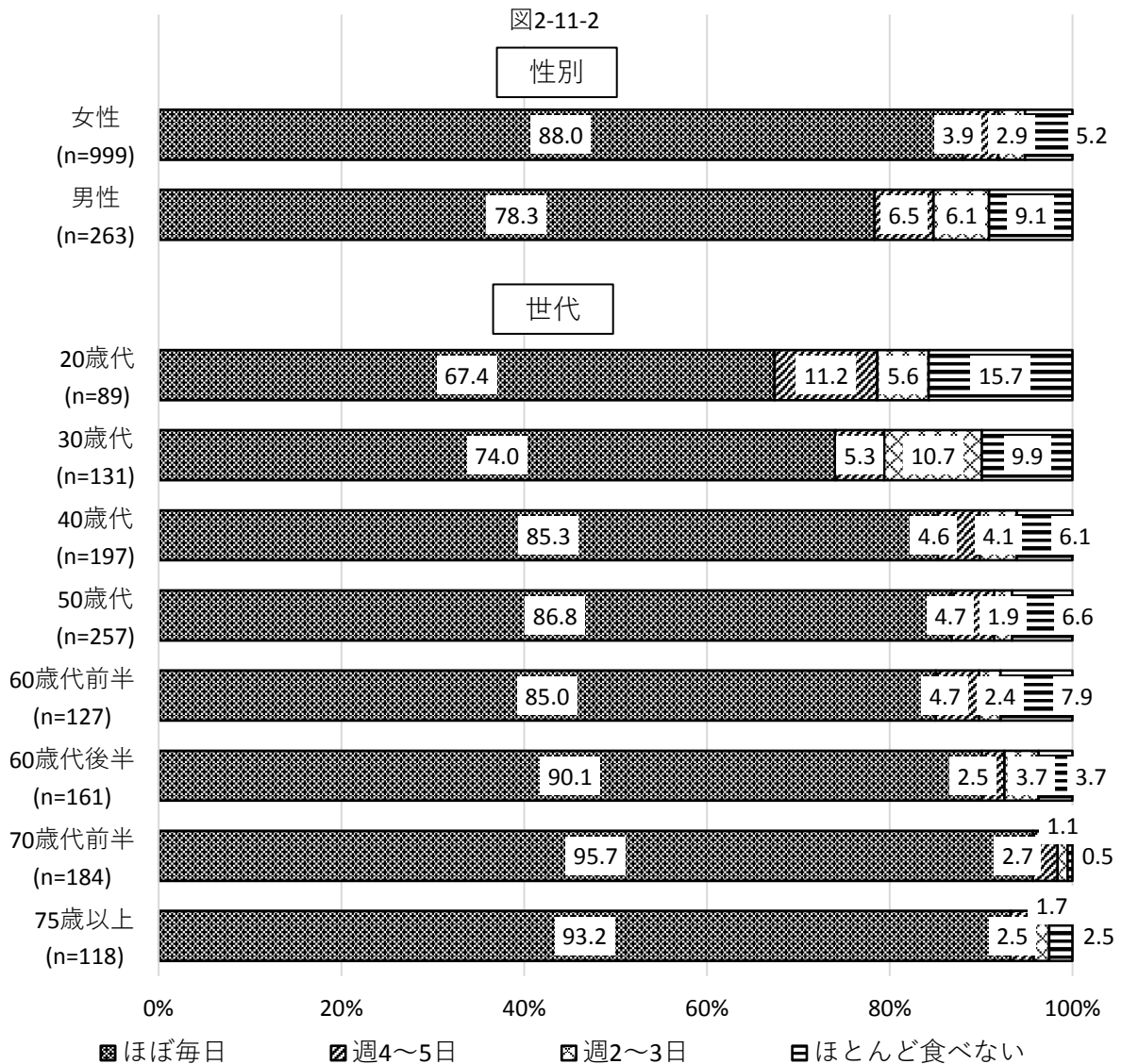
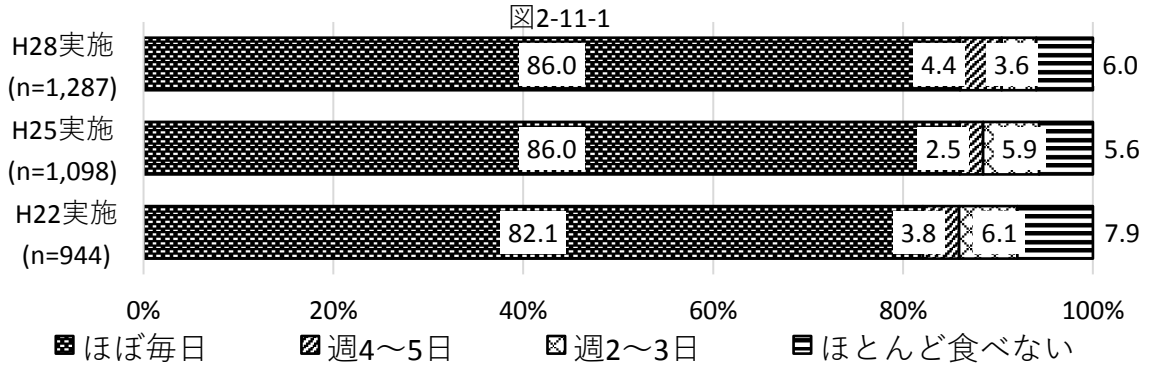
表 1-4

(%)

	全体 (人)	郷土料理、 伝統料理等の食文化継承活動	農林漁業等に関する 体験活動	食生活の改善に関する活動	生活習慣病予防などのための料理教室	食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	食品の安全や表示に関する活動	食育に関する国際交流活動	その他	とくにはない	計
全体	1,216	24.1	13.1	16.5	35.6	13.9	19.4	9.0	0.7	32.8	165.1
女性	956	25.5	13.2	17.2	38.2	13.8	20.2	10.4	0.7	29.1	168.2
男性	259	18.1	12.0	13.9	25.9	13.9	15.8	4.2	0.4	45.6	149.8
20歳代	87	31.0	17.2	14.9	33.3	13.8	11.5	20.7	0.0	29.9	172.4
30歳代	131	32.1	22.1	20.6	40.5	13.0	19.8	13.0	0.0	25.2	186.3
40歳代	194	32.5	25.3	14.9	34.0	12.9	19.1	13.4	1.0	26.3	179.4
50歳代	246	27.6	12.2	15.4	34.1	15.4	18.3	12.6	1.2	28.5	165.4
60歳代前半	125	27.2	9.6	20.8	42.4	12.8	20.8	4.0	0.0	25.6	163.2
60歳代後半	151	15.9	2.0	15.2	39.7	14.6	19.2	1.3	0.0	39.7	147.7
70歳代前半	178	12.9	7.9	15.7	33.1	16.3	23.0	5.1	1.7	38.2	153.9
75歳以上	105	9.5	4.8	15.2	26.7	8.6	19.0	1.9	0.0	53.3	139.0

問11 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？（1つに○）

毎日朝食をとる回答者の割合は、前回と同様の結果で 86.0%であるのに対して、「ほとんど食べない」の割合は、減少傾向を示している。男女別でみると、男性の毎日朝食をとる割合は8割に達しない。世代別では、20歳代では、朝食をとる割合が低いという点で30歳代以降とは異なる特異なパターンを示している。また、60歳代後半以降では、9割以上が毎日朝食をとっている。



問 12 あなたの朝食は主にどのようなメニューですか？（以下のなかから該当するものはいくつでも○）

朝食のメニューでは、主食が9割を超えているが、男女別では、女性で菓子、果物、乳製品をとっている割合が男性に比べて高い。世代別では、年齢が上がるほど主食、主菜、副菜のバランスがとれている。

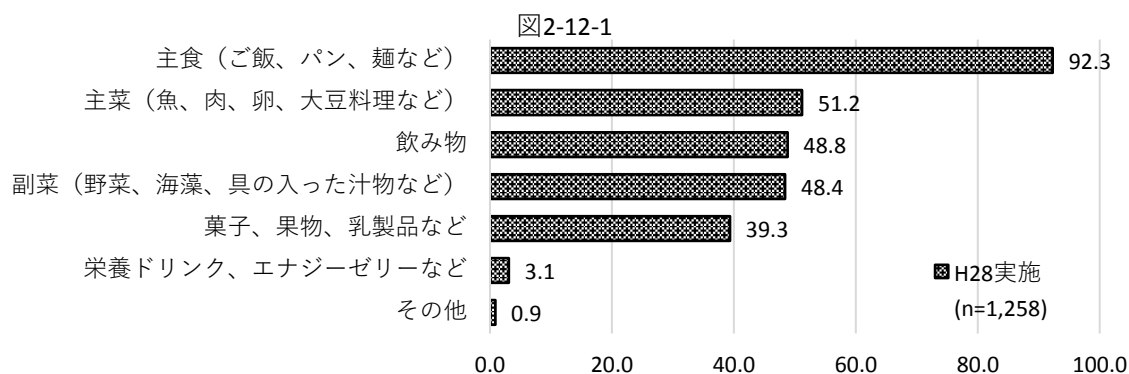


表 1-5

	全体 (人)	主食 (ご飯、パン、麺など)	主菜 (魚、肉、卵、大豆料理など)	副菜 (野菜、海藻、具の入った汁物など)	飲み物	栄養ドリンク、エナジーゼリーなど	菓子、果物、乳製品など	その他	計
全体	1,251	92.8	51.5	48.7	49.1	3.1	39.6	0.9	285.6
女性	995	92.3	53.1	50.5	52.3	3.0	43.2	0.8	295.1
男性	255	91.8	43.9	40.0	34.9	3.5	24.3	1.2	239.6
20 歳代	88	87.5	42.0	30.7	45.5	2.3	26.1	0.0	234.1
30 歳代	130	90.0	41.5	33.1	50.8	3.1	44.6	1.5	264.6
40 歳代	197	93.9	53.8	42.1	55.8	1.5	40.6	0.0	287.8
50 歳代	252	90.9	46.0	45.2	55.2	3.6	39.7	1.2	281.7
60 歳代前半	125	91.2	56.0	50.4	60.0	1.6	35.2	1.6	296.0
60 歳代後半	157	93.0	57.3	57.3	45.2	3.8	41.4	0.6	298.7
70 歳代前半	186	97.8	52.2	60.8	33.9	2.2	34.4	0.5	281.7
75 歳以上	117	88.9	61.5	62.4	39.3	7.7	50.4	1.7	312.0

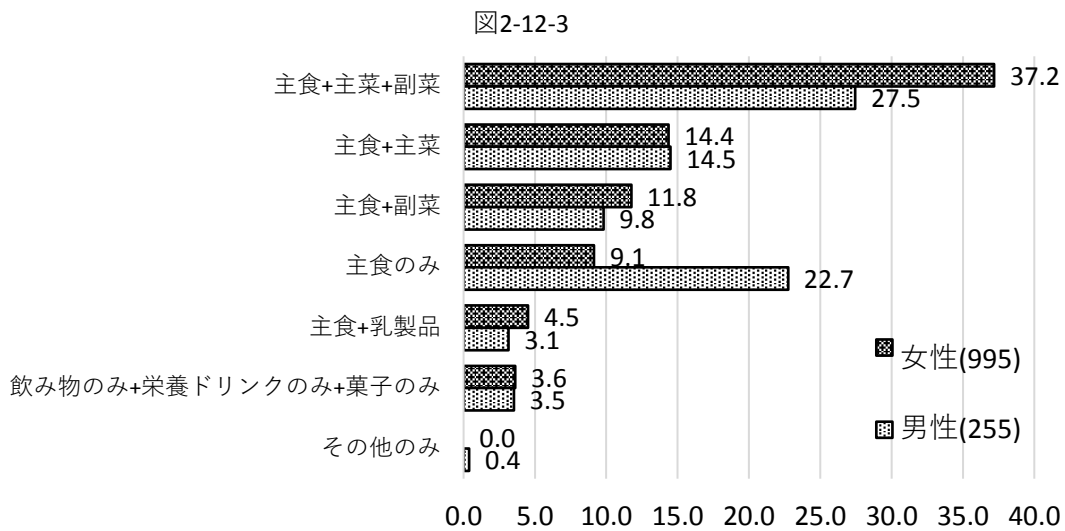
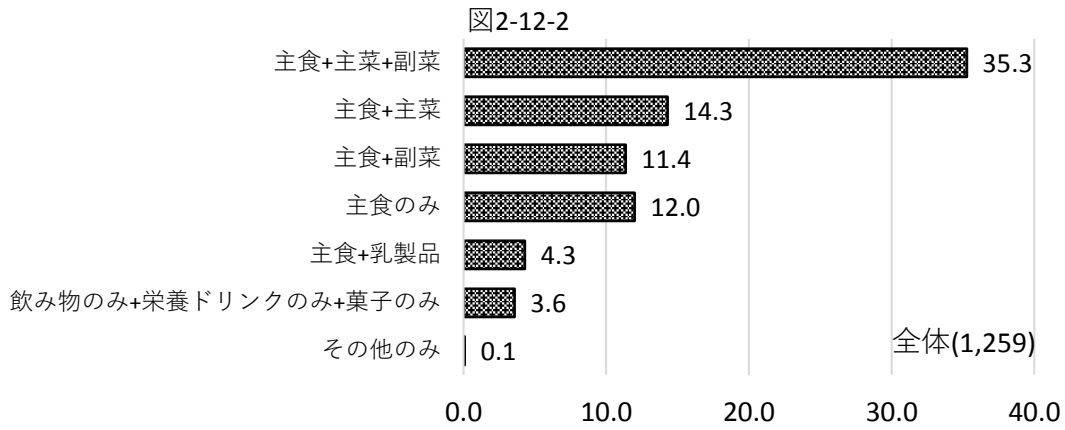
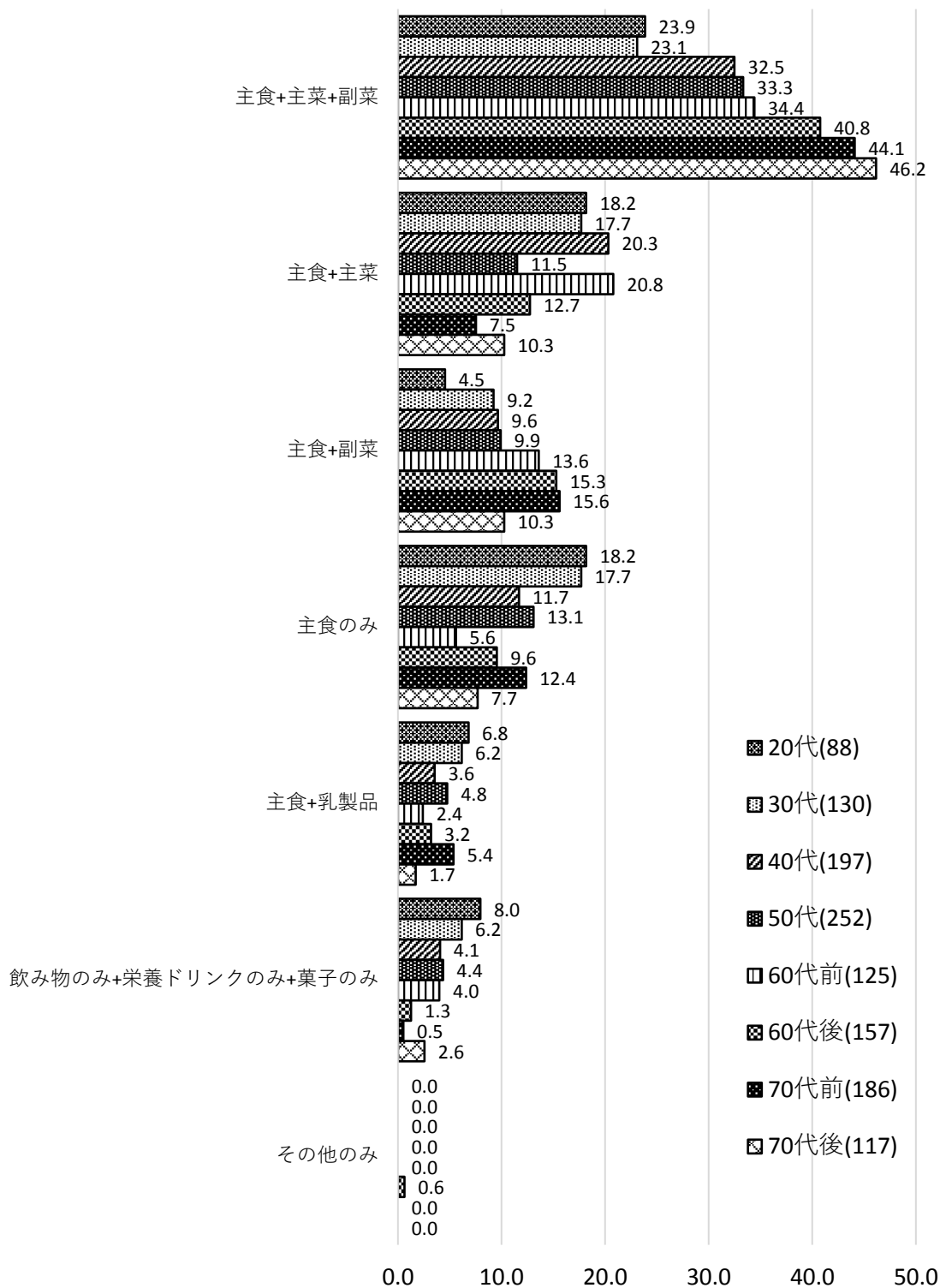
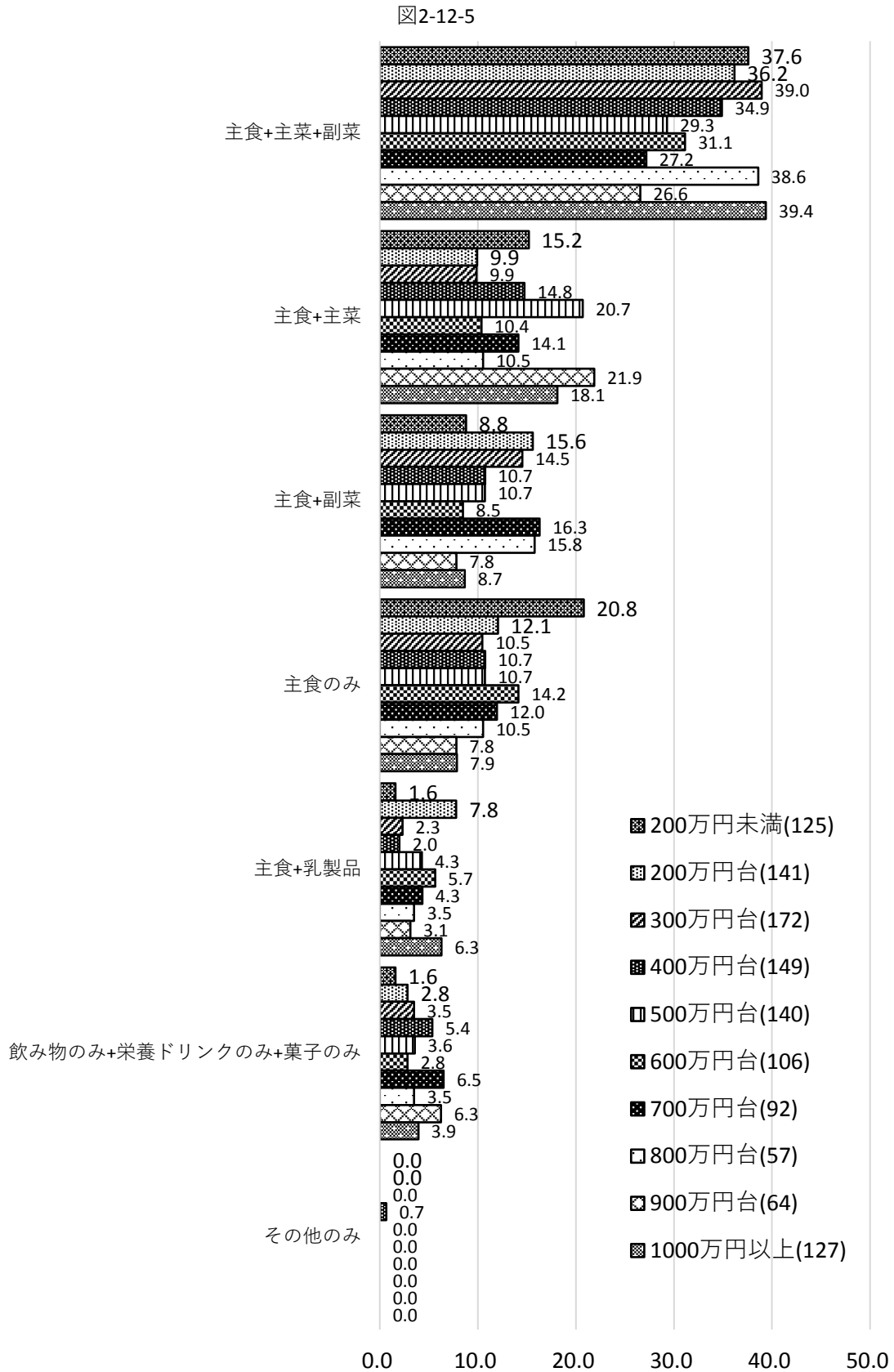


図2-12-4





問13 朝食をとらない（とれない）ときの理由は何ですか？（いくつでも○）

朝食をとらない（とれない）理由で最も多いのは、「食欲がない」で半数近くが挙げている。次いで、「朝食より優先したいことがある」でおよそ3分の1の回答者が挙げている。男女別では、男性で食欲がないが4割程度と女性に比べて低い。世代別では、20歳代と30歳代では「朝食より優先したいことがある」を半数が挙げ最も多い理由となっている。

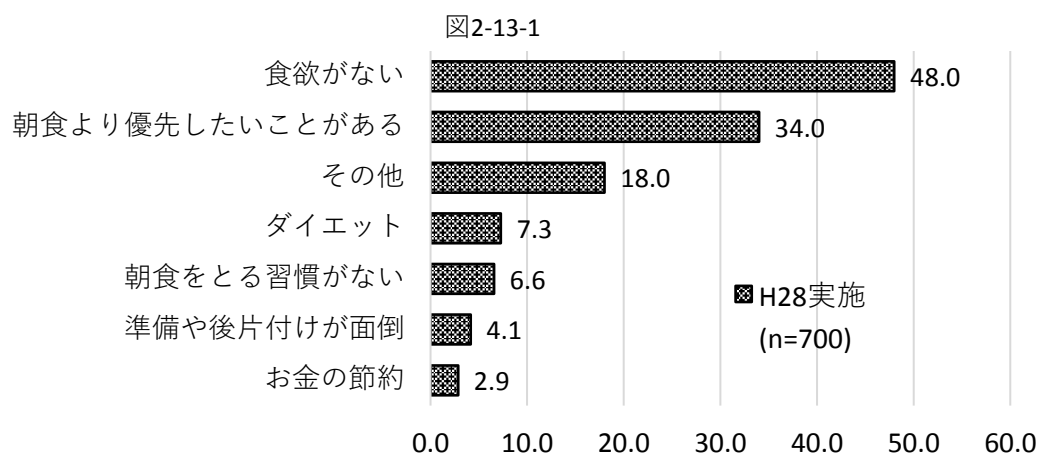


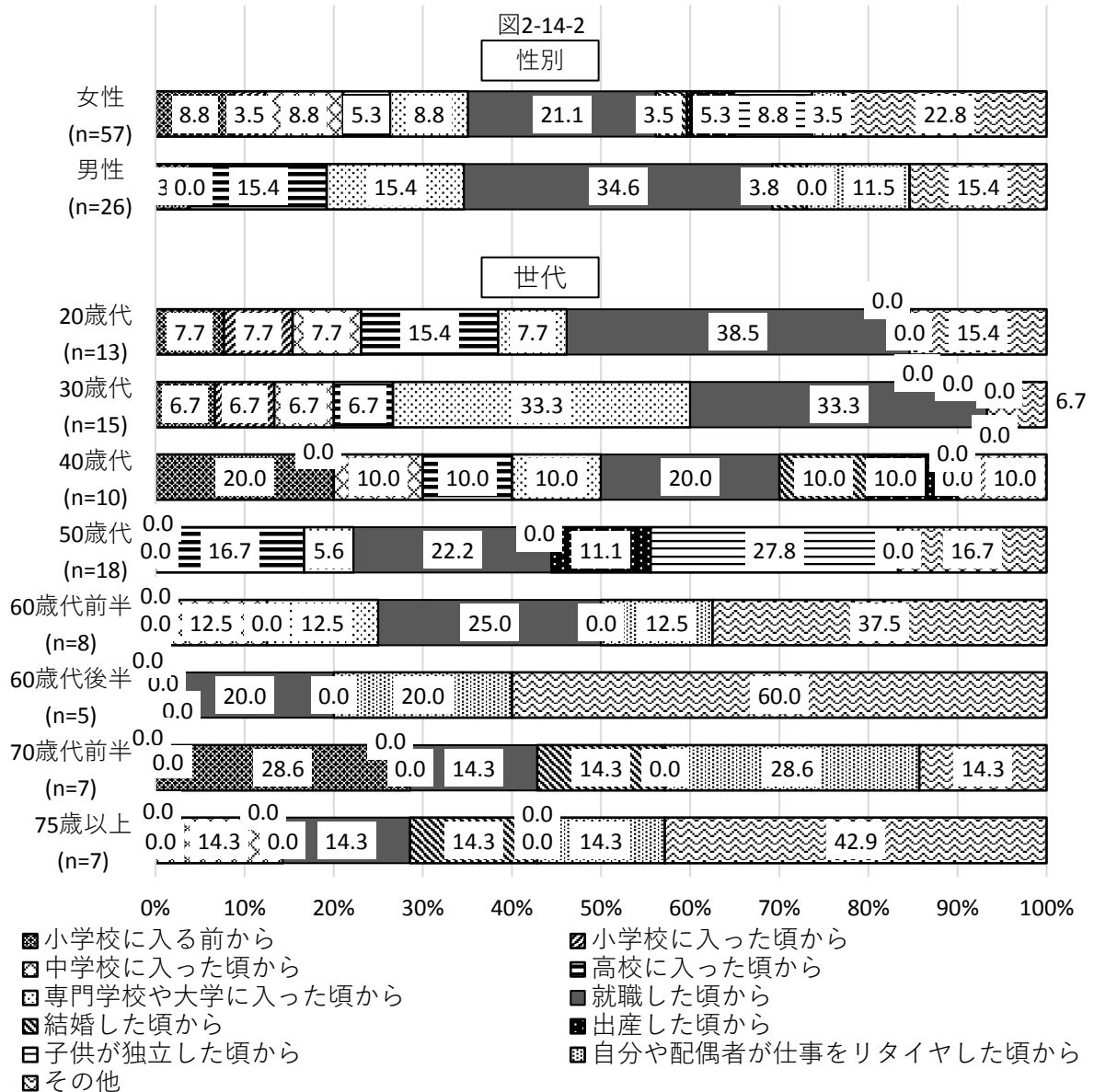
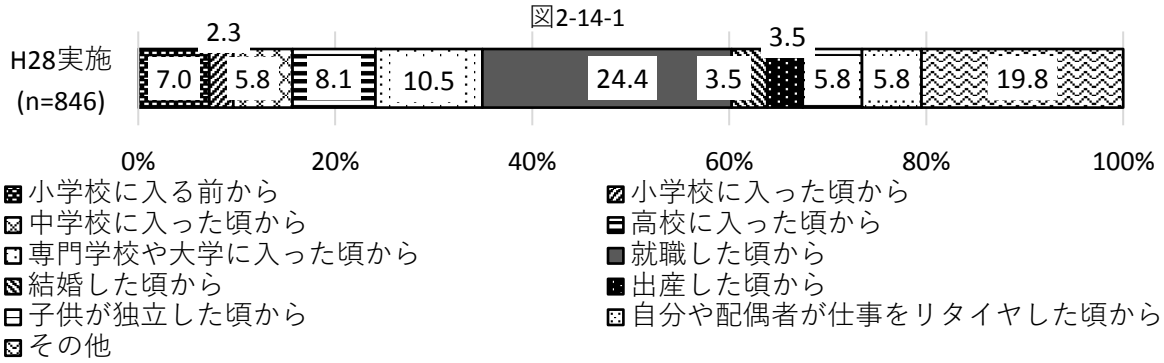
表 1-6

(%)

	全体 (人)	食欲がない	ダイエット	準備や後片付けが面倒	朝食より優先したいことがある	お金の節約	朝食をとる習慣がない	その他	計
全体	692	48.6	7.4	4.2	34.4	2.9	6.6	18.2	122.3
女性	550	50.0	6.9	4.0	34.2	2.4	5.8	18.5	121.8
男性	146	41.1	8.9	4.1	32.9	4.1	8.9	16.4	116.4
20歳代	77	32.5	7.8	6.5	50.6	3.9	9.1	19.5	129.9
30歳代	108	42.6	5.6	7.4	50.0	4.6	8.3	11.1	129.6
40歳代	143	51.0	9.8	2.8	34.3	2.1	4.2	14.7	118.9
50歳代	166	54.2	6.6	3.0	26.5	1.2	6.6	22.3	120.5
60歳代前半	70	50.0	8.6	1.4	37.1	0.0	8.6	10.0	115.7
60歳代後半	54	53.7	9.3	0.0	16.7	1.9	3.7	25.9	111.1
70歳代前半	50	46.0	6.0	8.0	24.0	6.0	0.0	20.0	110.0
75歳以上	29	48.3	0.0	3.4	10.3	6.9	17.2	34.5	120.7

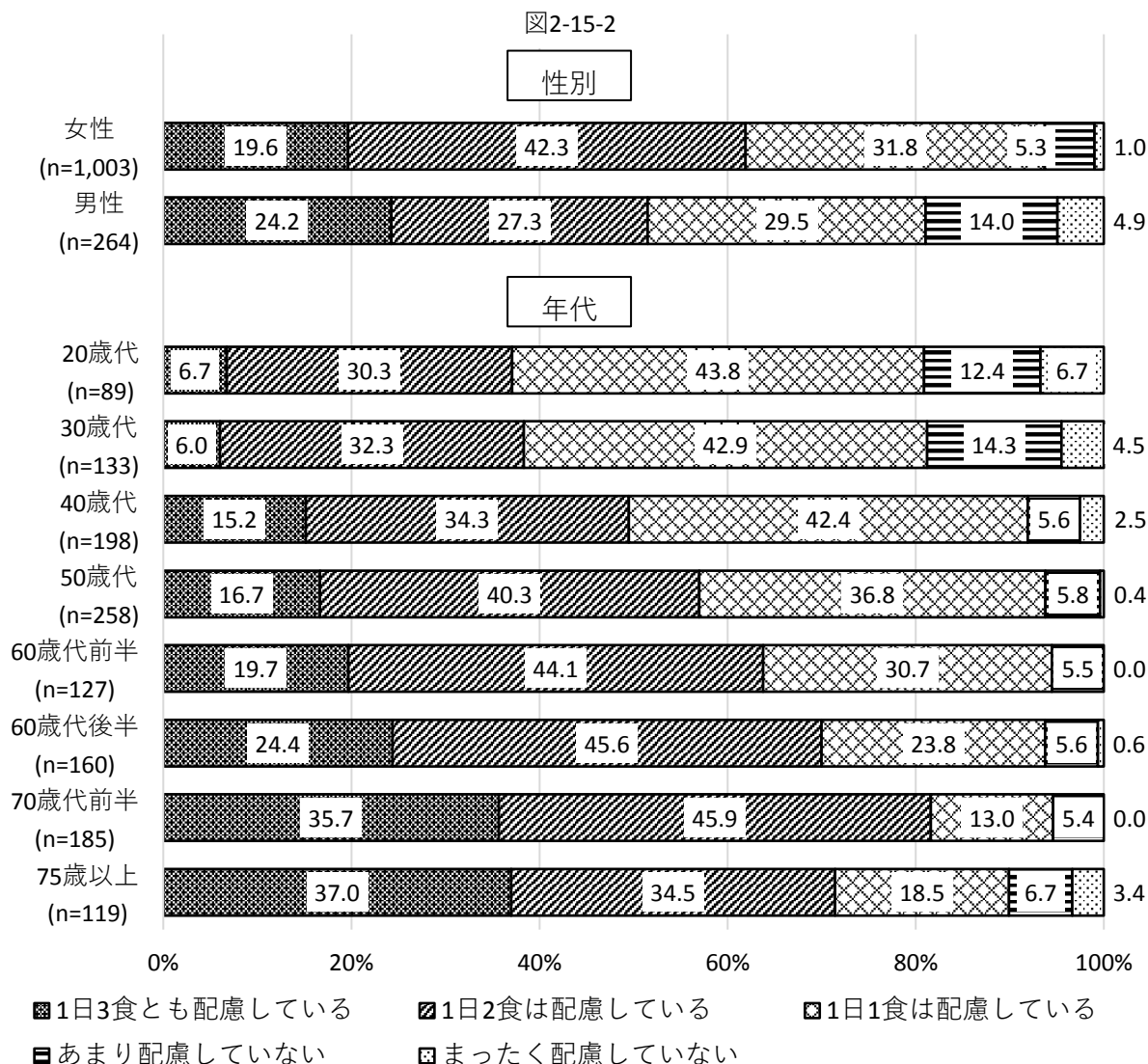
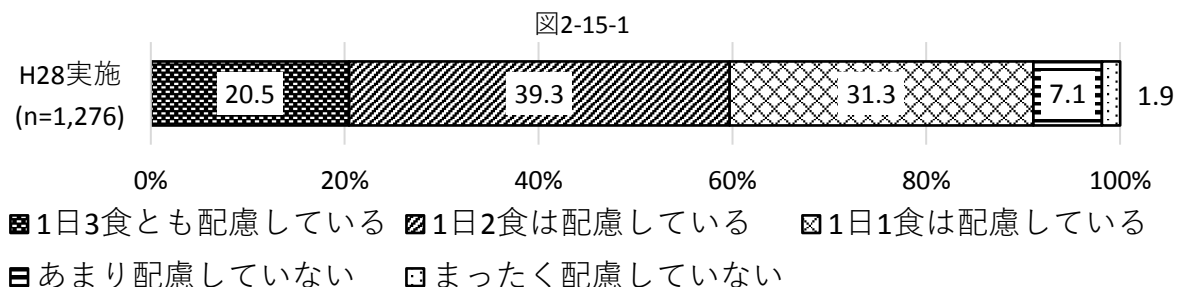
問14 問13で「朝食をとる習慣がない」を選んだ方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか？（1つに○）

「朝食をとる習慣がない」との回答者が、朝食をとらなくなった時期は、かなりバラツキがあるものの、最も多いのは「就職した頃から」との回答でほぼ4分の1を占めている。男女別にみると、男性ではその割合が高く、3分の1を超えている。世代別では、20歳代でその割合が高いが、30歳代では「高校に入った頃から」と3分の1ずつで並んでいる。また、特に50歳代では、「子供が独立した頃から」が約3割を占めており、進学、就職、退職などの生活スタイルの変化時に生じている点が特徴である。



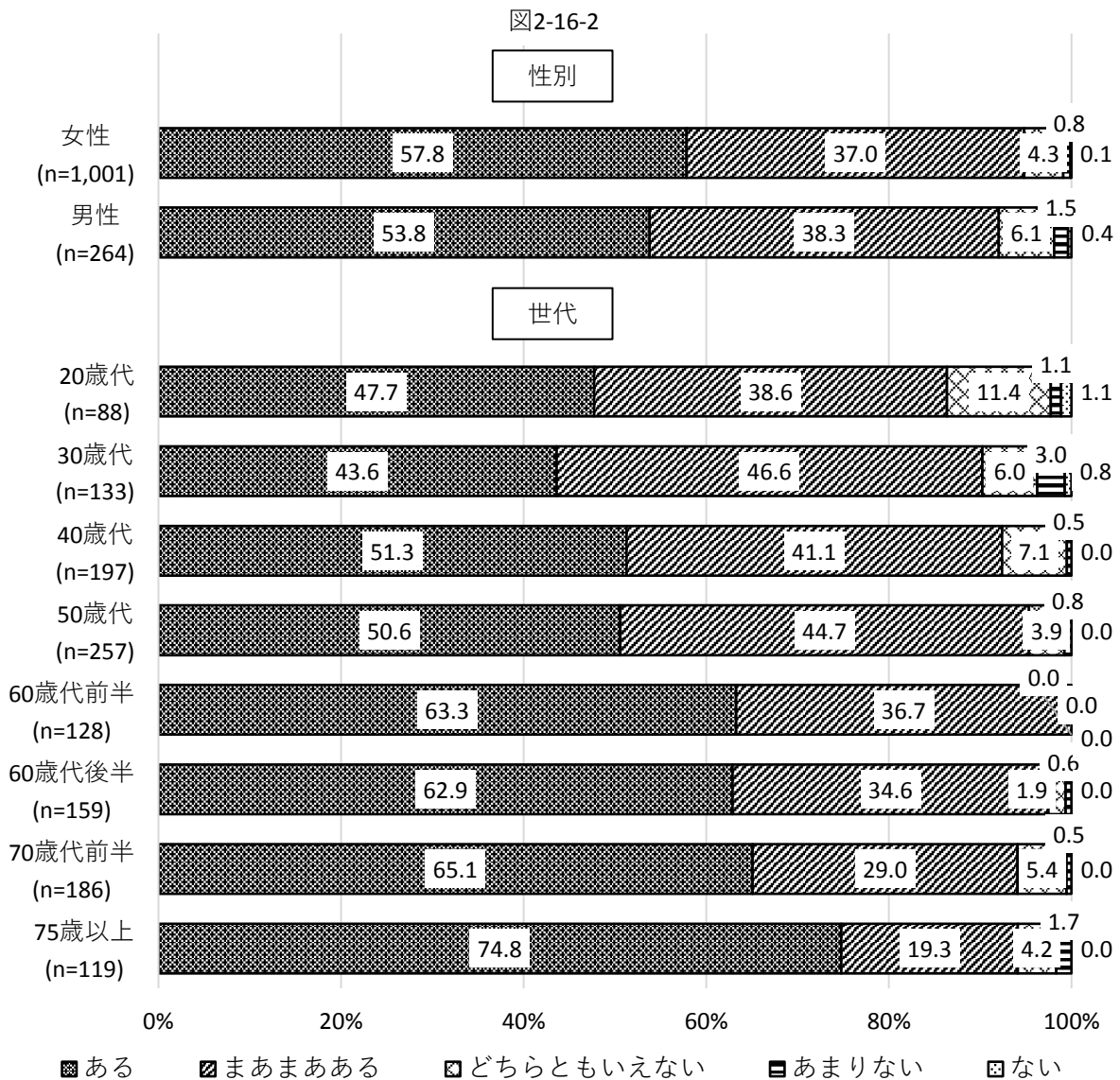
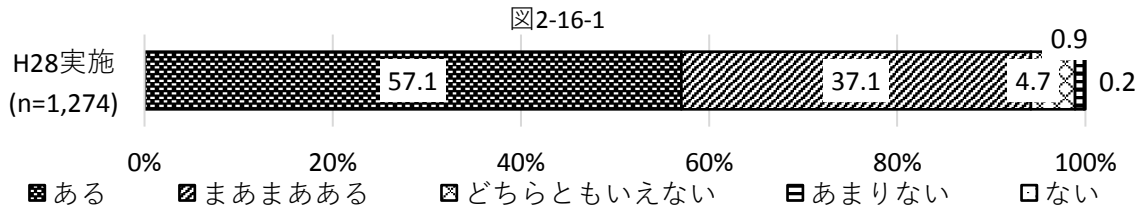
問15 あなたは主食・主菜・副菜を組み合わせるように配慮した食事をとっていますか？（1つに○）

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事については、1日2食は配慮しているが約4割で最も多く、次いで1日1食は配慮が3分の1を占め、3食配慮は2割と多くはない。男女別では、女性では1日2食は配慮が4割を超え、1日1食配慮も3割を超えているに対して、男性では1日1食配慮が最も多くても約3割程度で、男女間で大きな差がみられる。世代別での特徴も明確で、世代が上がるに従い、1日3食配慮割合が高くなっている。



問16 あなたは食品の安全に関心がありますか？（1つに○）

松戸市民の食品の安全に対する関心は高い。関心が「ある」と「まあまあある」を合わせると9割を超えている。男女別では、男性の関心度合いがやや低い大きな差ではない。世代別では、世代が上がるほど関心度合いも高くなる傾向が読み取れる。



問17 あなたが安全な食生活を送るために普段から意識していることはありますか？（いくつでも○）

最も多いのは、「消費（味）期限や製造日の確認」で8割を超えており、最も一般的にみられる行為といえる。以下の項目は、「産地の確認」、「肉の十分な加熱」などと続き、ほぼ横並びといえる。男女別では、ここでも男性の意識レベルが全般的に低い。世代別でも、20歳代・30歳代で意識の低いことを把握できる。

図2-17-1

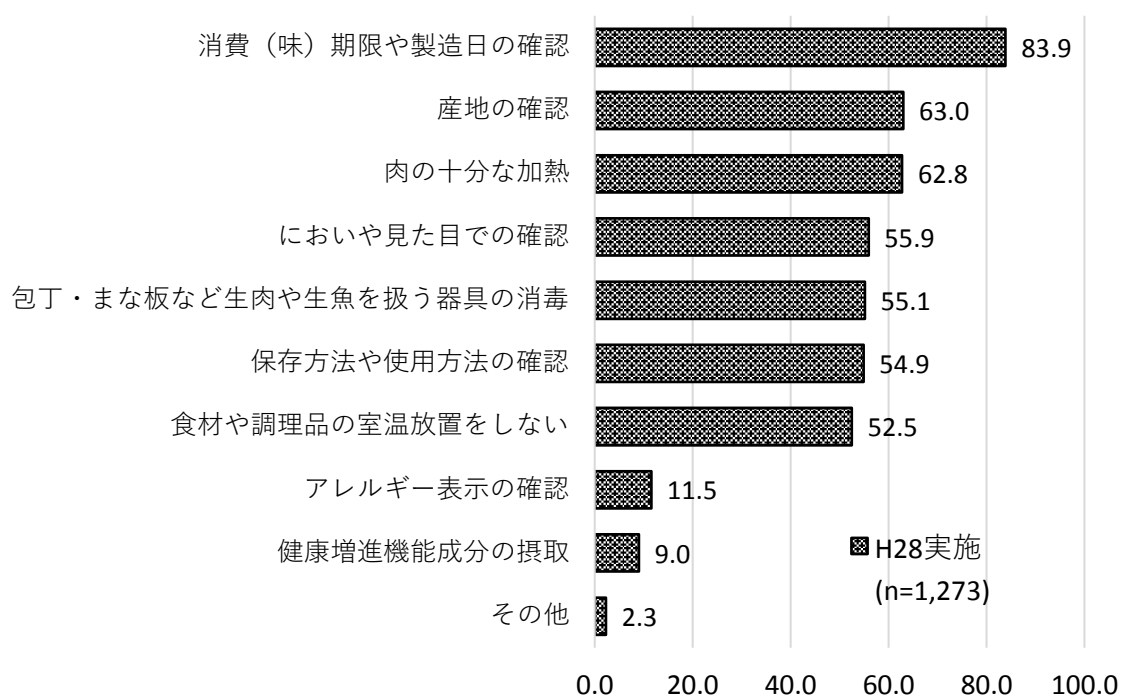
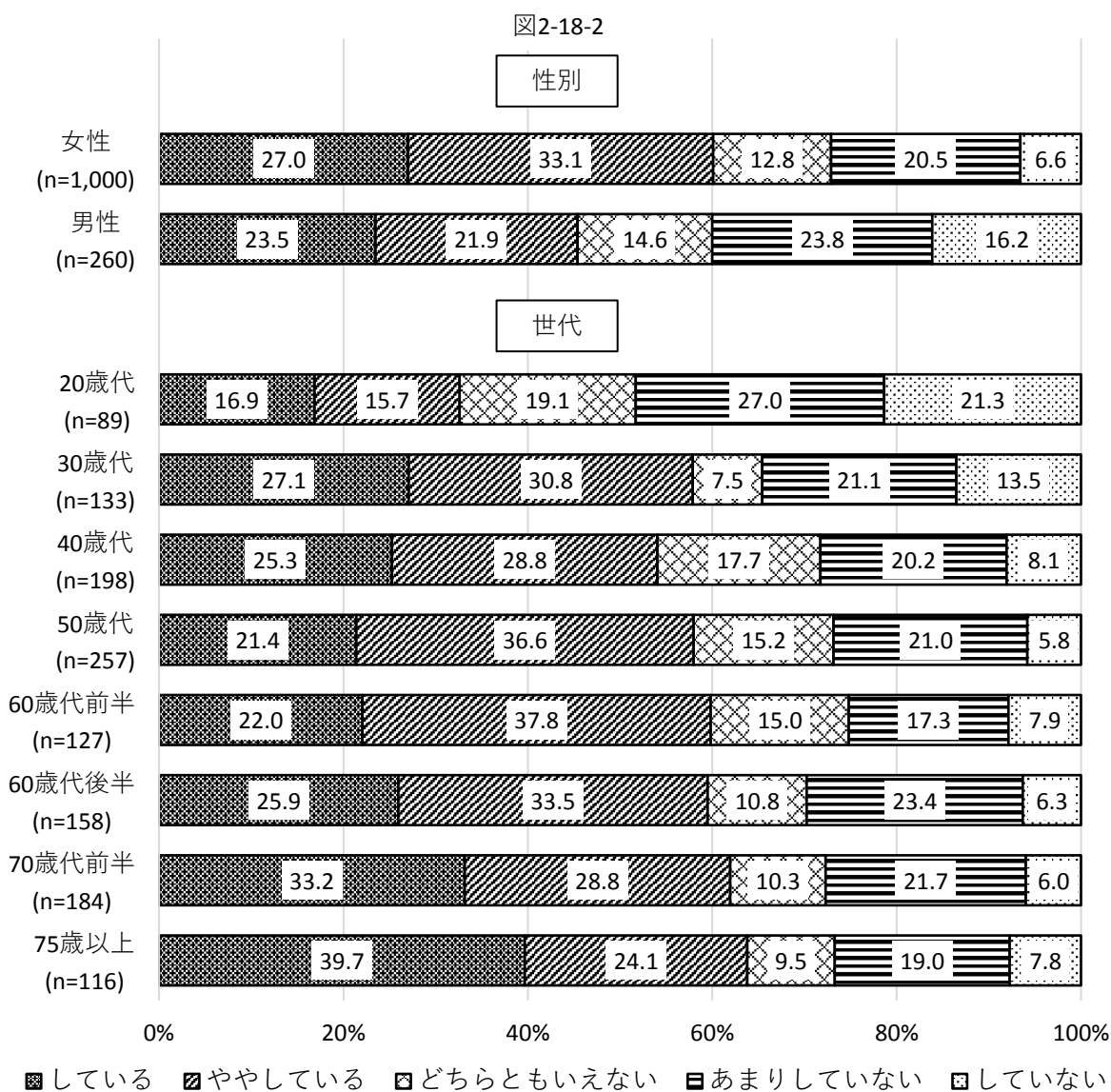
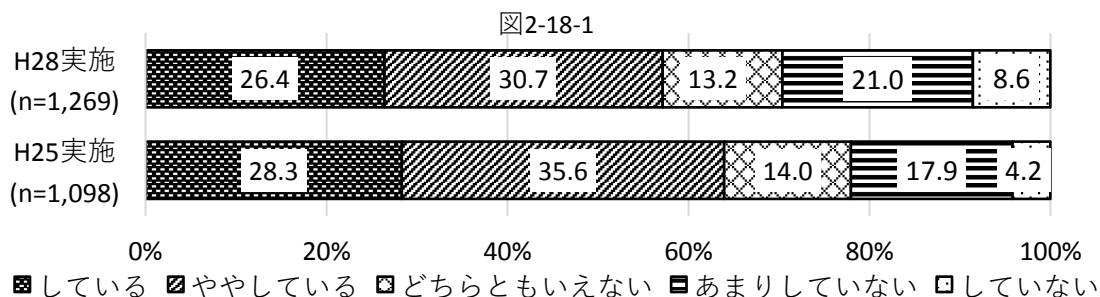


表1-7

	全体(人)	消費(味)期限や製造日の確認	アレルギー表示の確認	産地の確認	保存方法や使用方法の確認	においや見た目での確認	包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒	食材や調理品の室温放置をしない	肉の十分な加熱	健康増進機能成分の摂取	その他	計
全体	1,265	84.4	11.6	63.4	55.3	56.3	55.5	52.8	63.2	9.1	2.3	453.8
女性	1,003	85.9	12.0	66.1	57.7	58.9	60.5	57.3	68.9	9.3	2.6	479.3
男性	262	76.3	9.5	50.8	44.3	44.7	34.4	34.0	39.3	8.4	0.8	342.4
20歳代	89	79.8	14.6	47.2	39.3	60.7	40.4	41.6	58.4	6.7	0.0	388.8
30歳代	132	78.0	18.9	66.7	45.5	59.8	47.7	43.9	68.2	4.5	3.0	436.4
40歳代	198	83.8	11.1	65.2	51.5	66.7	55.6	56.6	67.2	6.6	4.5	468.7
50歳代	258	86.0	12.8	69.8	55.0	60.5	57.0	53.9	66.3	10.5	1.9	473.6
60歳代前半	128	89.1	11.7	64.8	64.1	63.3	68.8	58.6	64.1	7.8	1.6	493.8
60歳代後半	159	86.2	11.3	64.2	62.3	49.7	55.3	49.7	55.3	8.8	1.9	444.7
70歳代前半	185	83.2	7.6	58.9	57.8	38.9	54.6	54.1	55.1	12.4	1.1	423.8
75歳以上	117	82.1	4.3	54.7	59.0	47.0	55.6	54.7	65.8	13.7	2.6	439.3

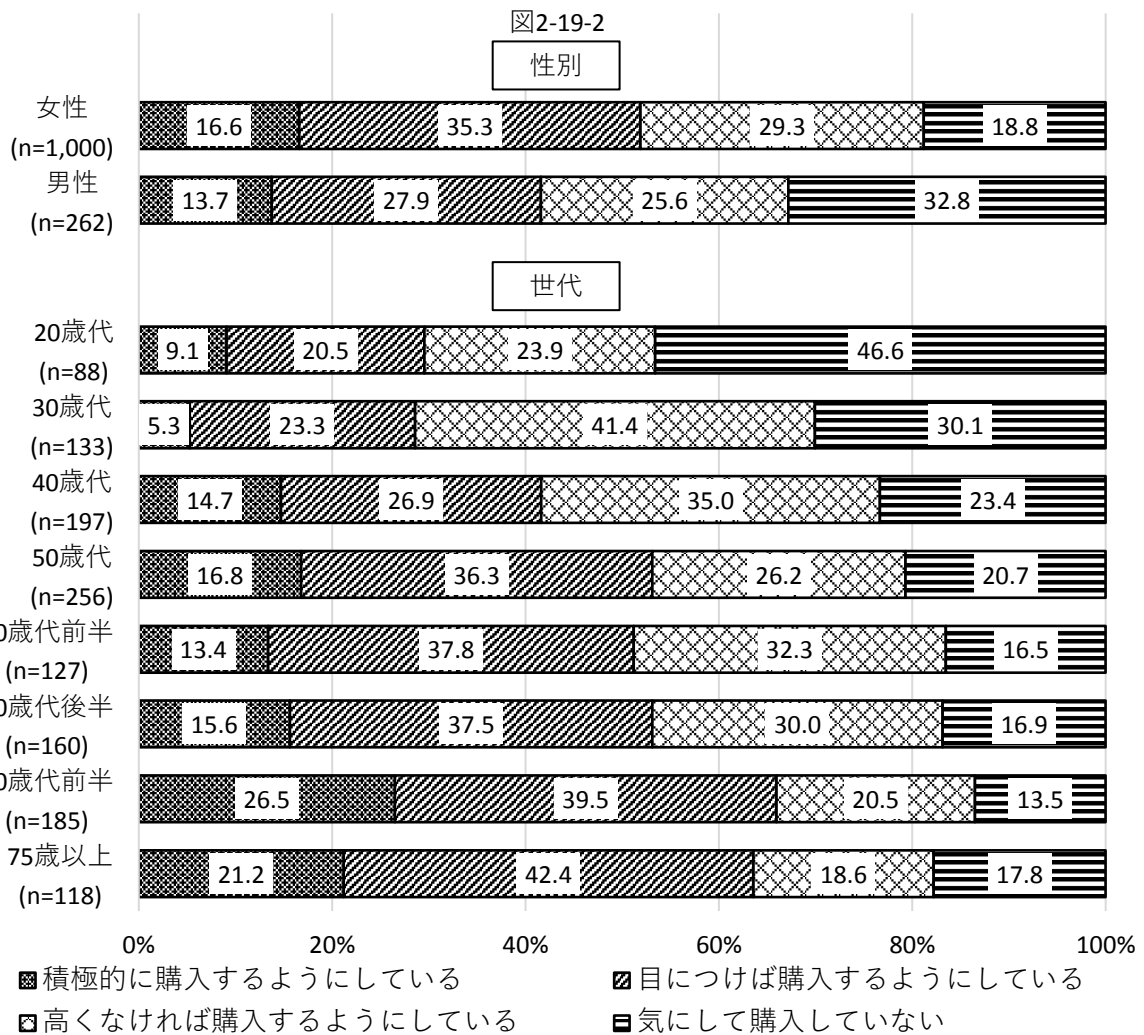
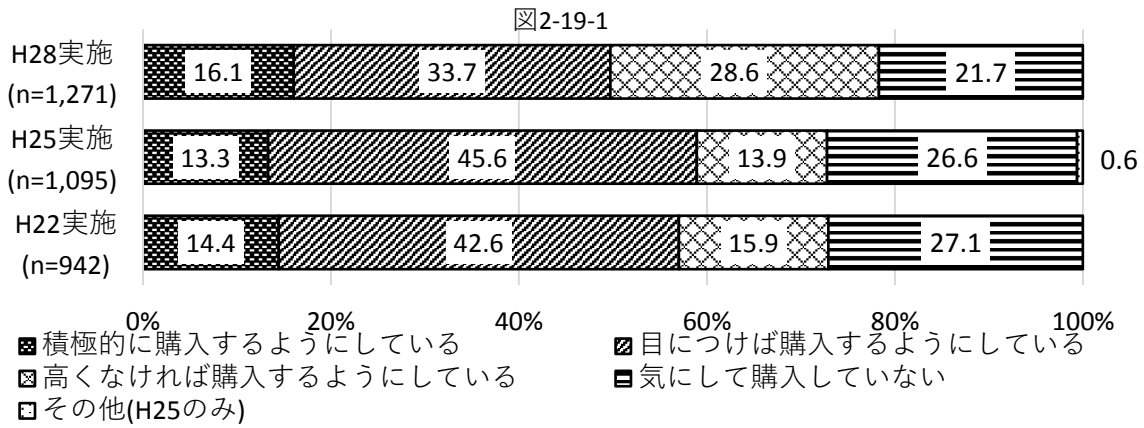
問 18 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？（1つに○）

前回と比較すると、明らかに心配の割合は低下している。しかし、男女差と世代間差が大きい点は、この問題の特徴である。女性では、6割が心配と回答しているのに対して、男性では5割に満たない。また、世代別にみると、20歳代では心配が3割程度であるのに対して、心配の割合は世代とともに上がり、70歳代では6割を超えている。



問19 あなたは地元産（松戸産を含む千葉県産）の食材を購入していますか？（1つに○）

前々回・前回の調査では、ほとんど変化はなく、「目につけば購入する」との回答が最も多かった反面で、「気にしていない」という回答も4分の1以上いた。今回の調査結果では、「目につけば購入」が3分の1に減少して、「高くなければ購入」が3割近くへと増加しており、価格重視へと変化している。



問20 以下の行事食を伴う伝統的な行事のうち、あなたのご自宅で行っているものはありますか？

(いくつでも○)

伝統的な行事食については、正月と大みそかが2大行事食で、ほとんどの家庭で行われている。

しかし、そのほかの行事食とは、大きな差がみられ、男女別では、上記の2大行事食では、大きな差はないが、そのほかのいずれの行事食においても総じて女性の割合が高い。世代別では、春分の日と秋分の日では世代が上がるほど割合が高まるが、節分や桃の節句、七五三では逆に子育て世代である30歳代・40歳代で高くなっている。

図2-20-1

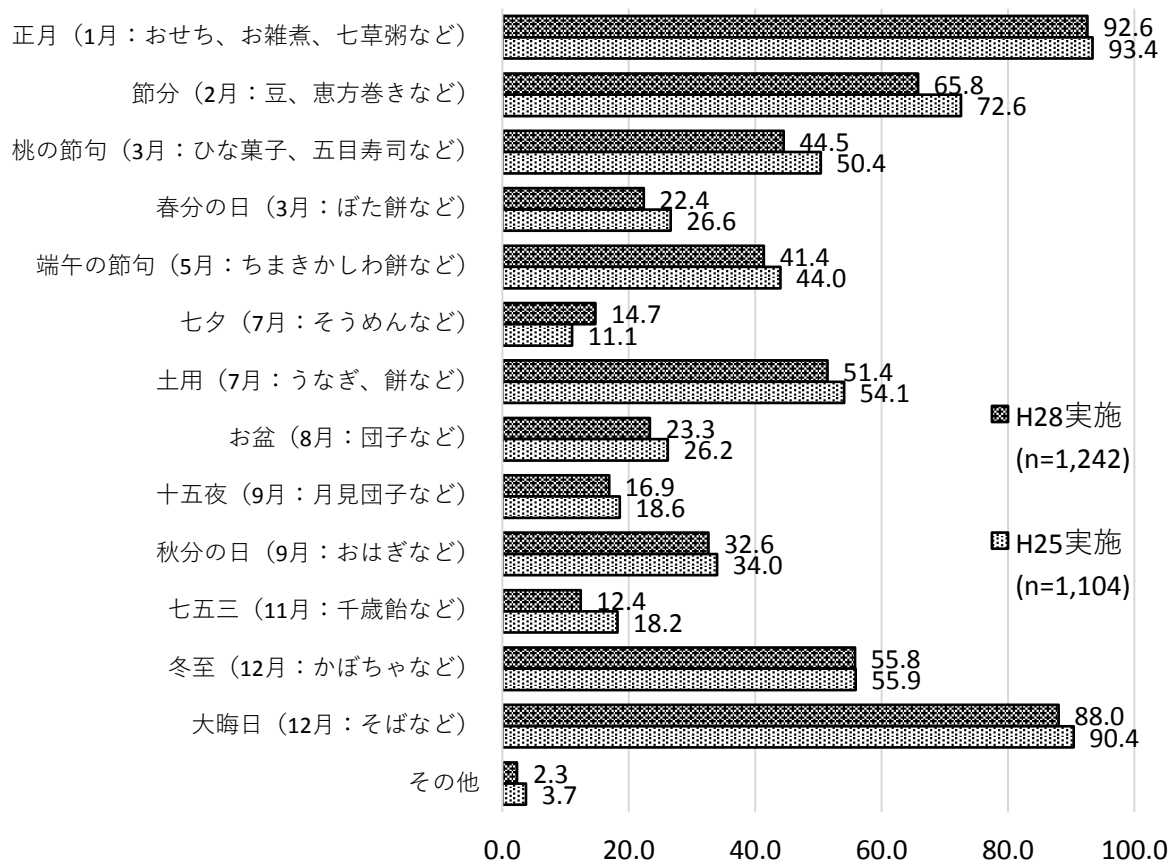


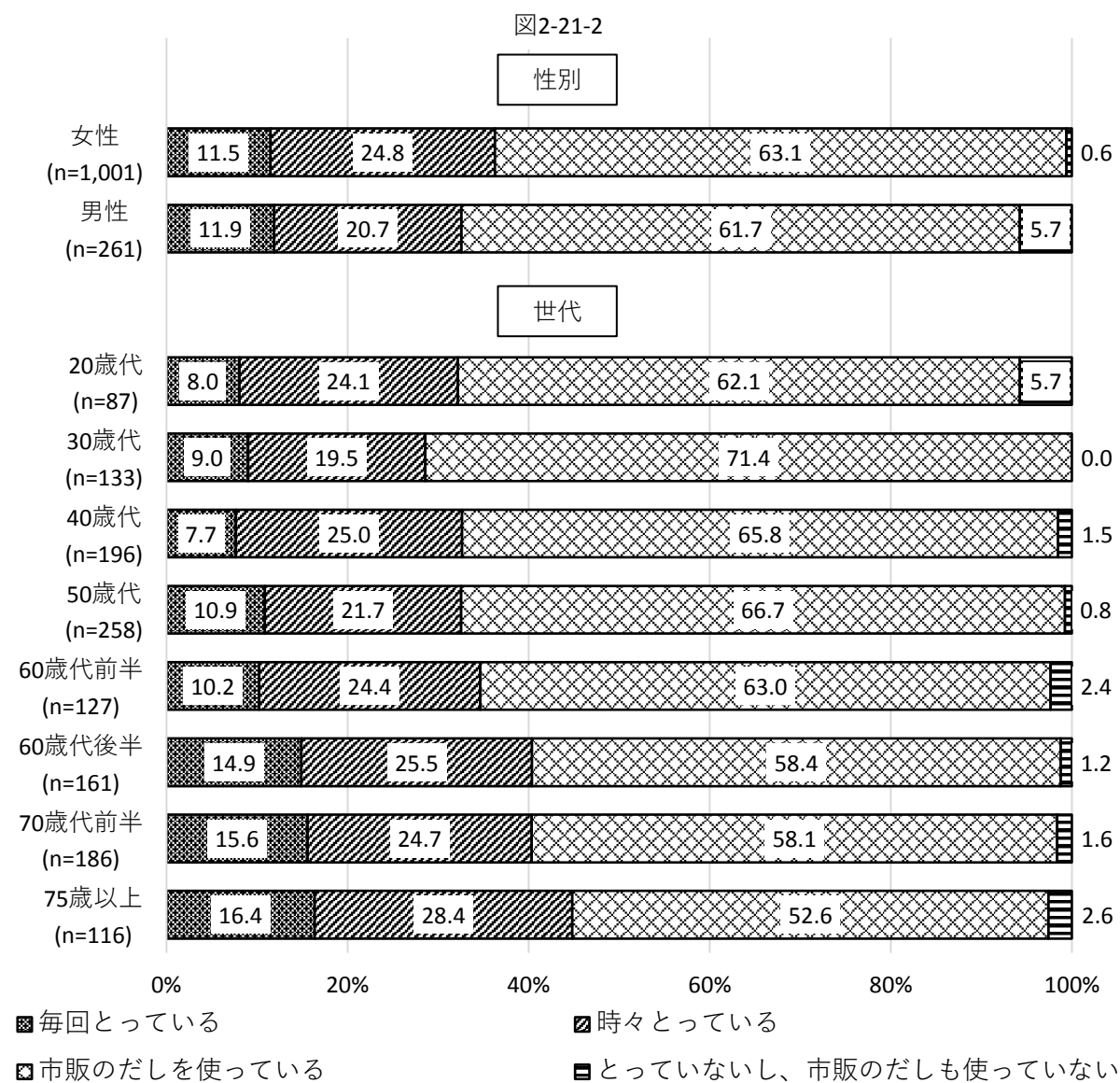
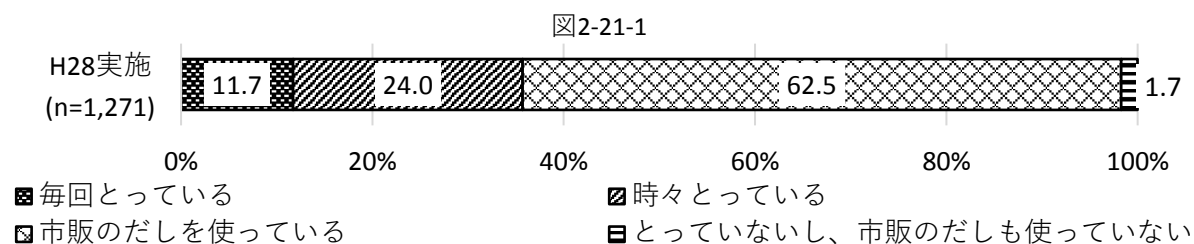
表1-8

(%)

	全体(人)	正月(二月…おせち、お雑煮、七草粥など)	節分(二月…豆、恵方巻きなど)	桃の節句(三月…ひな菓子、五目寿司など)	春分の日(三月…ぼた餅など)	端午の節句(五月…ちまきかしわ餅など)	七夕(七月…そうめんなど)	土用(七月…うなぎ、餅など)	お盆(八月…団子など)	十五夜(九月…月見団子など)	秋分の日(九月…おはぎなど)	七五三(十一月…千歳飴など)	冬至(十二月…かぼちゃなど)	大晦日(十二月…そばなど)	その他	計
全体	1,234	93.2	66.2	44.8	22.5	41.7	14.8	51.8	23.5	17.0	32.8	12.5	56.2	88.6	2.4	567.9
女性	987	93.3	71.0	52.0	24.6	46.6	16.4	52.7	25.3	20.0	35.8	14.2	61.5	89.5	2.5	605.4
男性	248	89.5	44.4	14.9	12.5	20.6	7.3	46.4	15.7	4.8	19.0	4.4	33.5	82.3	1.6	396.8
20歳代	86	84.9	66.3	39.5	7.0	34.9	26.7	44.2	14.0	17.4	15.1	4.7	37.2	89.5	2.3	483.7
30歳代	124	86.3	71.0	51.6	5.6	49.2	22.6	44.4	18.5	18.5	18.5	25.0	46.0	89.5	0.0	546.8
40歳代	196	89.3	79.6	56.6	15.8	44.4	15.8	56.6	21.4	27.6	26.0	20.9	58.2	90.8	2.6	605.6
50歳代	255	95.7	67.1	49.8	22.4	50.2	14.9	54.5	20.8	16.9	32.9	9.8	62.0	89.8	3.5	590.2
60歳代前半	126	97.6	65.1	39.7	31.0	44.4	15.9	57.9	29.4	15.9	44.4	6.3	60.3	93.7	0.8	602.4
60歳代後半	156	94.2	64.7	39.1	30.8	37.8	7.1	50.6	21.8	11.5	40.4	11.5	62.2	84.0	2.6	558.3
70歳代前半	180	95.6	54.4	37.2	28.3	31.7	11.1	49.4	28.9	12.8	36.7	9.4	56.1	82.8	2.2	536.7
75歳以上	114	91.2	51.8	32.5	31.6	29.8	8.8	44.7	32.5	11.4	39.5	7.0	49.1	83.3	3.5	516.7

問21 「だし」を素材（昆布やかつお節など）からとっていますか？（1つに○）

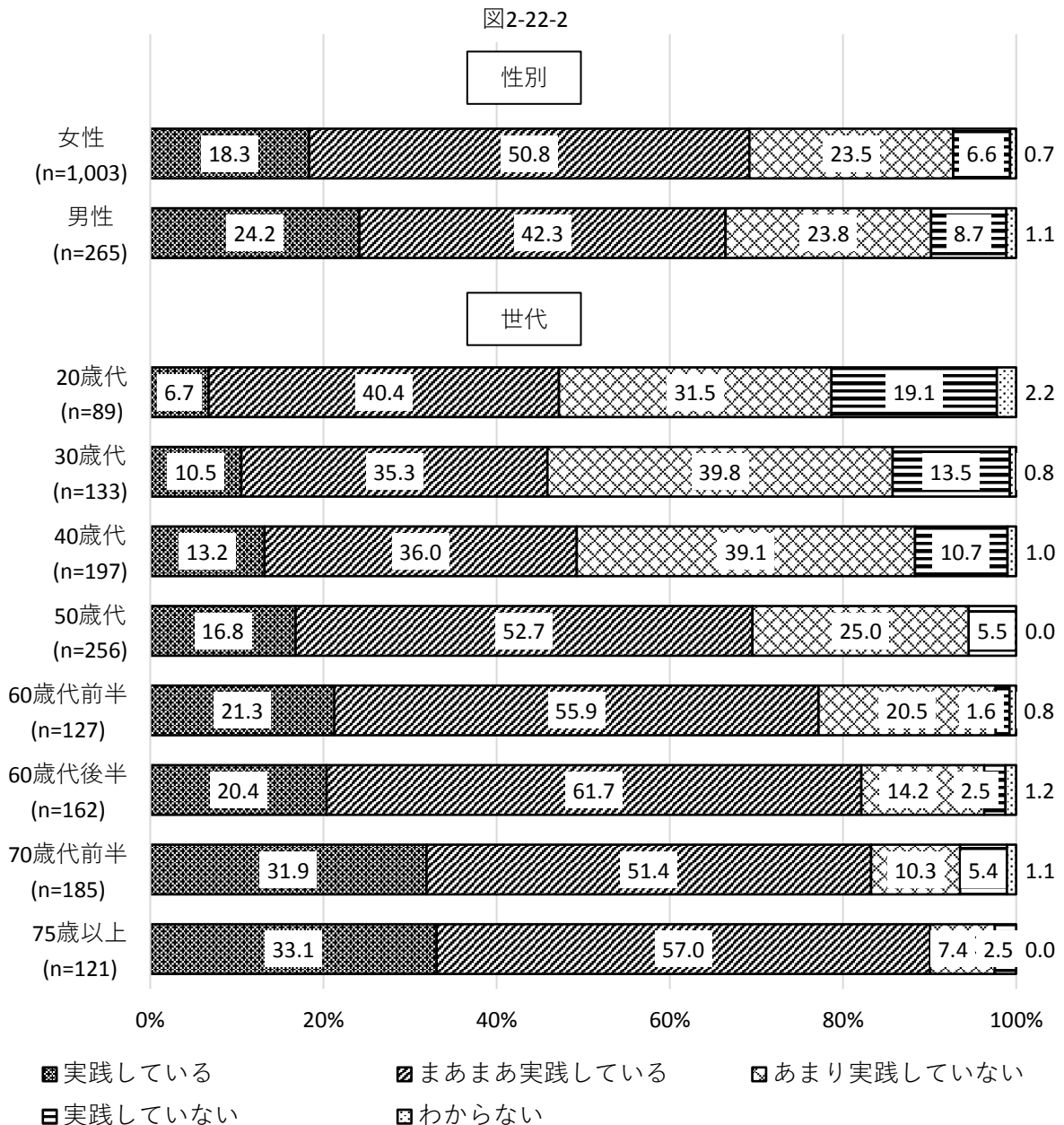
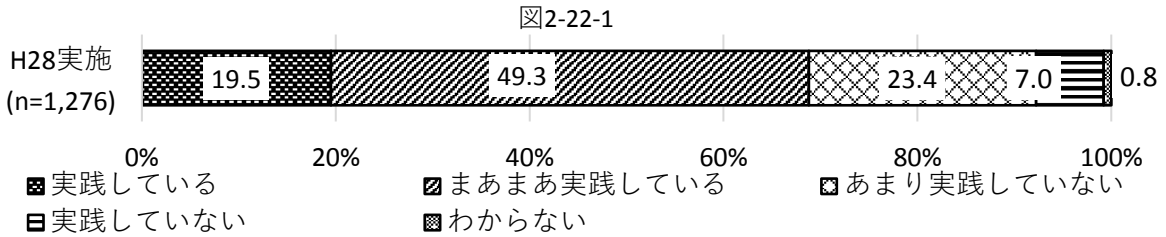
市販のだしを使用が最も多く、6割以上を占めており、毎回素材からだしをとっているのは、1割程度と少ない。男女別では、顕著な違いはみられないが、世代別では明確に違いが表われている。30歳代では7割以上が市販のだしを使用しているが、60歳代後半以上では、4割がだしをとっている。



問 22 生活習慣病の予防や改善のために適正体重の維持や減塩食などを実践していますか？（1 つに〇）

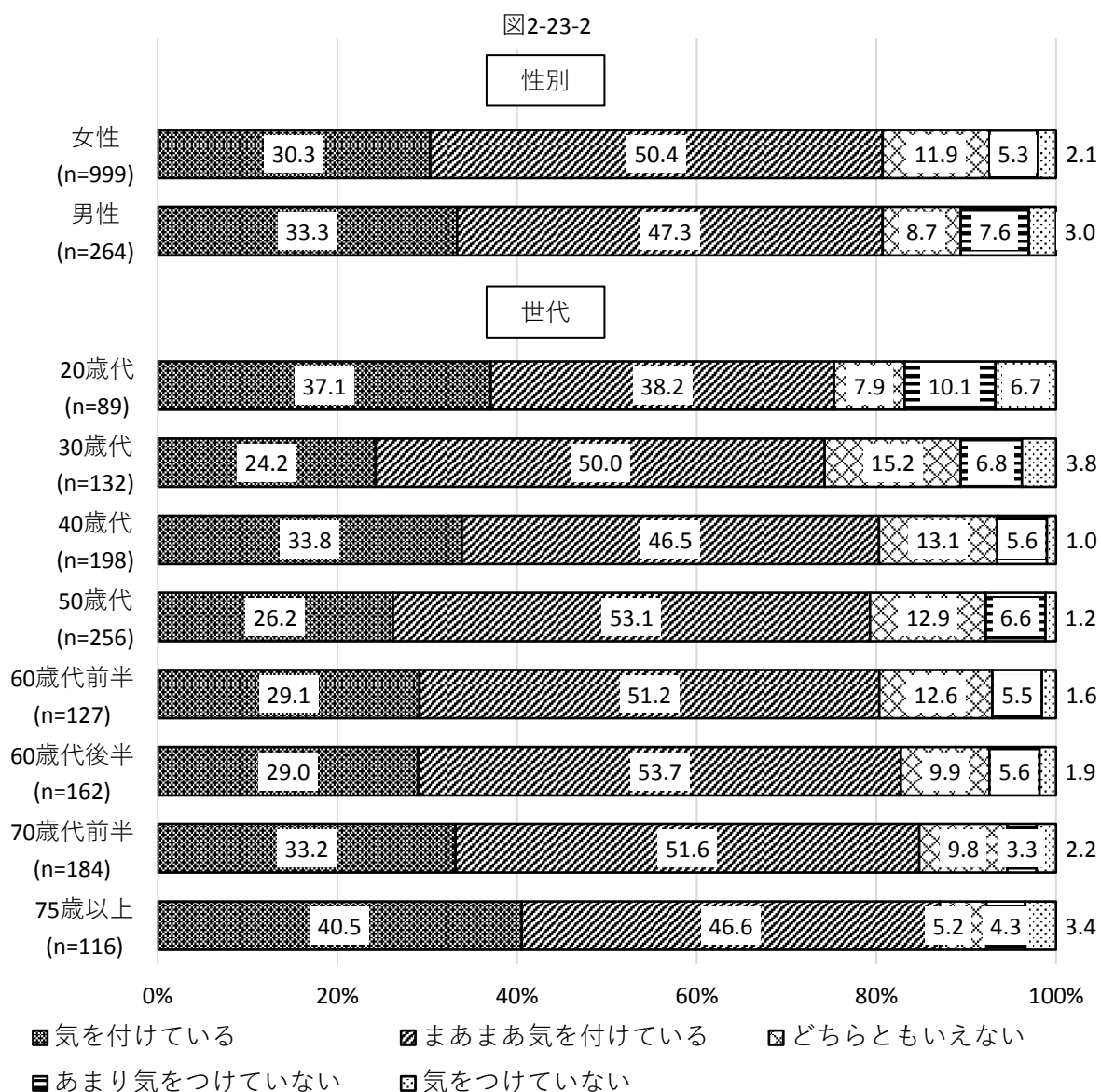
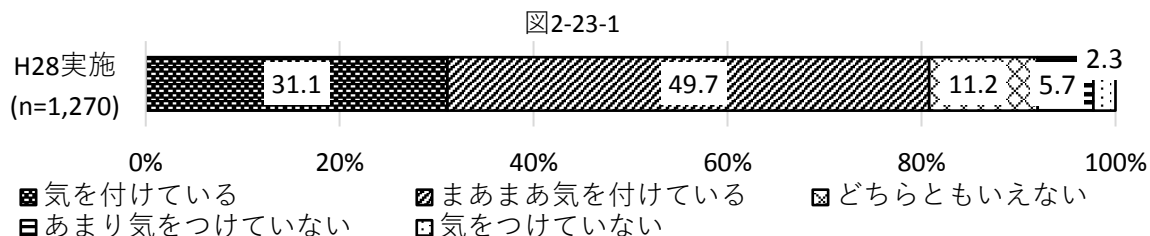
7割近くが適正体重の維持や減塩食などを実施しているが、女性の方がその実践割合が7割と意識が高い。

世代別の特徴も明確で、世代が上がるほど実践割合が高まっている。



問23 食品ロス削減のために意識して適量の食材を購入、調理、外食時には注文していますか？（1つに○）

食品ロス削減の取り組みは、8割は実施して男女別で、顕著な差はない。世代別では、それほど顕著ではないが世代が上がるにつれて、その意識が高まる傾向にある。



問24 どれぐらいの頻度で家族や友人と一緒に朝食や夕食をとっていますか？（それぞれ1つに○）

朝食

朝食では、毎日家族や友人ととる割合が半数であるが、男女別では大きな差がみられる。男性では、「毎日」と対照的な「ほとんどない」がほぼ同数となっている。これは、男性の出勤時間が早いことなどが理由の一つと考えられる。世代別では、20歳代が「ほとんどない」の割合が最も高い。

図2-24-1

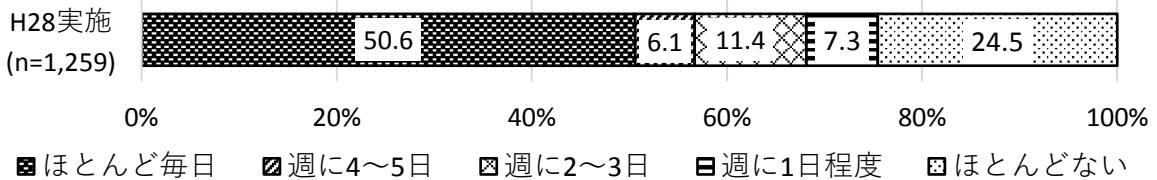
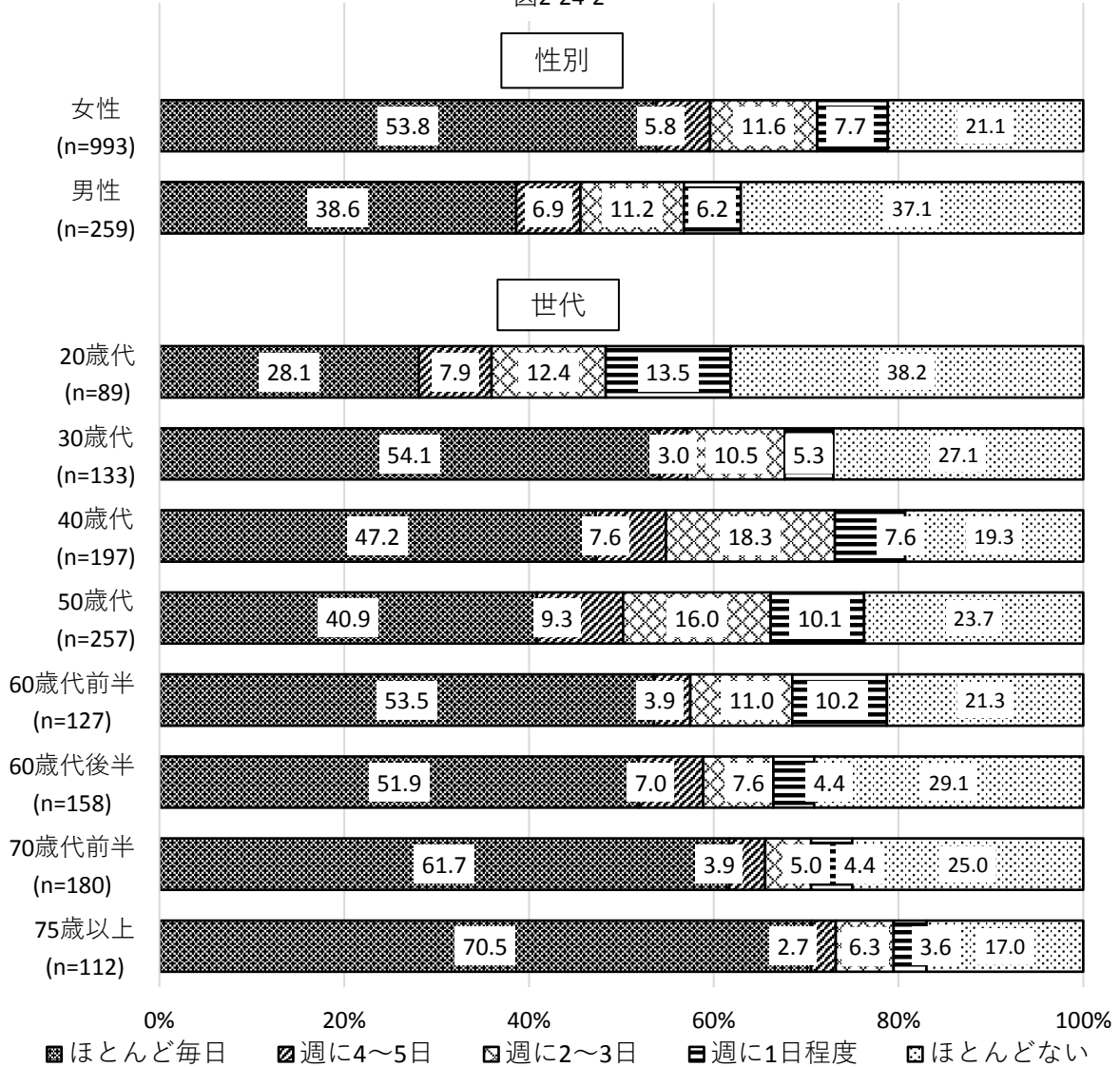
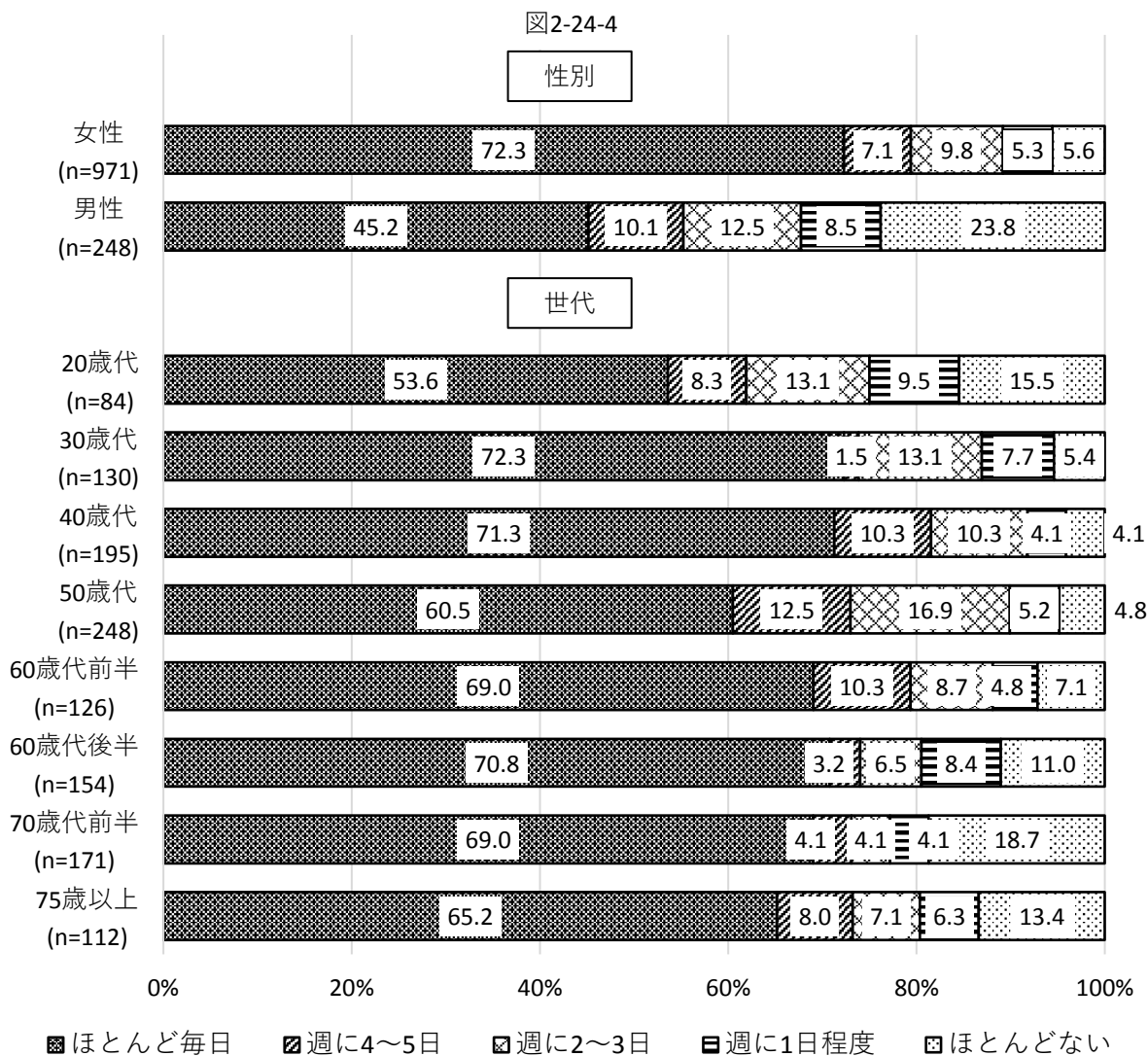
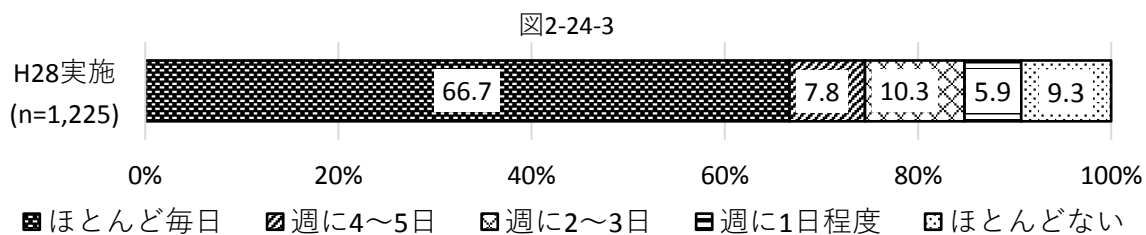


図2-24-2



夕食

夕食では、「ほとんど毎日」との回答が3分の2を占めており、朝食と比べてその割合が高い。男女別で、その割合に大きな差がみられるのは、朝食と同様であるが、その差はさらに拡大している。世代別では、20歳代と50歳代でその割合が低い。50歳代が低いのは、管理職などの世代で帰宅が遅いことが考えられる。



問25 あなたが一人で朝食や夕食をとる場合の理由はなんですか？（いくつでも○）

一人で食べる理由は、本人や本人以外の時間が合わないがほぼ9割近い。男女別では、両者の割合に違いがみられる。世代別では、50歳代で「本人以外の時間が合わない」の割合が最も高い。その理由としては、子供たちも大きくなり家族の生活時間が異なっていることが考えられる。

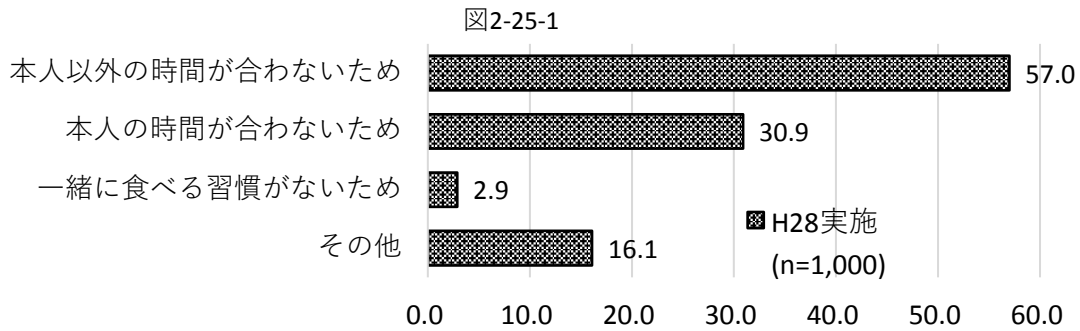


表1-9

(%)

	全体 (人)	本人以外の時間が合わないため	本人の時間が合わないため	一緒に食べる習慣がないため	その他	計
全体	992	57.5	31.1	2.9	16.2	107.8
女性	781	61.7	30.7	2.2	12.9	107.6
男性	213	39.4	31.9	5.6	27.7	104.7
20歳代	85	54.1	43.5	4.7	17.6	120.0
30歳代	101	52.5	37.6	4.0	13.9	107.9
40歳代	171	59.6	39.2	4.7	5.3	108.8
50歳代	231	71.4	23.8	0.9	10.4	106.5
60歳代前半	97	61.9	27.8	2.1	12.4	104.1
60歳代後半	118	44.1	34.7	3.4	22.9	105.1
70歳代前半	112	39.3	27.7	4.5	30.4	101.8
75歳以上	79	55.7	15.2	0.0	31.6	102.5

問26 あなたは野菜や果物などの栽培（趣味を含む）をしていますか？（いくつでも○）

栽培していない回答者が6割以上を占めているが、過去の類似の質問とその割合は大差ない。男女別では、女性では自宅の庭で栽培の割合がやや高い傾向がある。世代別では、その割合が世代が進むとともに高まっている。

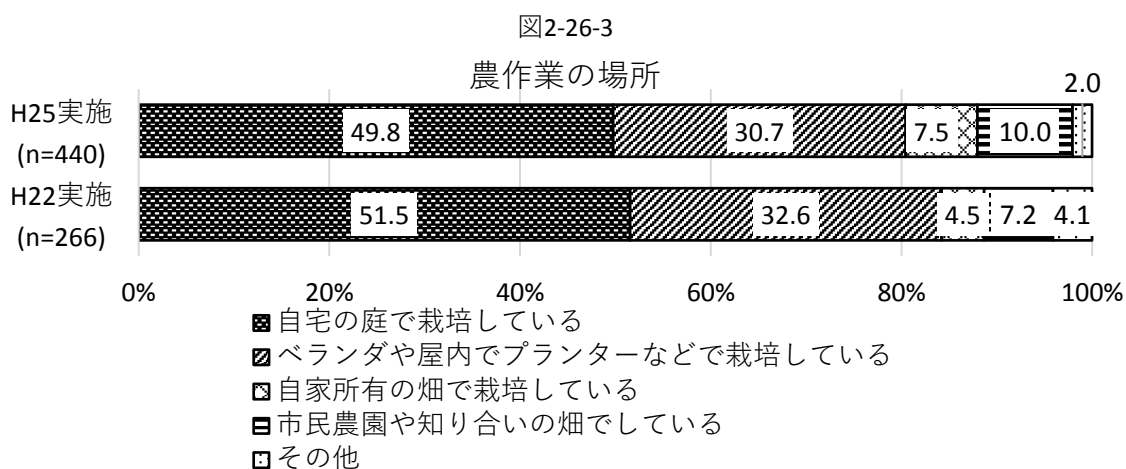
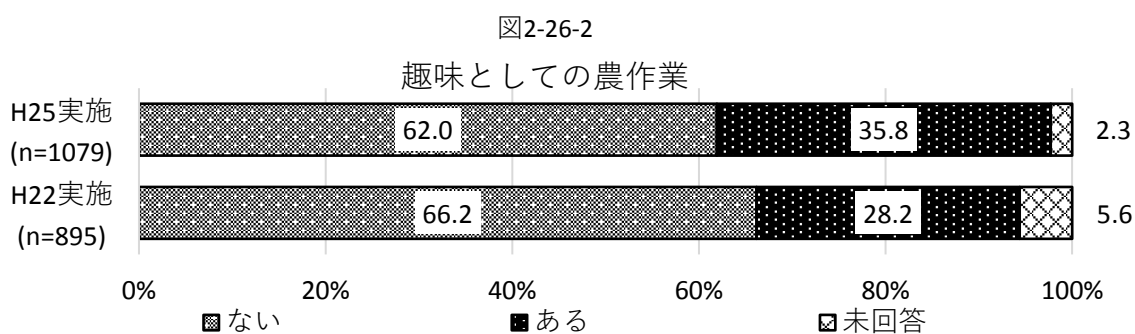
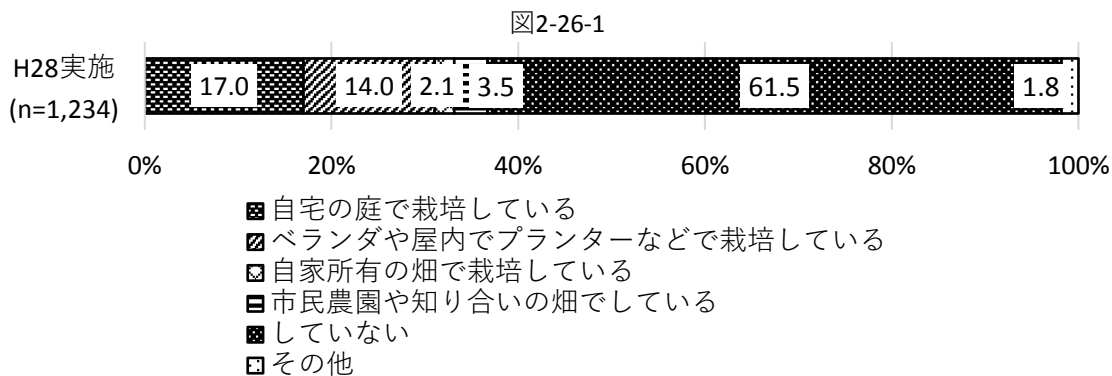


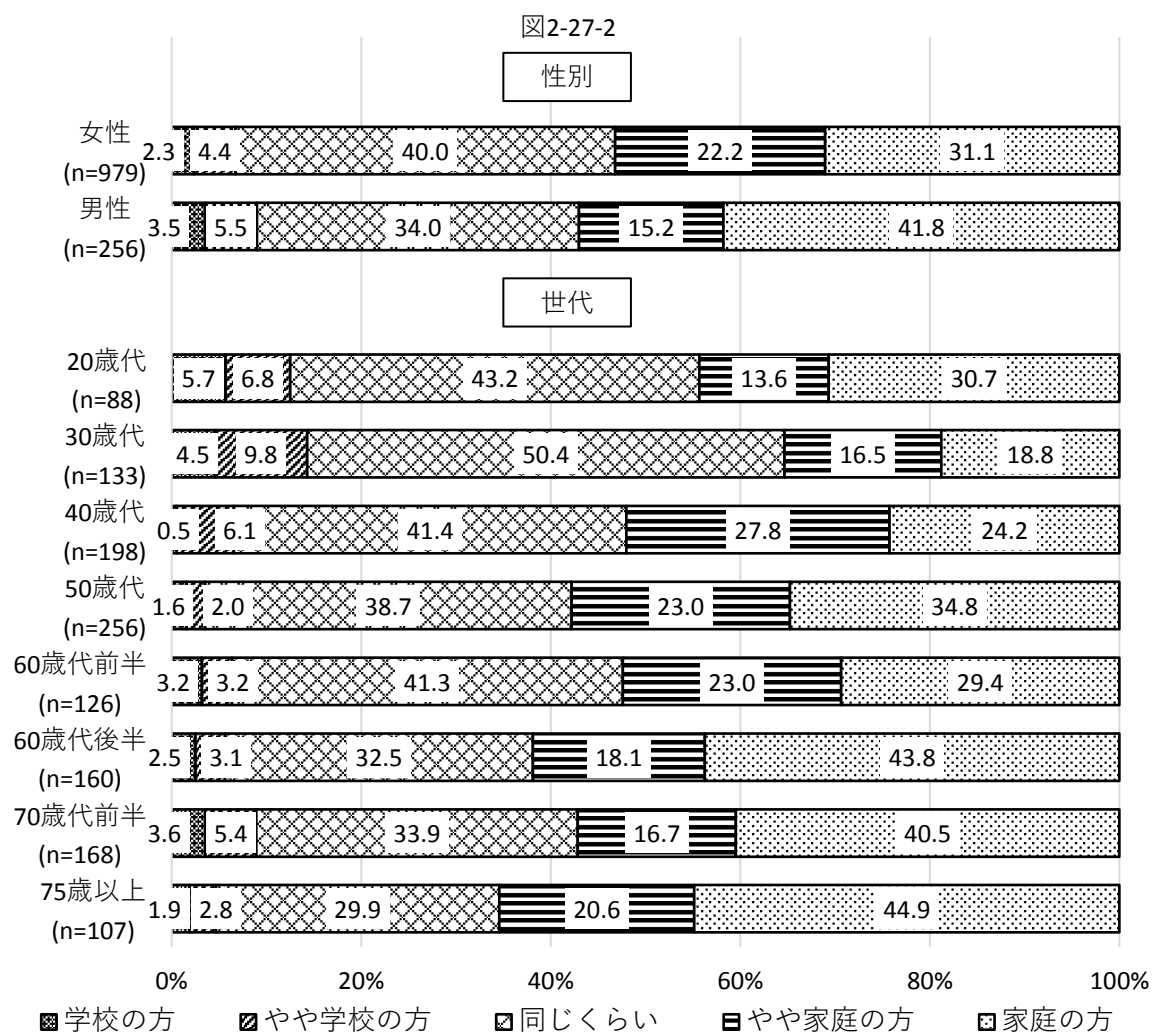
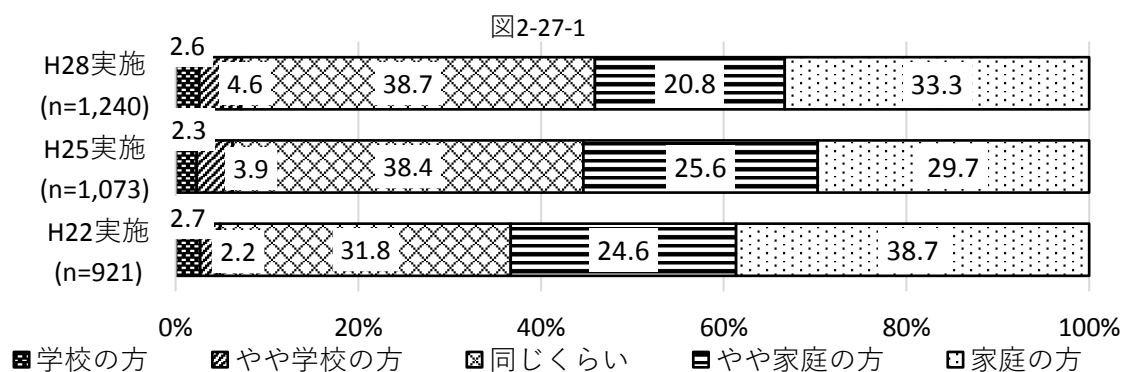
表 1-10

(%)

	全体 (人)	自宅の庭で栽培している	ベランダや屋内でプランターなどで栽培している	自家所有の畑で栽培している	市民農園や知り合いの畑でしている	していない	その他	計
全体	1,257	17.9	14.8	2.2	3.7	64.8	1.9	105.3
女性	993	18.6	15.2	2.3	3.6	62.8	2.0	104.6
男性	264	14.8	12.9	1.9	4.2	70.1	1.1	104.9
20 歳代	89	2.2	6.7	1.1	2.2	86.5	3.4	102.2
30 歳代	133	10.5	15.8	1.5	0.8	72.2	0.8	101.5
40 歳代	198	17.2	16.7	1.5	2.5	64.1	1.5	103.5
50 歳代	257	17.9	14.4	1.9	1.9	67.3	1.2	104.7
60 歳代前半	126	22.2	12.7	0.8	4.0	61.9	4.8	106.3
60 歳代後半	161	20.5	15.5	3.7	8.1	57.8	1.2	106.8
70 歳代前半	176	22.2	19.3	4.0	7.4	52.8	1.1	106.8
75 歳以上	119	23.5	11.8	2.5	2.5	61.3	2.5	104.2

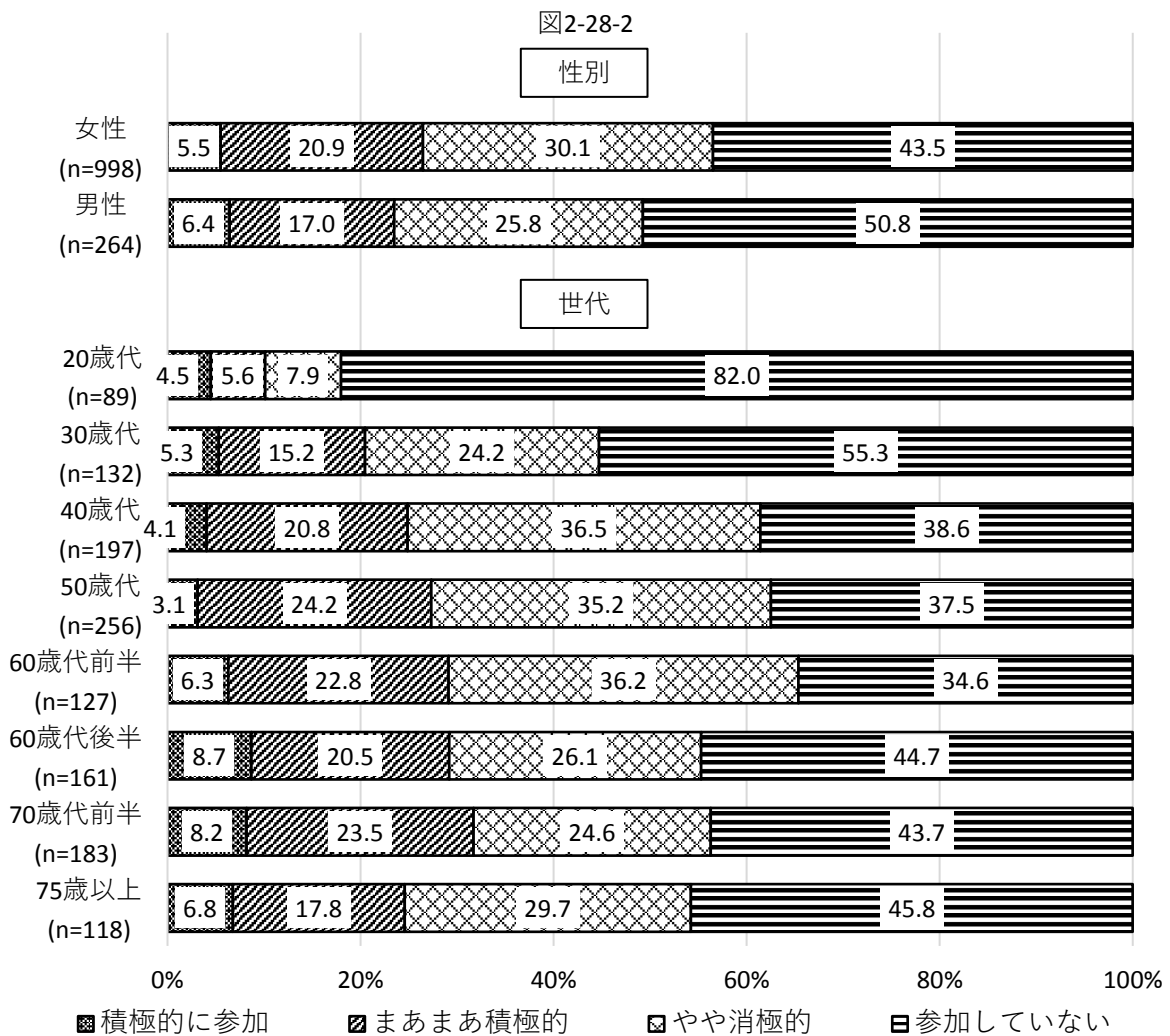
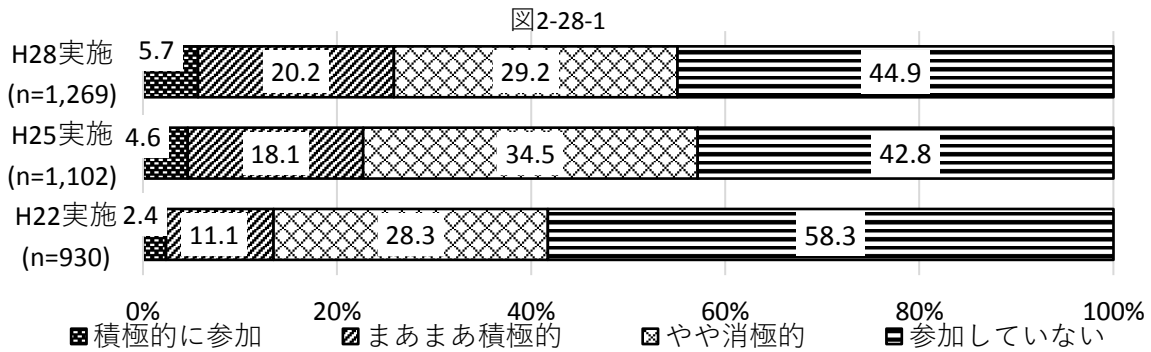
問27 子ども達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？（1つに○）

初回の市民アンケート調査から継続している質問項目で過去2回と比較して、学校での食育実施との回答が増加傾向にあることが理解できる。特に、女性でその割合が高くなっており、男性は家庭、女性は学校という対比がうかがえ、過去の結果とも整合的である。もう一つ過去の結果とも整合的な点は、世代が上がるにつれて、家庭の重要性が高くなる点である。30歳代の子育て世代は、一貫して学校への期待が高い。



問28 あなたは地域の活動（町内会など）に参加していますか？（1つに〇）

地域コミュニティ活動への参加状況に関する質問も、過去の調査から継続している。東日本大震災前の第1回目と震災後の第2回目と今回を比較すると、震災後人々の地域コミュニティへの意識が変化していることが理解できる。前回と同様、女性の方が参加により積極的で、世代別では20歳代と30歳代で低く、40歳代から60歳代前半まででやや消極的が高くなるが、退職後の世代であるそれ以後では、時間的余裕ができてくるためなどから積極的に参加の割合が増加する。



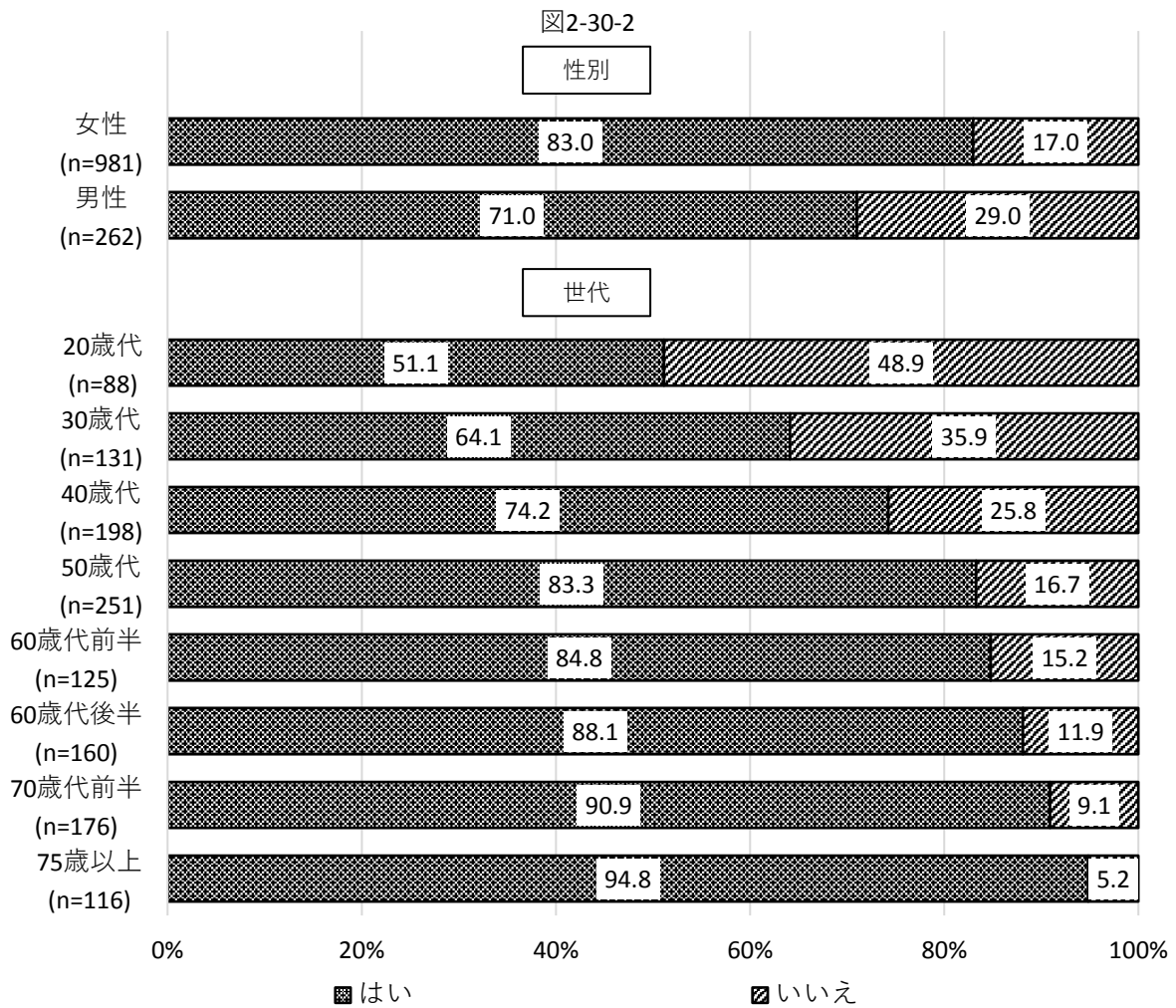
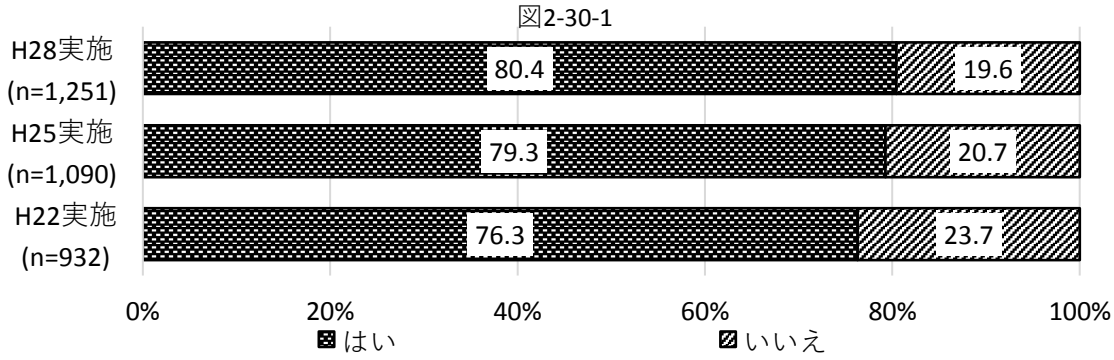
問 29 前回、いつ歯科治療及び歯の健康診査を受けましたか？

前回歯科治療からの間隔の平均は、1年となっている。過去報告との推移をみると、歯科治療の間隔がH28年調査で前回調査の約半分、前々回調査の約3分の1の期間となり大幅に間隔が短くなった。また歯の健康診査の間隔の平均は、10か月となっている。健診も前回調査と比較して大幅に短くなった。

歯科診療	およそ	1年	0ヵ月	(平成28年実施 平均)
	およそ	1年	10ヵ月	(平成25年実施 平均)
	およそ	2年	10ヵ月	(平成22年実施 平均)
歯の健康診査	およそ		10ヵ月	(平成28年実施 平均)
	およそ	1年	2ヵ月	(平成25年実施 平均)

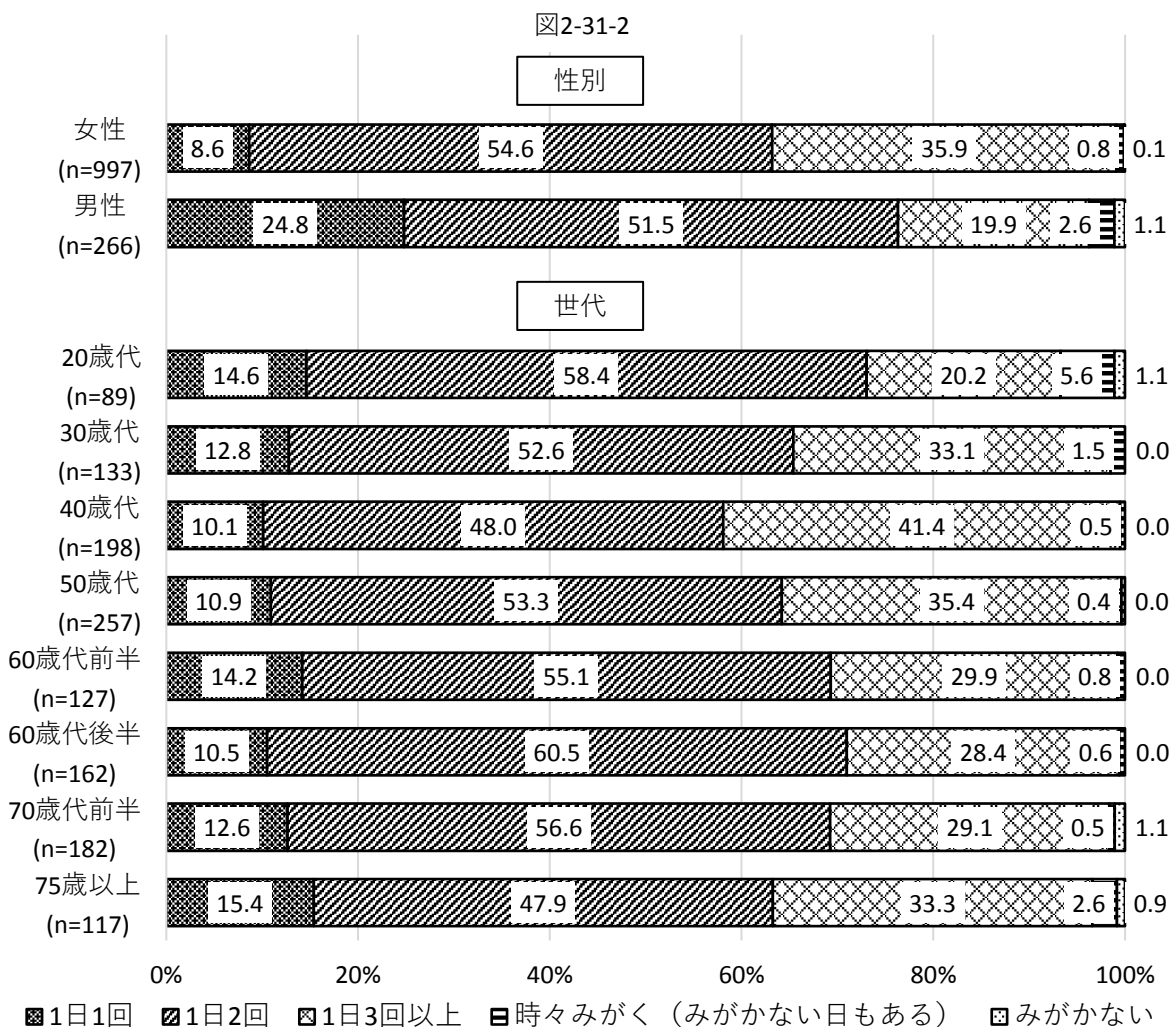
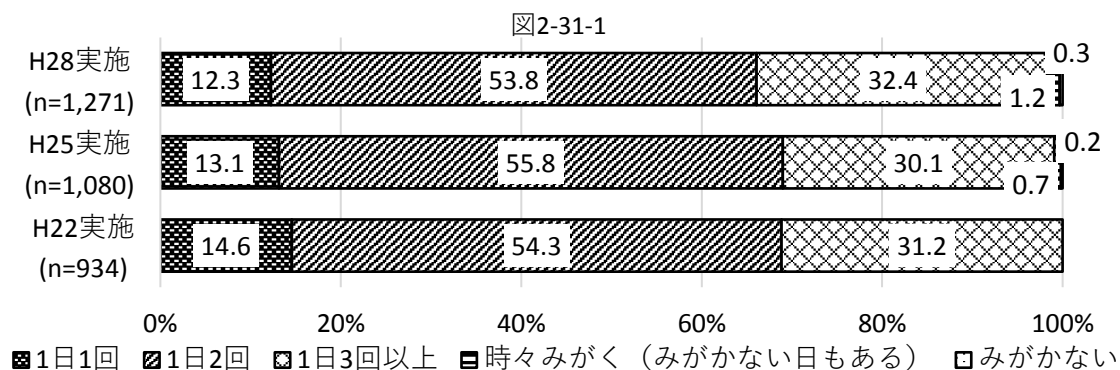
問30 かかりつけの歯医者さんはいますか？（1つに○）

全体ではかかりつけ歯科医がいる割合は80%を超えていた。男女別では、女性が男性よりも10%以上高かった。世代別では世代とともに増加し、20歳代では約半数であるが、50歳代で80%を超え、70歳代では90%以上となった。



問31 歯磨きは何回しますか？（1つに○）

1日2回磨く割合が50%以上と多く、ほぼ全員が毎日1回以上歯磨きを行っている。また1日2回以上磨く割合が約85%で、男女別では女性が男性よりも約20%高い結果となった。世代別では1日2回以上磨く割合は大きな差異がなかったが、1日3回以上磨く割合が40歳代では40%を超えており、20歳代では約20%と低かった。



問32 あなたの歯の数は現在何本ですか？

現在の歯の本数は、平均で25.9本であった。

過去の調査結果からの推移をみると、大きな差はみられない。

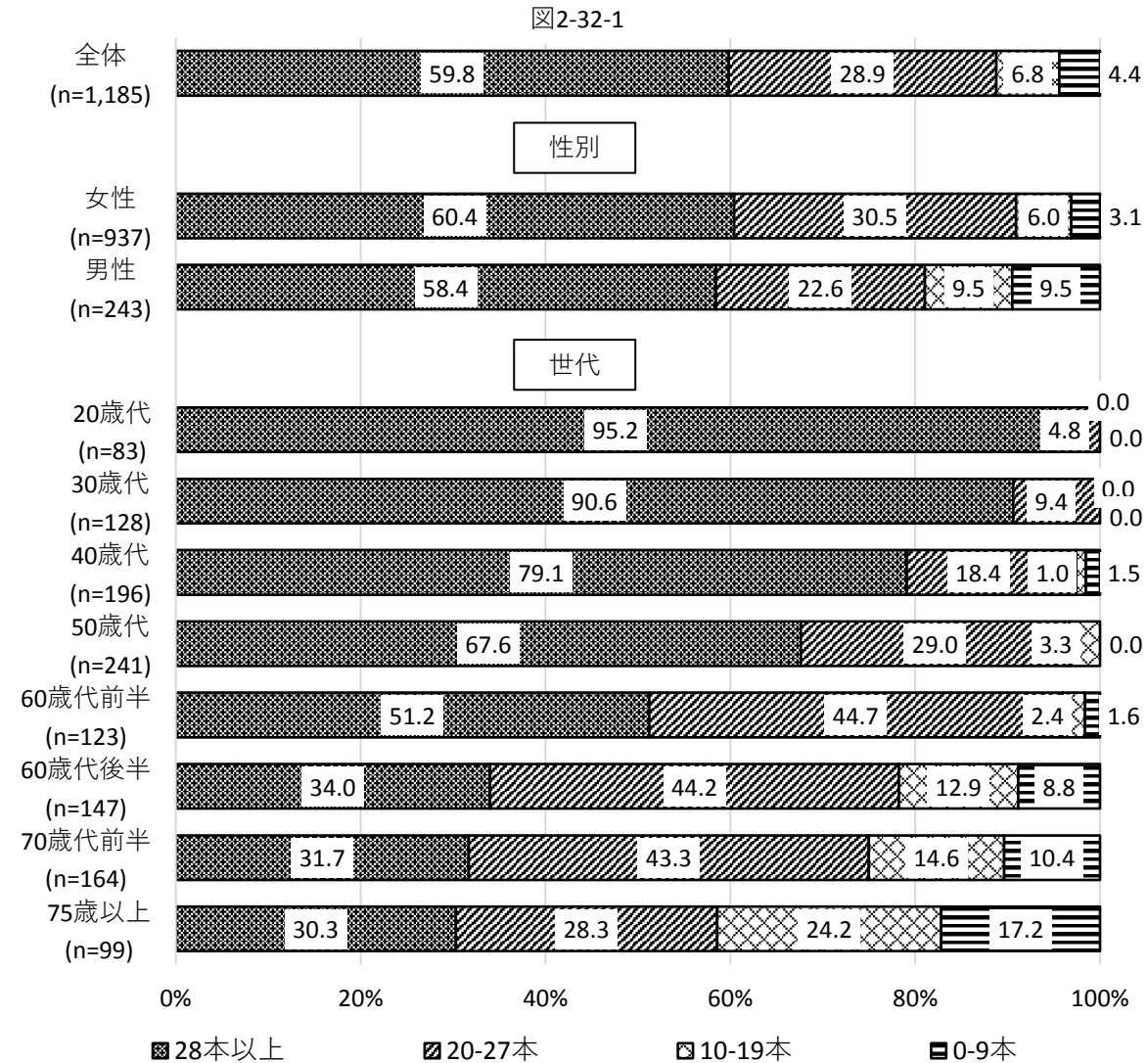
男女別では、女性の20本以上の割合が高かった。

世代別では、28本以上自分の歯の持つ者の割合は20歳代では約95%、30歳代においても約90%で、年齢とともに減少しており、50歳代以降になると減少割合が大きい。また20本以上自分の歯の持つ者の割合は60歳代後半から大きく減少していた。

25.9本 (平成28年実施 平均)

26.7本 (平成25年実施 平均)

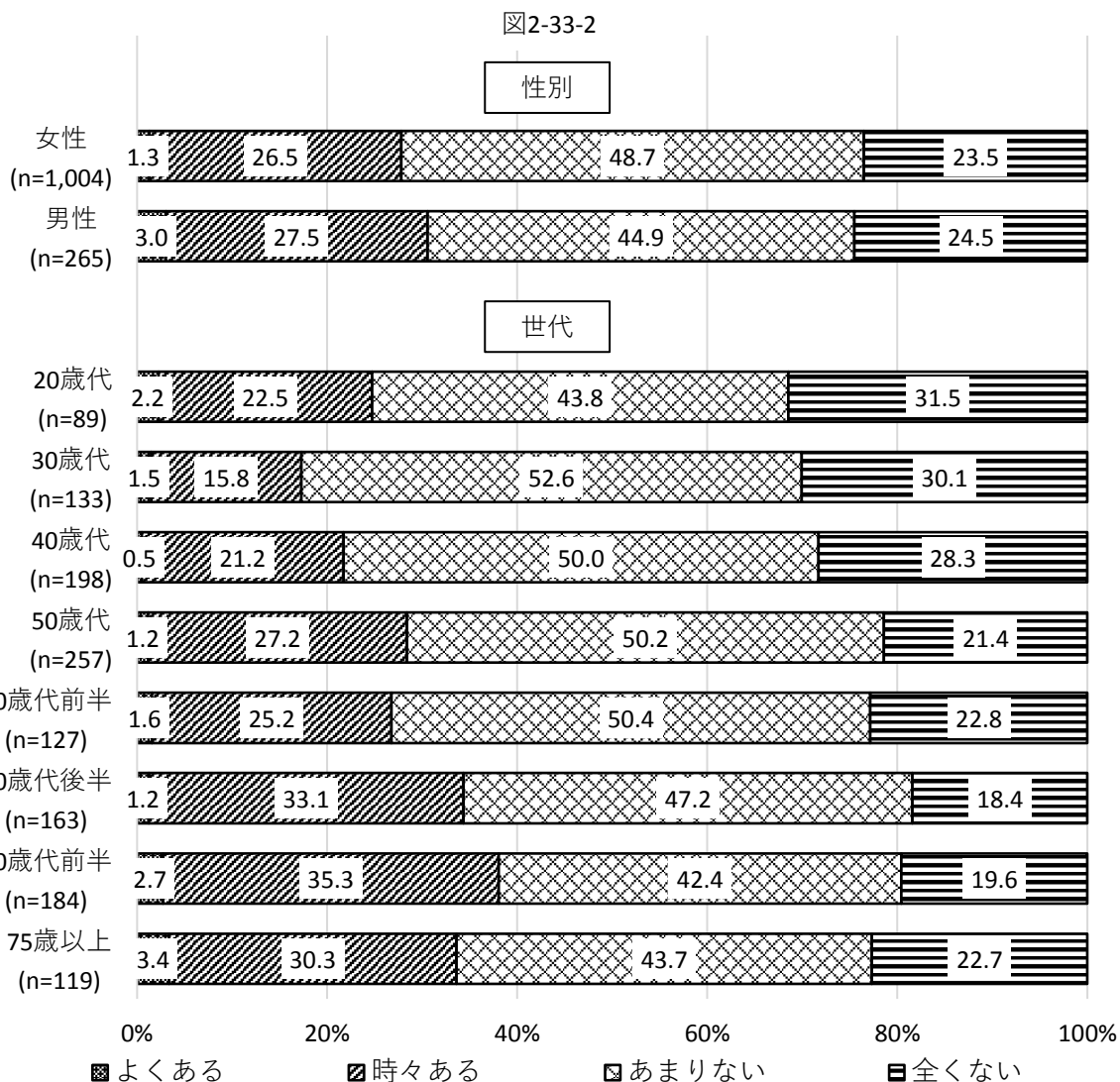
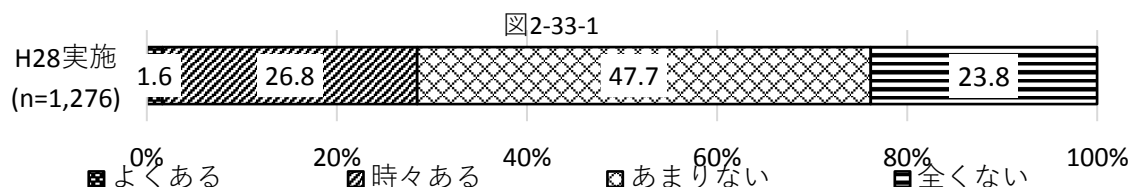
27.1本 (平成22年実施 平均)



問33 食べ物、飲み物でむせることがありますか？（1つに○）

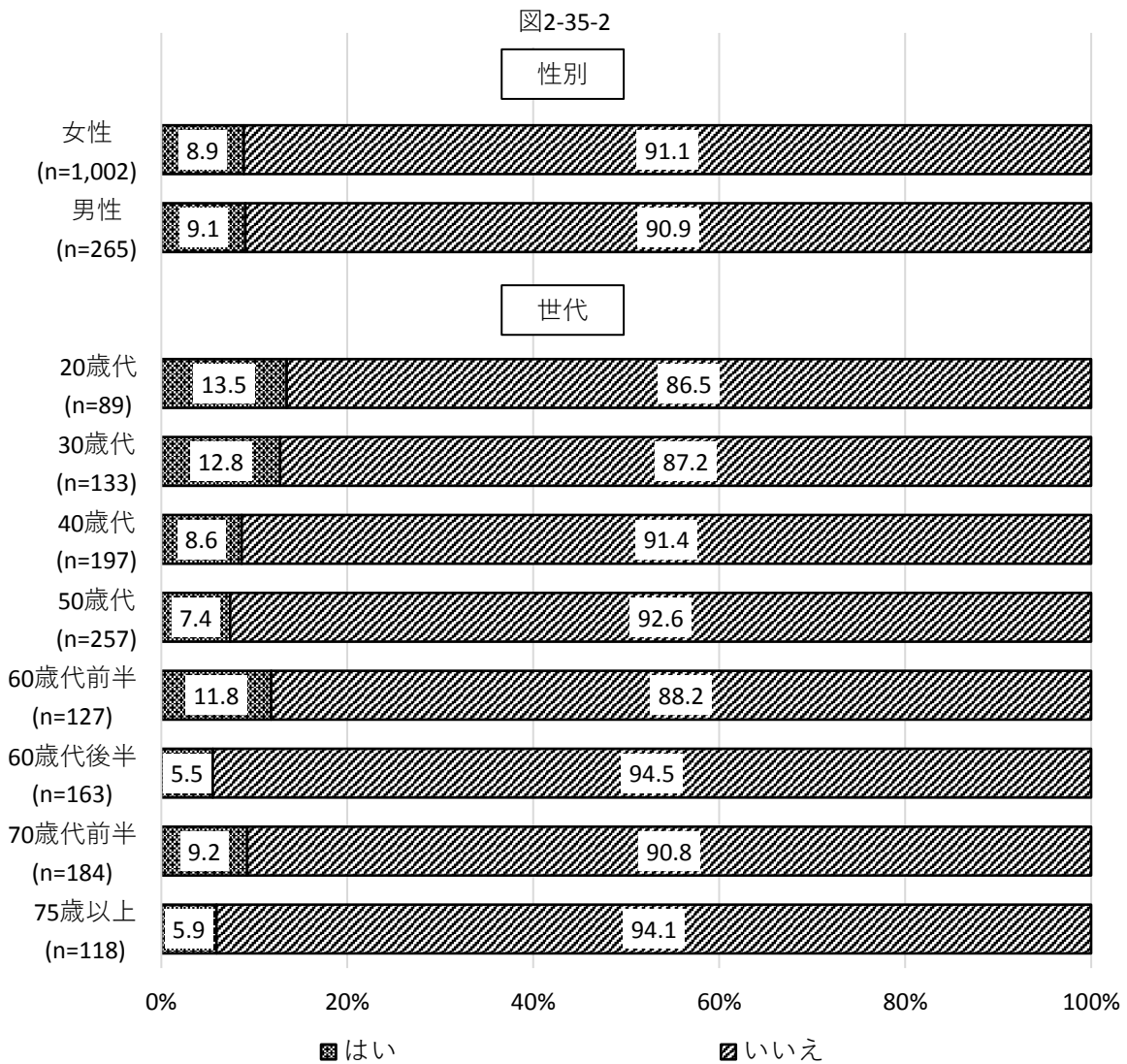
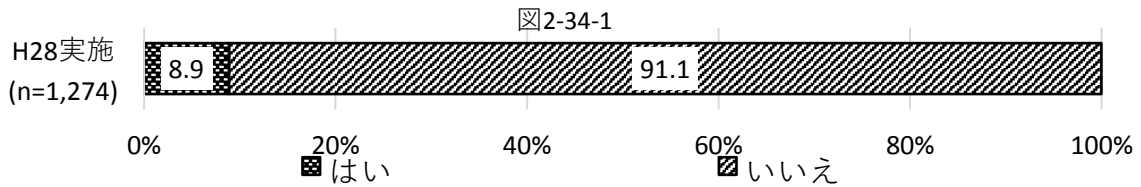
平均で3割近くの回答者がむせることがある（よくある+時々ある）と回答していた。

男女差はあまり認められないが、世代別では30歳代が約17%と最も低く、高齢にともないほぼ増加傾向にあった。



問34 食べ物がのどに詰まり窒息しそうになったことがありますか？（1つに○）

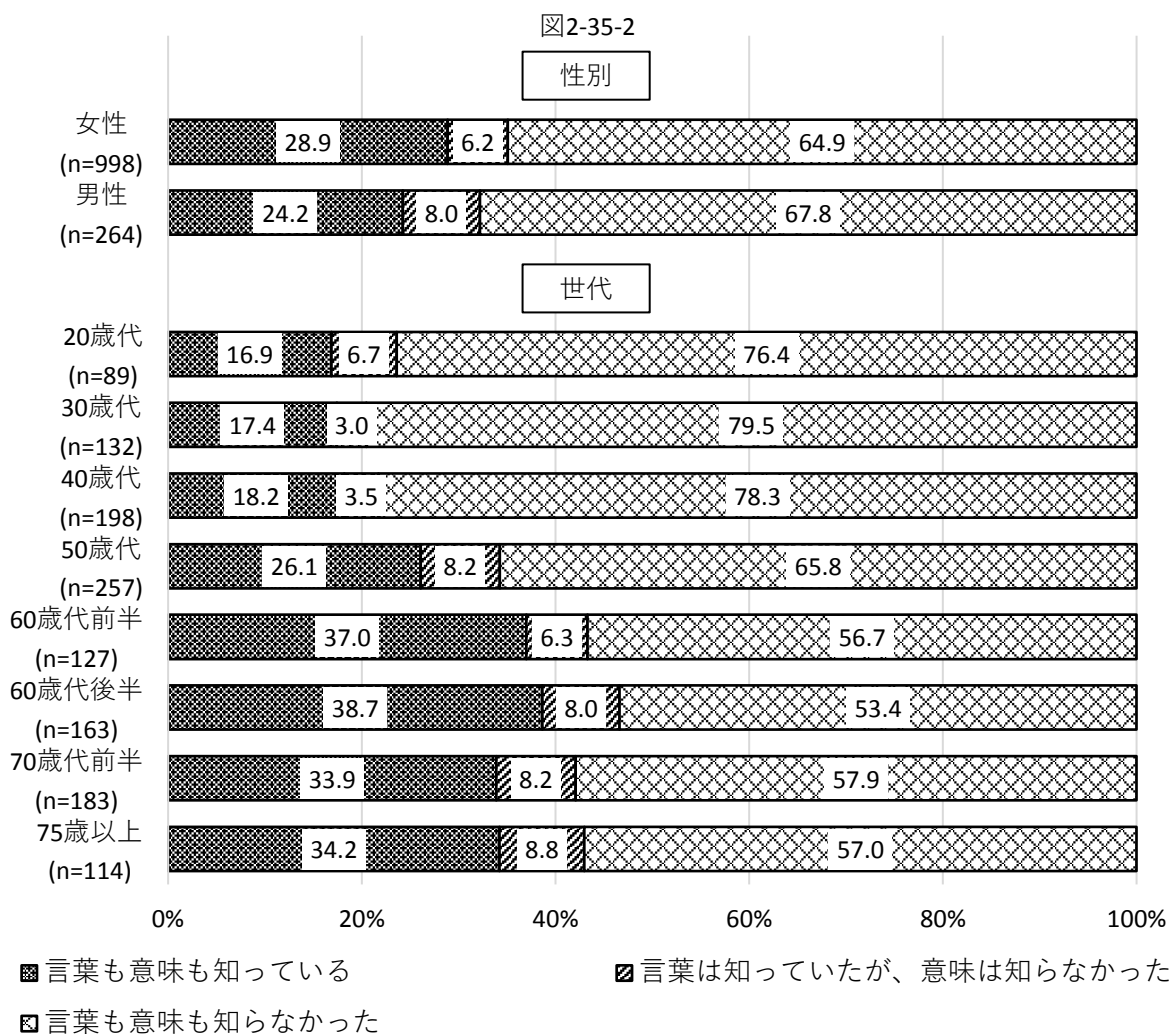
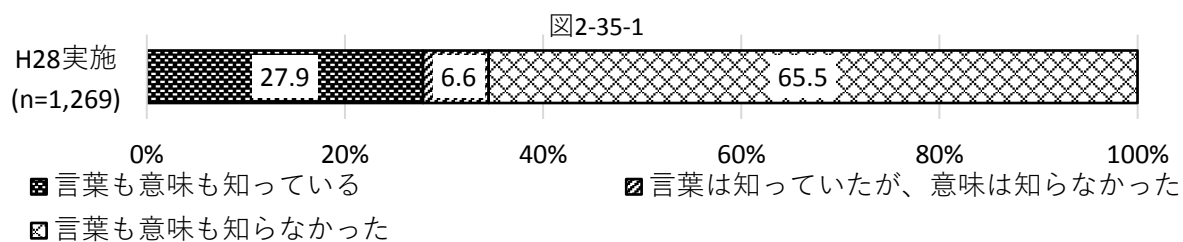
食べ物がのどに詰まり窒息しそうになったことがあるが約9%であった。男女差はほぼ同等であるが、あると答えた者は世代別では20歳～30歳代が多く、60歳代前半を除いて、高齢者では少ない傾向にあった。



問35 噛ミン30（カミングサンマル）という言葉や意味を知っていますか？（1つに○）

言葉は知っている（言葉も意味を知っている+言葉は知っていたが、意味は知らなかった）は30%を超えていた。男女別では女性が高かったが、世代別では、年齢とともに増加傾向にあるが、特に50歳以上で増加率が高かった。

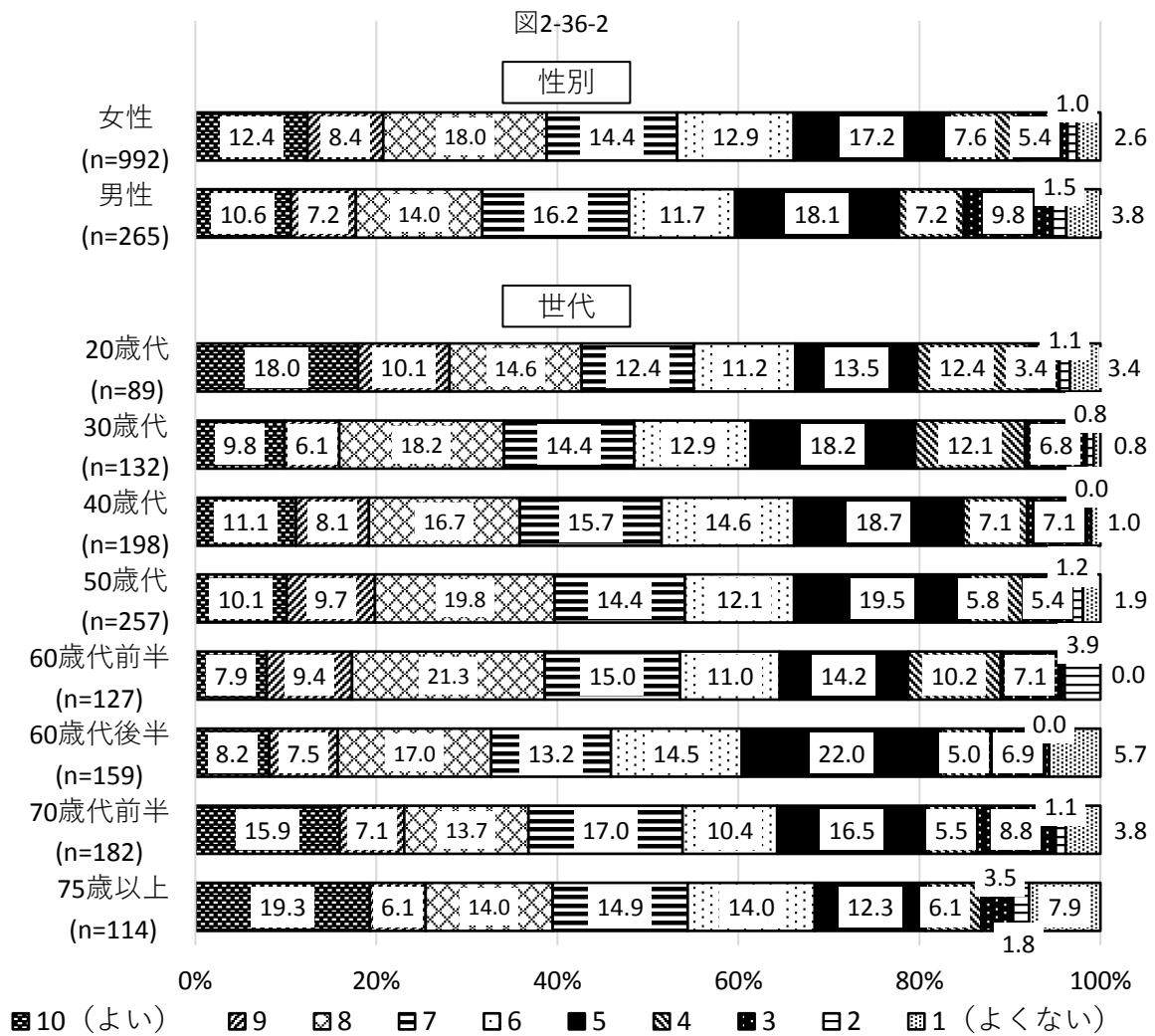
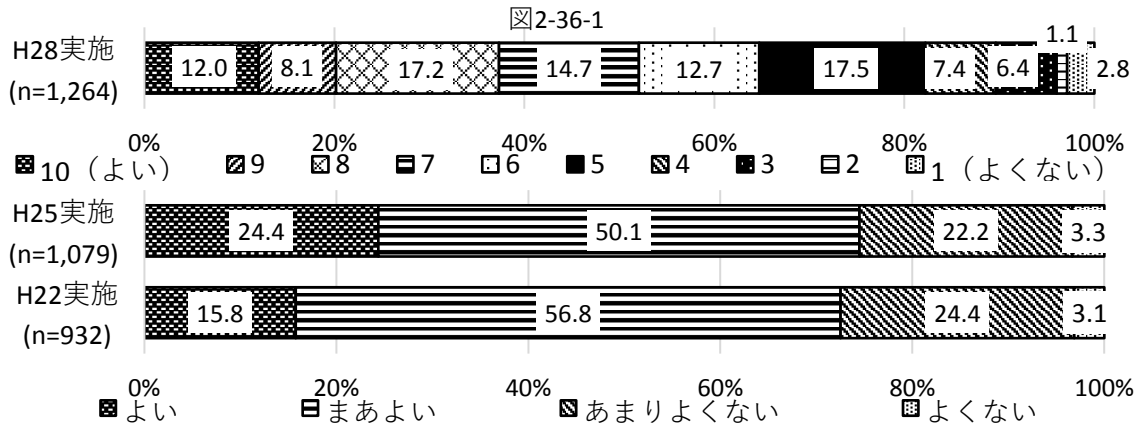
※噛ミン30（カミングサンマル）とは、平成21年に厚生労働省が提唱した、ひと口につき30回以上噛むことを推奨した歯科保健分野からの食育の目標。



問36 あなたの現在のお口の健康状態及び全身の健康状態はどうか？（どちらも1つに○）

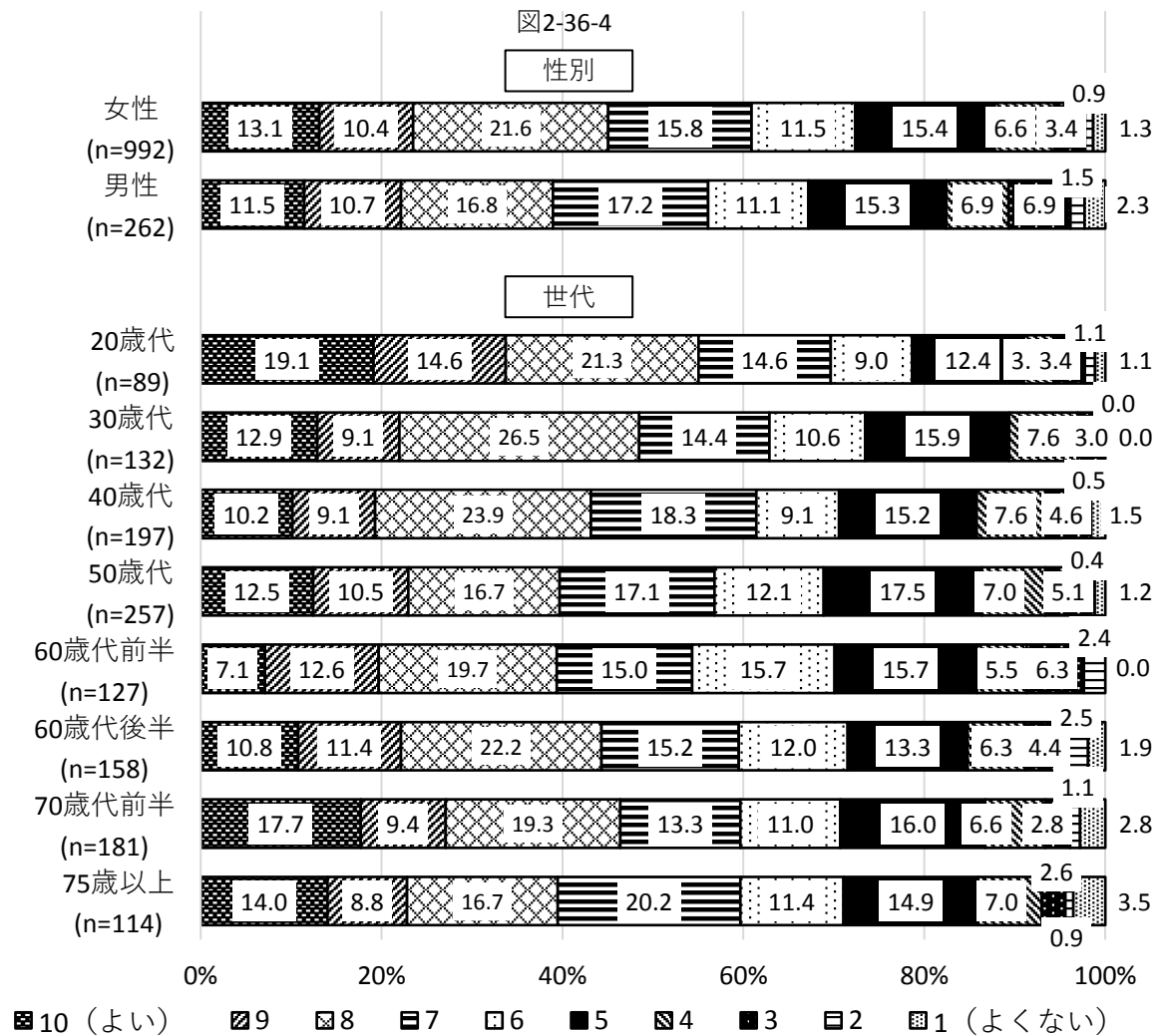
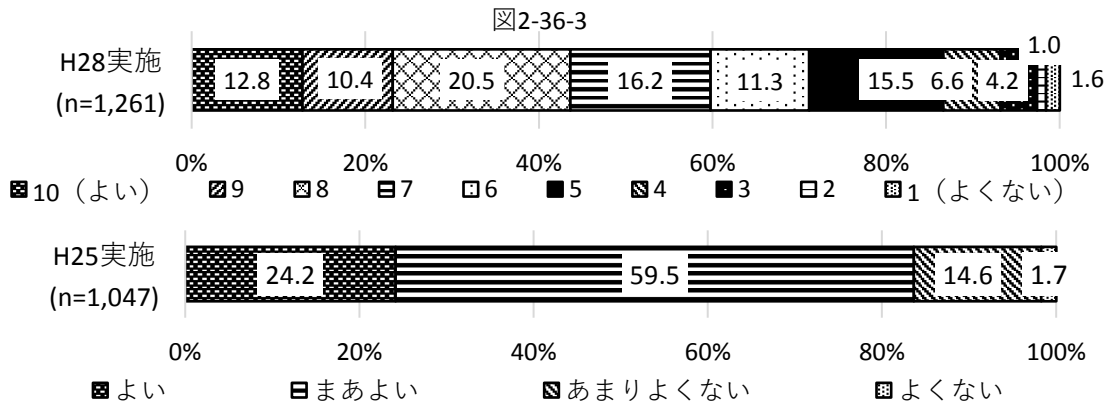
お口の健康状態

お口の健康状態は、よい（6～10）と回答した割合は全体で約65%、女性は約66%、男性は約60%であった。世代別では30歳代と60歳代後半でよいと回答した割合が少なかった。



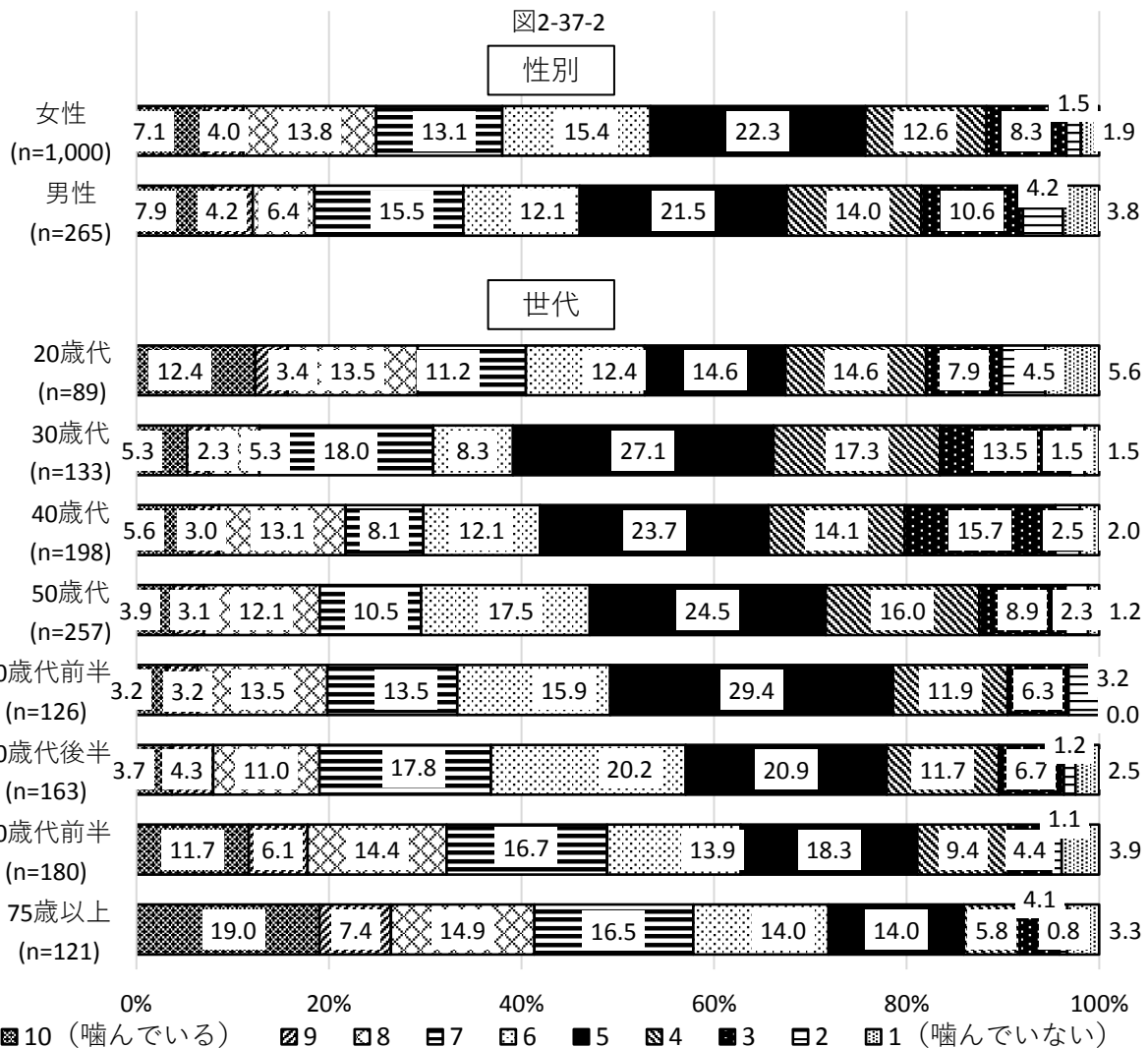
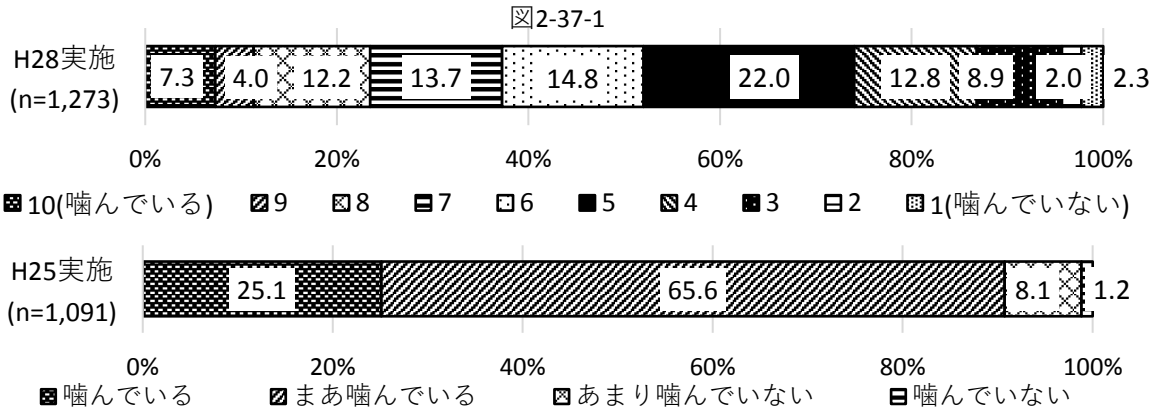
全身の健康状態

全身の健康状態はよい（6～10）と回答した割合は全体で約71%、女性は約72%、男性は約67%で、お口の健康状態と比較して高い割合であった。世代別では20歳代が最も高く、次に30歳代が高い割合だった。



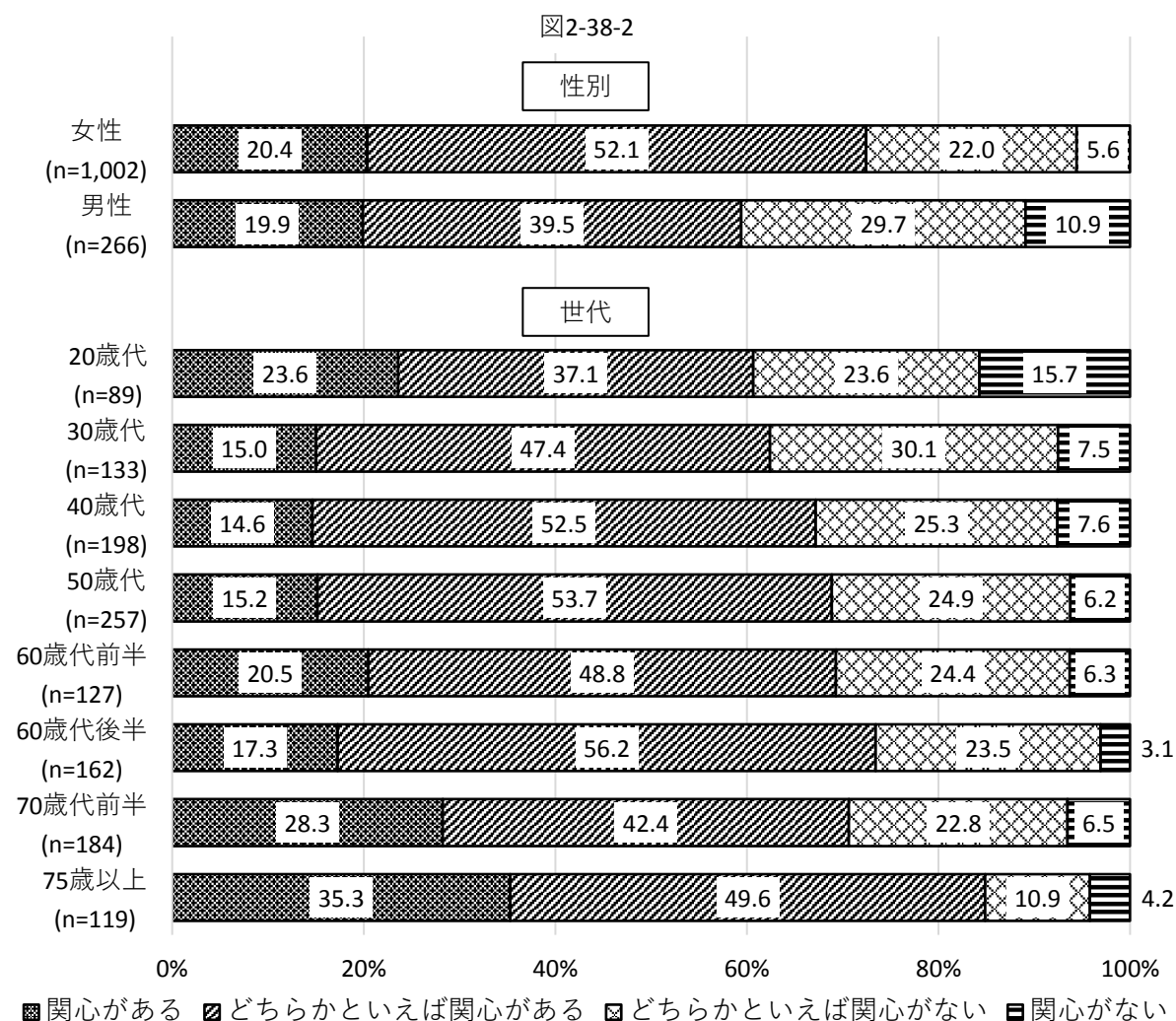
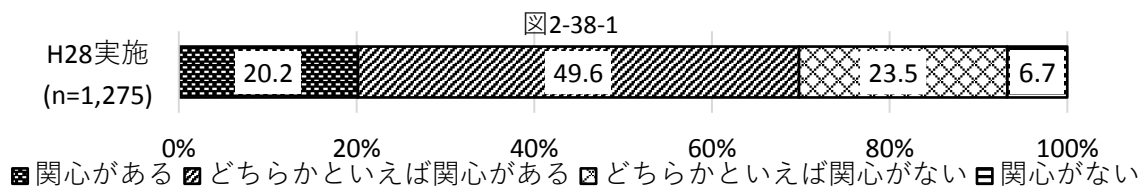
問37 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか？（1つに○）

ゆっくりよく噛んでいる（6～10）は全体で約52%、女性は約53%、男性は約46%で、女性が高い割合であった。世代別では、30歳代以降でゆっくりよく噛んでいる割合が、年齢にともない、大きく増加しており、75歳以上が最も高かった。



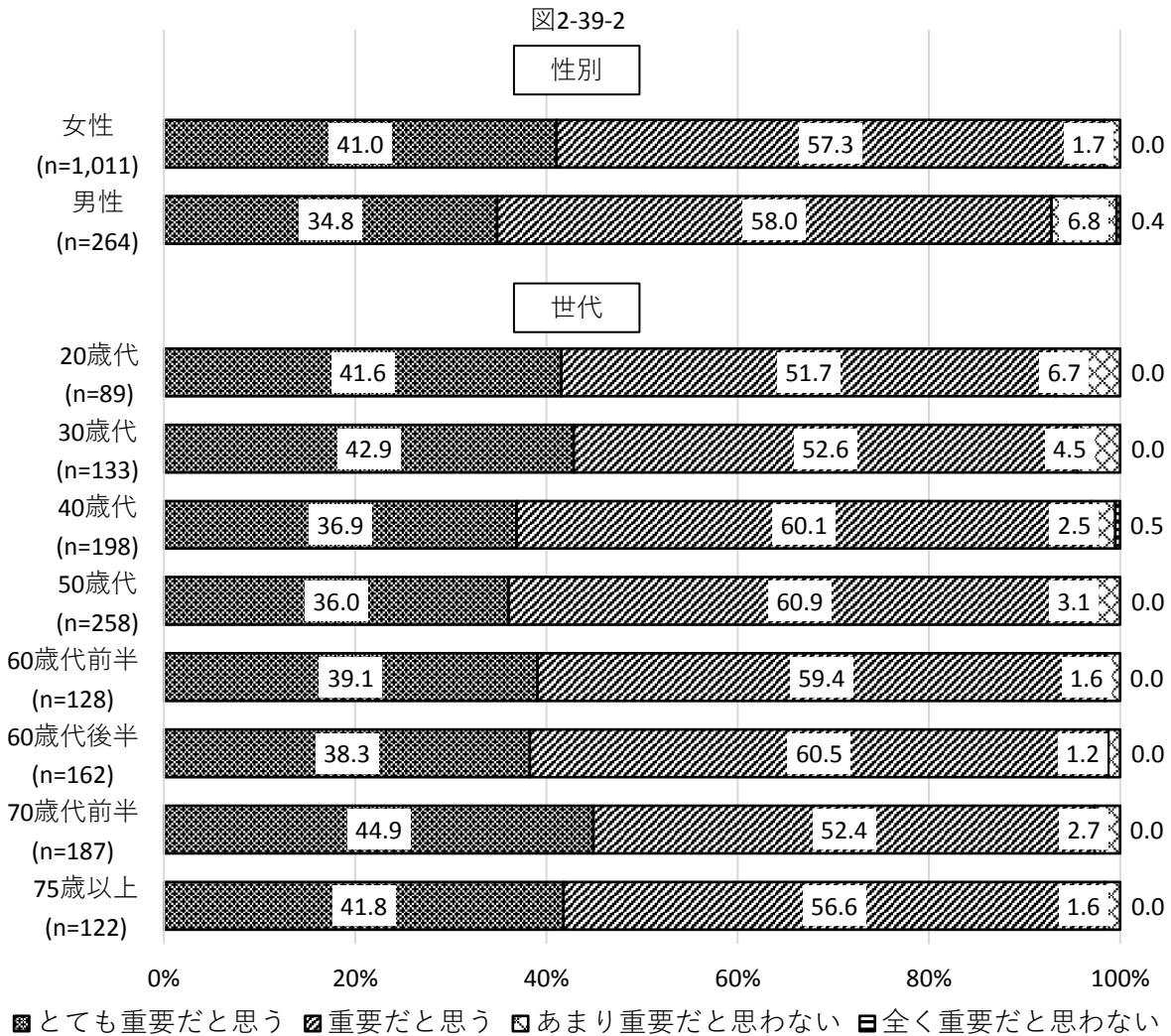
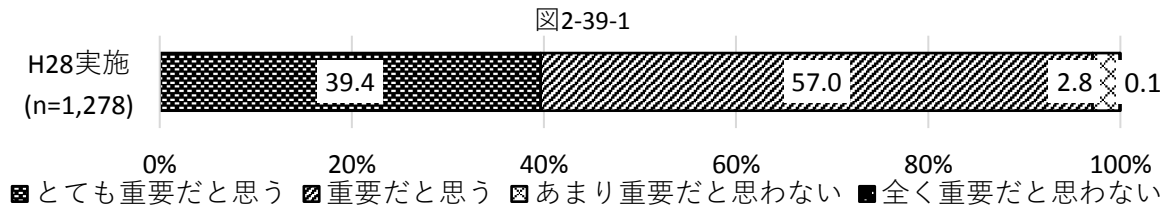
問38 噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか？（1つに○）

関心がある（関心がある+どちらかといえば関心がある）が約70%であった。女性の方が関心がある割合が高く、年齢の増加にともない、高くなる傾向にあった。特に75歳以上の高齢者は約85%の者が関心あると回答していた。



問39 ゆっくりよく噛んで食べることを重要だと思いますか？（1つに○）

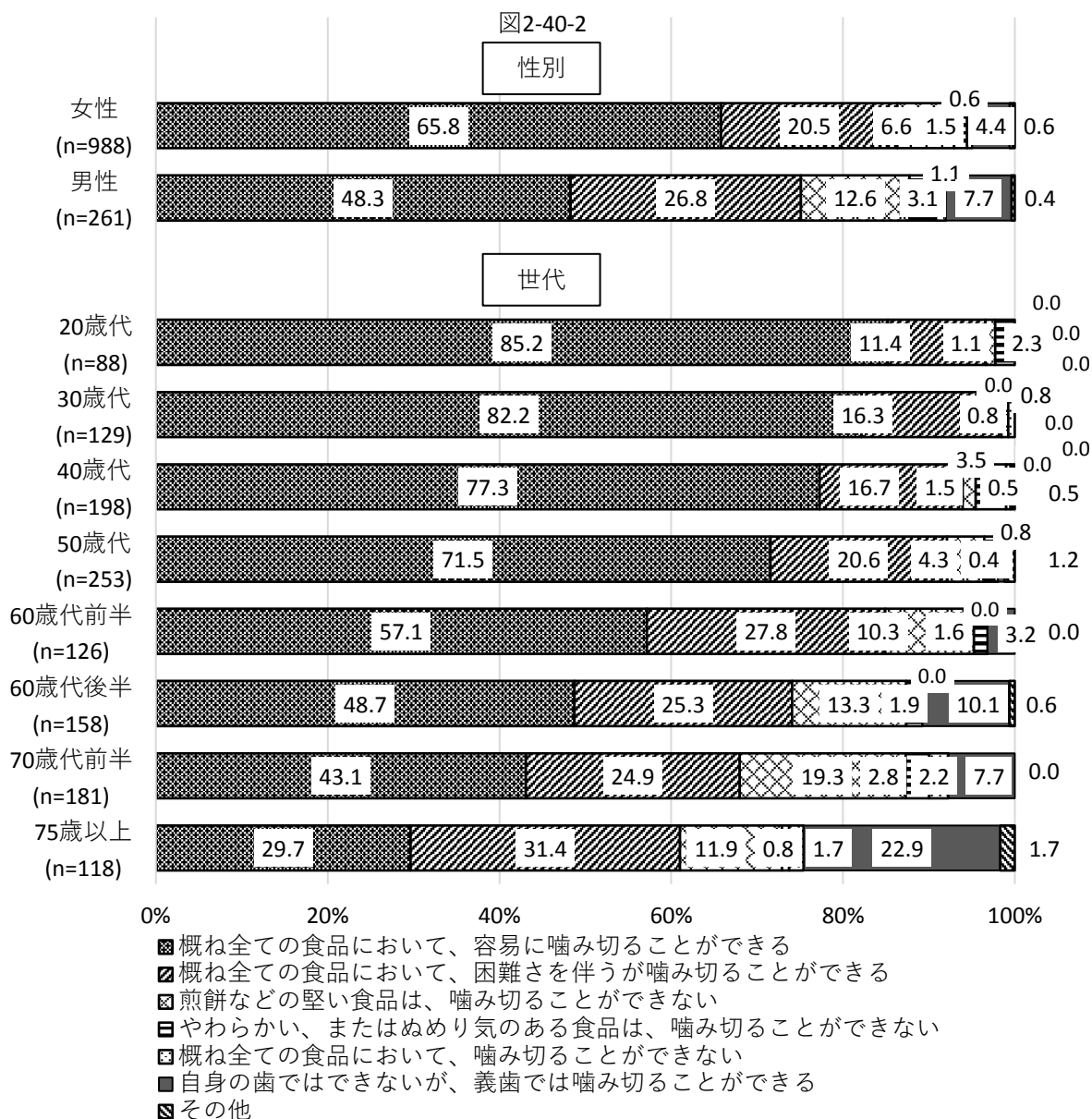
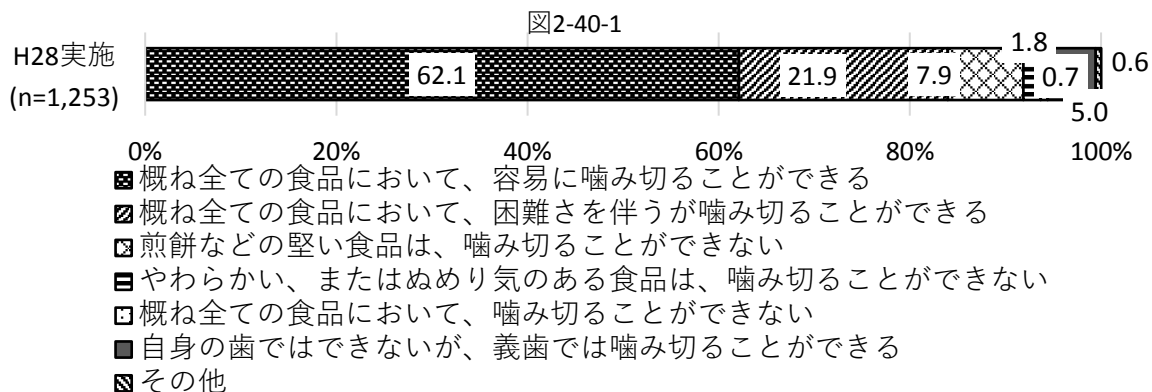
95%以上が重要(とても重要だと思う+重要だと思う)と回答していた。男女別および世代別では大差がなかった。また、とても重要だと思うと回答した者は女性が高く、20歳代、30歳代および70歳代以上が高く、40%を超えていた。



問40 あなたはご自身の歯において、噛みにくさを感じる食品はありますか？（1つに○）

概ね全ての食品において、容易に噛み切ることができると回答した者が60%を超えていた。

男女別では女性が男性と比較して、その割合が高く、世代別では20歳代が最も高く、年齢が進むにつれてその割合が減少していた。特に60歳以降で大きく減少していた。



【お子様の性別】

ほぼ男女半々であった。

(n=206)

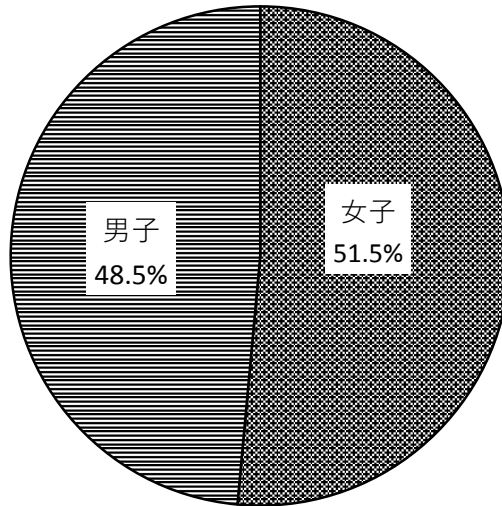


図2-1

【お子様の年齢】

男女間にほとんど差は無く平均11歳で、小学5年生から6年生といえる。

(n=206)

平均 (歳)	全体	女子	男子
	11.3	11.4	11.3

【お子様の体格】

「ちょうどいい」が半数を超え、次いでやや痩身が3割で、肥満は2.5%とわずかであった。

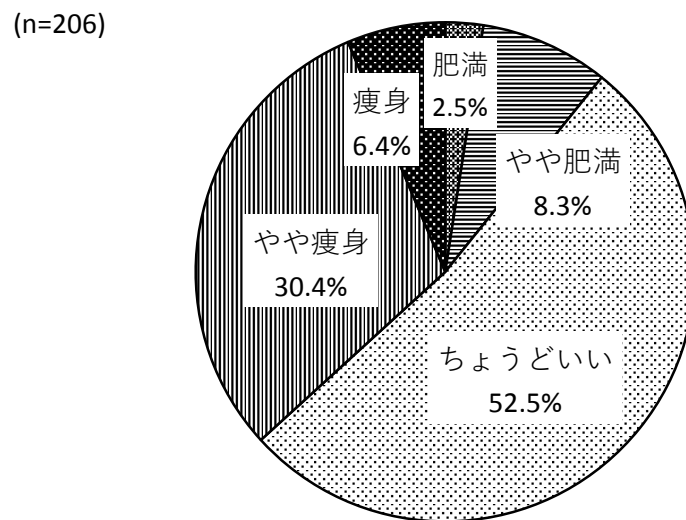


図2-2

問41 そのお子様の歯磨きの頻度を教えてください。(1つに○)

歯磨きの頻度は1日2回以上が75%以上であった。13歳以上と13歳未満との回数にはほぼ同等であった。所得別では、300万円台が1日1回の割合が高かったが、全体的には歯磨き回数との大きな関連性は認められなかった。

図3-1-1

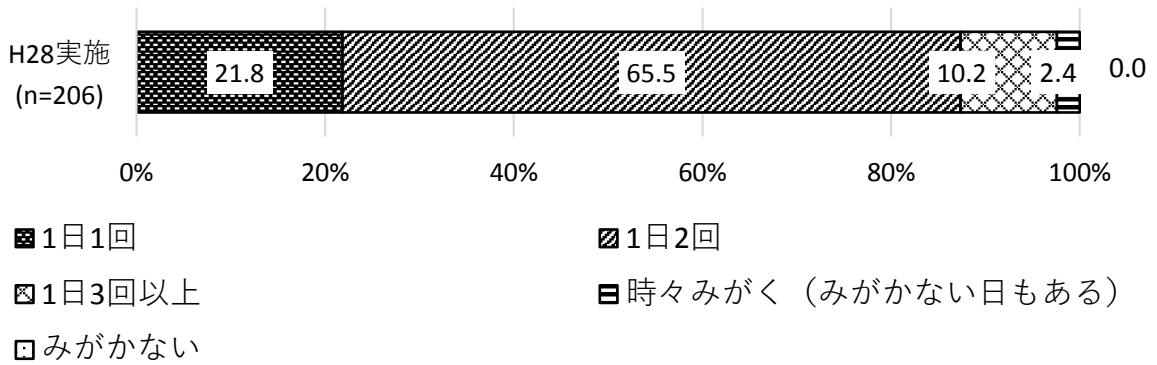


図3-1-2

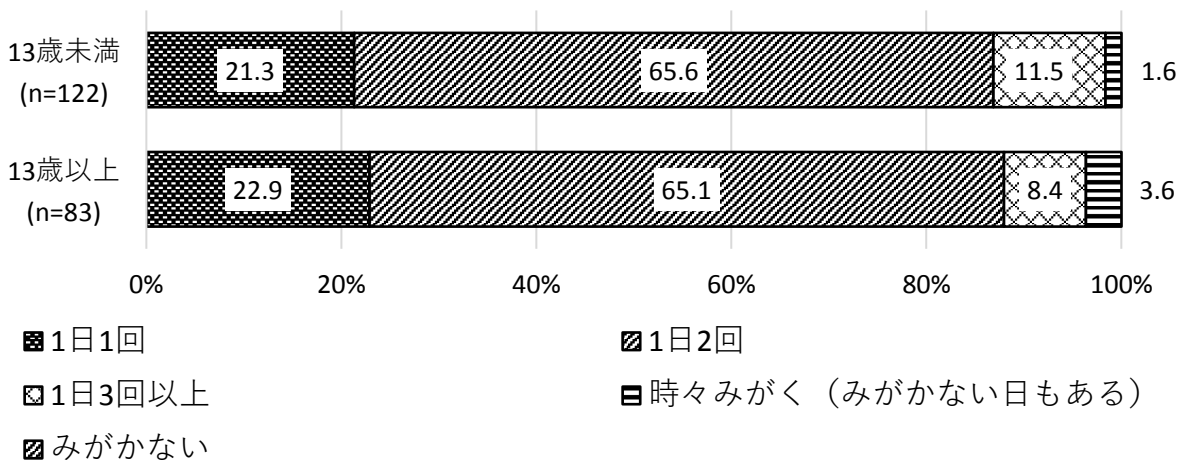
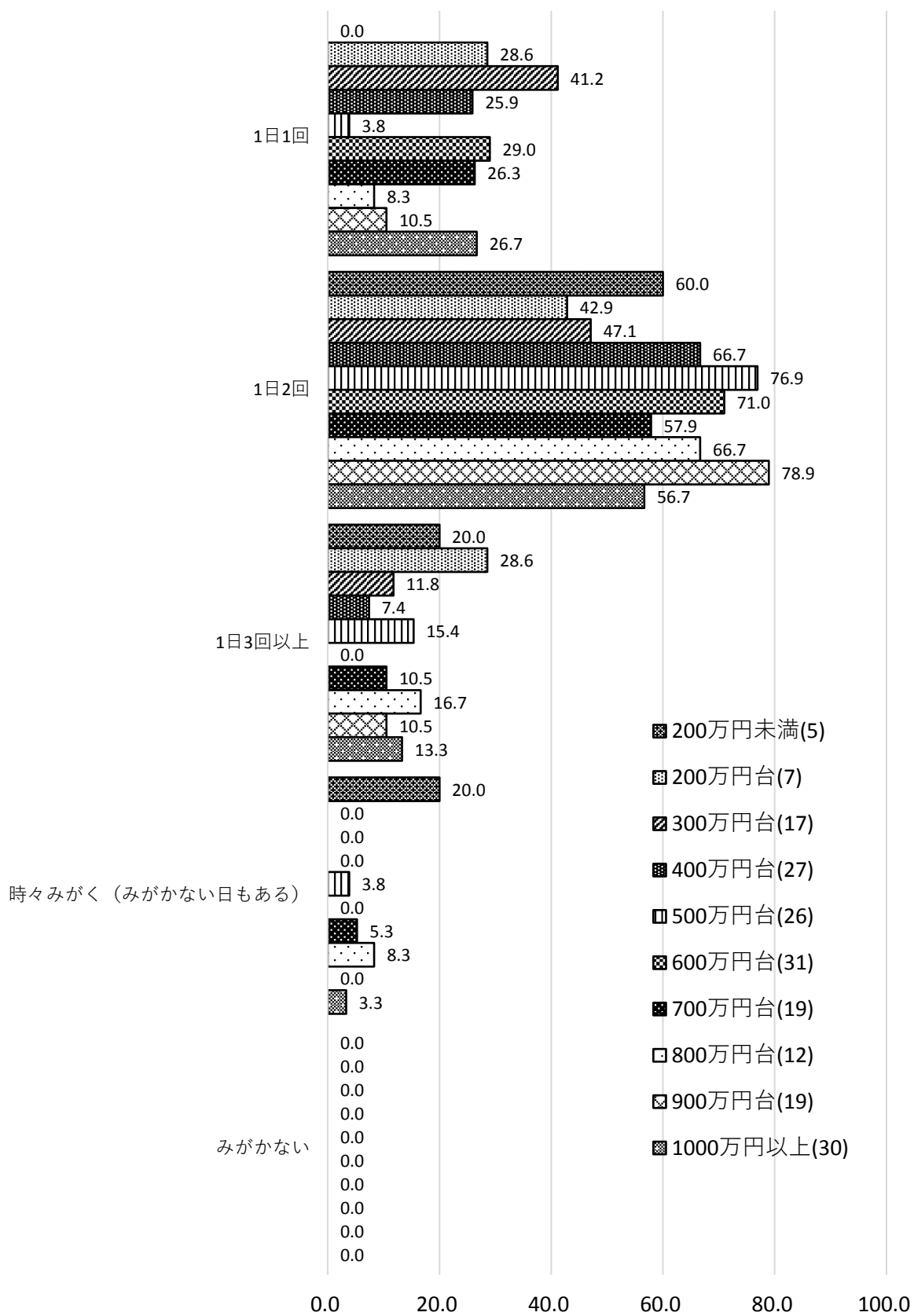


図3-1-3



問42 そのお子様の歯科検診の頻度（学校での検診を除く）を教えてください。（1つに〇）

歯科検診の頻度は過去の調査と比較して回数が増加している。13歳未満の者が、検診の回数が多かった。所得別では、回答数が少ない200万未満を除くと中所得者層が年に数回の割合が比較的多い傾向が認められた。

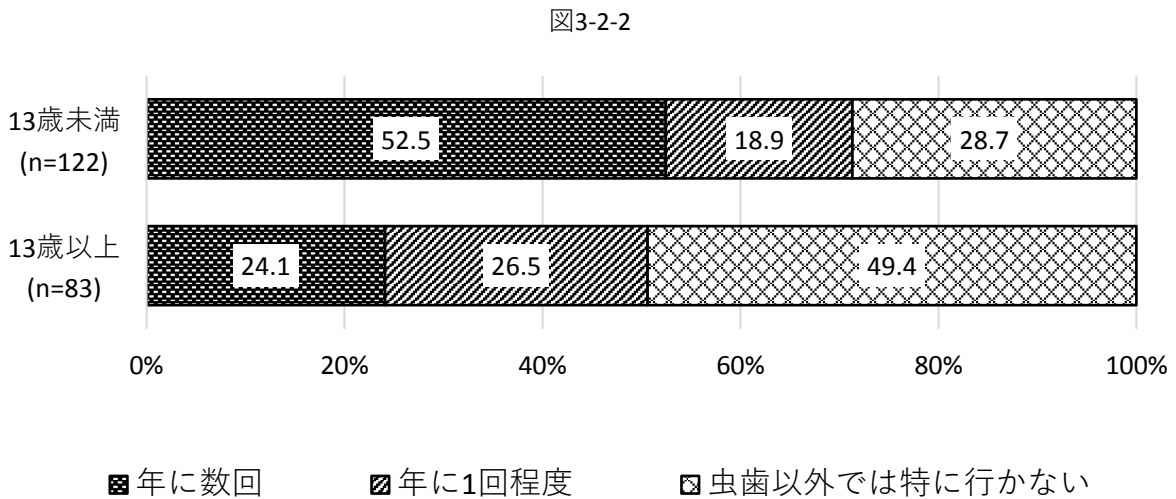
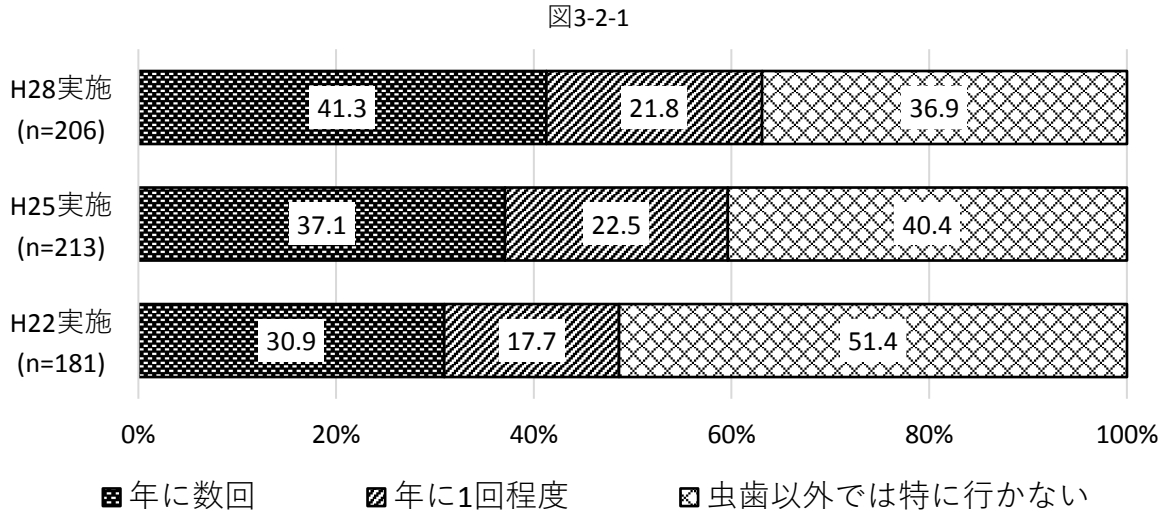
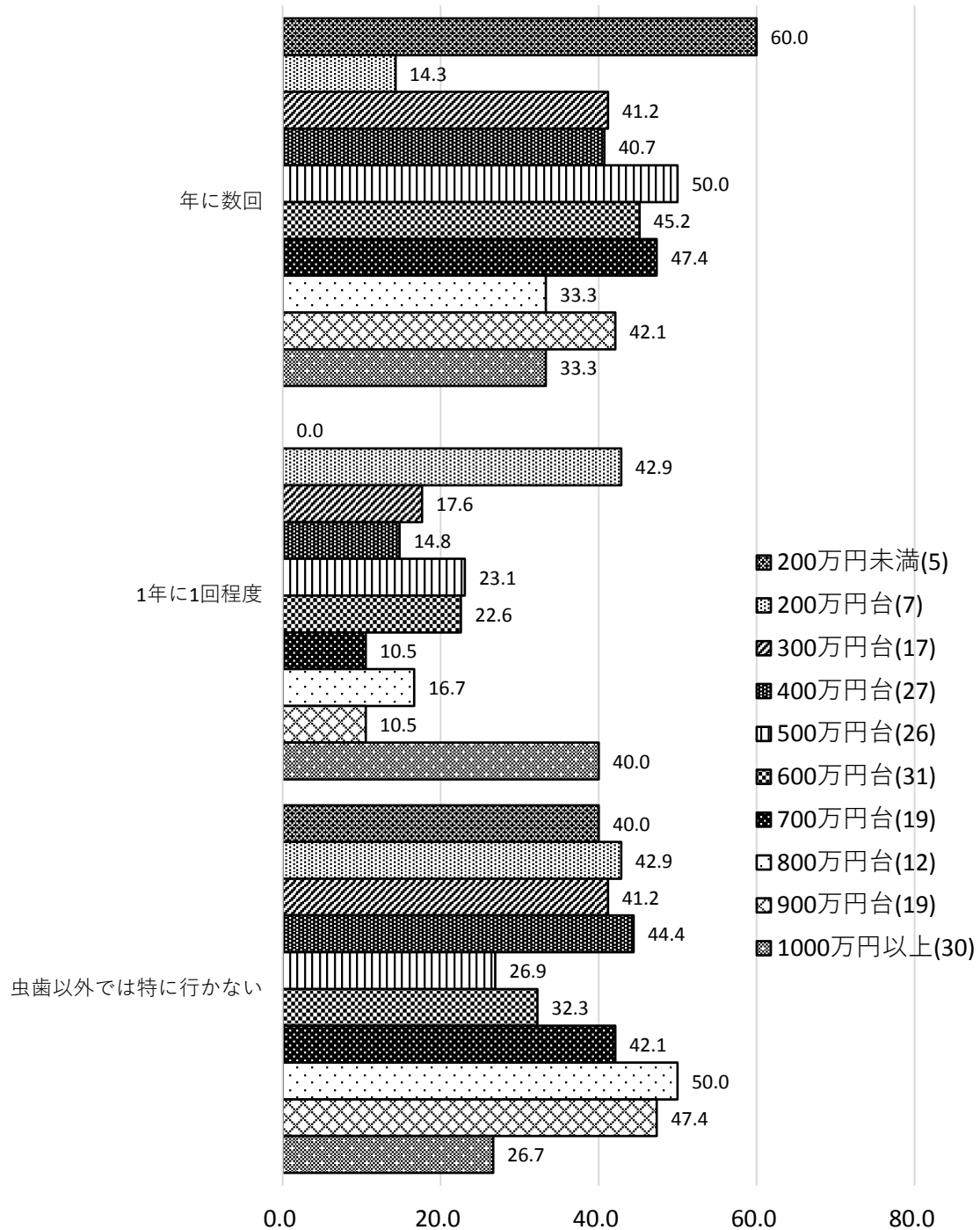
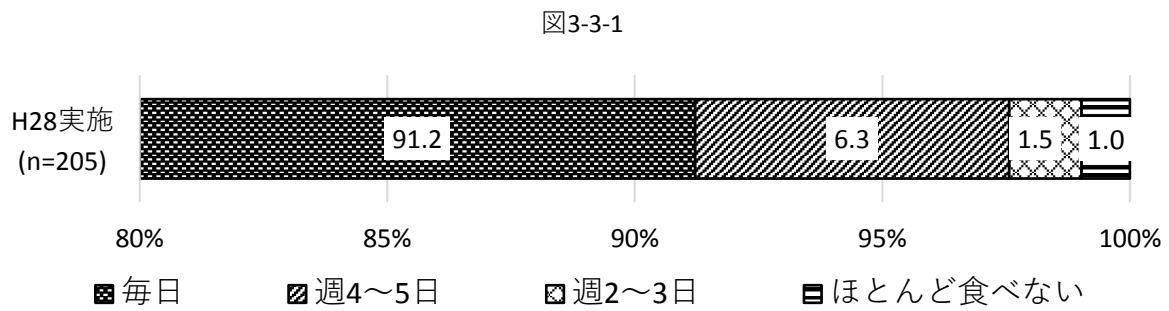


図3-2-3

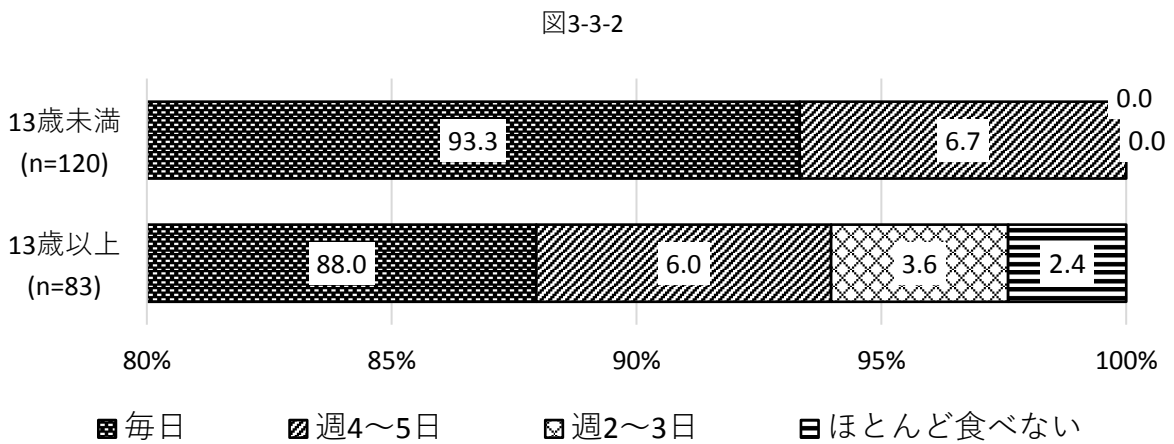


問43 そのお子様は朝食をどの程度の頻度でとっていますか？（1つに○）

全体の9割以上が毎日朝食をとっており、「ほとんど食べない」との回答は1%とごくわずかであるものの、13歳以上では毎日とっている割合は9割を割るようになる。世帯所得階層別では、200万円と400万円のクラスで毎日とる割合が低く、9割を下回っている。

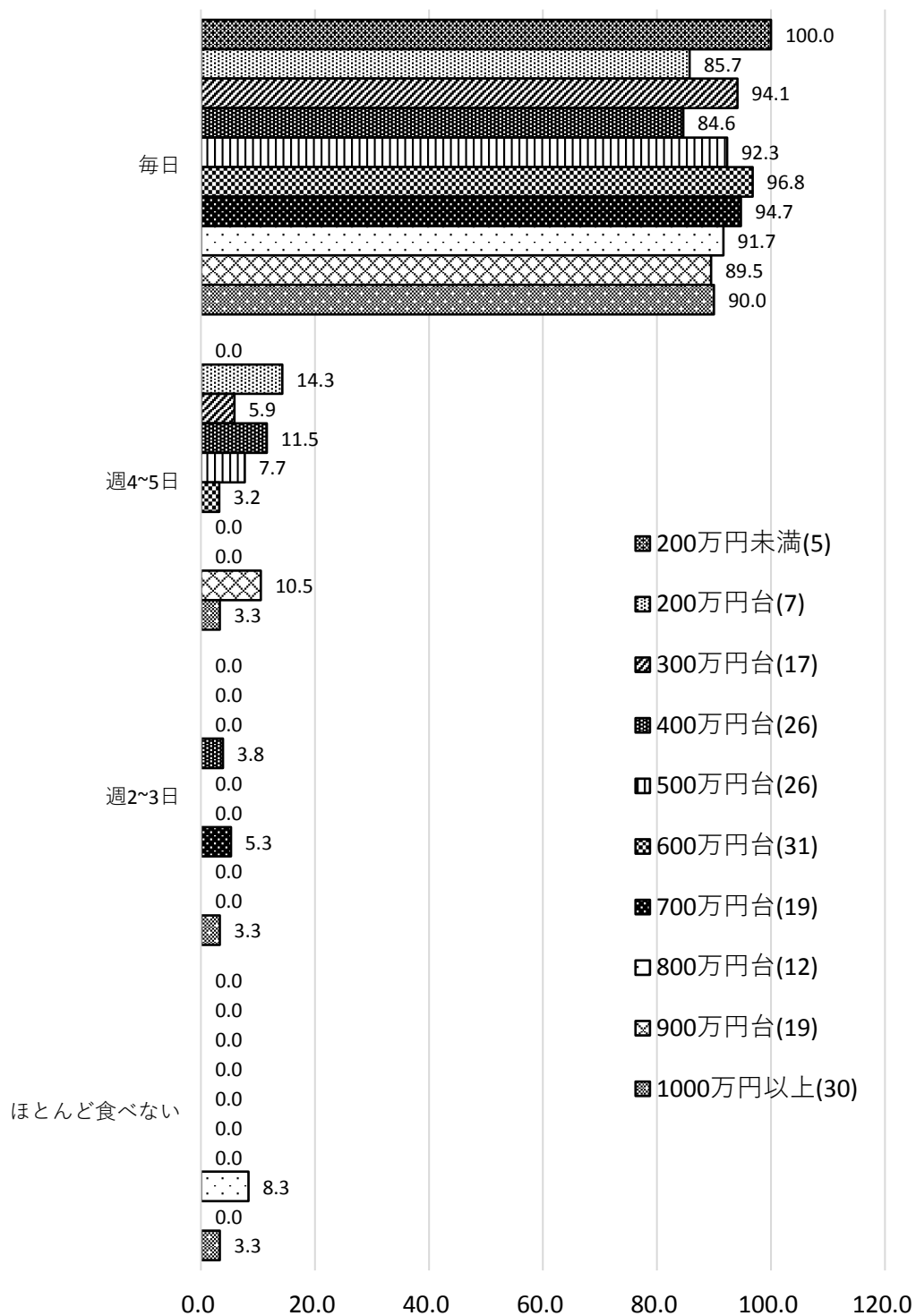


注：80%から表示



注：80%から表示

図3-3-3



問44 そのお子様がとる朝食は主にどのようなメニューですか？（いくつでも○）

主食（ご飯、パン、麺など）がほとんどを占めており、13歳未満と以上での顕著な差はみられない。世帯所得階層別では、主食+主菜+副菜をとっている割合が階層別に大きな違いがあり、200万円以下と800万円台のクラスで最も割合が高いのに対して、500万円台のクラスが最も低くわずか1割程度で900万円以上で再度低下している。これらの事実は、所得階層ごとでかなり朝食のとり方に差があることを示唆する。

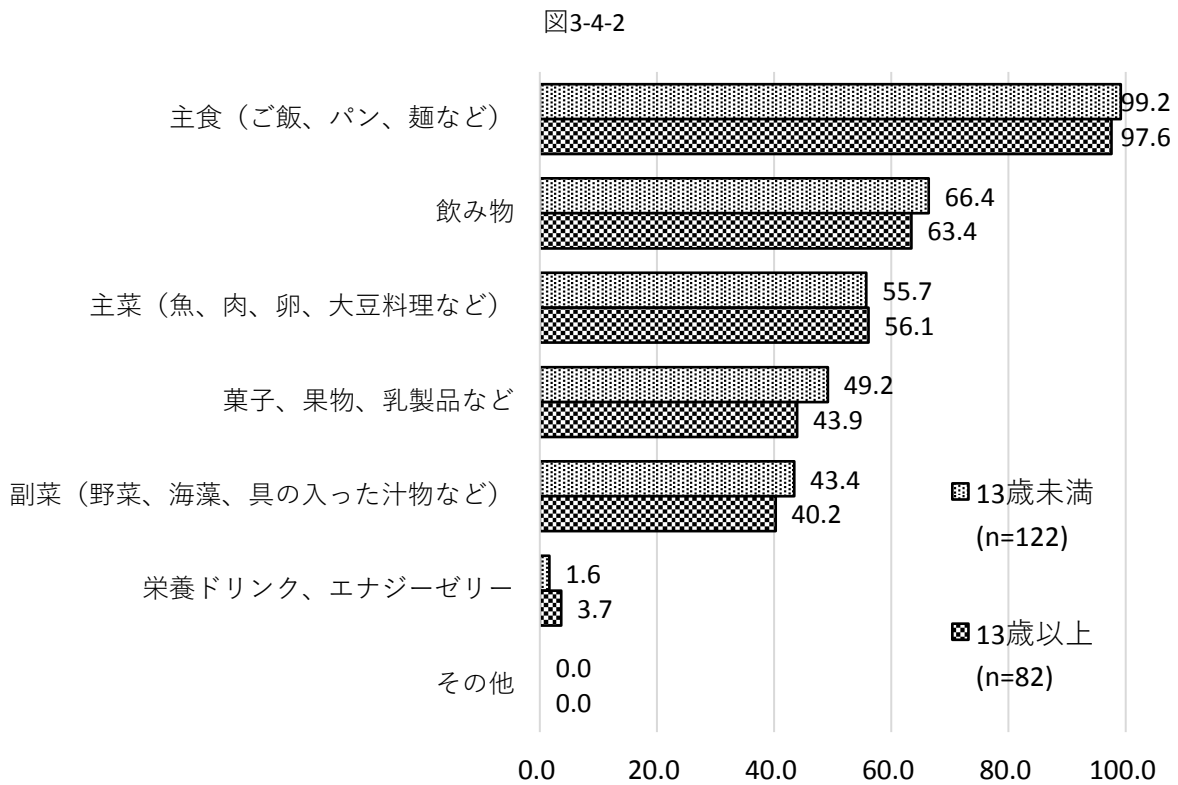
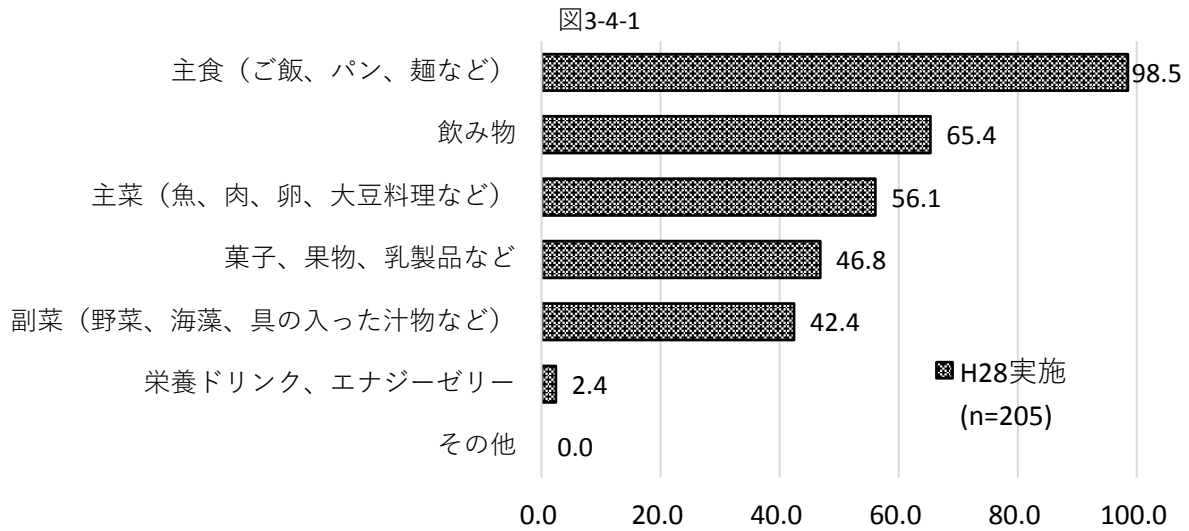


図3-4-3

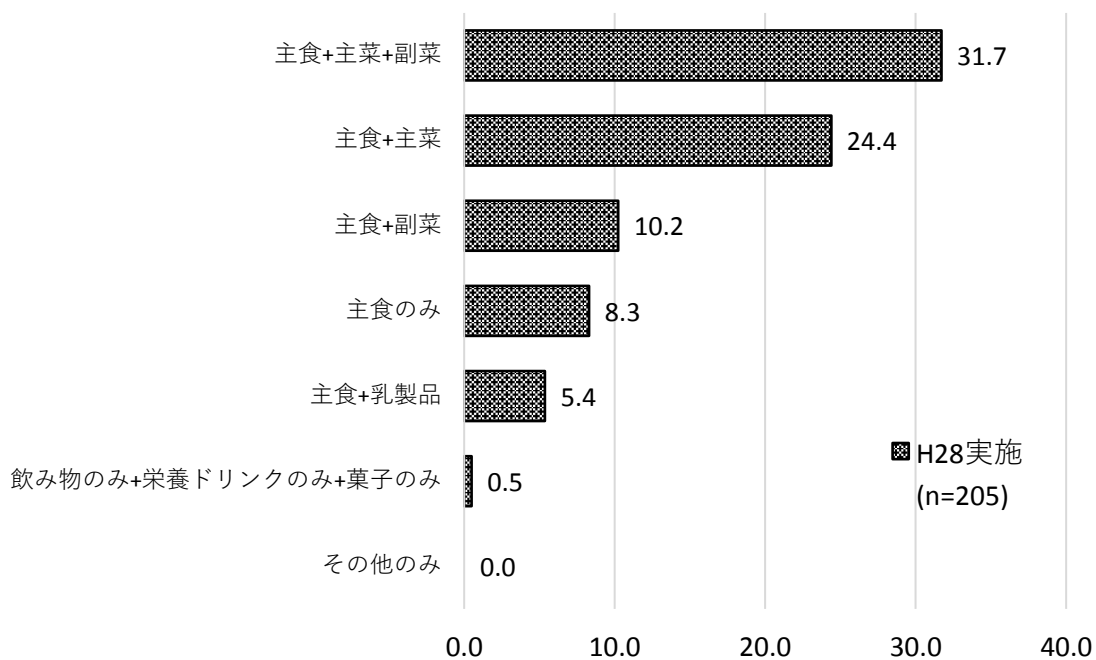


図3-4-4

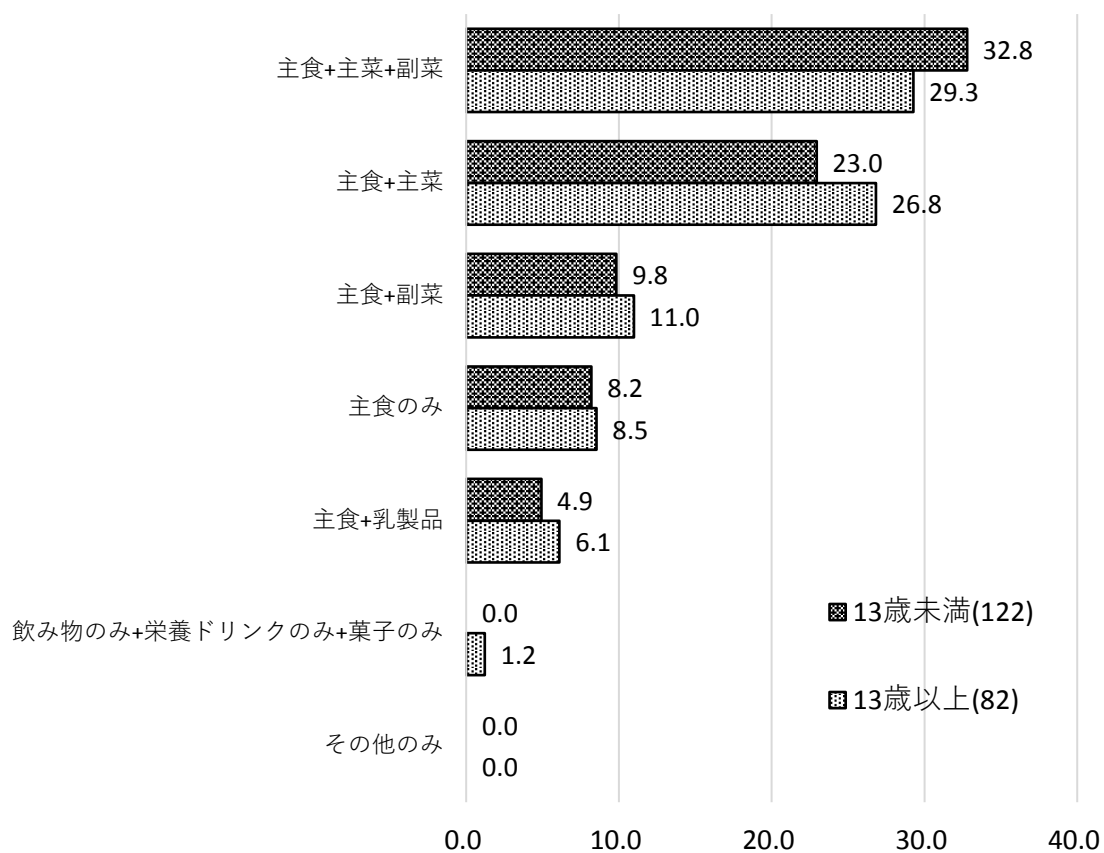
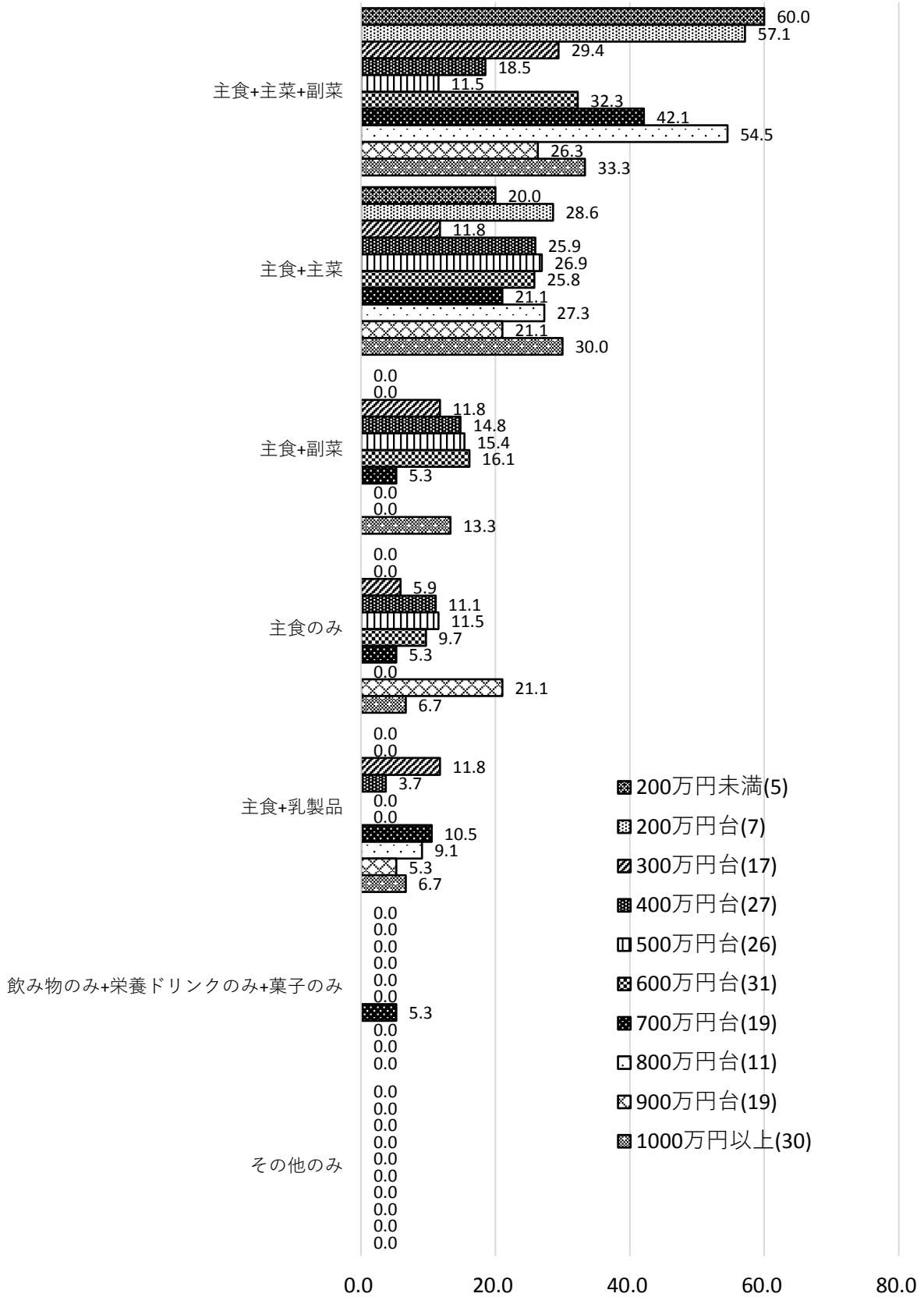


図3-4-5



問45 そのお子様が朝食をとらないときは、どのような理由があると思いますか？（1つに○）

全体では、起きる時間が遅いという理由が、およそ3分の2を占め最も多い。さらに、13歳以上では、その割合は4分の3以上と上昇する。所得別では200万円台で全回答者が起きる時間が遅いと回答している。また、「夜食や間食のせいで食欲がない」は、200万円未満で最も高く、半数に達している。総じて、200万円以下の階層では、子供の就寝時刻が遅いことがこれらの背景にある理由と推測される。

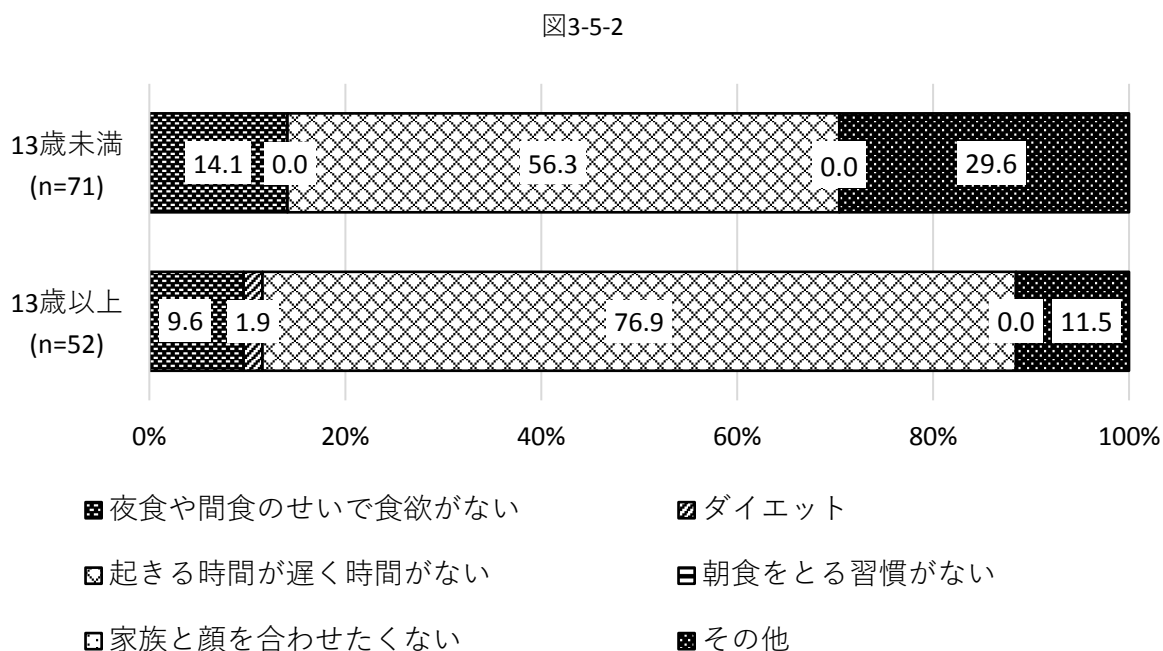
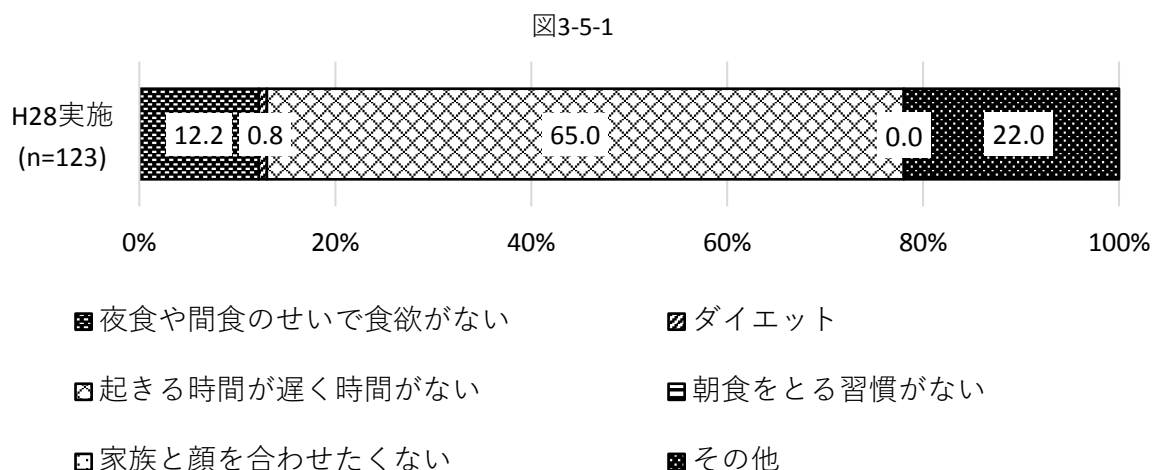
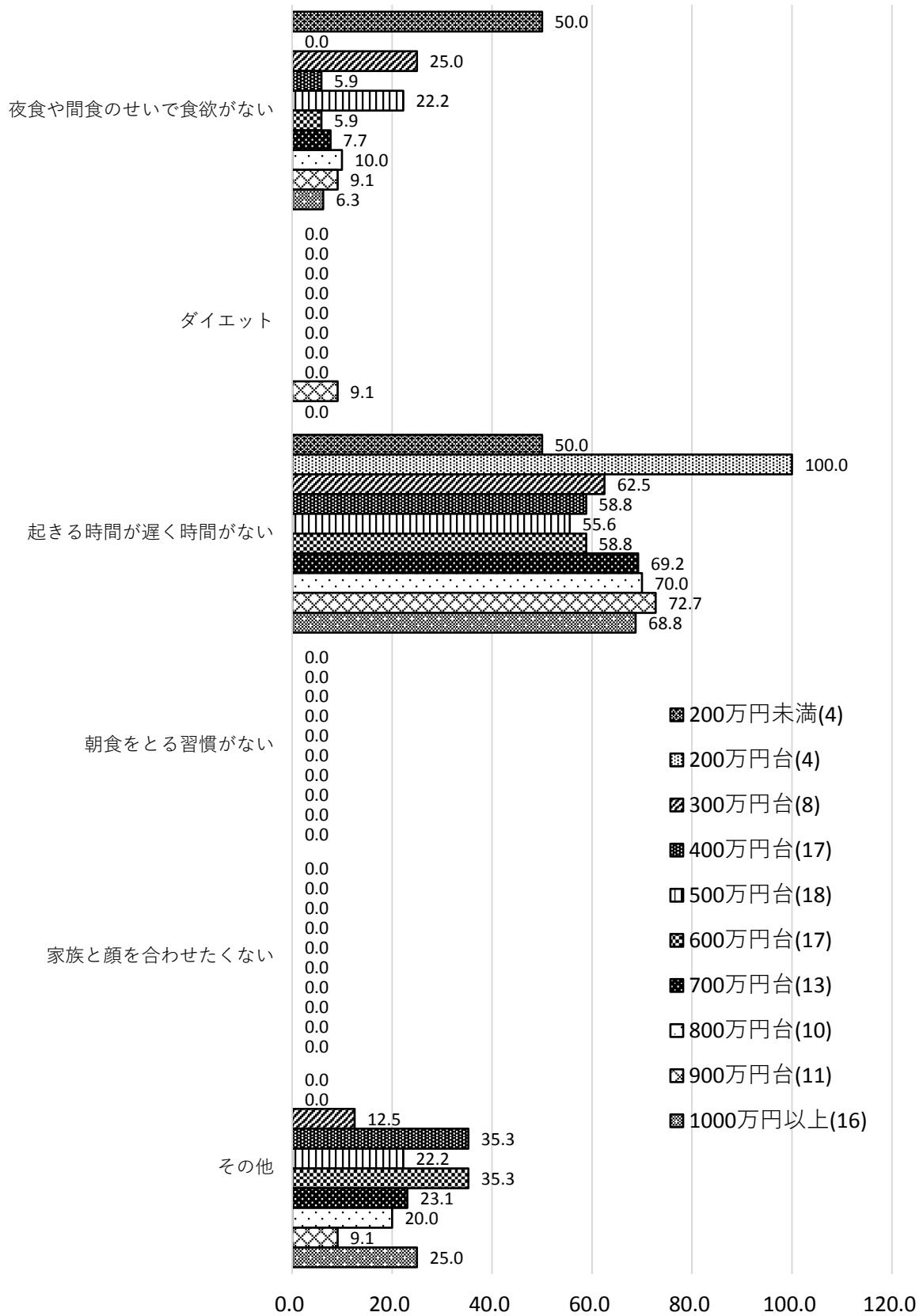
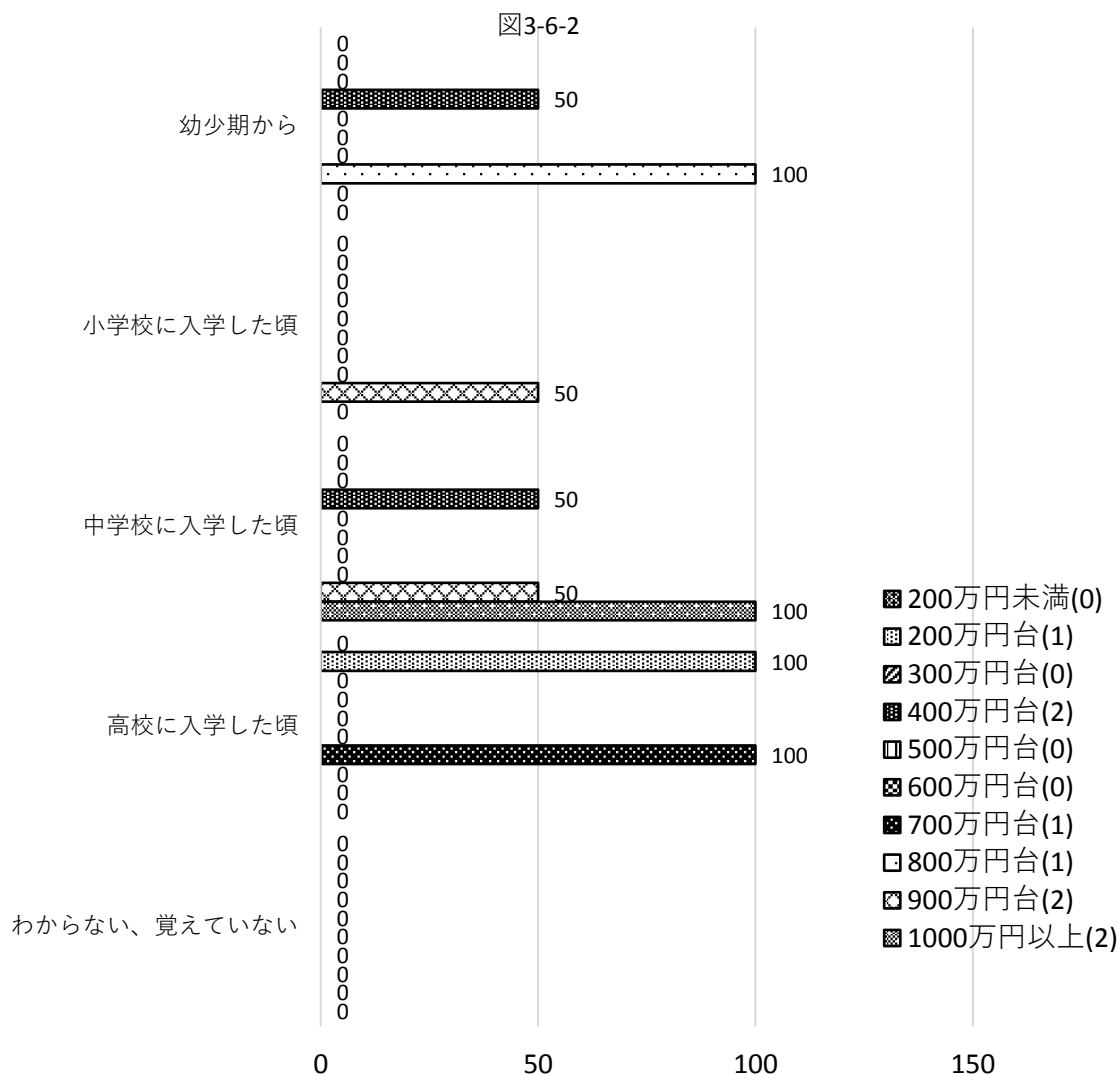
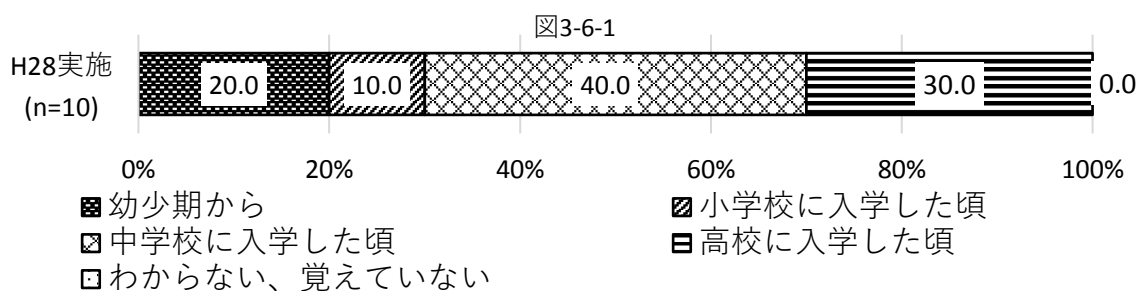


図3-5-3



問46 問45で「朝食をとる習慣がない」を選んだ方に伺います。お子様が朝食をとらなくなったのは、いつ頃からですか？（1つに○）

朝食をとらなくなった時期は、中学校に入学した頃との回答が4割で最も多く、次いで高校に入学した頃が3割となっている。13歳未満と以上での区分や世帯所得階層別については、回答数が極めて少なく、比較はできない。



問47 お子様はどれぐらいの頻度で家族と一緒に朝食や夕食をとっていますか？（それぞれ1つに○）

朝食

全体では、ほとんど毎日とっている割合は7割近いが、13歳以上では、5割を超える程度へ低下し、ほとんどとらない割合も16.9%いる。世帯所得階層別では、「ほとんど毎日」の割合が最も低いのは900万円台、500万円台でともに5割台であるのに対して、600万円台では8割を超え最もその割合が高い。300万円台では、6割台で高くはないものの、階層ごとのばらつきが大きい。

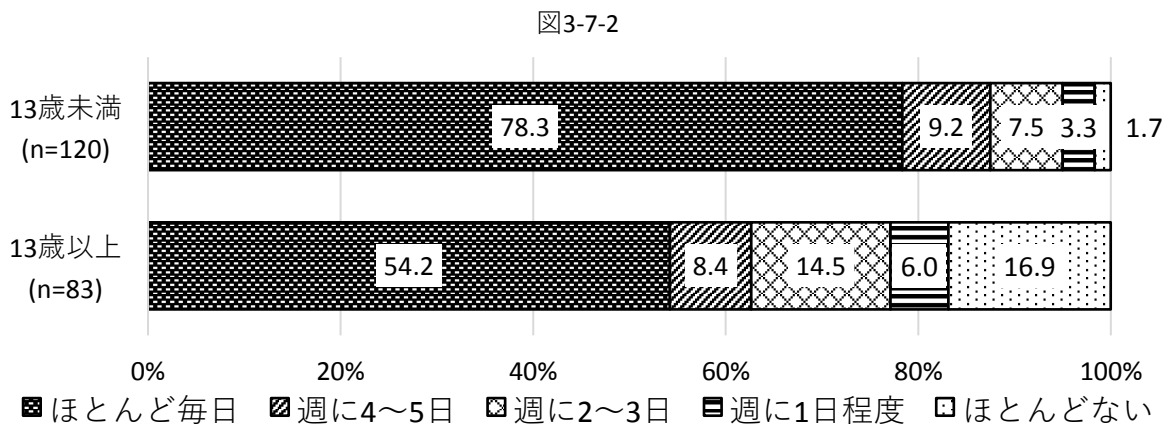
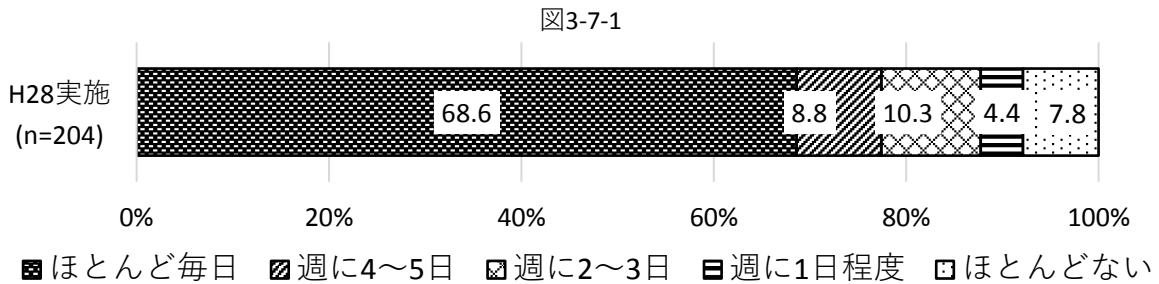
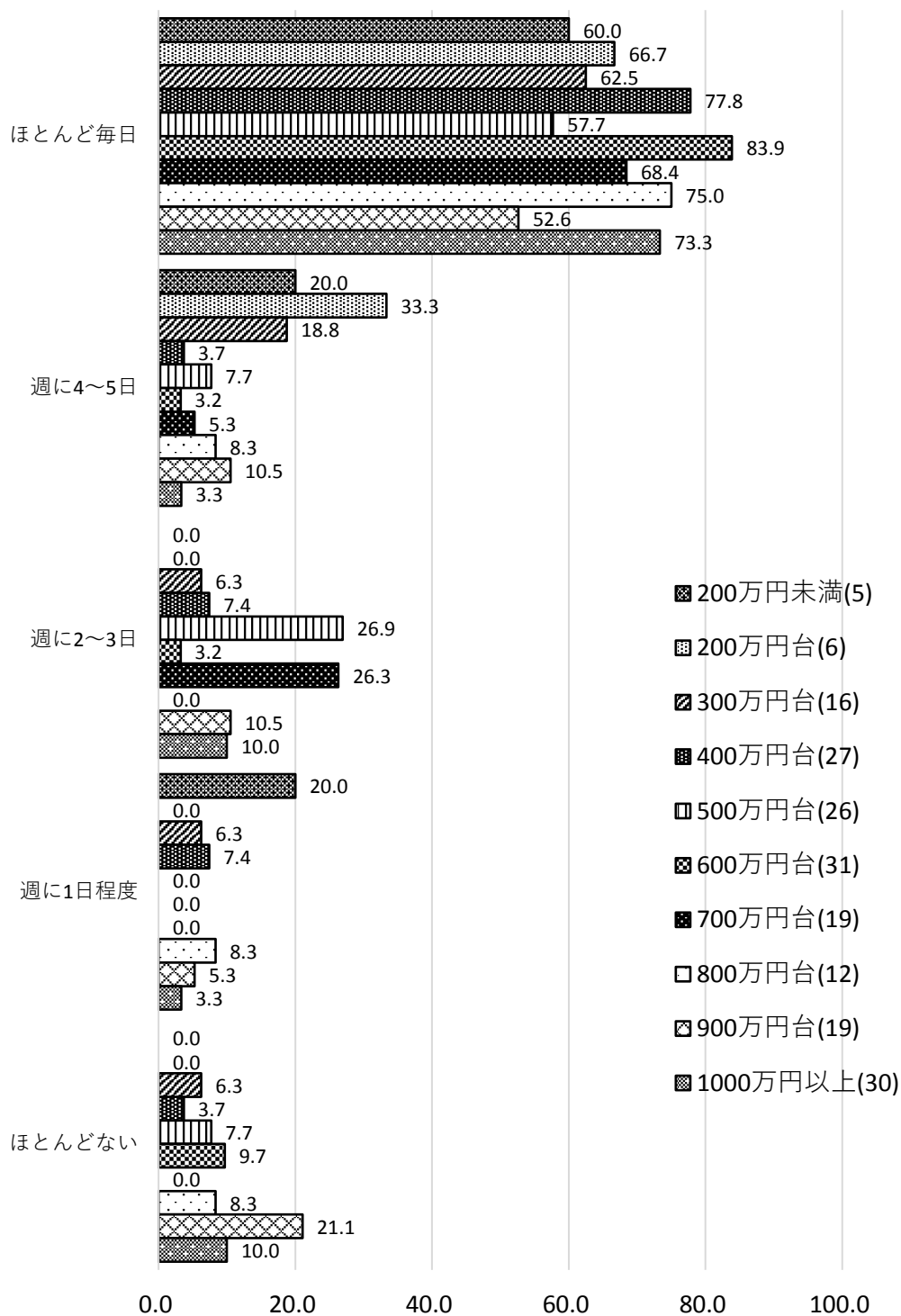


図3-7-3



夕食

全体では、8割を超える回答者が、ほとんど毎日とっている。13歳未満と以上では、その割合に大きな差があり、13歳未満では9割であるのに対して、13歳以上では3分の2に低下する。世帯所得階層別にみると、ピークが二つあり、200万円台では100%となり、800万円台で9割となっているが、その割合が最も低いのは900万円台では6割程度で、次いで700万円台と200万円未満では7割代と低下する。

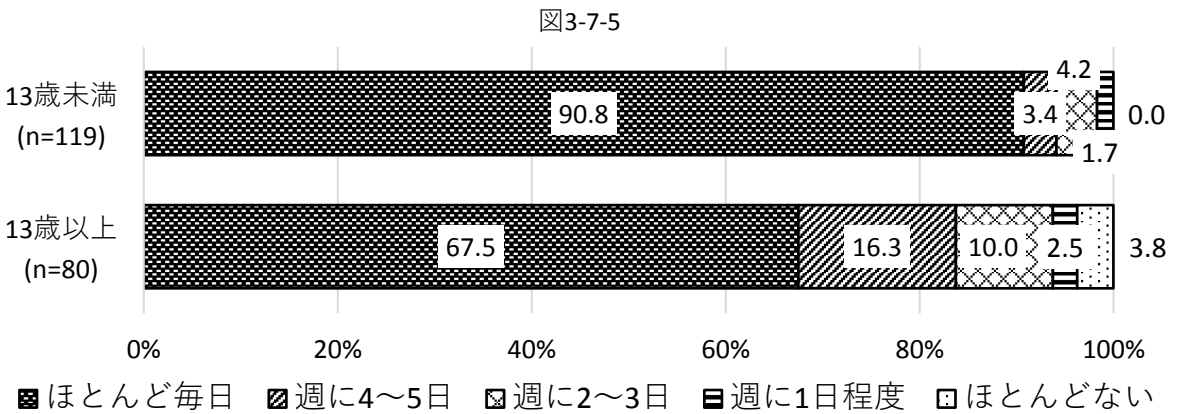
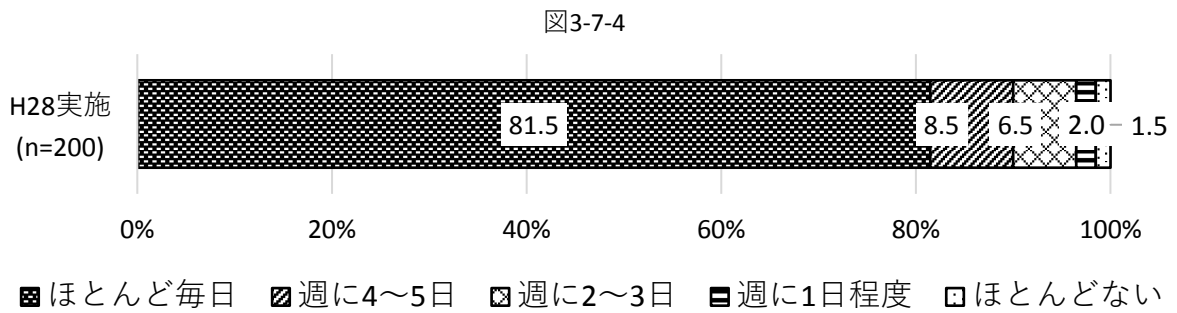
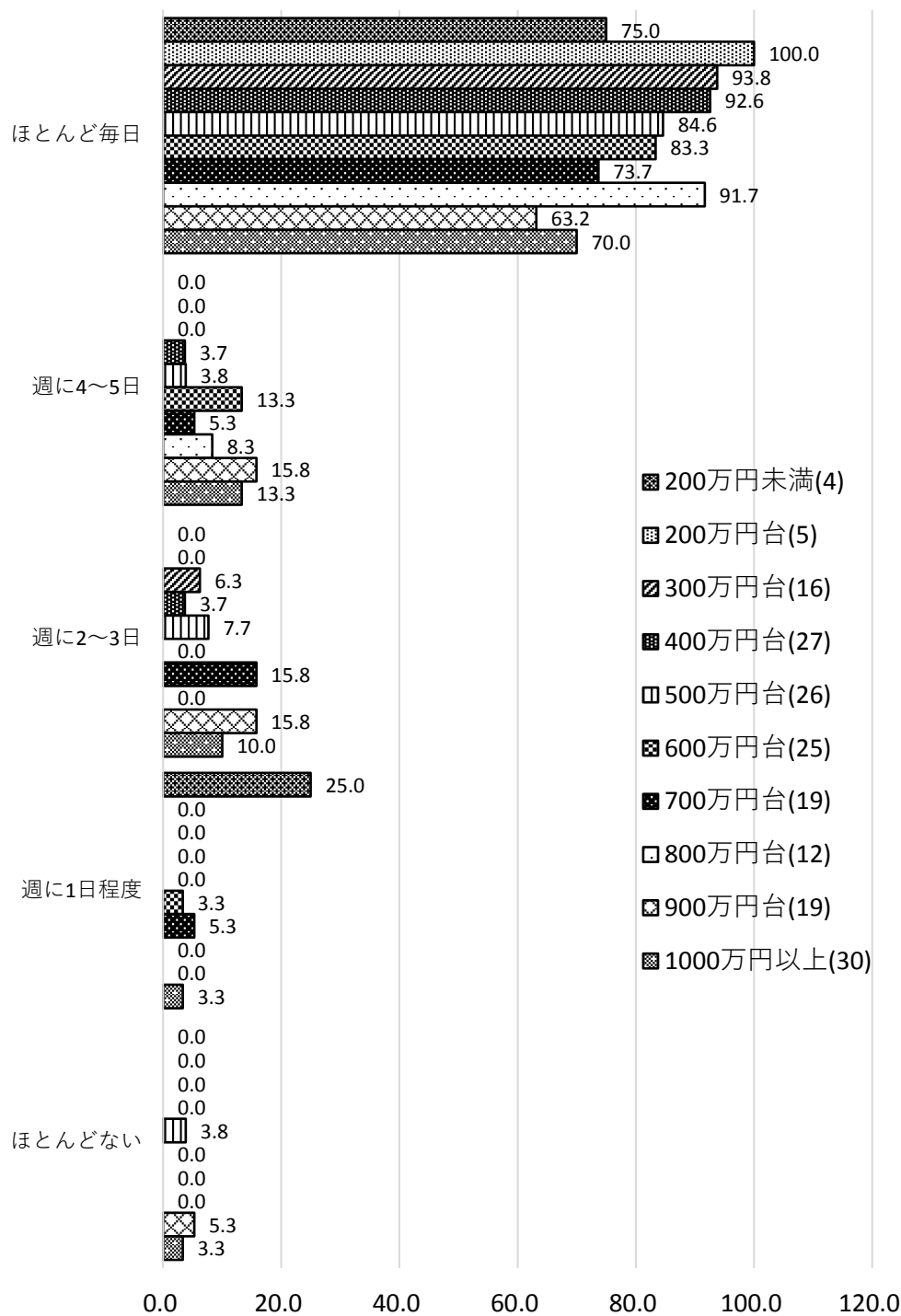
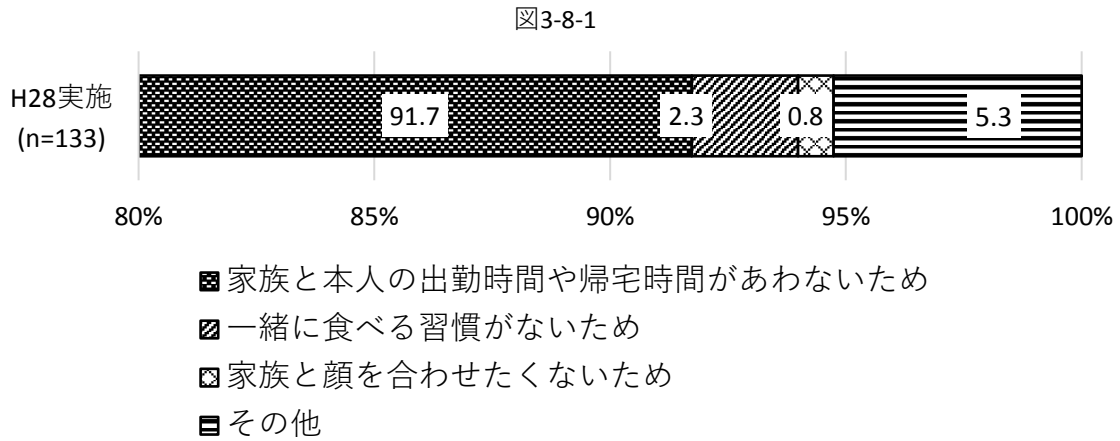


図3-7-6

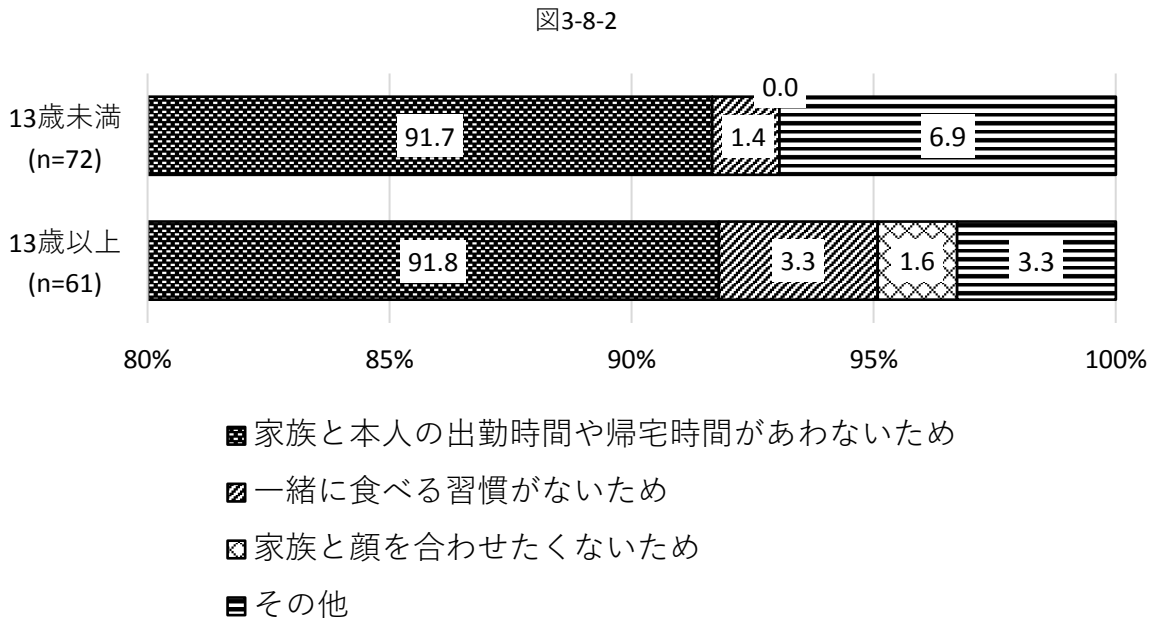


問48 そのお子様が一人で朝食や夕食をとる理由はなんだと思いますか？（1つに○）

全体では、家族との時間が合わないとの理由が9割を超えている。年齢別でも、その点に差はない。世帯年齢階層別では、400万円未満では、その割合が100%となっているが400万~500万円台では低下し、それ以上の階層では高低を交互に繰り返す。

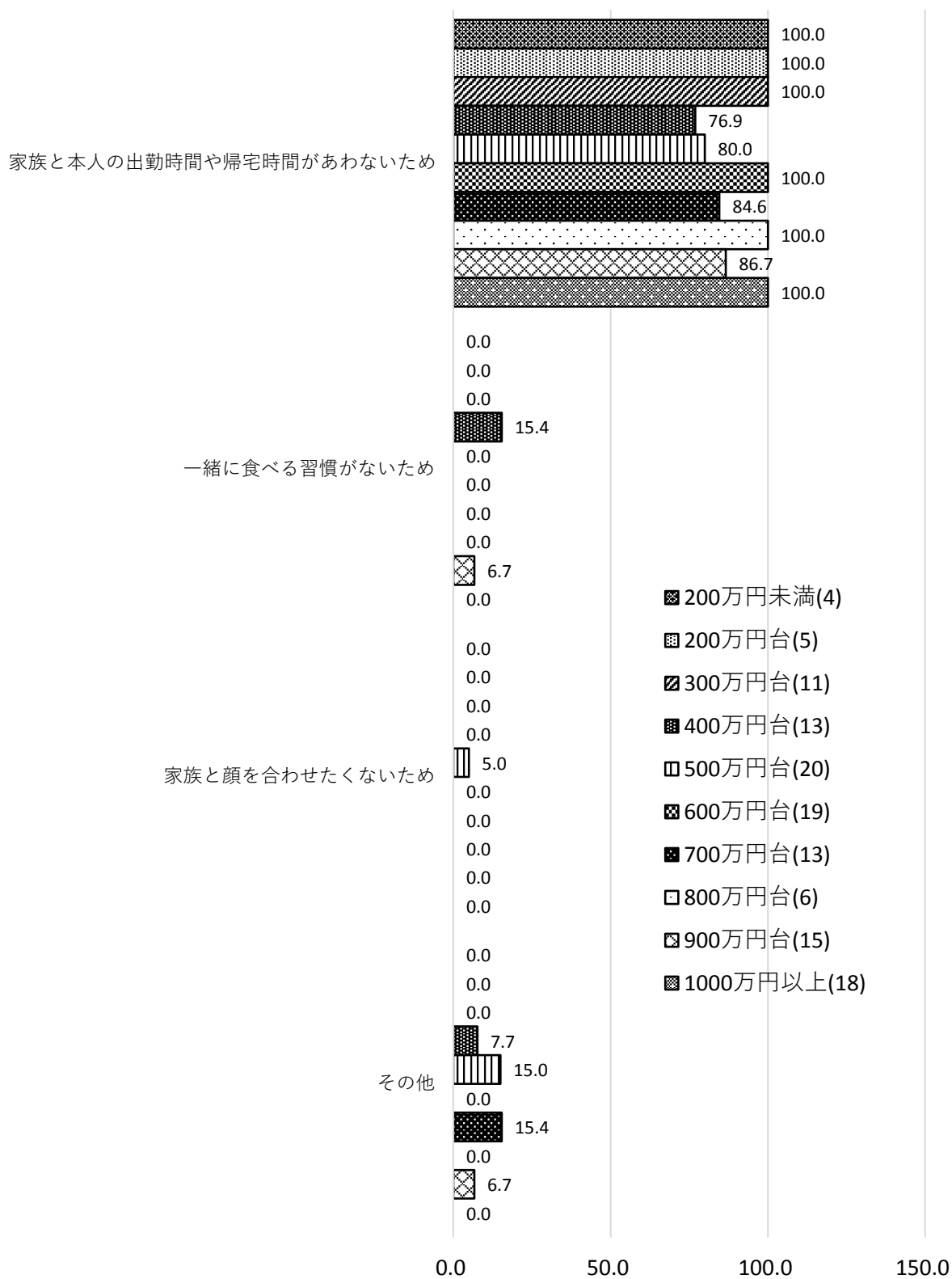


注：80%から表示



注：80%から表示

図3-8-3



問49 そのお子様の現在の食生活に問題があると思いますか？（1つに○）

過去の調査と比較すると、「あまり問題はない」の割合が減少し、「やや問題がある」が3割近くに増加していることから、全体として、食生活の質は低下する傾向にある。13歳で区分した年齢別では、大差はみられない。世帯所得階層別にみると、「問題がない」とする割合は、300万円未満の階層では最も高いのに対して、400万円台で1割程度と大きく低下して、大きな差がみられる。さらに、900万円台で、再び1割へと大きく低下する。つまり、子供の食生活の問題は、低所得層のみの問題とは言いがたい。

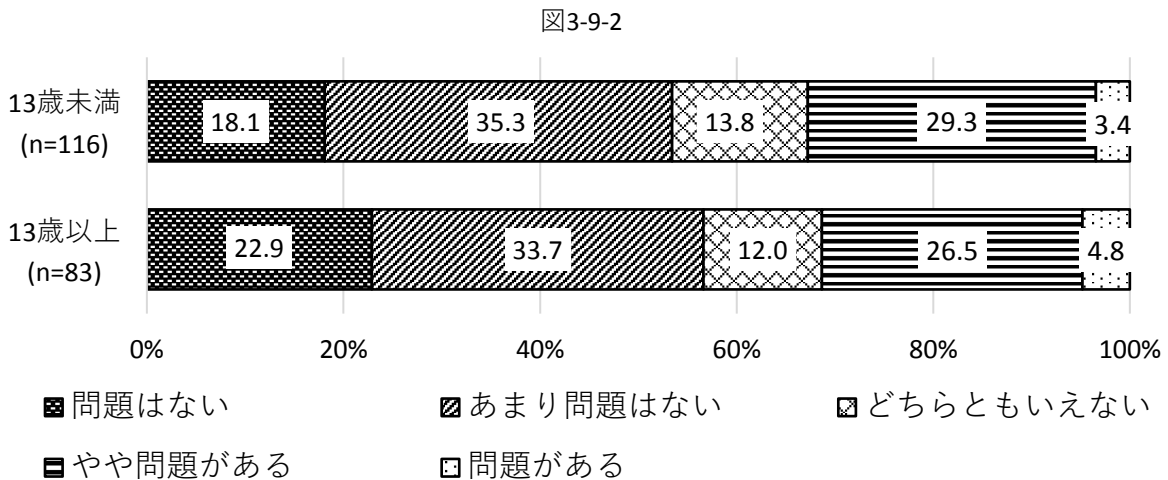
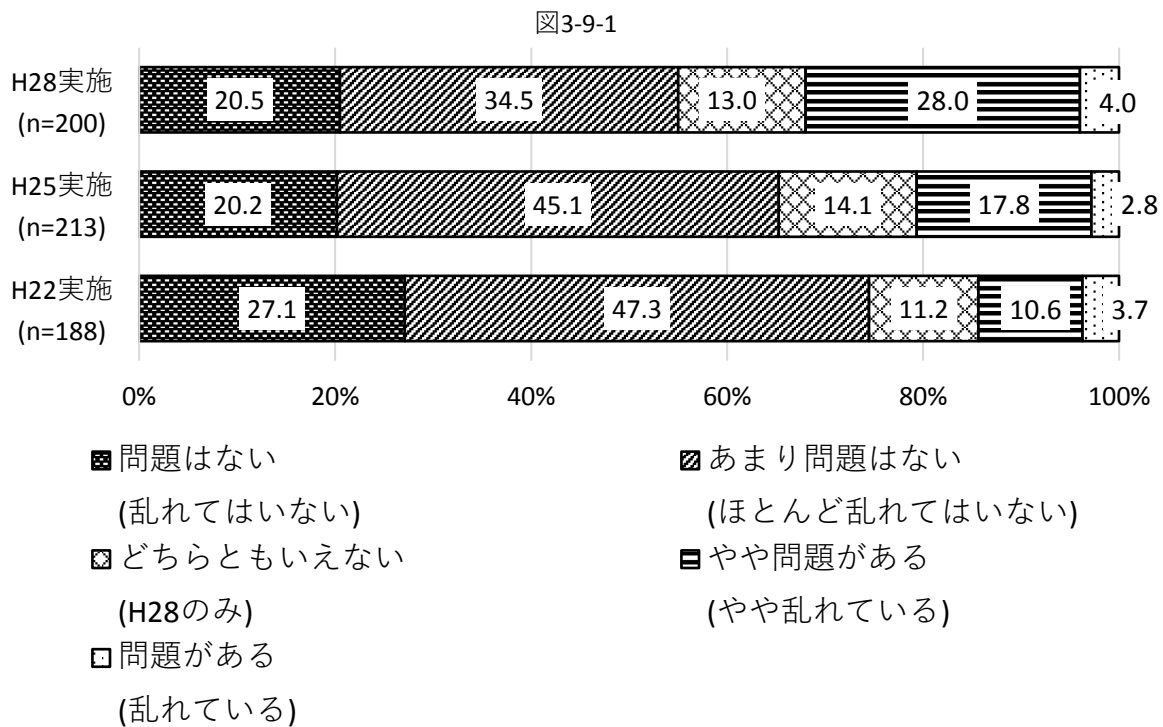
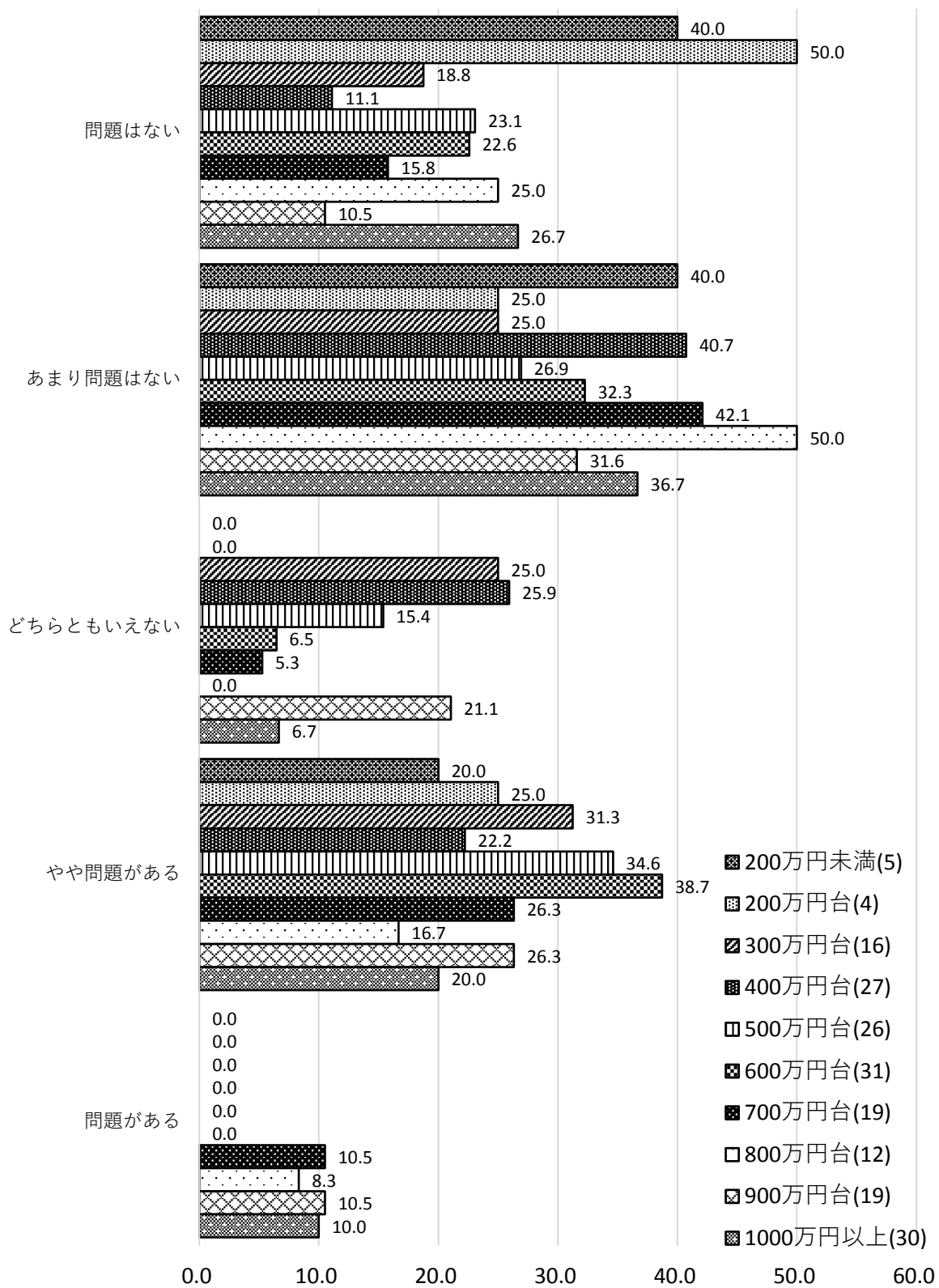


図3-9-3



問50 問49で「やや問題がある」「問題がある」を選んだ方に伺います。特にどのような点に問題があると思いますか？（いくつでも○）

子供の食生活に問題があるとの回答者では、その理由として「好き嫌いが多い」が半数以上で選択されており、以前の調査結果と同様である。次いで「栄養バランスの偏り」が4割程度となっている。年齢区分では、13歳未満で好き嫌いが多い傾向がある。これに対して、13歳以上では、「食が細い」、「余り噛んでいない」で2割を超えており、やや高い。世帯所得階層別では、ここでも階層ごとのバラツキが大きく、「好き嫌いが多い」では200万円未満ではゼロであるが、200万～300万円台で高くなり、400万円台で大きく低下して、700万円台で再び高くなり、800万円台で再び低下する。つまり、所得階層と比例的な関係は観察できない。

図3-10-1

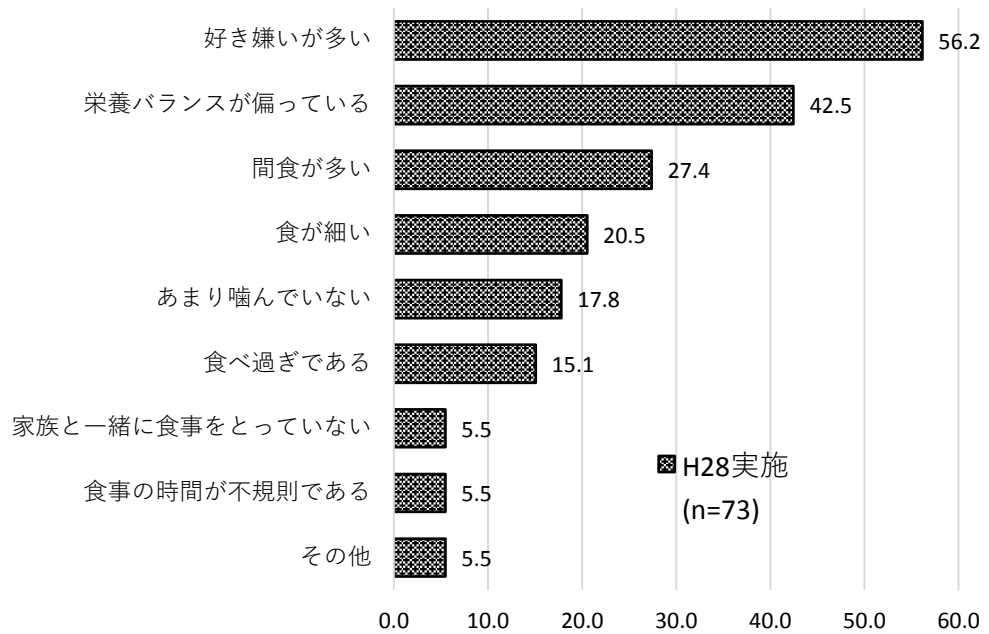


図3-10-2

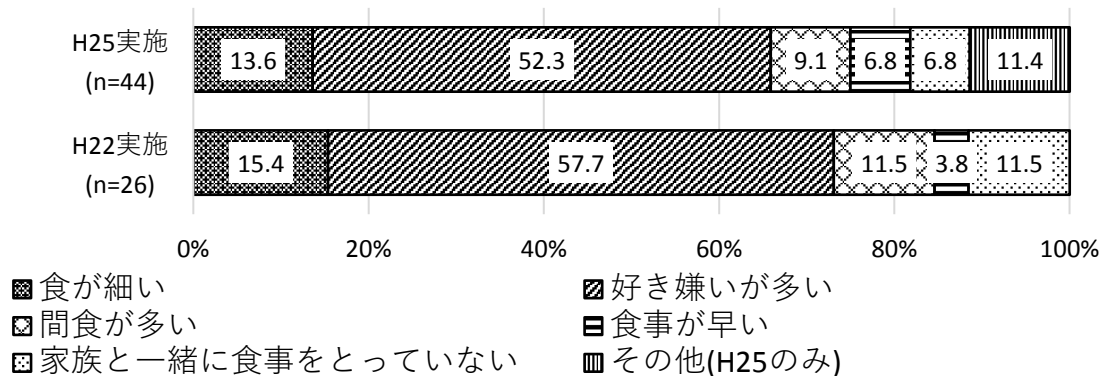


図3-10-3

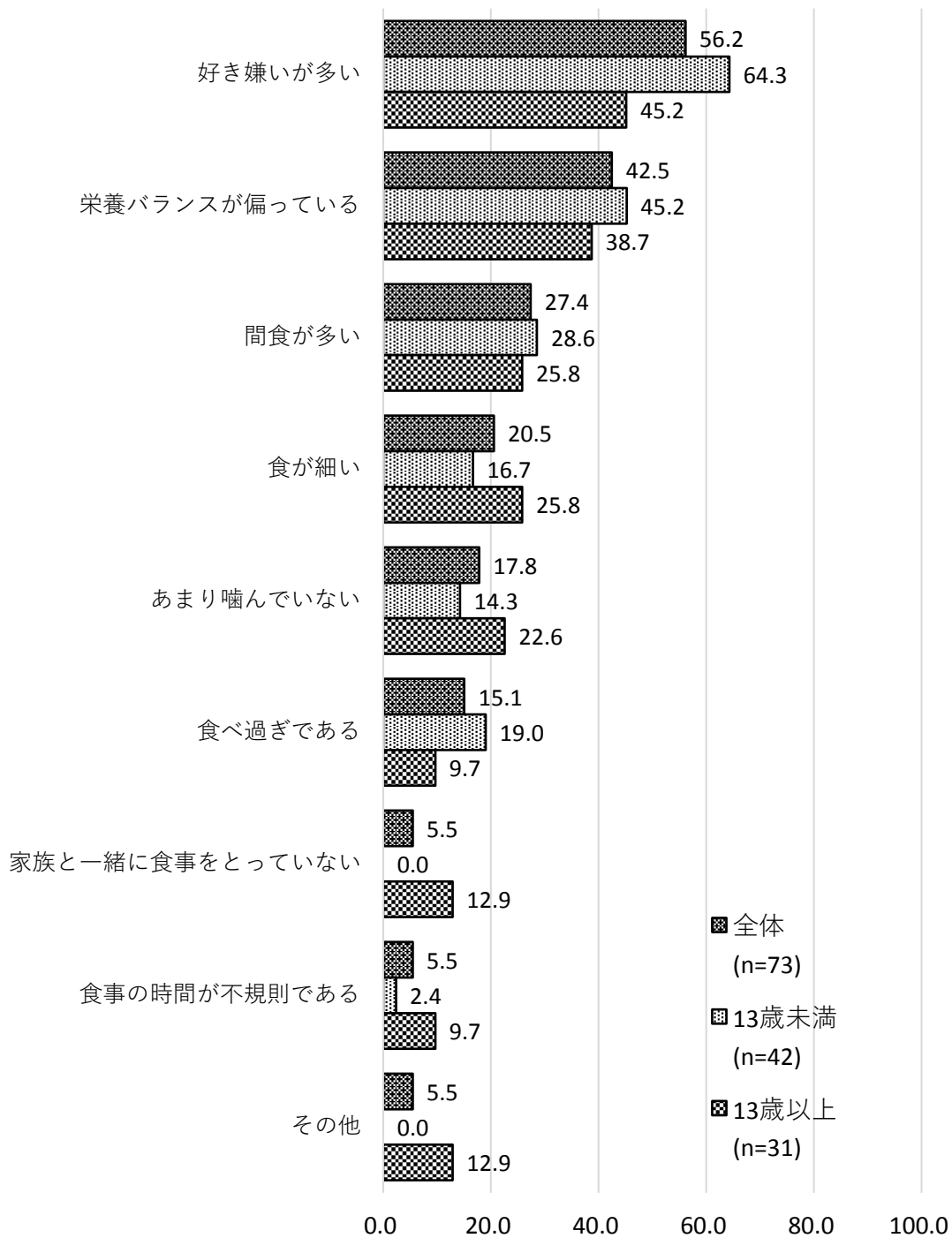
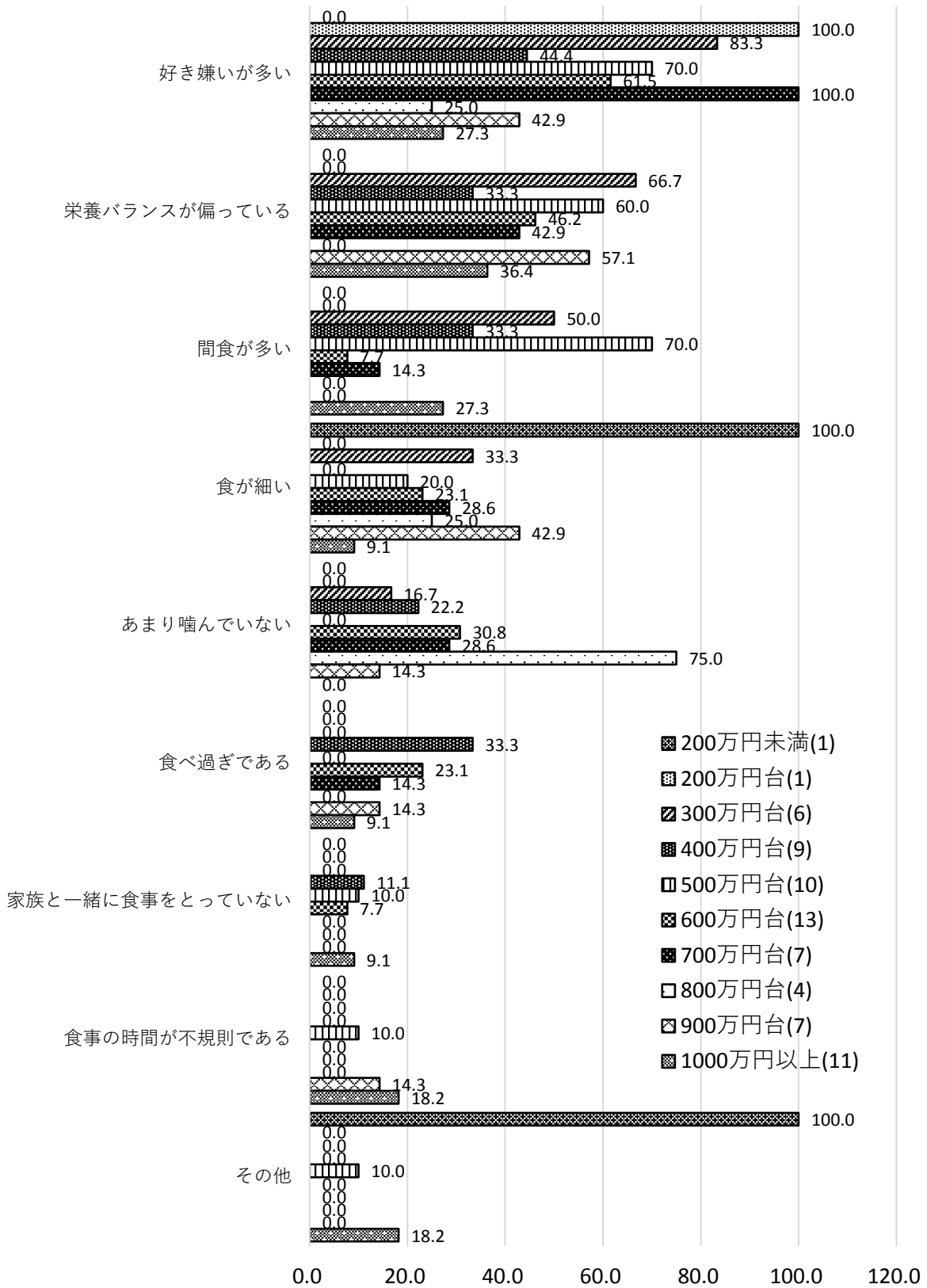


図3-10-4



問 51 そのお子様は何時頃に寝て、何時頃に起きていますか？（それぞれ1つに○）

就寝時刻

前回調査と比較して、9時台での就寝が減少し、10時台が増加しており、就寝時間が遅くなっていることがわかる。年齢区分では、就寝時刻に大きな差があり、13歳未満では6割で9時台には就寝しているのに対して、13歳以上では11時台が3割で最も多く、1時以降の就寝も1割を超えている。世帯所得階層別では、9時台の就寝割合が300万円～500万円台で高く、その前後の階層で低下している。10時台では、200万円台で割合が高く、300万～500万円台で低い。

図3-11-1

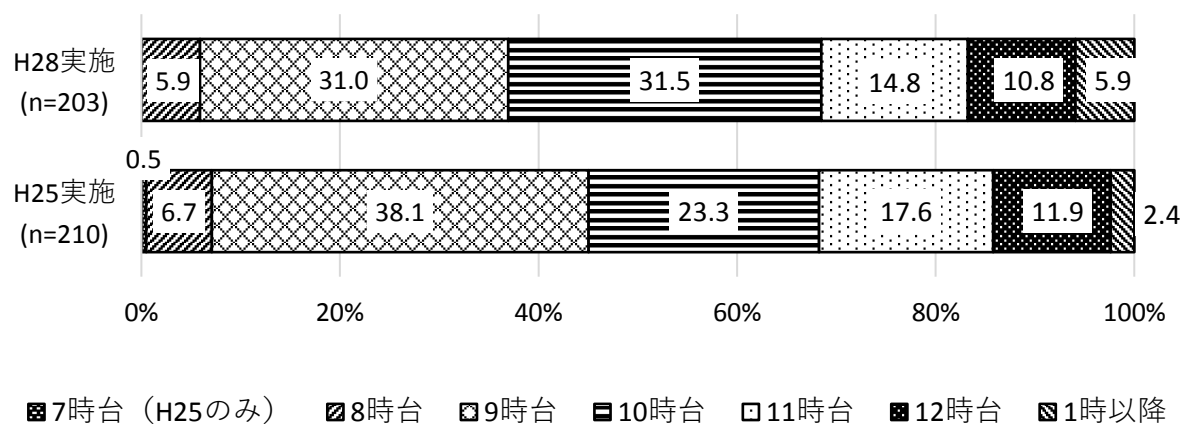


図3-11-2

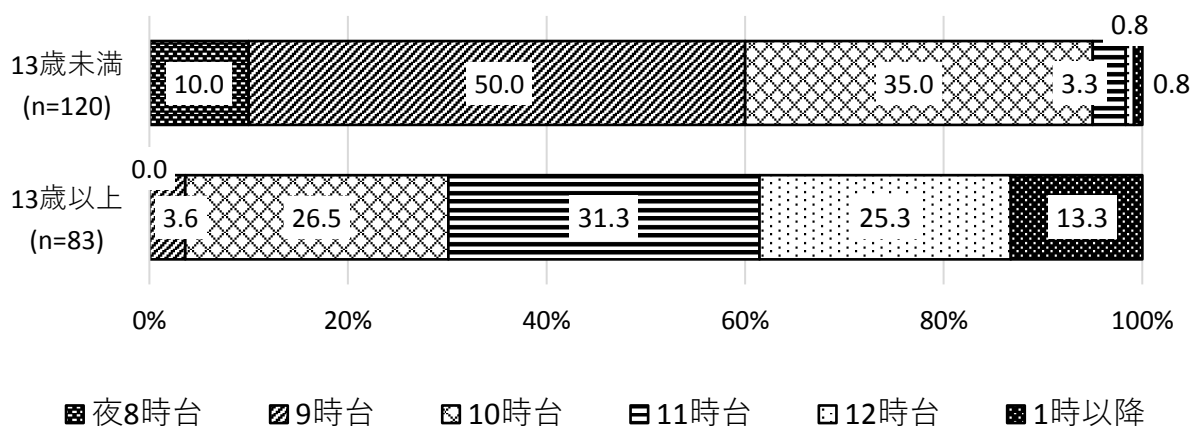
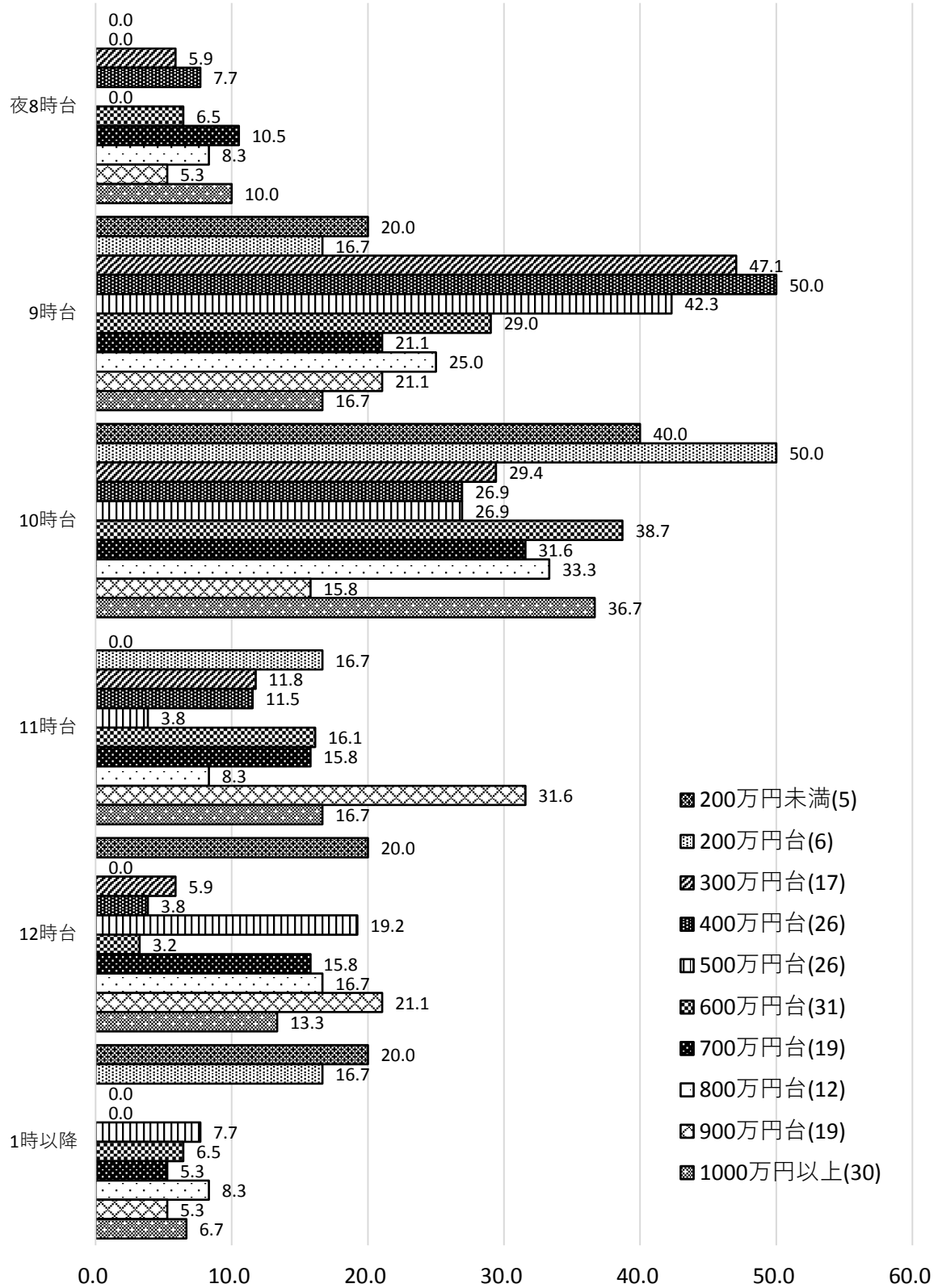


図3-11-3



起床時刻

起床時刻は、ほぼ8割が6時台までに起床している点は、前回調査結果と変化ない。年齢区分では、13歳未満では8割以上が6時台までに起床しているが、13歳以上ではその割合は7割に減少する。また、7時台の起床も4分の1ほどいる。世帯所得階層別では、6時台の起床の割合が200万円未満、500万円台、900万円台で5割台から4割台と低いのに対して、200万円台では100%となっている。他の項目と同様に、階層ごとのバラツキが大きい。

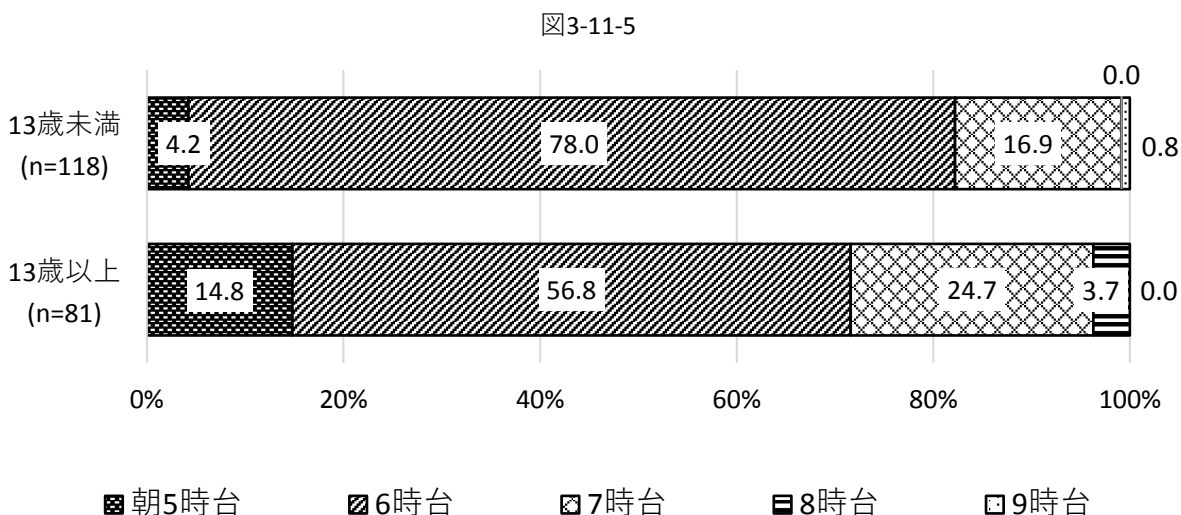
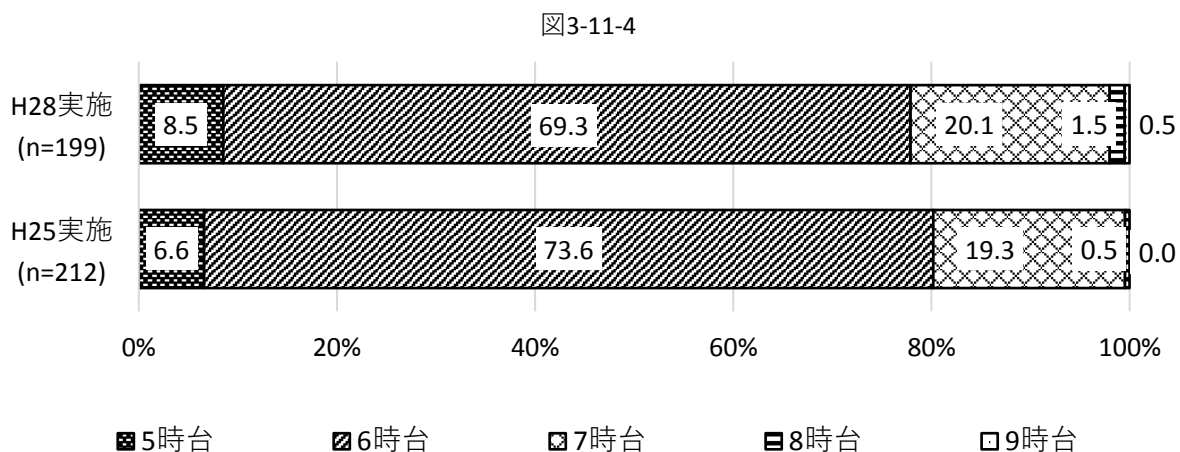
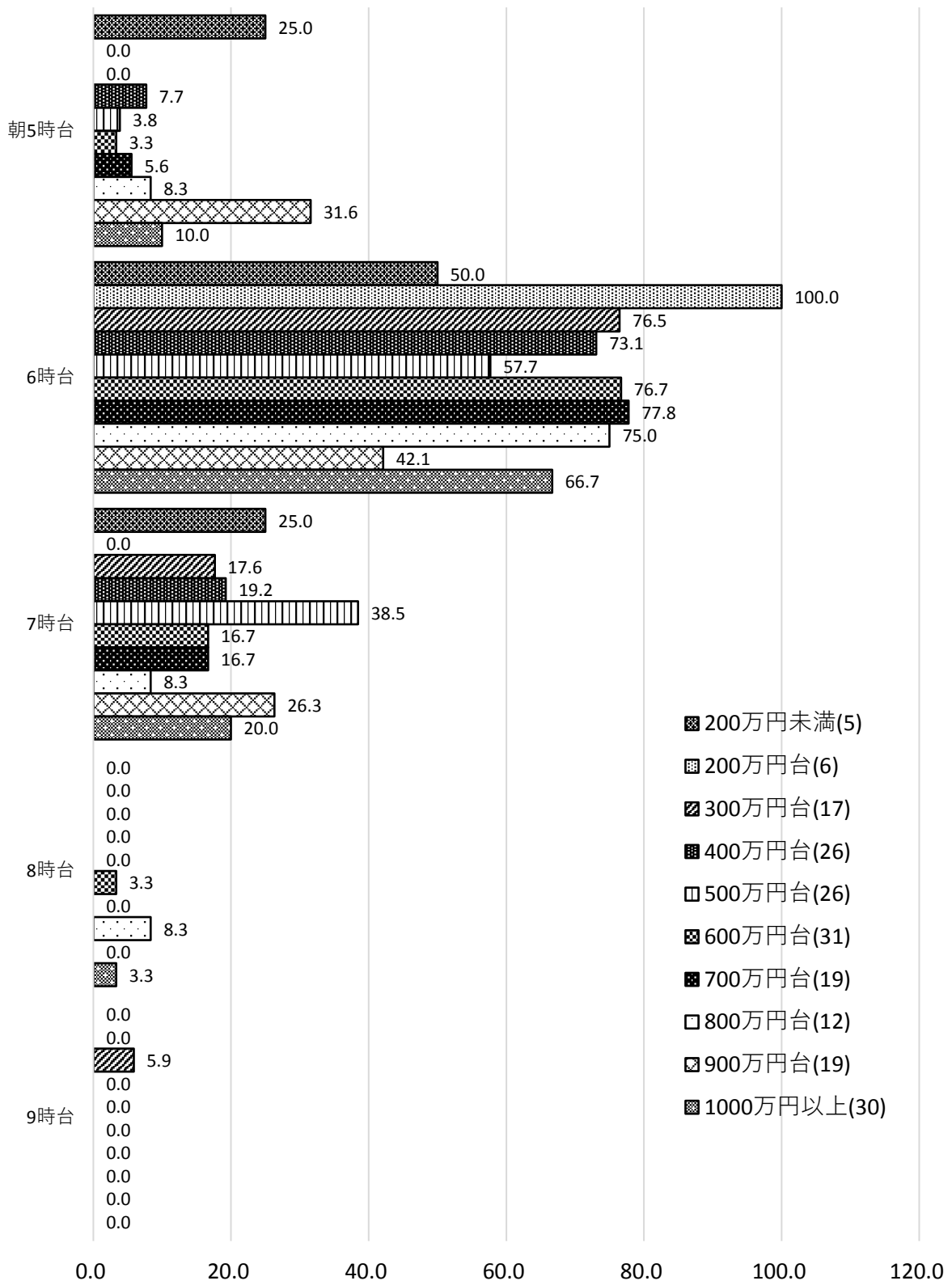


図3-11-6



問52 あなたはそのお子様に対して、食育に関する取組みをされていますか？（いくつでも○）

バランスの良い食事をする、次いで食べ方や作法を教えることが、最も一般的に行われている。年齢別にみると、13歳未満で食べ方や作法を教える割合が高くなっている点は、納得できる結果といえる。世帯所得階層別では、「バランスの良い食事」が200万円未満で100%であるのに対して、200万円台で6割を下回っており、それ以上では、800万円台まで次第にその割合が上昇する傾向がある。

図3-12-1

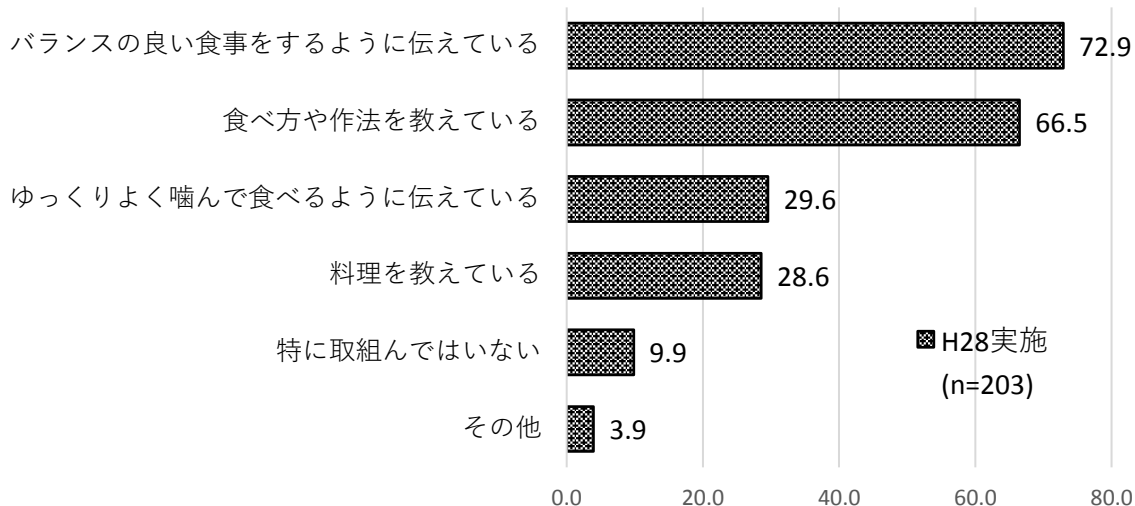


図3-12-2

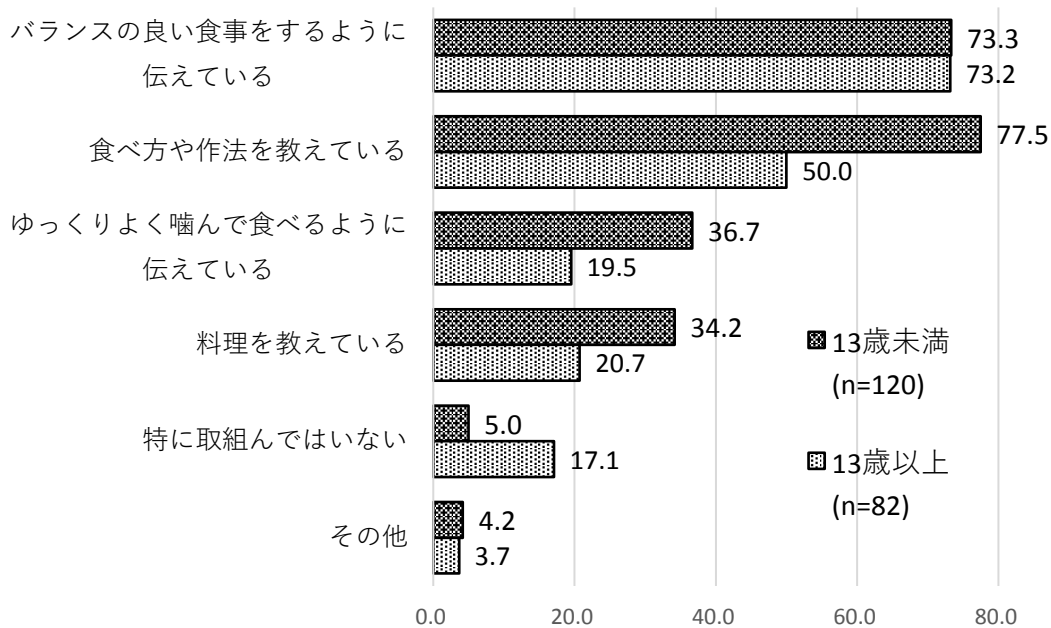
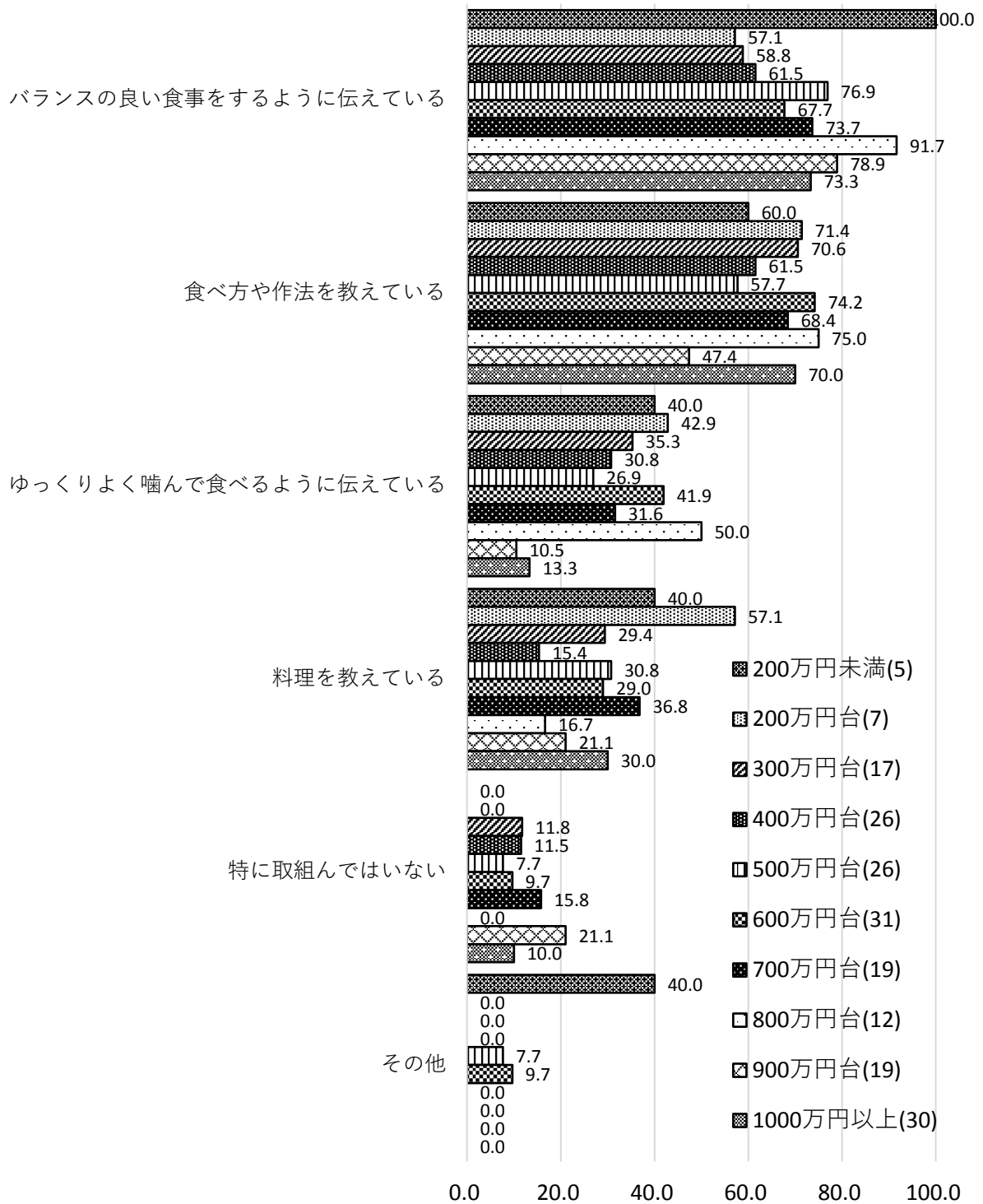


図3-12-3



第3章 質問と回答（単純集計）

問1 あなたは現在、毎日の食事を「おいしい」と感じていますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
感じている	830	64.5	36.2	41.0
やや感じている	325	25.3	59.6	54.7
どちらともいえない	92	7.1	—	—
あまり感じない	30	2.3	2.8	2.6
感じない	5	0.4	0.4	0.1
無回答	5	0.4	1.0	1.5
計	1287	100.0	100.0	100.0

問2 現在の食生活に満足していますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
満足している	442	34.3	24.8	—
まあまあ満足している	650	50.5	64.9	—
どちらともいえない	131	10.2	—	—
やや不満	49	3.8	8.0	—
不満	12	0.9	1.2	—
無回答	3	0.2	1.2	—
計	1287	100.0	100.0	—

問3 食事は楽しいですか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
楽しい	602	46.8	42.4	—
まあまあ楽しい	523	40.6	51.6	—
どちらともいえない	121	9.4	—	—
あまり楽しくない	29	2.3	4.0	—
楽しくない	8	0.6	0.9	—
無回答	4	0.3	1.1	—
計	1287	100.0	100.0	—

問4 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
言葉も意味も知っていた	723	56.2	45.6	—
聞いたことはあったが、意味は知らなかった	459	35.7	31.6	—
あまり知らない	—	—	14.1	—
言葉も意味も知らなかった	93	7.2	4.8	—
無回答	12	0.9	3.9	—
計	1287	100.0	100.0	—

問5 あなたは「食育」という言葉を最初にどちらで知りましたか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
家庭	43	3.6	—	—
友人、知人	45	3.7	—	—
自分の通っていた学校	65	5.4	—	—
子供の保育所（園）、幼稚園、学校	74	6.2	—	—
松戸市の広報やイベント	54	4.5	—	—
テレビ、ラジオ、新聞、書籍やインターネット等	760	63.2	—	—
わからない、覚えていない	105	8.7	—	—
その他	46	3.8	—	—
無回答	10	0.8	—	—
計	1202	100.0	—	—

分母=1202、回答権なし 20 件を含む

問6 あなたは「食育」に関心がありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
ある	441	34.3	31.3	31.6
ややある	524	40.7	52.3	51.4
どちらともいえない	216	16.8	—	—
あまりない	73	5.7	11.6	8.4
ない	19	1.5	2.7	2.3
わからない	—	—	1.2	2.8
無回答	14	1.1	1.0	3.4
計	1287	100.0	100.0	100.0

問7 以下の食育活動のなかで、あなたや家庭がすでに取り組んでいる（いた）ものはありますか？（該当するものにいくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
食生活の改善	669	17.1	—	—
食事の作法	478	12.2	—	—
農林漁業体験	99	2.5	—	—
食文化や伝統の継承	274	7.0	—	—
食を通じたコミュニケーション	370	9.5	—	—
食べ物の無駄の削減	777	19.9	—	—
自然や生産者への感謝	562	14.4	—	—
安全な食を選べる力の養成	527	13.5	—	—
その他	24	0.6	—	—
とくにはない	115	2.9	—	—
無回答	8	0.2	—	—
計	3903	100.0	—	—

問8 同様に、今後、家庭や松戸市、学校が進めていくべきだと思う食育活動はありますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
食生活の改善	479	8.5	—	—
食事の作法	575	10.3	—	—
農林漁業体験	327	5.8	—	—
食文化や伝統の継承	501	8.9	—	—
食を通じたコミュニケーション	399	7.1	—	—
食べ物の無駄の削減	778	13.9	—	—
自然や生産者への感謝	705	12.6	—	—
安全な食を選べる力の養成	640	11.4	—	—
学校の授業での子どもへの食育	552	9.8	—	—
学校給食での子どもへの食育	591	10.5	—	—
その他	19	0.3	—	—
とくにはない	33	0.6	—	—
無回答	10	0.2	—	—
計	5609	100.0	—	—

問9 以下の食育に関するボランティアのなかで、あなたが参加したことのある活動はありますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動	52	3.6	—	—
農林漁業等に関する体験活動	79	5.4	—	—
食生活の改善に関する活動	65	4.4	—	—
生活習慣病予防などのための料理教室	141	9.6	—	—
食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	62	4.2	—	—
食品の安全や表示に関する活動	55	3.8	—	—
食育に関する国際交流活動	21	1.4	—	—
その他	8	0.5	—	—
とくにはない	911	62.3	—	—
無回答	68	4.7	—	—
計	1462	100.0	—	—

問10 問9の食育ボランティアで参加してみたいものはありますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動	293	14.1	—	—
農林漁業等に関する体験活動	159	7.7	—	—
食生活の改善に関する活動	201	9.7	—	—
生活習慣病予防などのための料理教室	433	20.9	—	—
食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	169	8.2	—	—
食品の安全や表示に関する活動	236	11.4	—	—
食育に関する国際交流活動	110	5.3	—	—
その他	8	0.4	—	—
とくにはない	399	19.3	—	—
無回答	63	3.0	—	—
計	2071	100.0	—	—

問11 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
ほぼ毎日	1093	84.9	85.5	81.8
週4～5日	56	4.4	2.4	3.8
週2～3日	46	3.6	5.9	6.1
ほとんど食べない	76	5.9	5.6	7.9
無回答	16	1.2	0.5	0.4
計	1287	100.0	100.0	100.0

問 12 あなたの朝食は主にどのようなメニューですか？（以下のなかから該当するものにいくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
主食（ご飯、パン、麺など）	1161	32.2	—	—
主菜（魚、肉、卵、大豆料理など）	644	17.9	—	—
副菜（野菜、海藻、具の入った汁物など）	609	16.9	—	—
飲み物	614	17.0	—	—
栄養ドリンク、エナジーゼリーなど	39	1.1	—	—
菓子、果物、乳製品など	495	13.7	—	—
その他	11	0.3	—	—
無回答	29	0.8	—	—
計	3602	100.0	—	—

問 13 朝食をとらない（とれない）ときの理由は何ですか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
食欲がない	336	23.4	—	—
ダイエット	51	3.6	—	—
準備や後片付けが面倒	29	2.0	—	—
朝食より優先したいことがある	238	16.6	—	—
お金の節約	20	1.4	—	—
朝食をとる習慣がない	46	3.2	—	—
その他	126	8.8	—	—
無回答	587	41.0	—	—
計	1433	100.0	—	—

問14 問13で「朝食をとる習慣がない」を選んだ方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
小学校に入る前から	6	7.0	—	—
小学校に入った頃から	2	2.3	—	—
中学校に入った頃から	5	5.8	—	—
高校に入った頃から	7	8.1	—	—
専門学校や大学に入った頃から	9	10.5	—	—
就職した頃から	21	24.4	—	—
結婚した頃から	3	3.5	—	—
出産した頃から	3	3.5	—	—
子供が独立した頃から	5	5.8	—	—
自分や配偶者が仕事をリタイヤした頃から	5	5.8	—	—
その他	17	19.8	—	—
無回答	3	3.5	—	—
計	86	100.0	—	—

分母=86、回答権なし40件を含む

問15 あなたは主食・主菜・副菜を組み合わせるように配慮した食事をとっていますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
1日3食とも配慮している	261	20.3	—	—
1日2食は配慮している	501	38.9	—	—
1日1食は配慮している	400	31.1	—	—
あまり配慮していない	90	7.0	—	—
まったく配慮していない	24	1.9	—	—
無回答	11	0.9	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 16 あなたは食品の安全に関心がありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
ある	727	56.5	—	—
まあまあある	473	36.8	—	—
どちらともいえない	60	4.7	—	—
あまりない	12	0.9	—	—
ない	2	0.2	—	—
無回答	13	1.0	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 17 あなたが安全な食生活を送るために普段から意識していることはありますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
消費（味）期限や製造日の確認	1068	18.6	—	—
アレルギー表示の確認	147	2.6	—	—
産地の確認	802	13.9	—	—
保存方法や使用方法の確認	699	12.1	—	—
においや見た目での確認	712	12.4	—	—
包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒	702	12.2	—	—
食材や調理品の室温放置をしない	668	11.6	—	—
肉の十分な加熱	799	13.9	—	—
健康増進機能成分の摂取	115	2.0	—	—
その他	29	0.5	—	—
無回答	14	0.2	—	—
計	5755	100.0	—	—

問 18 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
している	335	26.0	28.2	—
ややしている	390	30.3	35.4	—
どちらともいえない	168	13.1	13.9	—
あまりしていない	267	20.7	17.8	—
していない	109	8.5	4.2	—
無回答	18	1.4	0.5	—
計	1287	100.0	100.0	—

問 19 あなたは地元産 (松戸産を含む千葉県産) の食材を購入していますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
積極的に購入するようにしている	204	15.9	13.2	14.3
目につけば購入するようにしている	428	33.3	45.2	42.3
高くなければ購入するようにしている	363	28.2	13.8	15.8
気にして購入していない	276	21.4	26.4	26.9
その他	—	—	0.6	—
無回答	16	1.2	0.8	0.6
計	1287	100.0	100.0	100.0

問 20 以下の行事食を伴う伝統的な行事のうち、あなたのご自宅で行っているものはありますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
正月（1月：おせち、お雑煮、七草粥など）	1150	16.3	15.6	—
節分（2月：豆、恵方巻きなど）	817	11.6	12.1	—
桃の節句（3月：ひな菓子、五目寿司など）	553	7.8	8.4	—
春分の日（3月：ぼた餅など）	278	3.9	4.4	—
端午の節句（5月：ちまき、かしわ餅など）	514	7.3	7.3	—
七夕（7月：そうめんなど）	183	2.6	1.8	—
土用（7月：うなぎ、餅など）	639	9.1	9.0	—
お盆（8月：団子など）	290	4.1	4.4	—
十五夜（9月：月見団子など）	210	3.0	3.1	—
秋分の日（9月：おはぎなど）	405	5.7	5.7	—
七五三（11月：千歳飴など）	154	2.2	3.0	—
冬至（12月：かぼちゃなど）	693	9.8	9.3	—
大晦日（12月：そばなど）	1093	15.5	15.1	—
その他	29	0.4	0.6	—
無回答	45	0.6	0.0	—
計	7053	100.0	100.0	—

問 21 「だし」を素材（昆布やかつお節など）からとっていますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
毎回とっている	149	11.6	—	—
時々とっている	305	23.7	—	—
市販のだしを使っている	795	61.8	—	—
とっていないし、市販のだしも使っていない	22	1.7	—	—
無回答	16	1.2	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 22 生活習慣病の予防や改善のために適正体重の維持や減塩食などを実践していますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
実践している	249	19.3	—	—
まあまあ実践している	629	48.9	—	—
あまり実践していない	299	23.2	—	—
実践していない	89	6.9	—	—
わからない	10	0.8	—	—
無回答	11	0.9	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 23 食品ロス削減のために意識して適量の食材を購入、調理、外食時には注文していますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
気を付けている	395	30.7	—	—
まあまあ気を付けている	631	49.0	—	—
どちらともいえない	142	11.0	—	—
あまり気をつけていない	73	5.7	—	—
気をつけていない	29	2.3	—	—
無回答	17	1.3	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 24 どれぐらいの頻度で家族や友人と一緒に朝食や夕食をとっていますか？（それぞれ1つに○）

朝食

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
ほとんど毎日	637	49.5	—	—
週に4~5日	77	6.0	—	—
週に2~3日	144	11.2	—	—
週に1日程度	92	7.1	—	—
ほとんどない	309	24.0	—	—
無回答	28	2.2	—	—
計	1287	100.0	—	—

夕食

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
ほとんど毎日	817	63.5	—	—
週に4~5日	96	7.5	—	—
週に2~3日	126	9.8	—	—
週に1日程度	72	5.6	—	—
ほとんどない	114	8.9	—	—
無回答	62	4.8	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 25 あなたが一人で朝食や夕食をとる場合の理由はなんですか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
本人以外の時間が合わないため	570	42.0	—	—
本人の時間が合わないため	309	22.8	—	—
一緒に食べる習慣がないため	29	2.1	—	—
その他	161	11.9	—	—
無回答	287	21.2	—	—
計	1356	100.0	—	—

問 26 あなたは野菜や果物などの栽培（趣味を含む）をしていますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
自宅の庭で栽培している	225	16.7	49.4	56.2
ベランダや屋内でプランターなどで栽培している	186	13.8	30.5	35.6
自家所有の畑で栽培している	28	2.1	7.4	4.9
市民農園や知り合いの畑でしている	47	3.5	9.9	7.9
していない	814	60.5	—	—
その他	24	1.8	2.0	45.3
無回答	22	1.6	0.7	0.4
計	1346	100.0	100.0	100.0

問 27 子ども達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
学校の方	32	2.5	2.3	2.6
やや学校の方	57	4.4	3.8	2.1
同じくらい	480	37.3	37.3	30.9
やや家庭の方	258	20.0	24.9	23.9
家庭の方	413	32.1	28.9	37.6
無回答	47	3.7	2.8	2.8
計	1287	100.0	100.0	100.0

問 28 あなたは地域の活動（町内会など）に参加していますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
積極的に参加	72	5.6	4.6	2.3
まあまあ積極的	256	19.9	18.0	10.9
やや消極的	371	28.8	34.4	27.7
参加していない	570	44.3	42.8	57.2
無回答	18	1.4	0.2	1.9
計	1287	100.0	100.0	100.0

問 29 前回、いつ歯科治療及び歯の健康診査を受けましたか？

歯科診療	およそ	1年	0ヵ月	(平成28年実施 平均)
	およそ	1年	10ヵ月	(平成25年実施 平均)
	およそ	2年	10ヵ月	(平成22年実施 平均)
歯の健康診査	およそ		10ヵ月	(平成28年実施 平均)
	およそ	1年	2ヵ月	(平成25年実施 平均)

問 30 かかりつけの歯医者さんはいますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
はい	1006	78.2	78.3	75.0
いいえ	245	19.0	20.5	23.3
無回答	36	2.8	1.3	1.7
計	1287	100.0	100.1	100.0

問 31 歯磨きは何回しますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
1日1回	156	12.1	12.9	14.3
1日2回	684	53.1	54.6	53.5
1日3回以上	412	32.0	29.4	30.7
時々みがく（みがかない日もある）	15	1.2	0.7	—
みがかない	4	0.3	0.2	—
無回答	16	1.2	2.2	1.5
計	1287	100.0	100.0	100.0

問 32 あなたの歯の数は現在何本ですか？

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
0-9	52	4.0	3.8	2.8
10-19	81	6.3	4.7	3.3
20-27	343	26.7	25.8	22.5
28 本以上	709	55.1	65.7	71.4
無回答	102	7.9	—	—
	1287	100.0	100.0	100.0

平均（本）

25.9	26.7	27.1
------	------	------

問 33 食べ物、飲み物でむせることがありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
よくある	21	1.6	—	—
時々ある	342	26.6	—	—
あまりない	609	47.3	—	—
全くない	304	23.6	—	—
無回答	11	0.9	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 34 食べ物がのどに詰まり窒息しそうになったことがありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
はい	113	8.8	—	—
いいえ	1161	90.2	—	—
無回答	13	1.0	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 35 噛ミング30（カミングサンマル）という言葉や意味を知っていますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
言葉も意味も知っている	354	27.5	—	—
言葉は知っていたが、意味は知らなかった	84	6.5	—	—
言葉も意味も知らなかった	831	64.6	—	—
無回答	18	1.4	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 36 あなたの現在のお口の健康状態及び全身の健康状態はどうですか？（どちらも1つに○）

お口の健康状態

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
10（よい）	152	11.8	23.8	15.5
9	103	8.0	—	—
8	217	16.9	—	—
7	186	14.5	49.0	55.8
6	160	12.4	—	—
5	221	17.2	—	—
4	94	7.3	21.6	23.9
3	81	6.3	—	—
2	14	1.1	—	—
1（よくない）	36	2.8	3.3	3.1
無回答	23	1.8	2.3	1.7
計	1287	100.0	100.0	100.0

全身の健康状態

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
10 (よい)	161	12.5	22.9	—
9	131	10.2	—	—
8	258	20.0	—	—
7	204	15.9	56.4	—
6	143	11.1	—	—
5	195	15.2	—	—
4	83	6.4	13.9	—
3	53	4.1	—	—
2	13	1.0	—	—
1 (よくない)	20	1.6	1.6	—
無回答	26	2.0	5.2	—
計	1287	100.0	100.0	—

問 37 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
10 (噛んでいる)	93	7.2	13.8	—
9	51	4.0	—	—
8	155	12.0	—	—
7	175	13.6	54.3	—
6	188	14.6	—	—
5	280	21.8	—	—
4	163	12.7	31.1	—
3	113	8.8	—	—
2	26	2.0	—	—
1 (噛んでいない)	29	2.3	0.8	—
無回答	14	1.1	0.0	—
計	1287	100.0	100.0	—

問 38 噛み方、味わい方といった食べ方に興味がありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
関心がある	257	20.0	—	—
どちらかといえば関心がある	633	49.2	—	—
どちらかといえば関心がない	299	23.2	—	—
関心がない	86	6.7	—	—
無回答	12	0.9	—	—
計	1287	100.0	—	—

問 39 ゆっくりよく噛んで食べることを重要だと思えますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
とても重要だと思う	507	39.4	—	—
重要だと思う	734	57.0	—	—
あまり重要だと思わない	36	2.8	—	—
全く重要だと思わない	1	0.1	—	—
無回答	9	0.7	—	—
計	1287	100.0	—	—

問40 あなたはご自身の歯において、噛みにくさを感じる食品はありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
概ね全ての食品において、容易に噛み切ることができる	778	60.5	—	—
概ね全ての食品において、困難さを伴うが噛み切ることができる	274	21.3	—	—
煎餅などの堅い食品は、噛み切ることができない	99	7.7	—	—
やわらかい、またはぬめり気のある食品は、噛み切ることができない	23	1.8	—	—
概ね全ての食品において、噛み切ることができない	9	0.7	—	—
自身の歯ではできないが、義歯では噛み切ることができる	63	4.9	—	—
その他	7	0.5	—	—
無回答	34	2.6	—	—
計	1287	100.0	—	—

属1 あなたの性別は次のいずれに該当しますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
女性	1011	78.6	80.6	80.8
男性	266	20.7	19.1	19.1
無回答	10	0.8	0.3	0.1
計	1287	100.0	100.0	100.0

属2 あなたの年齢は次のいずれに該当しますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
20 歳代	89	6.9	9.6	12.9
30 歳代	133	10.3	16.6	22.8
40 歳代	198	15.4	20.7	19.3
50 歳代	258	20.0	19.6	22.6
60 歳代前半	128	9.9	17.8	22.3
60 歳代後半	163	12.7	—	—
70 歳代前半	188	14.6	15.6	—
75 歳以上	122	9.5	—	—
無回答	8	0.6	0.2	—
計	1287	100.0	100.0	100.0

属3 あなたの出身地は松戸市ですか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
はい	247	19.2	18.6	—
いいえ（千葉県内）	155	12.0	11.5	—
いいえ（千葉県外）	873	67.8	69.7	—
無回答	12	0.9	0.3	—
計	1287	100.0	100.0	—

属4 あなたの主な職業は次のいずれに該当しますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
会社員	225	17.5	19.5	23.7
公務員・団体職員	43	3.3	4.0	3.6
自営業(農業以外)	51	4.0	4.3	4.9
農業	4	0.3	0.5	0.3
パート・アルバイト	282	21.9	23.5	21.9
専業主婦(主夫)	445	34.6	33.5	32.7
学生	17	1.3	1.7	1.6
無職	189	14.7	9.3	8.4
その他	19	1.5	2.9	2.4
無回答	12	0.9	0.7	0.4
計	1287	100.0	100.0	100.0

属5 あなたを除いた同居家族の人数は何人ですか？このうち18歳以下、70歳以上の家族は何人ですか？

同居人数

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
0人	67	5.2	9.1	—
1人	400	31.1	25.5	—
2人	310	24.1	24.4	—
3人	266	20.7	26.4	—
4人	82	6.4	8.6	—
5人	31	2.4	2.7	—
6人	15	1.2	1.2	—
7人	3	0.2	0.5	—
8人	2	0.2	0.2	—
9人	0	0.0	0.0	—
10人	1	0.1	0.0	—
11人	0	0.0	0.0	—
12人	0	0.0	0.0	—
13人	0	0.0	0.0	—
14人	0	0.0	0.1	—
無回答	111	8.6	1.4	—
計	1288	100.0	100.0	—

同居人数 (うち 18 歳以下)

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
0 人	323	25.1	66.9	—
1 人	153	11.9	14.5	—
2 人	131	10.2	14.8	—
3 人	29	2.3	2.5	—
4 人	3	0.2	0.3	—
5 人	1	0.1	0.1	—
6 人	0	0.0	0.1	—
無回答	647	50.3	0.8	—
計	1287	100.0	100.0	—

同居人数 (うち 70 歳以上)

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
0 人	227	17.6	85.1	—
1 人	273	21.2	11.9	—
2 人	53	4.1	1.7	—
3 人	3	0.2	0.2	—
4 人	1	0.1	0.0	—
無回答	730	56.7	1.1	—
計	1287	100.0	100.0	—

属6 あなたの世帯全体の所得（年金を含む手取り）は以下のどれに該当しますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
200 万円未満	130	10.1	5.9	—
200 万円台	145	11.3	9.2	—
300 万円台	175	13.6	15.4	—
400 万円台	151	11.7	12.8	—
500 万円台	142	11.0	13.1	—
600 万円台	109	8.5	9.9	—
700 万円台	93	7.2	7.5	—
800 万円台	60	4.7	7.8	—
900 万円台	65	5.1	4.6	—
1,000 万円以上	128	9.9	9.6	—
無回答	89	6.9	4.2	—
計	1287	100.0	100.0	—

子属1 そのお子様の性別を教えてください。（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
女子	106	51.5	48.4	46.6
男子	100	48.5	51.6	53.4
無回答	0	0.0	0.0	0.0
計	206	100.0	100.0	100.0

子属2 そのお子様の年齢を教えてください。（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
5 歳	3	1.5	—	—
6 歳	20	9.7	—	—
7 歳	22	10.7	—	—
8 歳	16	7.8	—	—
9 歳	12	5.8	—	—
10 歳	24	11.7	—	—
11 歳	13	6.3	—	—
12 歳	12	5.8	—	—
13 歳	16	7.8	—	—
14 歳	11	5.3	—	—
15 歳	19	9.2	—	—
16 歳	11	5.3	—	—
17 歳	18	8.7	—	—
18 歳	8	3.9	—	—
無回答	1	0.5	—	—
計	206	100.0	—	—

	H28 実施		H25 実施	
平均（歳）全体	11.3	—	11.3	—
女子	11.4	—	11.4	—
男子	11.3	—	11.3	—

子属3 そのお子様の体格について教えてください。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
肥満	5	2.4	0.9	—
やや肥満	17	8.3	8.4	—
ちょうどいい	107	51.9	52.8	—
やや痩身	62	30.1	30.4	—
痩身	13	6.3	7.5	—
無回答	2	1.0	0.0	—
計	206	100.0	100.0	—

問41 そのお子様の歯磨きの頻度を教えてください。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
1日1回	45	21.8	—	—
1日2回	135	65.5	—	—
1日3回以上	21	10.2	—	—
時々みがく(みがかない日もある)	5	2.4	—	—
みがかない	0	0.0	—	—
無回答	0	0.0	—	—
計	206	100.0	—	—

問42 そのお子様の歯科検診の頻度(学校での検診を除く)を教えてください。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
年に数回	85	41.3	36.9	29.6
年に1回程度	45	21.8	22.4	16.9
虫歯以外では特に行かない	76	36.9	40.2	49.2
無回答	0	0.0	0.5	4.2
計	206	100.0	100.0	100.0

問 43 そのお子様は朝食をどの程度の頻度でとっていますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
毎日	187	90.8	—	—
週 4~5 日	13	6.3	—	—
週 2~3 日	3	1.5	—	—
ほとんど食べない	2	1.0	—	—
無回答	1	0.5	—	—
計	206	100.0	—	—

問 44 そのお子様がとる朝食は主にどのようなメニューですか？ (いくつでも○)

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
主食 (ご飯、パン、麺など)	202	31.6	—	—
主菜 (魚、肉、卵、大豆料理など)	115	18.0	—	—
副菜 (野菜、海藻、具の入った汁物など)	87	13.6	—	—
飲み物	134	20.9	—	—
栄養ドリンク、エナジーゼリー	5	0.8	—	—
菓子、果物、乳製品など	96	15.0	—	—
その他	0	0.0	—	—
無回答	1	0.2	—	—
計	640	100.0	—	—

問 45 そのお子様が朝食をとらないときは、どのような理由があると思いますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
夜食や間食のせいで食欲がない	15	7.3	—	—
ダイエット	1	0.5	—	—
起きる時間が遅く時間がない	80	38.8	—	—
朝食をとる習慣がない	0	0.0	—	—
家族と顔を合わせたくない	0	0.0	—	—
その他	27	13.1	—	—
無回答	83	40.3	—	—
計	206	100.0	—	—

問 46 問 45 で「朝食をとる習慣がない」を選んだ方に伺います。お子様が朝食をとらなくなったのは、いつ頃からですか？（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H25 実施	H22 実施
幼少期から	2	20.0	—	—
小学校に入学した頃	1	10.0	—	—
中学校に入学した頃	4	40.0	—	—
高校に入学した頃	3	30.0	—	—
わからない、覚えていない	0	0.0	—	—
無回答	0	0.0	—	—
計	10	100.0	—	—

分母=10（全て回答権なし）問 45 で「朝食をとる習慣がない」の回答数 0

問47 お子様はどれぐらいの頻度で家族と一緒に朝食や夕食をとっていますか？（それぞれ1つに○）

朝食

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
ほとんど毎日	140	68.0	—	—
週に4~5日	18	8.7	—	—
週に2~3日	21	10.2	—	—
週に1日程度	9	4.4	—	—
ほとんどない	16	7.8	—	—
無回答	2	1.0	—	—
計	206	100.0	—	—

夕食

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
ほとんど毎日	163	79.1	—	—
週に4~5日	17	8.3	—	—
週に2~3日	13	6.3	—	—
週に1日程度	4	1.9	—	—
ほとんどない	3	1.5	—	—
無回答	6	2.9	—	—
計	206	100.0	—	—

問 48 そのお子様が一人で朝食や夕食をとる理由はなんだと思いますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
家族と本人の出勤時間や帰宅時間があわないため	122	59.2	—	—
一緒に食べる習慣がないため	3	1.5	—	—
家族と顔を合わせたくないため	1	0.5	—	—
その他	7	3.4	—	—
無回答	73	35.4	—	—
計	206	100.0	—	—

問 49 そのお子様の現在の食生活に問題があると思いますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
問題はない	41	19.9	20.1	27.0
あまり問題はない	69	33.5	44.9	47.1
どちらともいえない	26	12.6	14.0	11.1
やや問題がある	56	27.2	17.8	10.6
問題がある	8	3.9	2.8	3.7
無回答	6	2.9	0.5	0.5
計	206	100.0	100.0	100.0

問 50 問 49 で「やや問題がある」「問題がある」を選んだ方に伺います。特にどのような点に問題があると思いますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
食が細い	15	10.4	13.6	14.8
好き嫌いが多い	41	28.5	52.3	55.6
間食が多い	20	13.9	9.1	11.1
あまり噛んでいない	13	9.0	6.8	3.7
家族と一緒に食事をとっていない	4	2.8	6.8	11.1
食べ過ぎである	11	7.6	—	—
食事の時間が不規則である	4	2.8	—	—
栄養バランスが偏っている	31	21.5	—	—
その他	4	2.8	11.4	—
無回答	1	0.7	0.0	3.7
計	144	100.0	100.0	100.0

分母=74、回答権なし 10 件

問 51 そのお子様は何時頃に寝て、何時頃に起きていますか？（それぞれ1つに○）

就寝時間

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
夜 7 時台	—	—	0.5	—
8 時台	12	5.8	6.6	—
9 時台	63	30.6	37.5	—
10 時台	64	31.1	22.9	—
11 時台	30	14.6	17.2	—
12 時台	22	10.7	11.7	—
1 時以降	12	5.8	2.3	—
無回答	3	1.5	1.4	—
計	206	100.0	100.1	—

起床時間

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
朝 5 時台	17	8.3	6.6	—
6 時台	138	67.0	72.8	—
7 時台	40	19.4	19.2	—
8 時台	3	1.5	0.5	—
9 時台	1	0.5	0.0	—
無回答	7	3.4	0.9	—
計	206	100.0	100.0	—

問 52 あなたはそのお子様に対して、食育に関する取組みをされていますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H25 実施	H22 実施
料理を教えている	58	13.4	—	—
食べ方や作法を教えている	135	31.3	—	—
ゆっくりよく噛んで食べるように伝えている	60	13.9	—	—
バランスの良い食事をするように伝えている	148	34.3	—	—
特に取組んではない	20	4.6	—	—
その他	8	1.9	—	—
無回答	3	0.7	—	—
計	432	100.0	—	—

第 4 章 自由記述

1. このようなアンケートがあるのはいいと思った。更に食育について進めてほしいと思います。
2. 学校行事で様々な取り組みを行っていらっしゃる、大変だと思います。しかし食の中心は家庭であると思いますので、子供たちでなく両親へも大切さを伝えるべきかなと思うことがあります。既に自分の意志を持った大人へ、改めて伝えることは労力がかかるかと思いますが、毎日の食事、その基本の確立は家庭だと考えますので、大人を説得することが重要だと思います。方法の思案は難しいとは思いますが、今後の為よろしくお願い致します。
3. ありがとうございます。
4. 若いうちにちゃんとした料理を食べさせることが重要。(おいしい、おいしくないの区分ではなく、正しい作り方の下で作られた料理)
5. 私は料理が大好きです。子供が病気を持っており(糖尿病他)です。なので食生活には、毎日バランス、カロリー、糖分、塩分他いろいろ気を付けて子供が食べやすいよう調理方法やetc気を付けています。
6. 集まりがあれば参加したいと思います。
7. 乳幼児でも食育ができるような講座等があれば助かります。
8. まだあまり考えないで食べている所も多いですが少しずつ自然の安全な食品をと考えてきた。人間にとって食べることはとても大切だと思いますので。自分の歯で!!
9. 食品の買い出しから調理、後かたづけに至るまでほとんど女性が担っているが、男性にも関心を持ってほしい。
10. 今、日本で無駄に処分されている食材の事実と、その反面、物が食べられなくて苦しんでいる人々が存在する事を、子供達に伝えて欲しいです。
11. 親も子供もゆとりがない。(お金も時間も)社会全体で働き方を考えてほしい。職場にいる時間が労働でなく通勤時間も考えないと家庭生活の充実を図れないと思います。
12. 給食を充実させると家庭での食事が貧弱でもいいと考える方が出てくると思います。あくまでも衣食住の基本は家庭で育てるべきものだと思っています。親世代を巻き込んだ学校での教育が必要だと感じています。
13. 食事というのは成人でもプライベートの要素が大きく貧富の差や習慣、知識に差が大きいので一つの基準で枠にはめようとするのが難しいと思います。本当はこどもへの食育も大切ですが耳が痛いであろう保護者(主に母)も同席で一緒に考えるべき問題だと思います。マナーの知識も乏しい子が多く、だらしのない大人の食べ方にもがっかりします。(左手がテーブルの下に入っている等)
14. 家庭でするものと思っておりましたが、無理なのでしょうね。最近。

15. 食育と言いつつ高学年になってからは、調理だけで育てる(食材)や相手においしく食べてもらうよろこびなどを知る楽しさをもっと知ってほしい。これだけ食育と言われる時代、逆にマナーの悪い大人も多いと思います。スーパーではラップに指をつっこむ子供を注意しないとか試食をガバガバ食べたり、食育というより道徳心がなくなっている心配を感じます。道徳心=日本の心の様な気がしたのでさびしいです。学校では食育を通して全てのをいつくしむ(愛)道徳の時間をもっと増やしてほしいと思っています。ただ食べる、食べないではなく、家庭で会話をし楽しい時間を過ごせたらいいなと思います。その楽しい時間が増えたら、食に対する感謝、作ってくれる方々に感謝と本当の食育につながっていく様に思います。我が家ではなるべく家族そろって食べる様心がけております。だって笑って食べるとおいしいですから。
16. 子供が大きくなって感じる事。小さい時から親はめんどくさがらずなるべく多くの食品を子どもに食べさせることの大切さを身にしみています。好き嫌が多いことは人生、生きることの半分を損しているように感じるからです。今の子どもたちは恵まれた時代に生き困ることはほとんどありませんが、食べられて困ることもありません。食べることに興味のない子もたくさんいます。農林漁が衰退し、日本から日本食がなくなる日が近くなるのではと思っています。
17. なかなか家庭での料理に自信がなく大切な幼児期に美味しいものを(家庭の味)提供できない事が悩みです。
18. 食育と言うのかわかりませんが、近くにスーパーが何件かありますが肉、魚(特に魚)の質が悪く買う気になれず困っています。
19. 以前小学校を参観した時、給食の時に材料が地元産であることを知ると子供達が大変喜ぶのを見ました。しかも日本でも生産量が多いものには誇りを持つようでした。そんなことを子供達に繰り返し伝える必要があると思います。
20. 家庭でバランスの良い食事をすることにします。
21. 千葉産専門店(販売)が身近にあると良い。(購入が便利)
22. 震災で放射性物質含有食品が安全ともっと声を大にして言っていただけると、みんな応援して購入すると思う。安い中国産の物は安いだけで安全性が危まれる。輸入してほしくないと思います。
23. 年令的に成人病が心配です。高血圧、コレステロール、糖が少しずつ増えています。生活習慣病予防のための、教室や指導を受けたいです。
24. 食育に大賛成です。小さい時から勝負だと思うのでぜひお願いします。
25. 食育などについて講座など市で行うことがあれば、日時等あえば、是非参加したい。

26. 食べる物で体は作られています。家族の健康のため、バランスのとれたメニューを提供しています。でも、楽しい食事も大切ですので嫌いな物もそれほど無理強いはありません。54才サラリーマンの夫が何の運動もせず健診で全ての血液検査結果が正常範囲内であるのも自分のメニューによるところが大きいと自負しています。
27. 学校で、食べ方、作法、はしの持ち方、食事の時は、ひじをつかない、左手の使い方など、教えてもらえる時間と場所をつくって欲しい。
28. 加工品のあまりの種類の多さに安全な食品が提供されているのか疑問に思うことが、多々有ります。お野菜も有機肥料となっているものも、風味も何も有りません。はたして、本当なのか否か疑いたくなります。
29. 主に子供の食の格差をへらして欲しいと思います。おいしく楽しく食べて成長してほしいと思うからです。
30. 食育とは、栄養や安全な食品をとる事はもちろんですが、一日に一度は家族で食卓をかこみコミュニケーションをとることが一番の食育と思っています。特に、母親が心を込めて作った食事は家族の心を豊にさせるとしています。
31. 食育は、大人がしっかり子どもにするべきだと考えている。そのためにも、大人が作法やバランスをしっかり子どもに教えることが大事だと思う。一番の被害者は子どもだ。千葉県食育「グー・パー・食生活」などもっと活用すれば良いと思った。
32. 手軽に参加できるイベント(参加しやすいイベント)があれば参加したい。都合があれば、ボランティアもしたいです。
33. 子供への食育は重要だと思う。次世代へ続けてほしい。
34. 小さい内から、良い食生活をと考えていますが、なかなか、実際には、色々とむずかしい面があると思いますが、なるべく食に興味を持たせながら、育てていきたいと考えています。
35. 朝ご飯は前日のおかずでも何でもよいので必ず米の飯を食べさせるのが良いと思います。自分の経験として子供2人も健康に育ったのは朝食の占めるところは大きいと思っています。
36. 家族全員健康である。特になし。
37. 学校で親と子が参加して食に関して学べる機会があると良いと思います。
38. とても興味があるので勉強する機会を作ってほしいです。子供たちには学校の授業に取り入れてほしいです。

39. 大人であっても誤解している面もあるかもしれないので子供のころから教育機関で又一般人に対しても情報(色々多方面から)が必要であると思います。大人が理解した上で勿論家庭でのコミュニケーションが必要である。教育機関・家庭双方の協力が必須であると思います。
40. 近くに定食屋さんがほしい(和食)
41. 私が子供のころと違って今は食べ物があふれていてちょっと前にはお菓子でお腹いっぱい食事をきちんととらないなどという話も聞きました。小さいころから家庭でも学校でも食べ物がどのように体に必要か大切な栄養素など教えていく必要があると思います。
42. 両親が共働きだったりすると、食育を家庭でというのは難しい気がします。各行事ごとの食について(なぜ食べるのかどうしてそんな行事があるのか)や、食事のマナーについて(お箸の正しい持ち方等)学校で教わる機会があったらなあとは思っていました。
43. 今後益々家族の人数が少なくなるのに食肉のパックなどが大量販売にばかり走っているので購入しにくい。
44. 松戸市の小中学校はスポーツが盛んだと思います。アスリート食のような体を作るメニューのお知らせを市や学校便りなどで発信したらどうでしょう？
45. 給食の残食がないように取り組んでもらいたい。
46. 松戸産の新鮮な野菜を積極的にとりたいと思いますが近所のスーパーで購入できるコーナーを設けて頂ければ嬉しいのですが。
47. パートをしながらでもそんなに時間をかけずにバランスの取れたわかりやすい見本があればすごく助かる。料理が苦手なので毎日すぐく作るまでに時間がかかる。
48. このアンケートが目指している点がよく理解できません。アンケートによって各家庭に食育の大切さを考えさせる意義は少しあるとは思いますが。でも、郵送費などは無駄です。必要なのは、特に子供に対する教育です。早く学校で食育教育することが先決ではないでしょうか。
49. 自分の体は自分の食べたものでできている!ということをお子たちに理解してもらいたい。バランスの良い食事が大切!
50. 料理教室があればぜひ参加したいです。
51. 自分で食事を作ることが億劫になってきている。レストランを利用するか、出来上がった食べ物を食べるが多くなってきている。また、そうなるように世の中が仕組みられてきているように思う。楽であるが何かむなしい。

52. 食材を調理して楽しむことを教えてほしい。
53. やさしい言葉でわかりやすく伝えてほしいです。
54. 松戸市に引っ越してきたばかりですので期待しております。よろしく申し上げます。
55. 子供があまり野菜を好きでない。学校で枝豆をむいたりミニトマトを育てたりして野菜に興味を持たせてくれているのでとても助かる。
56. 学校給食に牛乳はいらなと思う。海藻や小魚で十分カルシウムは取れるはず（お茶がいいです）月に一回でも。
57. 今は好きな時に好きな物を自由に選んで食べられる時代。学校や家庭で大人も子供も学べるのが出来たらいいと思います。
58. 今の子供達の親世代も、さらにその親世代もすでに行事食の由来を知る人たちが減っていると思います。食育は家族ぐるみでつくづく思います。
59. 食育については小さいときから家庭や幼稚園、保育所、学校等でのとりくみが大切だと思います。家庭ではなかなか諸事情では難しい点が多いと思いますので教育の現場等でしっかり学習することが大切ではないでしょうか？
60. 集団生活の中でみんなが当たり前にすることをしっかり教えて欲しい。「当たり前」を当たり前でできない大人が多いので。「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとうございました」をしっかり言える子供が多くあって欲しいです。松戸市の子供はしっかり教えてもらえる場所を作って欲しいです。そのためなら市民税、よろこんで払います。
61. 食育の大切さは広く浸透していないのが現状だと思う。もっと関心、興味がわくようなイベントやパンフ、チラシ、広告など市で提案していてもらいたい。
62. 食事、おやつ類は出来る限り自分で作り、カップラーメン等のインスタント類は使用しないようにしている。
63. このようなアンケートは深刻な食生活環境下の方は返送されないのではないのでしょうか？アンケートに反映されない部分に慈愛のある想像力のある視線を望みます。
64. 食品表示の読み方について知識があるといいと思います。
65. 私たちの子育ての時代にもこのようなアンケートが欲しかったです。
66. 夜のみ作っていただいた食事をおいしく食べています。
67. 年に数回一般の市民が参加できる料理教室を行って欲しい（一度参加経験があると次に参加したくとも参加できないので、何年か経過したらまた参加できるようにして欲

しい)

68. 食育とは感謝の心を育てることではないでしょうか。
69. 各家庭で日本人として幼少期に正しい箸の持ち方を学ぶ機会があるといいと思います。
70. 保存する為には必要なのですが、添加物が多いのが気になります。
71. ”食育”がプレッシャーになるのはイヤです。子供達への食育を、低学年から始めてみる。農作業の実習をさせてあげる機会をもたせる。小学生でも料理ができる様にする。大学の食堂を使ってメニューの一般公開。店頭で売られている弁当など、バランスの良いものを考えていただければ単身者（特に老人）は助かる。（宅配弁当の様なメニューで）「こども食堂」について広報で情報を載せて頂きたい!ボランティアで参加できるのでしょうか?（その条件とは?）普通の食事を作ることが出来る様忙しいお母さん達をバックアップする。
72. 子供が小学生の頃、学校のマラソン大会を見にいきました。小学生の肥満が自分の子供だったころに比べて増えたと思いました。
73. 松戸市の広報で紹介して欲しいです。
74. 学校任せの親が多い!!勉強も含めすべて家庭に責任が有る!!バカ親を教育してください!!
75. 給食を全部食べるのを強制しないでほしい。
76. 食育という単語自体初めて聞きます。何の意味を持つのかさっぱり。食事のマナーや作法は当たり前のことではないのですか?親から子へ教わって、教えていくものだと思います。スーパーでよく買い物をする松戸市の特産品が何なのか、興味がないです。関東に来て地元の愛媛よりおいしいと思うものはありません。
77. このようなアンケート調査を実施するには大変な御苦労があったと思います。感謝致します。この結果を是非反映させていただきたいと思います。
78. 小さいころから食育に興味をもつこと、家庭や学校で学ぶことが大事だと思います。歯がないと噛めないで小さい時から歯みがき、歯によくないものを注意していきたいです。
79. 孫が2人おります。1人は、幼稚園（聖徳）の給食時にお箸の持ち方・使い方をご指導いただいたおかげでとてもきちんとした使い方が出来ます。もう1人は幼少時海外ですごしましたせいか、ナイフ・フォークは美しく使いこなしますがお箸に関しては今ひとつです。家庭でもきちんと指導できなかったのでしょうか。次世代の子供達が美しい所作できちんと食事出来る様、幼稚園や学校でも指導に力を入れていただきたい。もちろん、基本は家庭の教育であることに変わりはないと思いますが。

80. まつど広報に食育についての記事をのせてほしい。
81. 苦手な食べ物が減らせる様な工夫になるヒントと意欲が向上すると、自分の健康にプラスになるかと思います。生活習慣病にならないための「食育」。もっと関心をもてるようなものを楽しく教えて頂けると有り難いと思います。
82. 大人になって懐かしむ味がファストフードの味しかないと言う程悲しいことはないと思います。食事も思い出になるという事の意識が食育だと思います。
83. 農業体験が身近で出来るような所があれば親子で参加したいです。
84. 市で子供の料理教室(梅干しづくり、味噌づくり、和食の献立)をたくさん開催してほしいです。テーブルマナー講座(親子もしくは子供のみ)も開催してほしいです。
85. 特別にありませんが食事を毎回作りますがだんだんワンパターンになりがちです。月1~2回料理教室があればよいかと思います。(年寄りの)作る楽しみがあれば食欲もわくかもしれませんね。
86. 子供にはバランスよく食事の大切さを知ってほしい。子供を授かってから自身の食生活を見直す良いきっかけになった。家族とのコミュニケーションも増え家が明るくなった。
87. 食育について考える必要があることが問題だと思う。
88. 家族の口に入るものなのでできるだけ食事は手作りを心掛け外食のように味の濃いものにならないよう薄味での食事作りに気を配っている。子供が小さいころは餃子やコロッケやお菓子作りなどを一緒に手伝わせて食の大切さなどを自分なりに教えてきたつもりです。
89. 特にありません。個人としてはなるべくいろいろな食材を食べるようにしています。
90. 問27(食育の場として重要なのは)で5(家庭)と記入しましたが働く女性も多くなかなか家での食育は難しそうですね。学校での協力も大切だと思っております。基本はやはり家庭ですが...
91. 家庭では教えられないことも多いと思いますので、市、学校でも子供(大人にも)に是非ご協力頂きたいです。家庭科の授業は一年生で、調理実習は三年生からでもよいかと思います。
92. 子供といっても大人ですから今更いうことはないです。
93. このアンケートはホームページ等で出来なかったのでしょうか?何人に回答を求めているのか分かりませんが紙や印刷、郵送費など無駄に思えます。

94. 食品について少し反省しました。
95. 地元で収穫された野菜は新鮮で旬なものが手に入る反面、直接買う場合セリムの有無が気になってしまう。
96. テレビで成田市場の公開イベントを見ました。月二回やっているそうです。松戸でも年一度南部市場まつりをやっていますが、市民が楽しく参加できるイベントを増やしてほしいです。
97. 放射性物質の測定をよろしくお願いします。
98. 松戸で食材を買物するよりも週に一回、鎌ヶ谷市・印西市の方で買い物をする。安いのと買物の便が良い。松戸は道路が整備されていないから自転車での買い物は不便。
99. 美味しいものを少し食べればよいと思う年になり料理したのもも捨てることのない様、気を付けております。
100. テレビ、新聞、雑誌、すべて食育について。毎日認識させられています。
101. 学校給食などでは産地の分かる安全安心な食事を心掛けてほしいです。
102. 食べることは生きること。他者の命を頂くこと。感謝をもって食べることを子供たちならず大人にも改めて考えてもらいたい。
103. まず小中学校で食育を学ぶことは大事だと思いますが、学ぶ場(講演会)に来ることを望むよりまず出向いて(訪問)講話することが必要かと思います。
104. 料理が苦手ですが、食事は元気の源ですねと言い聞かせながら作っています。
105. 思春期より若者は学校、部活、バイトと忙しく、家庭より離れていきます。孤食となる時期の前の小中学校時代に食品や外食時の食事の選択能力をつけていくことは健康面だけでなく一生の宝として大切だと思います。
106. 栄養が健康にどう関わるか、どの食材を組み合わせればよいか具体的に知りたいです。(カルシウムとビタミンDをとかではなく、どの食材でどんな料理か)スーパーなどにそのような情報があれば、例えば献立、レシピの冊子があるといいと思います。食材のところにこれは整腸作用がとか美肌にとか書いてあるとありがたいです。市からおすすめ献立表が届くと参考になってとても良いと思います。推奨されている栄養素、カロリー、塩分などをすべて叶えたレシピが分からない。という方が多いと思います。給食の献立表にレシピをつけたようなものの大人用(病気別など)があるととても良いと思います。
107. インスタントや外食が多くなっている昨今、各家庭で時間を掛けた調理をすることが食に関心を持つことになると思います。無駄をなくす努力を各自がしていくこと大切。生産者の苦勞を知る必要あり。

108. 学校や幼稚園などで積極的に食育を行って欲しい（給食で松戸産の野菜を使用するなど）
109. 大変大事だと思う。
110. 市でも無料で食育に関するセミナーなどを開いて欲しいです。小さな子供が参加できるとなおのこといいですが・・・
111. 人それぞれで良いのではないかと思います。
112. 近所の農家さんと関わりが持てるような機会があると嬉しい。野菜を新鮮と分かる見分け方etc
113. ファストフードが氾濫しすぎている。人間も動物なのだから食べるという生きるための基本をもっと大切に考えるべきだと思う
114. 改めて食事の大切さを考えるきっかけになるアンケートでした。いかに偏っているか、毎日の習慣は積み重ねになるためにその偏りが大変なことに繋がるので基本でよいので分かりやすく教えて欲しいです。
115. アンケート書いているうちに勉強になりました。
116. 孫について、母親が簡単な食なのでそれにあわせて軽食になる。子供のことを考えない母親の勝手。だから食育では母親の意識の改革必要（ダイエット）。
117. 生活が便利になり、いつでもどこでも食べ物（完成品）が手に入るようになり、家事の中で食事は楽になったからこそ、その内容が心配になってきた。特に子育て中の母親は（共働きの家庭など）・・・と気になる。幸い私自身は年齢的にゆとりもあるのでできるだけ手作りに心がけているが、孫が来ても口に合わないのかほとんど食べようとしていない（特に野菜）。偏食もひどく今後が心配である。成長期の食生活は大人になってからの健康状態を大きく左右するのではないかと思います。
118. 食育については積極的に学校等でも行った方が良くと思う。
119. 生命維持の基礎、病気の予防等、「食」の大切さを多くの人々がもっと関心を持つよう施策等に反映されることを希望します。
120. 新鮮で旬の物を食べられるよう道の駅のような直売所を、もっと増やして欲しい。
121. 子育て中の親はもちろんですが、年長あたりから積極的に野菜の成長過程に触れること、身近な物であることが大切。
122. 生きづらい世の中で食育を考える人はあまり多くはないと思う、衣食住を安心し

て暮らせる社会にして欲しい。

123. 各時代に応じた「理想的な食事内容」（栄養、カロリーなどの面）で参考例をPRしてほしい、また夜食の是非について教示してほしい。
124. 子供達若い世代が食事の大切さやマナーなど軽視せず意識して欲しいなと思います。
125. 家族での食事でも、会話から、その食材のその調理方法のその料理の知識が増え、又、食べ合わせの良くない物同士なども知り、箸の持ち方や茶碗の持ち方、大皿料理の取り方など私が、間違えると、親である私たちが笑われるとかなり厳しくしつけられた。☆箸で持った食品を小皿ではなく、左手を用いて下に添えること。☆おかずを白いご飯に一度、バウンドさせるなどは、禁止というかハジで公の席での食事で見るとその人の昇進さえもなくなる。今でも。
126. 市民が広く参加できる講演等、お話や知識を気軽に伺える場を積極的に与えて頂けると嬉しいです。
127. 今、健康に関するものが、余りに多すぎて何を信じて何をどのように食べていいのかわからなくなることが多すぎます。情報が多すぎるのも不安をかきたてます。自分で何をチョイスしていいのか分からなくなってしまいます。自分でしっかり出来れば良いのですが、つつい情報に流されてしまいます。
128. 食育は大人にも必要だ。
129. 大学生の子供が2人います。高校まではお弁当を持たせ朝・夜も家族で同じものを食べていましたが、大学に入ってから、朝・夜とも時間がバラバラで昼食もパンやフライドポテトなど手軽なもので済ませているようです。栄養バランスなどを考えて育ててきたつもりですが、子どもには伝わっていなかったようでかなりがっかりしています。
130. 家庭料理を作らなくなった家庭も多いと思う。食品添加物などの害も考え、手作り惣菜を大切に考えたい。（主婦の負担も考慮した上で）
131. 私も高齢化に向けて、食育は大切なことだと思います。広報等で、食育に関する情報を発信していただけたらと思います。
132. 子供の頃の食生活が大人になってとても影響が出ていると思われまので、家庭での食事、出来れば多種の食材を口にすればと、又、作ってくれる人への感謝も大事だと最近強く感じます。有難う、美味しいを言える大人になって頂きたい。
133. 自分の食べたいもの色々考えゆっくり食べる。何のアンケートであるかわからない。
134. 家庭で考え、実行することが大事だと思うが、学校(例:給食において)でも教育も

不可欠です。孫4人のためにも祖母として積極的に考えていきたいです。家庭菜園を始めて15年、孫は大の野菜好きとなり、何より嬉しい限りです。より市民農園の充実を望みます！

135. 質問項目が多すぎてとても回答する気になれません。見開き2ページに終わってください！たくさん答えても、ほとんどが利用されない質問であるのは分かっています。
136. 食育は大切なことですので、ぜひこの調査を活かし、市民に食育の大切さを発信してください。
137. 朝食をしっかり食べるなど、食育にしっかり取り組むには、保育支援の充実収入upが先に必要だと思います。
138. 松戸の農作物にもっと関心を持てるような環境があるといいなと思います。
139. 毎日の食材の品数を増やすには、安全で手軽な値段でないと無理です。特に野菜は天候などにも左右され、高すぎて栄養を摂ることが出来ないときもあります。松戸産の美味しい野菜ジュース・美味しい青汁など「健康推進市」で作っても良いのでは？農民市場(→農家さんが持ち寄って販売する所。静岡県には多くありましたよ。安くて新鮮で。)みたいな販売所があれば、買い易いのですが。難しいですね。
140. ぜひ参加したいです。自分のためですから。
141. 食育は人間にとってとても大切なことだと思います。スーパーなどに食材と一緒にメニューポスター(・鉄分摂取・カルシウムなど)目立つように張ってあると、もっと食育を身近に感じるのではないかと思います。
142. お野菜を上手に取り入れ毎日なるべく30品目以上取るようにする。季節の物を料理して食べる。
143. 学童を利用していますがそちらの方も食育という考え方を理解して頂きたいです。昨年までの学童はおやつの内容も量も親とて不満はなかったのですが今年の学童は「おやつのことを言うてくる保護者は今までいなかった」という方が上の方です。(量が少ないとお伝えしたことがありまして…)先月の例ですが：(スコーン4本、ポッキー2本、ミニゼリー1個)これが一日分です。(シャーベット1本、ソフトラスク1枚、たけのこの里小袋1つ)子供としてはこの日は多く、当たりの日だと言っていました。以前のところだと(ヤクルト1本、焼きおにぎり、みかん1個)などでした。
144. スーパー等で期限切れの品物が捨てられているのは非常にもったいない。肥料や飼料等大いに活用する様に心掛けるべきだと思う。
145. 時間があればやって見たいが、ほとんど時間がないのが現実です。
146. 行政の考え方及び施策について講演会。

147. 毎日バランスよく食事をしたいが、金銭の問題で食べない日もある。生活にゆとりがあれば良いと思うが、難しい。
148. 母親学級での離乳食教室はあるのですが、幼児食教室がなく、自分でレシピを調べたりしている。一番、中途半端な時期だと思うので子育て支援センターでの講習などがあれば利用したいなと思います。
149. 子供の学びの吸収力は小さい時程大きいと思うので、幼稚園から食育に関する授業(時間)が多いと自然と身につくのではないかと思います。
150. 公立高校では学食がないため、忙しい親御さんの子供達は菓子パンやおにぎりだけになってしまっていることがあります。公立高校にも学食開設や販売の種類を増やしてほしいと思います。(お弁当、麺類など)
151. 子供が幼少の頃、大病をしたので自然食と、1日35品目を目標。専業主婦だったのでカルピスからジャムに至るまで手作りしていた。今の若い人は変わっているのでそのようなことはできないと思うが、朝食ぐらいは手作りで家族と食卓を囲んで欲しい。食育とはイイ言葉だと思うが、まず実践することができるかを考える方が良いと思う。特に薬に頼らない方がいいと思う。若い人に圧力鍋を勧めたい。早く調理できるし、野菜も沢山取れる。怖いと思うが扱い次第では中学生でも使用可能。
152. 私たちの子供がまだ小さい頃はこんな言葉は無かったです。
153. 食品について期限間近の食品への意識を変える。調理実習を食育だと思われないで下さい。
154. どんな食品でも食べる迄にするには大変な作業です。出来上がったお料理を家族と一緒に食べた時には、喜びと感動・感謝に変わると思います。宝物の体験です。子供達皆さんにこの思いを学習させて下さいませ。大変ありがとうございました。私も胸が熱く、昔の子育てを懐かしく思っております。
155. 食事のボランティアは松戸でもあるのでしょうか?あるなら面白そうでいいですね。
156. 子供たちの食事への意識(感謝の意・作り方などなど)をもっと学校や地域で教えていくべきだと思う。そうすると、お年寄りへの食事との接し方がよりわかると考える」。廃棄・加工品が現社会は多すぎるので農業の良さを伝えていった方がよい。
157. なるべくインスタントの食事は避けている。
158. 安心安全な物を食べたい。
159. 給食のメニューの組み合わせが余りにおかしいのは問題だと思う。
160. 学校給食での牛乳はとても良いと思うので続けてほしい。

161. 私は松戸市出身ではありませんが、地元(出身地)の商品(魚、野菜、加工品を含め)が店先で見つかれば心嬉しく購入します。それと同じように今松戸市に生まれ育った子供たちに松戸市の産物の良さ、面白さを食育に取り入れていけばきっと将来にわたり地元を愛しお金も落としてくれることになると思います。
162. 毎日三食の食品のグラム、ミリリットル、キロカロリーをパソコンで週平均・月別平均カロリーを記入し、できる限り一日1800キロカロリーを食事するようにしています。5年以上しています。一日三食は自分で作っています。外食の弁当は月に1~2回。
163. このアンケートの結果をぜひ知りたいと思います。
164. 子供への食育は家庭が大切だと思います。シングルマザーや貧困などでそれが困難な家庭への支援こそ行政で行うべきだと思います。
165. 地元(松戸)で生まれ育って72年、只今糖尿病Ⅱ型の為、食事療養法中。カロリー制限中。子供の頃から農家の生まれ、野菜作りの大変さは身にしみて分かっています。今の人は、野菜果物の見かけだけにこだわり過ぎる。
166. 野菜をとりたいと思っても忙しく炭水化物ばかりに偏った食事になってしまう。改善したいと思っているが、実行できないでいる。子供の栄養バランスもとってやりたいが、実行できないでいる。忙しくても野菜多めのバランスの良いレシピなどを知りたい。
167. 中国産などではなく国産を食べたい。
168. 二世帯(キッチンなどは別)の嫁家族と生活しています。孫たちの食育には関心があります。食べ物を無駄にせずなんでも食すること学校ともども教えていきたい。発展途上国、戦争をしている国のことなどを理解(教えて)させたい。
169. 学校での食に関する授業の強化(家庭科)は大切だと思います。料理の作り方を知らない子供が多すぎると思います。
170. 食育を積極的に教えてくださる小金北中学校の給食がとてもまずいです。盛り付け方も汚く一番初めの方に配った人たちには多く最後の方は少ない。同じ給食費を払っているのにおかしいですね。食育を教えるのに弁当を自分たち(生徒)に作らせるのもよいのですが給食でも改善していくことを望みます。弁当はほとんど生徒ではなく親が作っています。
171. 食育は子供達だけでなくこれから母親になるママたちにもどんなものを子供に食べさせていくか、その大切なことを勉強していけるとよいと思います。
172. 食を知ることは世界を知ることであるという事を家庭ではなかなか伝えられないのでそういうことを学校や社会で教えてほしいと思う。逆に〇〇は体に良いや三食食べま

しょうなどの健康情報は人によって体調によって変わるためそんなにじゅうようではないと思っています。

173. 年を取り手料理が減り食育という言葉に縁がなくなった気がしています。
174. 家庭で普段から意識を持つことが大切だとおもいますが、昔と違って食べ物があふれており、個人が正しい知識を得るのは難しいと思います。NHKのためしてがってんの様にわかりやすく親しみやすい内容の番組で取り上げられたら良いと思います。
175. 市民が参加しやすい食育の場を多く企画してもらいたい。
176. 食事に関する活動を今後も推進していただきたい。特に、高齢者、病気療養中の人に正しい食育指導をお願いします。
177. 安心して食べることが出来る食品が良いと思います。
178. 幼児が出来る料理教室(親子クッキング)を開催してほしい。有料でも参加したい人は沢山いると思う。
179. 食べることに喜びを感じられる子供を育てたい。日本人として正しい箸の扱い方の重要性を家庭でも痛感して指導が必要であると考えます。
180. 高校生の子供がいますが、部活をして帰ってくると最寄り駅に19:30頃になり家での夕食が20:00頃になります。帰りに予備校によりたいときは外食のときもありますが少し心配で夕食用のお弁当を届けることもあります。子供が大きくなり、生活時間がばらばらで温かい料理を家族そろって食べる大切さを感じています。飲食店で働いていると高校生などがお茶碗と汁のお椀の右、左がわからない子の多さに驚きます。私も考えさせられた出来事でした。
181. 松戸駅に道の駅を増やしてほしいです。
182. 字が小さくて読みにくいです。
183. 問12の朝食メニューの項目で6菓子・果物・乳製品が一緒のくくりになっています。なるべく乳製品をとるよう心がけているが乳製品はお菓子と一緒にという考え方でしょうか。
184. 家庭での食育が大切だと思います。一緒に楽しく食事出来ることを大事にしたいと思っています。
185. 食品を捨てる無駄が多いのはゴミ出しに費用がかからないこともあります。
186. 学校給食でいつまで子供達に牛乳を飲ませるつもりでしょうか。カルシウムが豊富だからという理由で牛乳を飲ませることは疑問です。牛乳の消費量は1人当たり戦前より

も27倍も増えているのに骨粗鬆症は増加する一方です。本来、牛乳というものは牛の赤ちゃんが飲むもの。少なくとも私たち日本人が牛乳を飲んで良いのは乳糖分解酵素がある乳幼児までです。牛乳をいつまでも飲んでいて背は確かに伸びますが、牛乳を飲んだことがあまりない時代の子と比べて骨折が多いと言われるのはご存じのことと思います。毎日、肉や魚を食べ牛乳を水がわりに飲み、おやつに生クリームたっぷりのケーキという食生活が様々な現代病を生んでいます。学校給食に出た食材は体に良い物と信じ一生食べ続けた結果が病人国日本を生み長寿世界一位と言っても病人も多いのです。現在長寿者といわれている80歳代、90歳代の方々は貧しいながらも和食を子供達に食べさせてた親に育てられ一度も戦後の学校給食を食べていない年代なのです。その和食がユネスコ無形文化遺産に登録されています。このすばらしい和食を伝える場が学校給食であり家庭科教育だと思うのです。このことを、国を挙げて始めないとこの日本は滅んでしまうのではないかと案じています。アレルギー体質の子も多くいます。これなどは農薬や添加物、洗剤などの化学物質に対する反応です。国の宝である子供達の食べるものは安かろう悪かろうではなく真に健康体を希求して安全な物を是非選んでほしいと思います。

187. 主人が入院してから本当に食育は感心がなくなりおろそかになって、これで良いのか心配になります。近所の一人住まいの方と食事会をしたりレストランでの食事会などでそれなりに楽しんでいます。
188. PRをお願いします。
189. 食育は大切なことであり食物アレルギーを持っている孫がいるので特に関心がある。
190. 三世代なので食品の数は多いと思う。孫の好き嫌いが多く偏食しがちが心配。
191. 家庭だけでなく子供の頃から学校でも進めてください。
192. 松戸市の広報をよく見ますので一度取り上げて頂ければと思います。
193. 時間があればもっと手(時間)をかけて料理したい。
194. 第1。2期食育推進計画、まったく知りませんでした。意味がないですね。
195. 食育は大切なことですが、知育、徳育、体育とバランスよく育むことが重要だと思います。
196. 子供は二人とも男の子ですが、料理、洗濯(干し方など)裁縫(ボタン付けなど)、身の回りのことはできる様にこれからも教えていきたいと思っています。
197. まったくないので二度と送らないでください。
198. 大人にも食育は必要。食べたものが自分の身体をつくる。
199. 色々な食べ物飲み物があふれるこの時代、自給自足の大切さやそれが出来ないから

農家さんや漁師さんがいるありがたさという考え方が子供達にはあまりない状況。自然の恵みに対する感謝の心を学校でも家庭でも教育し続けることが大切と思います。

200. 学校、幼稚園などで、もっと子供達に、食についておしえてほしい。料理のこんだてなどを考えて、配信してもらえるような物があるとうれしい。
201. 心身ともに大事なものは食生活だと思います。旬のものや昔から食べられてきたものは理に適っていて感心します。3食は無理なので1日のうちで栄養バランスを考えて料理を作っています。
202. 食育の講座があれば参加してみたいです。
203. テレビ等で目にする。ブランド食材や有名なものより滋味深いおいしさに触れる機会が、現代の子供たちは少ないように思います。小6の卒業記念に地元の産物（一見地味でも）美味しい食事に触れるイベントなどがあると良いかな？

付録

調査票・関連資料

「食育」に関する市民アンケート調査

ご協力のお願い

日頃より、市民の皆様には松戸市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、松戸市では市民の皆様には「食」の大切さと郷土の素晴らしさを再認識し、健康な生活を送っていただくため、松戸市食育推進会議を設け、「食育推進計画」を策定し、食育の推進を図って参りました。現在、松戸市の第3期「食育推進計画」の策定に向けて議論を行っております。

そこで、松戸市としてより総合的に食育を推進するため、市内の4大学(千葉大学、聖徳大学、流通経済大学、日本大学松戸歯学部)と連携し、共同で市民の皆様の食に関するお考えや家庭での環境などをお聞きし、今後の第3期「食育推進計画」の策定や施策へ反映させることを目的に、本調査を実施することといたしました。

なお、この調査票は、住民基本台帳をもとに20歳以上の市民3,000人を無作為に抽出し、お送りさせていただきました。このデータは市の食育推進および学術目的に利用するのみで、他の用途には使用いたしません。また、皆様の回答は全て統計的に処理されますので、個人の情報を公表するなどプライバシーを侵害することはありません。

以上の趣旨をご理解いただき、市民の皆様には本調査へのご協力をよろしくお願ひいたします。

平成28年7月

松戸市長 本郷谷 健次

ご記入にあたっての注意

- ・この調査は、普段、食材を購入したり、料理を作っている方にお願ひするものです。もし、宛名の方以外の方(配偶者など)が主に担当している場合は、その方が記入して下さい。
- ・後半のお子様についての質問には、複数のお子様がいる場合は、もっとも年齢の低いお子様(ただし、小学生以上)について回答して下さい。
- ・ご記入が済みましたら、お手数ですがこの調査票(直接記入して下さい)を同封の返信用封筒に入れて返送して下さい。切手は不要です。匿名式調査ですので差出人の記入も不要です。
- ・誠に勝手ながら、**平成28年7月31日(日)までに投函**して下さいますようお願いいたします。

* 記入上のご不明な点、調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

・松戸市健康福祉部健康福祉政策課
電話:047-704-0055/FAX:047-704-0251
Eメール:mckenhuku@city.matsudo.chiba.jp

・千葉大学大学院園芸研究科・教授
大江靖雄(おおえやすお)
電話・FAX:047-308-8916
Eメール:yohe@faculty.chiba-u.jp



問1 あなたは現在、毎日の食事を「おいしい」と感じていますか？（1つに○）

1. 感じている 2. やや感じている 2. どちらともいえない 3. あまり感じない 4. 感じない

問2 現在の食生活に満足していますか？（1つに○）

1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満

問3 食事は楽しいですか？（1つに○）

1. 楽しい 2. まあまあ楽しい 3. どちらともいえない 4. あまり楽しくない 5. 楽しくない

問4 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていますか？（1つに○）

※食育とは「食に関する知識と食を選ぶ力を身に付けるために求められる学び」と定義されています。

1. 言葉も意味も知っていた 2. 聞いたことはあったが、意味は知らなかった
3. 言葉も意味も知らなかった(次の問5を飛ばして問6に進んでください)

問5 あなたは「食育」という言葉を最初にどちらで知りましたか？（1つに○）

1. 家庭 2. 友人、知人 3. 自分の通っていた学校
4. 子供の保育所（園）、幼稚園、学校 5. 松戸市の広報やイベント
6. テレビ、ラジオ、新聞、書籍やインターネット等 6. わからない、覚えていない
7. その他（ ）

問6 あなたは「食育」に関心がありますか？（1つに○）

1. ある 2. ややある 3. どちらともいえない 4. あまりない 5. ない

問7 以下の食育活動のなかで、あなたや家庭がすでに取り組んでいる（いた）ものはありますか？

（該当するものにいくつでも○）

1. 食生活の改善 2. 食事の作法
3. 農林漁業体験 4. 食文化や伝統の継承
5. 食を通じたコミュニケーション 6. 食べ物の無駄の削減
7. 自然や生産者への感謝 8. 安全な食を選べる力の養成
9. その他（ ） 10. とくにはない

問8 同様に、今後、家庭や松戸市、学校が進めていくべきだと思う食育活動はありますか？

（いくつでも○）

1. 食生活の改善 2. 食事の作法
3. 農林漁業体験 4. 食文化や伝統の継承
5. 食を通じたコミュニケーション 6. 食べ物の無駄の削減
7. 自然や生産者への感謝 8. 安全な食を選べる力の養成
9. 学校の授業での子どもへの食育 10. 学校給食での子どもへの食育
11. その他（ ） 12. とくにはない

問9 以下の食育に関するボランティアのなかで、あなたが参加したことのある活動はありますか？

(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動 | 2. 農林漁業等に関する体験活動 |
| 3. 食生活の改善に関する活動 | 4. 生活習慣病予防などのための料理教室 |
| 5. 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動 | 6. 食品の安全や表示に関する活動 |
| 7. 食育に関する国際交流活動 | 8. その他 () |
| 9. とくにはない | |

問10 問9の食育ボランティアで参加してみたいものはありますか？ (いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動 | 2. 農林漁業等に関する体験活動 |
| 3. 食生活の改善に関する活動 | 4. 生活習慣病予防などのための料理教室 |
| 5. 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動 | 6. 食品の安全や表示に関する活動 |
| 7. 食育に関する国際交流活動 | 8. その他 () |
| 9. とくにはない | |

問11 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？ (1つに○)

- | | | | |
|---------|----------|----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週4~5日 | 3. 週2~3日 | 4. ほとんど食べない |
|---------|----------|----------|-------------|

問12 あなたの朝食は主にどのようなメニューですか？ (以下のなかから該当するものにいくつでも○)

- | | | |
|------------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 主食(ご飯、パン、麺など) | 2. 主菜(魚、肉、卵、大豆料理など) | |
| 3. 副菜(野菜、海藻、具の入った汁物など) | 4. 飲み物 | 5. 栄養ドリンク、エナジーゼリーなど |
| 6. 菓子、果物、乳製品など | 7. その他() | |

問13 朝食をとらない(とれない)ときの理由は何ですか？ (いくつでも○)

- | | | |
|---------------------------|-----------|---------------|
| 1. 食欲がない | 2. ダイエット | 3. 準備や後片付けが面倒 |
| 4. 朝食より優先したいことがある | 5. お金の節約 | |
| 6. 朝食をとる習慣がない(問14に回答願います) | 7. その他() | |

問14 上の問13で選択肢6を選んだ方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか？

(1つに○)

- | | | |
|-------------------------|-------------------|---------------|
| 1. 小学校に入る前から | 2. 小学校に入った頃から | 3. 中学校に入った頃から |
| 4. 高校に入った頃から | 5. 専門学校や大学に入った頃から | 6. 就職した頃から |
| 7. 結婚した頃から | 8. 出産した頃から | 9. 子供が独立した頃から |
| 10. 自分や配偶者が仕事をリタイアした頃から | 11. その他() | |

問15 あなたは主食・主菜・副菜を組み合わせるように配慮した食事をとっていますか？（1つに○）

1. 1日3食とも配慮している
2. 1日2食は配慮している
3. 1日1食は配慮している
4. あまり配慮していない
5. 全く配慮していない

問16 あなたは食品の安全に関心がありますか？（1つに○）

1. ある
2. まあまあある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. ない

問17 あなたが安全な食生活を送るために普段から意識していることはありますか？（いくつでも○）

1. 消費（味）期限や製造日の確認
2. アレルギー表示の確認
3. 産地の確認
4. 保存方法や使用方法の確認
5. においや見た目での確認
6. 包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒
7. 食材や調理品の室温放置をしない
8. 肉の十分な加熱
9. 健康増進機能成分の摂取
10. その他（ ）

問18 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？（1つに○）

1. している
2. ややしている
3. どちらともいえない
4. あまりしていない
5. していない

問19 あなたは地元産（松戸産を含む千葉県産）の食材を購入していますか？（1つに○）

1. 積極的に購入するようにしている
2. 目につけば購入するようにしている
3. 高くなければ購入するようにしている
4. 気にして購入していない

問20 以下の行事食を伴う伝統的な行事のうち、あなたのご自宅で行っているものはありますか？
（いくつでも○）

1. 正月（1月：おせち、お雑煮、七草粥など）
2. 節分（2月：豆、恵方巻きなど）
3. 桃の節句（3月：ひな菓子、五目寿司など）
4. 春分の日（3月：ぼた餅など）
5. 端午の節句（5月：ちまき、かしわ餅など）
6. 七夕（7月：そうめんなど）
7. 土用（7月：うなぎ、餅など）
8. お盆（8月：団子など）
9. 十五夜（9月：月見団子など）
10. 秋分の日（9月：おはぎなど）
11. 七五三（11月：千歳飴など）
12. 冬至（12月：かぼちゃなど）
13. 大晦日（12月：そばなど）
14. その他（ ）

問21 「だし」を素材（昆布やかつお節など）からとっていますか？（1つに○）

1. 毎回とっている
2. 時々とっている
3. 市販のだしを使っている
4. とっていないし、市販のだしも使っていない

問 22 生活習慣病の予防や改善のために適正体重の維持や減塩食などを実践していますか？（1 つに○）

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| 1. 実践している | 2. まあまあ実践している | 3. あまり実践していない |
| 4. 実践していない | 5. わからない | |

問 23 食品ロス削減のために意識して適量の食材を購入、調理、外食時には注文していますか？（1 つに○）

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 気をつけている | 2. まあまあ気をつけている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり気を付けていない | 5. 気を付けていない | |

問 24 どれぐらいの頻度で家族や友人と一緒に朝食や夕食をとっていますか？（それぞれ1 つに○）

朝食

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 |
| 4. 週に1日程度 | 5. ほとんどない | |

夕食

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 |
| 4. 週に1日程度 | 5. ほとんどない | |

問 25 あなたが一人で朝食や夕食をとる場合の理由はなんですか？（いくつでも○）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 本人以外の時間が合わないため | 2. 本人の時間が合わないため |
| 3. 一緒に食べる習慣がないため | 4. その他() |

問 26 あなたは野菜や果物などの栽培（趣味を含む）をしていますか？（いくつでも○）

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 自宅の庭で栽培している | 2. ベランダや屋内でプランターなどで栽培している |
| 3. 自家所有の畑で栽培している | 4. 市民農園や知り合いの畑でしている |
| 5. していない | 6. その他() |

問 27 子ども達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？（1 つに○）

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. 学校のほう | 2. やや学校のほう | 3. 同じぐらい |
| 4. やや家庭のほう | 5. 家庭のほう | |

問 28 あなたは地域の活動（町内会など）に参加していますか？（1 つに○）

- | | | | |
|-----------|------------|----------|------------|
| 1. 積極的に参加 | 2. まあまあ積極的 | 3. やや消極的 | 4. 参加していない |
|-----------|------------|----------|------------|

あなたの歯についてお聞きします。

問 29 前回、いつ歯科治療及び歯の健康診査を受けましたか？

1. 歯科診療 (_____) 日前 2. 歯の健康診査 (_____) 日前

問 30 かかりつけの歯医者さんはいますか？（1 つに○）

1. はい 2. いいえ

問 31 歯磨きは何回しますか？（1 つに○）

1. 1 日 1 回 2. 1 日 2 回 3. 1 日 3 回以上
4. 時々みがく(みがかない日もある) 5. みがかない

問 32 あなたの歯の数は現在何本ですか？

※成人の歯は、親知らずが 4 本はえて全部で 32 本です。なお、かぶせた歯、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。

(_____ 本)

問 33 食べ物、飲み物でむせることがありますか？（1 つに○）

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない 4. 全くない

問 34 食べ物がのどに詰まり窒息しそうになったことがありますか？（1 つに○）

1. はい 2. いいえ

問 35 噛ミング 30（カミングサンマル）という言葉や意味を知っていますか？（1 つに○）

1. 言葉も意味も知っている 2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
3. 言葉も意味も知らなかった

問 36 あなたの現在のお口の健康状態及び全身の健康状態はどうですか？（どちらも 1 つに○）

お口の健康状態

- | | |
|--|------|
| よい | よくない |
| 10. … 9. … 8. … 7. … 6. … 5. … 4. … 3. … 2. … 1. | |

全身の健康状態

- | | |
|--|------|
| よい | よくない |
| 10. … 9. … 8. … 7. … 6. … 5. … 4. … 3. … 2. … 1. | |

問 37 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか？（1 つに○）

- | | |
|--|--------|
| 噛んでいる | 噛んでいない |
| 10. … 9. … 8. … 7. … 6. … 5. … 4. … 3. … 2. … 1. | |

問 38 噛み方、味わい方といった食べ方に興味がありますか？（1 つに○）

1. 関心がある 2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心がない 4. 関心がない

問39 ゆっくりよく噛んで食べることを重要だと思えますか？（1つに○）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. とても重要だと思う | 2. 重要だと思う |
| 3. あまり重要だと思わない | 4. 全く重要だと思わない |

問40 あなたはご自身の歯において、噛みにくさを感じる食品はありますか？（1つに○）

1. 概ね全ての食品において、容易に噛み切ることができる
2. 概ね全ての食品において、困難さを伴うが噛み切ることができる
3. 煎餅などの堅い食品は、噛み切ることができない
4. やわらかい、またはぬめり気のある食品は、噛み切ることができない
5. 概ね全ての食品において、噛み切ることができない
6. 自身の歯ではできないが、義歯では噛み切ることができる
7. その他()

属1 あなたの性別は次のいずれに該当しますか？（1つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 女性 | 2. 男性 |
|-------|-------|

属2 あなたの年齢は次のいずれに該当しますか？（1つに○）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代前半 | 6. 60歳代後半 | 7. 70歳代前半 | 8. 75歳以上 |

属3 あなたの出身地は松戸市ですか？

- | | | |
|-------|--------------|--------------|
| 1. はい | 2. いいえ(千葉県内) | 3. いいえ(千葉県外) |
|-------|--------------|--------------|

属4 あなたの主な職業は次のいずれに該当しますか？（1つに○）

- | | | | |
|--------------|-------------|--------------|-------|
| 1. 会社員 | 2. 公務員・団体職員 | 3. 自営業(農業以外) | 4. 農業 |
| 5. パート・アルバイト | 6. 専業主婦(主夫) | 7. 学生 | 8. 無職 |
| 9. その他() | | | |

属5 あなたを除いた同居家族の人数は何人ですか？このうち18歳以下、70歳以上の家族は何人ですか？

同居人数(____ 人) そのうち18歳以下(____ 人) 70歳以上(____ 人)

属6 あなたの世帯全体の所得(年金を含む手取り)は以下のどれに該当しますか？（1つに○）

- | | | | |
|------------|---------------|-----------|-----------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万円台 | 3. 300万円台 | 4. 400万円台 |
| 5. 500万円台 | 6. 600万円台 | 7. 700万円台 | 8. 800万円台 |
| 9. 900万円台 | 10. 1,000万円以上 | | |

ここでは、小学生から高校生（または18歳）までのお子様がいらっしゃる方にお聞きします。
該当しない方は、問53までお進みください。
なお、該当するお子様が2人以上いる場合には一番下のお子様についてお答えください。

子属1 そのお子様の性別を教えてください。(1つに○)

1. 女子 2. 男子

子属2 そのお子様の年齢を教えてください。

(_____ 歳)

子属3 そのお子様の体格について教えてください。(1つに○)

1. 肥満 2. やや肥満 3. ちょうどよい 4. やや痩身 5. 痩身

問41 そのお子様の歯磨きの頻度を教えてください。(1つに○)

1. 1日1回 2. 1日2回 3. 1日3回以上
4. 時々みがく(みがかない日もある) 5. みがかない

問42 そのお子様の歯科検診の頻度(学校での検診を除く)を教えてください。(1つに○)

1. 年に数回 2. 年に1回程度 3. 虫歯以外では特に行かない

問43 そのお子様は朝食をどの程度の頻度でとっていますか？(1つに○)

1. 毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. ほとんど食べない

問44 そのお子様がとる朝食は主にどのようなメニューですか？(いくつでも○)

1. 主食(ご飯、パン、麺など) 2. 主菜(魚、肉、卵、大豆料理など)
3. 副菜(野菜、海藻、具の入った汁物など) 4. 飲み物 5. 栄養ドリンク、エナジーゼリー
6. 菓子、果物、乳製品など 7. その他()

問45 そのお子様が朝食をとらないときは、どのような理由があると思いますか？(1つに○)

1. 夜食や間食のせいで食欲がない 2. ダイエット 3. 起きる時間が遅く時間がない
4. 朝食をとる習慣がない 5. 家族と顔を合わせたくない
6. その他()

問46 上の問45で4を選んだ方に伺います。お子様が朝食をとらなくなったのは、いつ頃からですか？(1つに○)

1. 幼少期から 2. 小学校に入学した頃 3. 中学校に入学した頃
4. 高校に入学した(あるいは18歳)頃 5. わからない、覚えていない

問47 お子様はどれぐらいの頻度で家族と一緒に朝食や夕食をとっていますか？（それぞれ1つに○）

朝食

1. ほとんど毎日 2. 週に4〜5日 3. 週に2〜3日
4. 週に1日程度 5. ほとんどない

夕食

1. ほとんど毎日 2. 週に4〜5日 3. 週に2〜3日
4. 週に1日程度 5. ほとんどない

問48 そのお子様が一人で朝食や夕食をとる理由はなんだと思いますか？（1つに○）

1. 家族と本人との出勤時間や帰宅時間が合わないため
2. 一緒に食べる習慣がないため 3. 家族と顔を合わせたくないため
4. その他()

問49 そのお子様の現在の食生活に問題があると思いますか？（1つに○）

1. 問題はない 2. あまり問題はない 3. どちらともいえない
4. やや問題がある 5. 問題がある

問50 問49で選択肢4または5を選んだ方に伺います。特にどのような点に問題があると思いますか？
(いくつでも○)

1. 食が細い 2. 好き嫌いが多い 3. 間食が多い 4. あまり噛んでいない
5. 家族と一緒に食事をとっていない 6. 食べ過ぎである
7. 食事の時間が不規則である 8. 栄養バランスが偏っている
9. その他()

問51 そのお子様は何時頃に寝て、何時頃に起きていますか？（それぞれ1つに○）

- 就寝時刻：1. 夜8時台 2. 9時台 3. 10時台 4. 11時台 5. 12時台 6. 1時以降
起床時刻：1. 朝5時台 2. 6時台 3. 7時台 4. 8時台 5. 9時台

問52 あなたはそのお子様に対して、食育に関する取組みをされていますか？（いくつでも○）

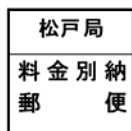
1. 料理を教えている 2. 食べ方や作法を教えている
3. ゆっくりよく噛んで食べるように伝えている 4. バランスの良い食事をするように伝えている
5. 特に取組んではない 6. その他()

問53 食育についてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

以上で質問は終了です。ありがとうございました。

同封の封筒で7月31日（日）までにご投函下さい（切手は不要です）。

発送用封筒



【重要】食育に関する市民アンケート調査票在中



松戸市役所

健康福祉部 健康福祉政策課

〒271-8588

松戸市根本 387 番地の 5

TEL 047-704-0055 / FAX 047-704-0251

Email mckenhuku@city.matsudo.chiba.jp

返信用封筒

2 7 1 8 7 9 0

松戸郵便局留


松戸市 健康福祉部 健康福祉政策課
市民アンケート担当行

料金受取人払郵便

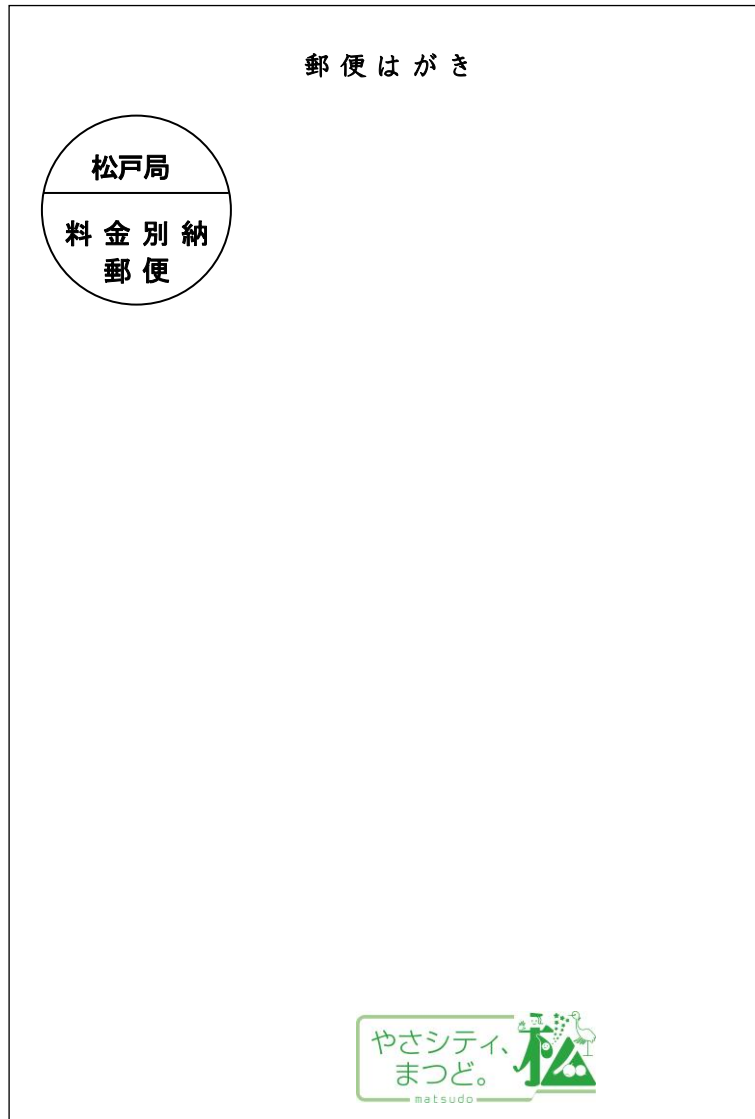
松戸局承認

1647

差出有効期間
平成 28 年 9 月 30 日まで



督促礼状
表面



裏面

「食育」に関する市民アンケート調査
ご協力のお礼とお願い

拝啓

時下ますますご清祥のことと存じあげます。

先日お願いいたしました「食育」に関する市民アンケート調査につきましては、お忙しいところご協力いただき誠にありがとうございました。

なお、重ねて恐縮ではございますが、まだご回答いただいていない方には、ご記入の上、ぜひ返送くださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

平成28年8月

【問い合わせ先】
松戸市役所 健康福祉部健康福祉政策課 電話 047-704-0055
千葉大学大学院園芸学研究科 教授 大江靖雄 電話 047-308-8916

第2部 大学生アンケート

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

松戸市では平成20年3月に松戸市食育推進計画を策定し、「食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」ことができるよう食育を推進してきた。本調査では、市内4大学の食に関する意識や実態を知ることにより、第3次松戸市食育推進計画策定の基本資料とすることを目的とした。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域・・・・・・市内全域
- (2) 調査対象・・・・・・千葉大学園芸学部、聖徳大学児童学部、日本大学松戸歯学部、流通経済大学流通経済学部 に在学中の学生
- (3) 抽出方法・・・・・・各大学で100人規模での抽出、実施を依頼
- (4) 調査方法・・・・・・配布、回収を含めて各大学を通じて実施
- (5) 調査期間・・・・・・平成28年7月1日～7月31日

3. 調査項目

項目	内容
基本属性	性別、学年、居住地、通学時間、居住形態
	部活動やサークル活動、アルバイト
食育に関する意識・関心	食育の言葉の認知、関心度、食育活動、バランスのとれた食事の意識、郷土料理や伝統料理の継承、食事の作法
健康に関する意識	食生活、朝食をとる頻度、朝食の内容、安全な食生活のための取組み
歯科の健康に関する意識	歯磨きの頻度、かかりつけ医の有無

4. 回収結果

回収数 674 人

5. 集計にあたって

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって回収率を合計しても 100% ちょうどにはならないことがある。
- (2) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を分母 n として算出した。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると 100% を超えることがある。
- (3) n (Number of Cases) は比率算出の分母であり、100% が何人の回答者に相当するかを示す。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。
- (5) クロス結果の帯グラフや表について、設問に対する「無回答」がある場合にはこれを表示しないため、分母 n は設問により異なる。また、男女別の合計件数・年齢別の合計件数は「無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがある。
- (6) 男女別・世代別の表について、設問の各選択肢における世代間の最大回答数を網掛け、各世代の最大回答数を斜体太字にて示している。
- (7) 集計は、①単純集計、②回答者の属性（性別、学年別、大学別）とクロス集計を行った。

6. 調査研究体制

調査研究チーム代表・総括：大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科）

調査票設計：栗原 伸一・大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科）

後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

祓川 摩有（聖徳大学児童学部）

古井 恒（流通経済大学流通情報学部）

調査票発送、回収、入力、データベース作成：大江 靖雄・石田 貴士

（千葉大学大学院園芸学研究科）

調査データ解析：大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科）

歯科データ解析：後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

7. 基本属性

【性別】

男女比は、半々となっている。

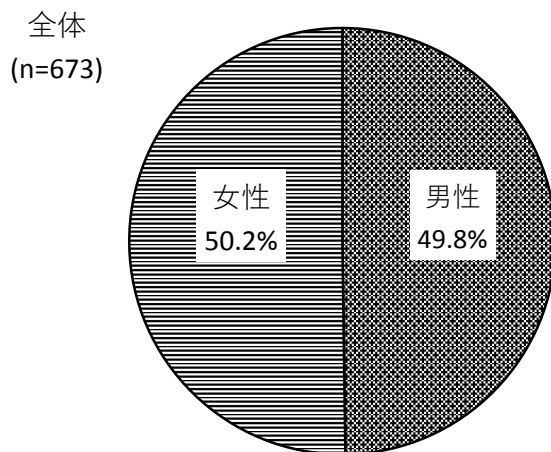


図1-1

【大学】

6年制課程の日本大学が3割近くを占め、学生数の少ない千葉大学の割合が相対的には低いが、大きな偏りではない。

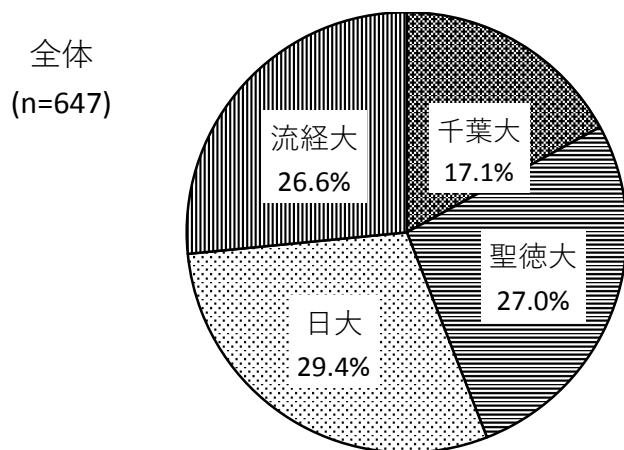


図1-2

注：千葉大学は「千葉大」、聖徳大学は「聖徳大」、日本大学松戸歯学部は「日大」、流通経済大学は「流経大」と表記している。

【学年】

3年生が4割近くを占め、回答者の中心層をなしている。

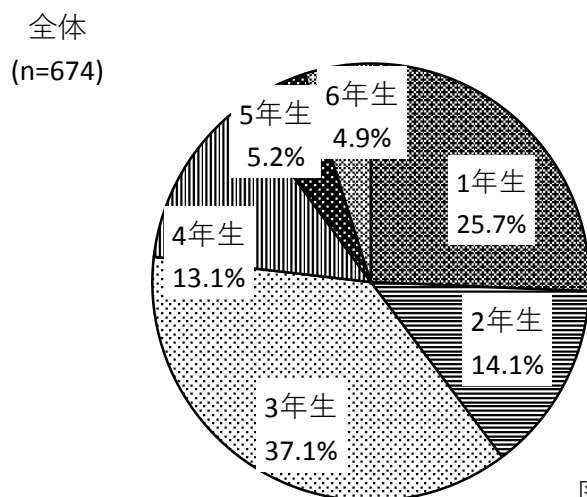


図1-3

【居住地（松戸市）】

千葉県外が割合では最も高いが、千葉県内と松戸市内と大きな差はなく、ほぼ3分されている。

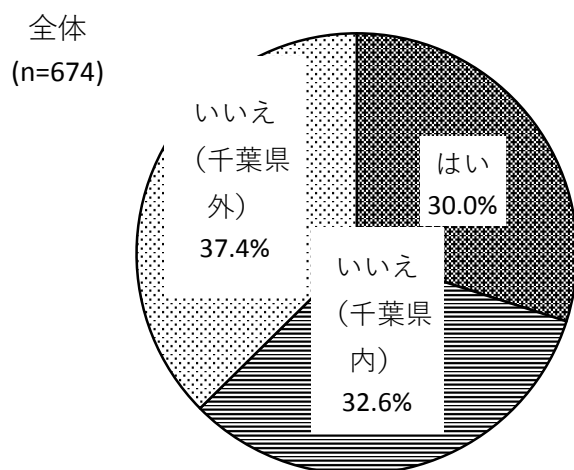
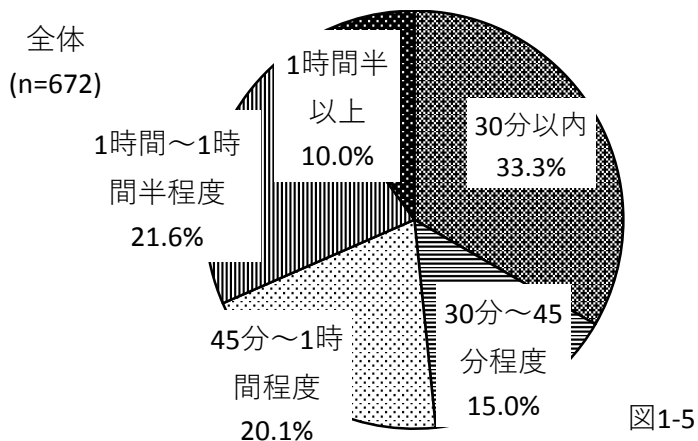


図1-4

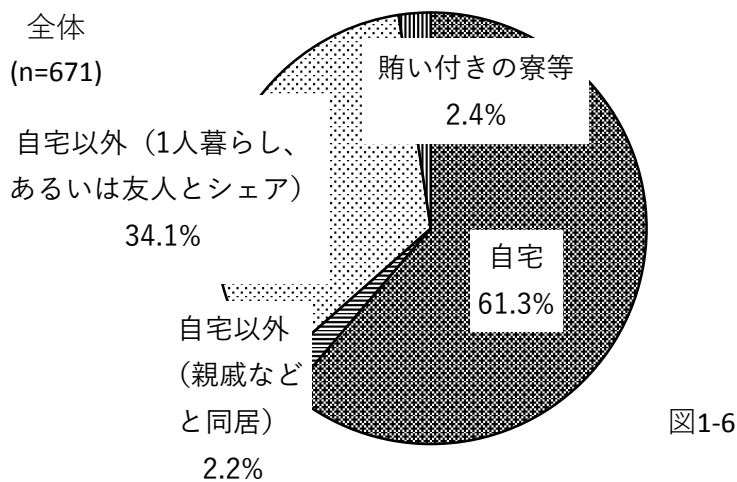
【通学時間（ドア to ドア）】

30分以内が3分の1を占め最も多く、次いで1時間から1時間半程度と45分から1時間程度がそれぞれほぼ2割程度となっている。ほぼ半数が、45分内の通学時間で、1時間半以上の割合は1割である。



【住居形態】

自宅生が、6割を超えており最も多く、自宅以外では一人暮らしあるいは友人とシェアが3分の1で、両者合わせて95%以上を占めている。

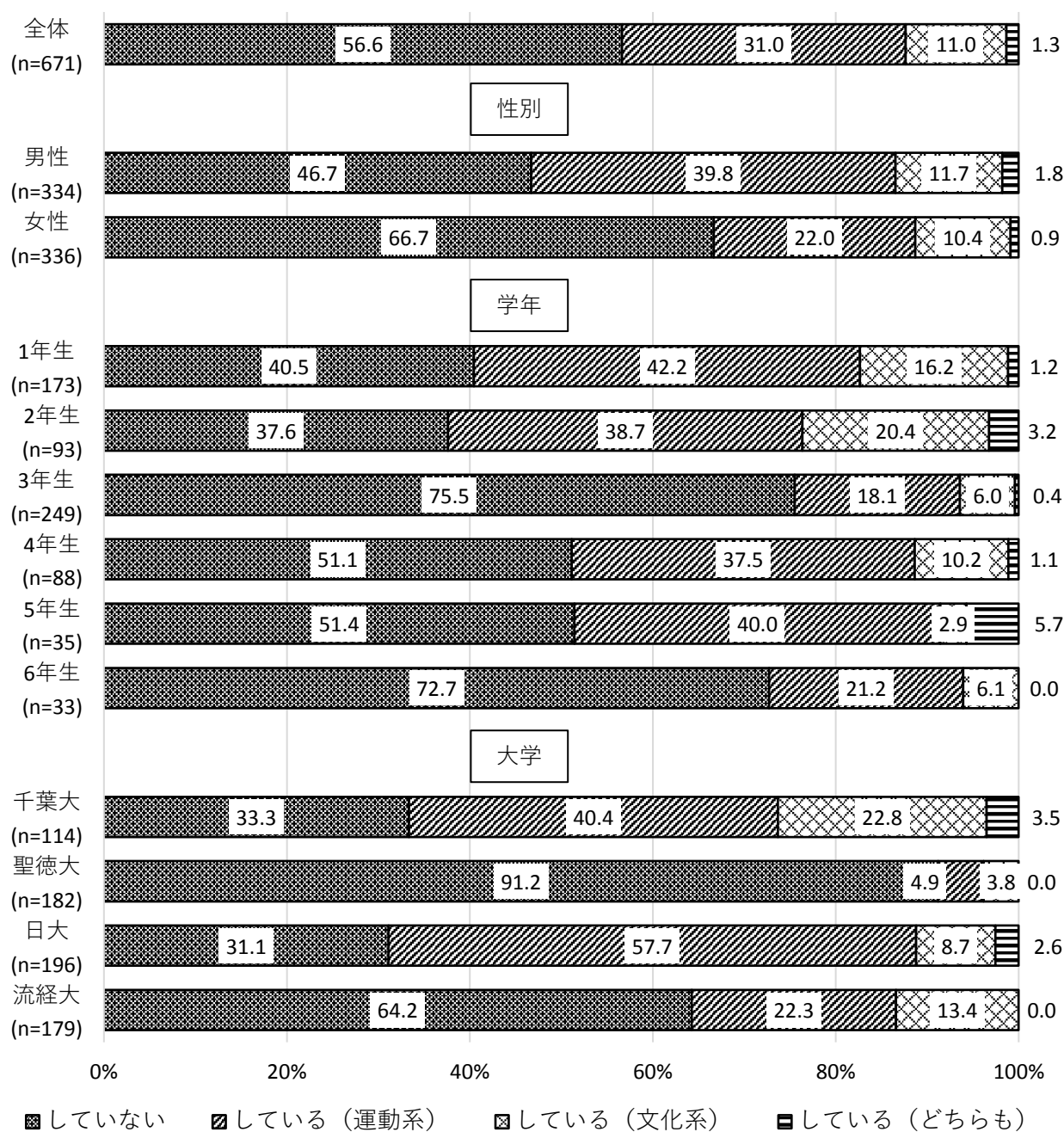


第 2 章 調査結果の分析

問6 あなたは大学（他大学のものも含む）の部活動やサークル活動（週1回以上参加）をしていますか。（該当するもの全てに○）

全体ではしていない者・している者は、ほぼ半数となっているが、男性では4割が運動系であるのに対して、女性は3分の2がしていない。学年別では、3年生と6年生でしていない者の割合が高くなるのは、実習等のカリキュラムが理由によると考えられる。大学間で差が大きいのは、この点が反映されているといえる。

図2-1

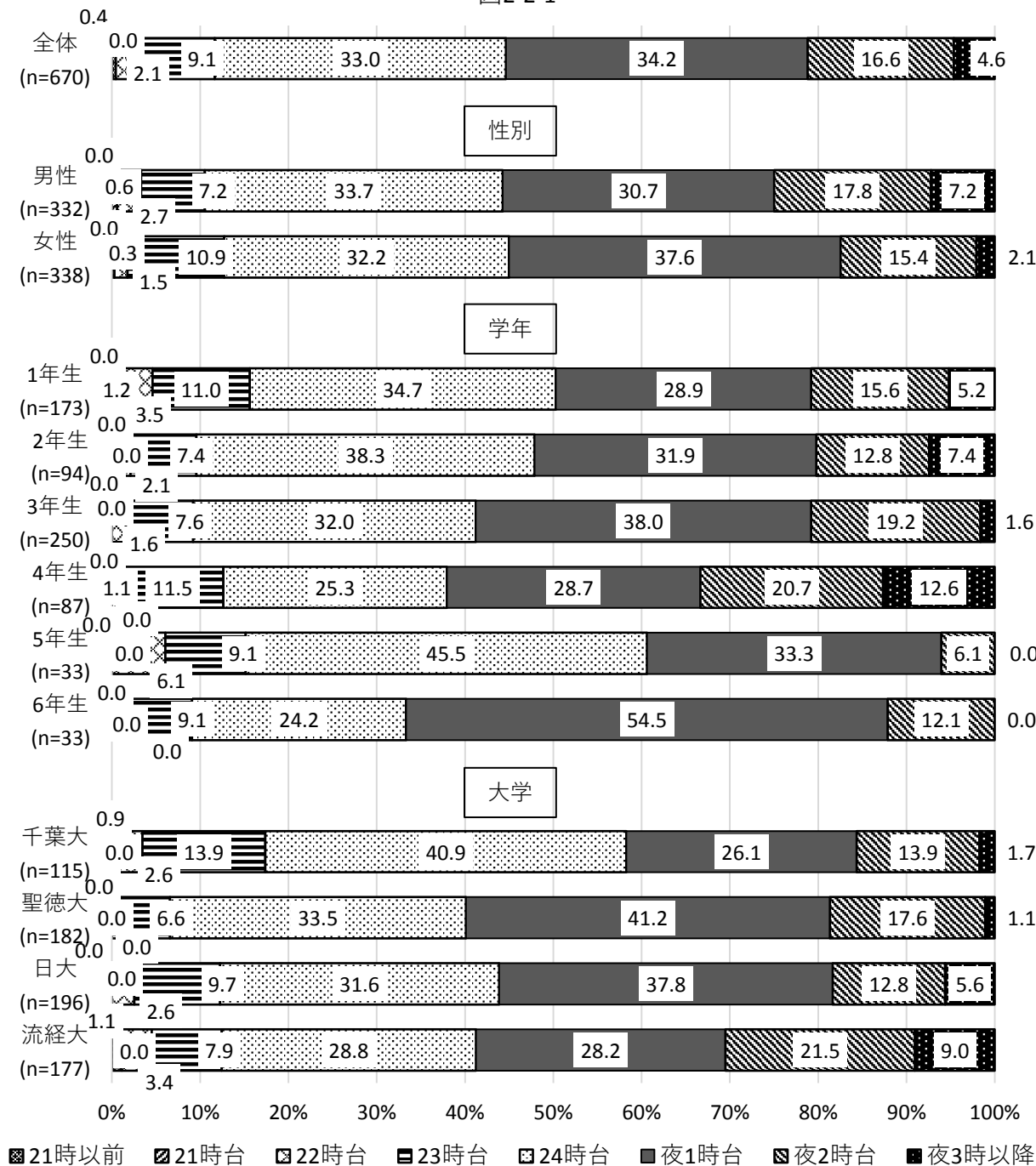


問7 あなたは平日、何時頃に就寝・起床していますか。(1つに○)

・就寝時刻

全体では、1時台と24時台で3分の2を超えており、特に女性では4割近くが1時台で夜更かしの傾向がある。学年が上がるにしたがい、夜更かしの傾向が進むといえる。大学別では、千葉大学で半数以上が1時前に就寝しているのに対して、流通経済大学では2時以降の就寝が3割を超えており、流通経済大学で夜更かしの割合が最も高い。

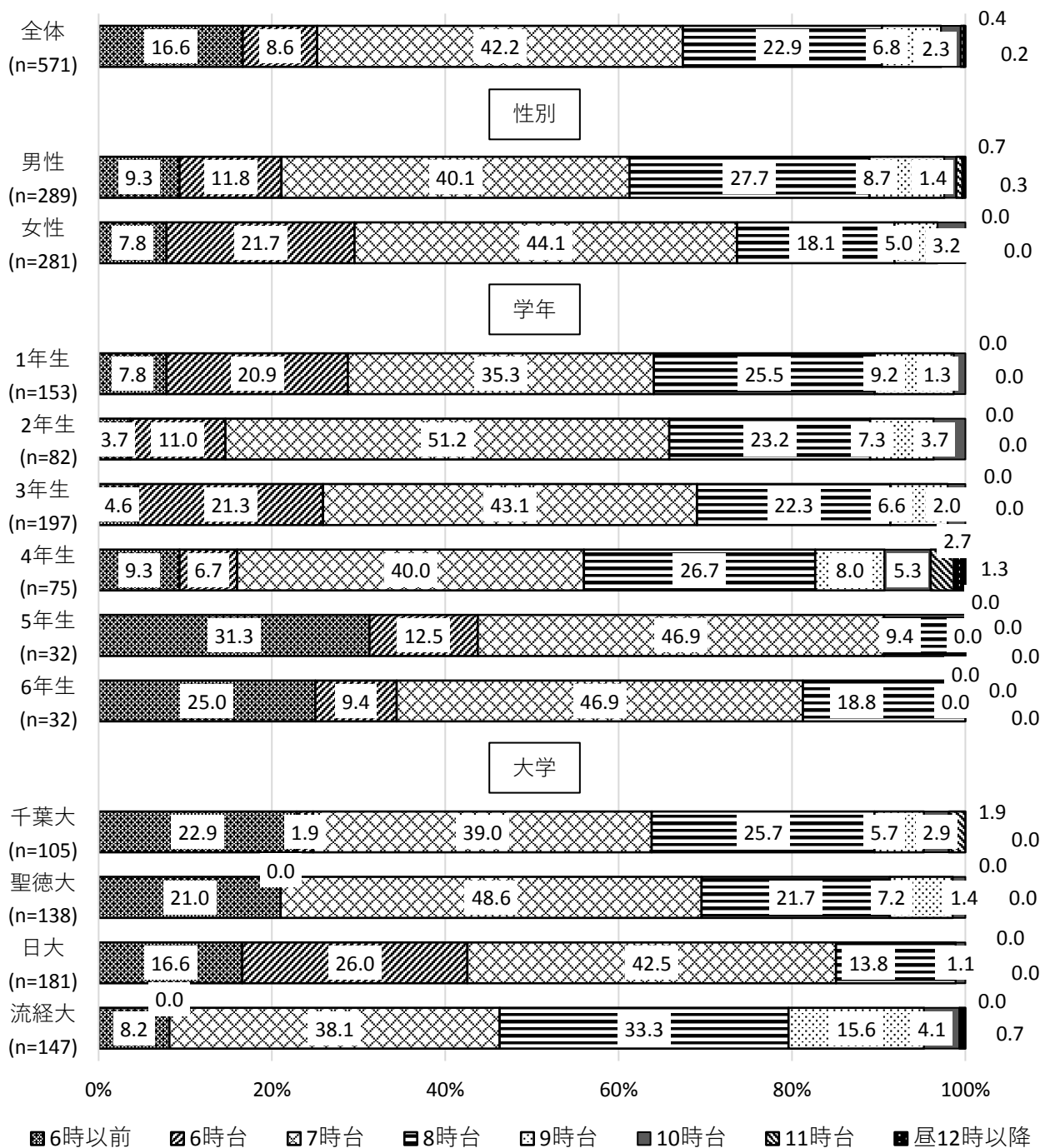
図2-2-1



・起床時刻

7時台の起床の割合が最も高く、女性の方が早起きの傾向がある。学年ごとに起床時間がばらついているのは、履修カリキュラムによることが推察される。8時台の起床の割合が流通経済大学では、3分の1を占めている。

図2-2-2

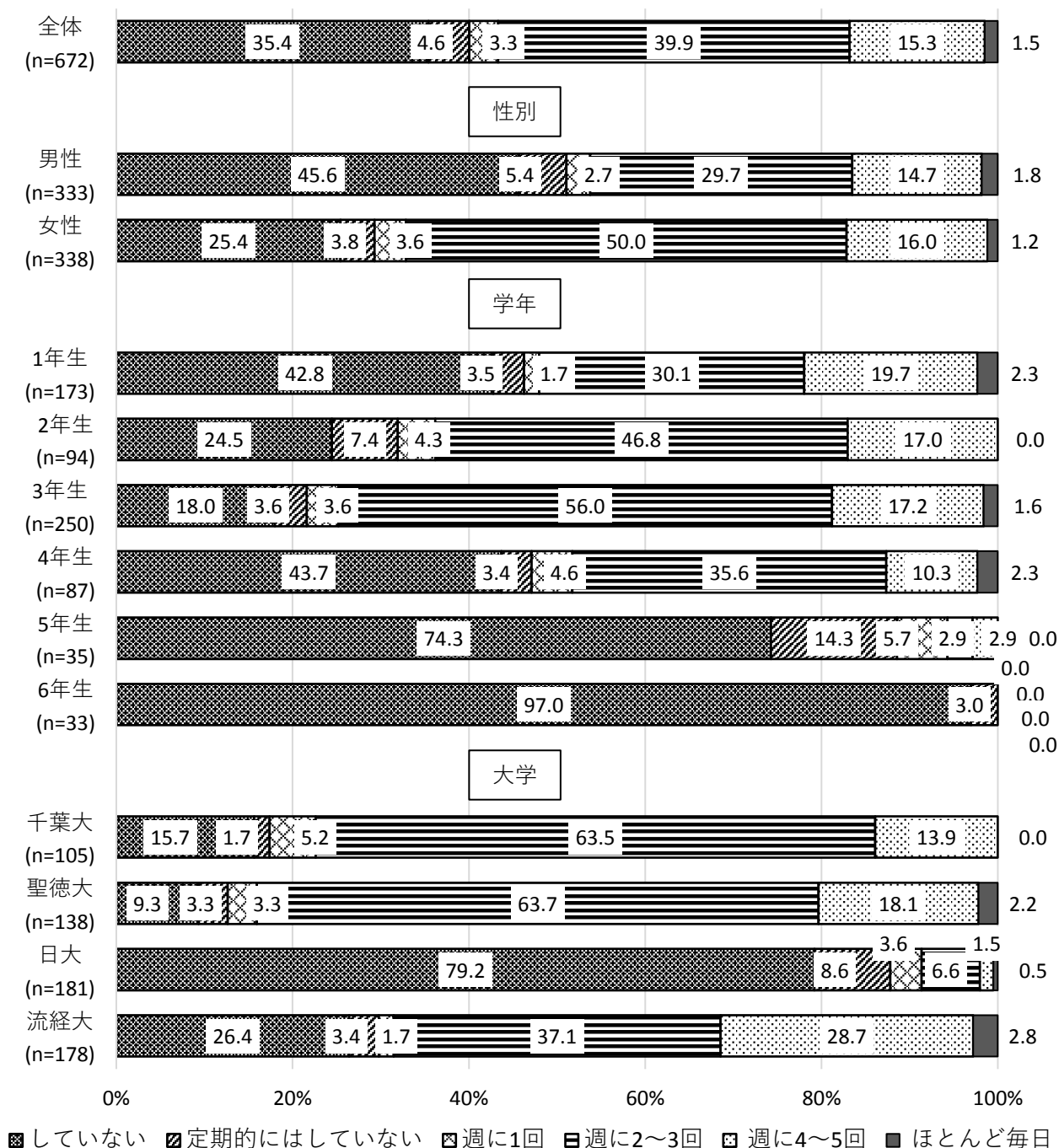


問 8 あなたはアルバイトを週に何回ぐらい、どの時間帯にしていますか。(それぞれ1つに○)

・アルバイトの頻度

週に2~3回が4割で最も多いのに対して、していない者も3分の1以上おり、特に男性でその割合が高い。学年別では、3年生が最もアルバイトに熱心といえるが、カリキュラムや就職活動の影響と思われる学年ごとの違いが大きく表れている。大学別では、聖徳大学と千葉大学が従事の割合が高い。

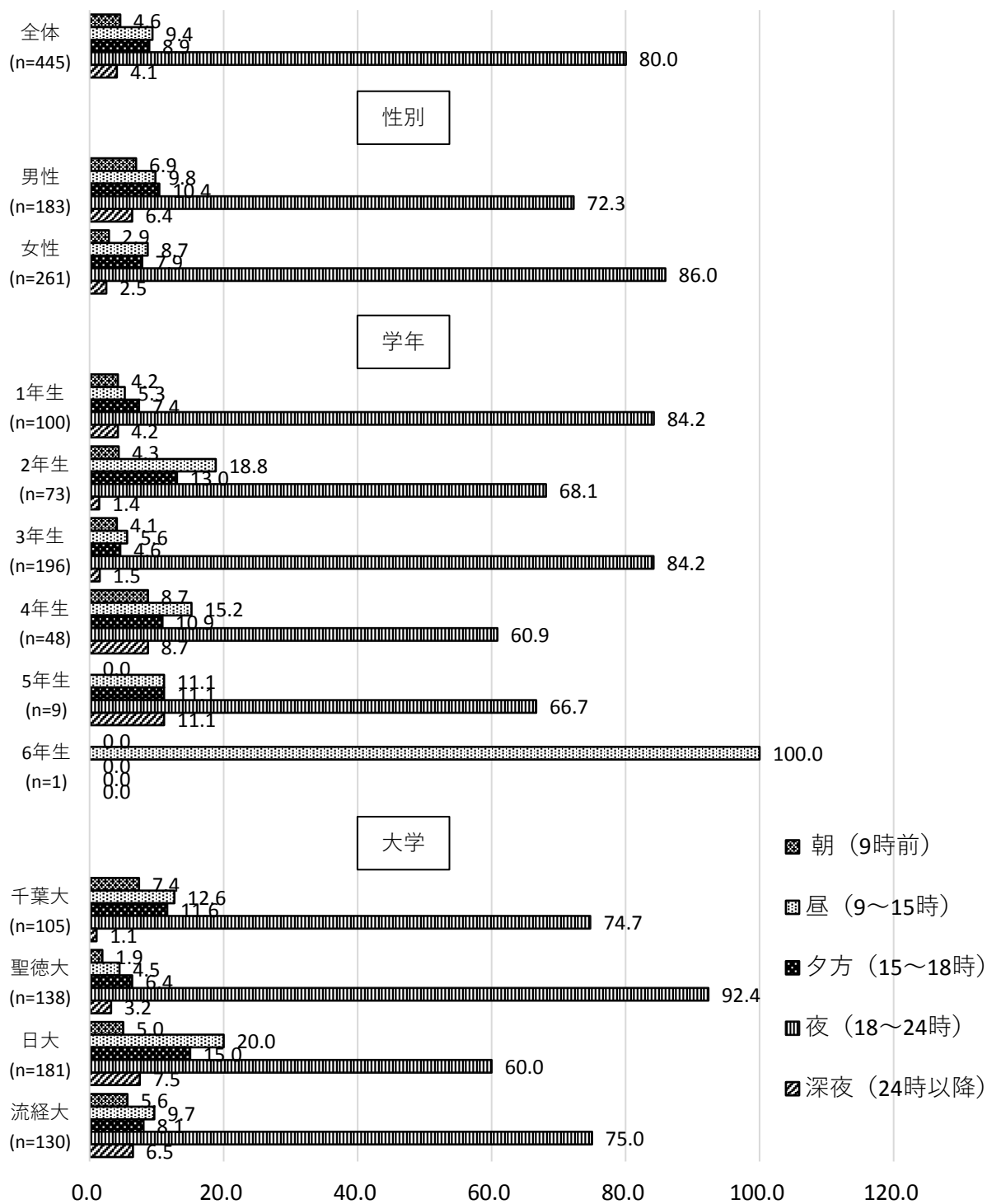
図2-3-1



・アルバイトの時間帯

全体の8割が夕方から深夜までの時間で従事している。その割合は、女性、3年生、聖徳大学で高い。

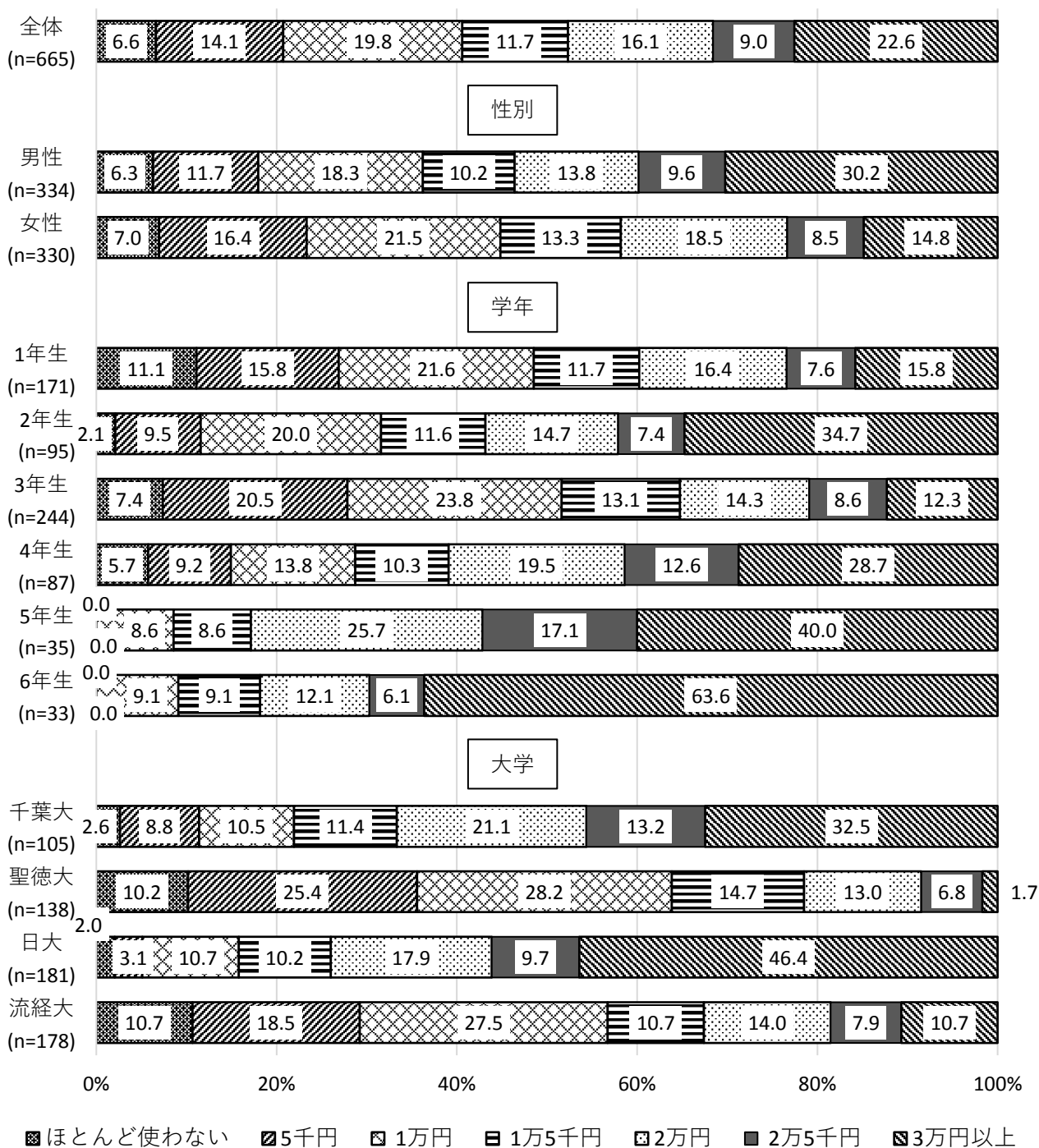
図2-3-2



問9 あなたの1ヶ月の食費（外食や飲み物を含む）を教えてください。

全体に、ほとんど使わないから3万円以上までの間でばらつきがみられるが、男性は、3万円以上が3割を占めている点で、明確な差が表れている。学年別では、1年生と3年生が似たパターンを示すが、2年生と4年生で支出額が高くなる。大学別では、日本大学、千葉大学の順に支出額が高いのに対して、聖徳大学と流通経済大学では、低い傾向がある。

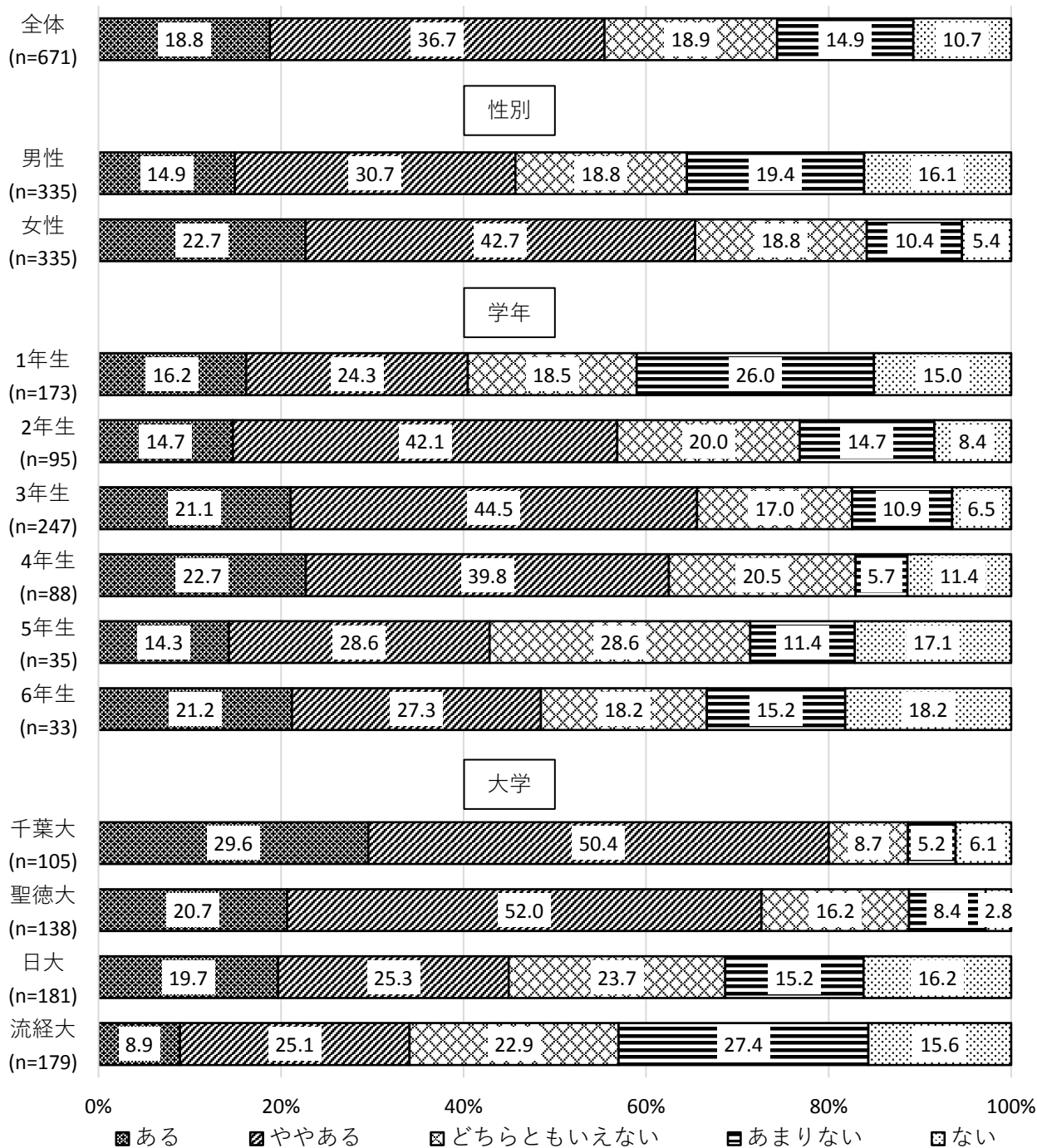
図2-4



問10 あなたは「食育」に関心がありますか。(1つに○)

「ややある」を含めると、全体の半数以上が食育に関心を示しており、男女別では女性の関心が高い。学年別では、3年生まで次第に高くなっていく。大学別では、食に関連した学部を有する千葉大学と聖徳大学で関心が高く、次いで日本大学、流通経済大学の順となっている。

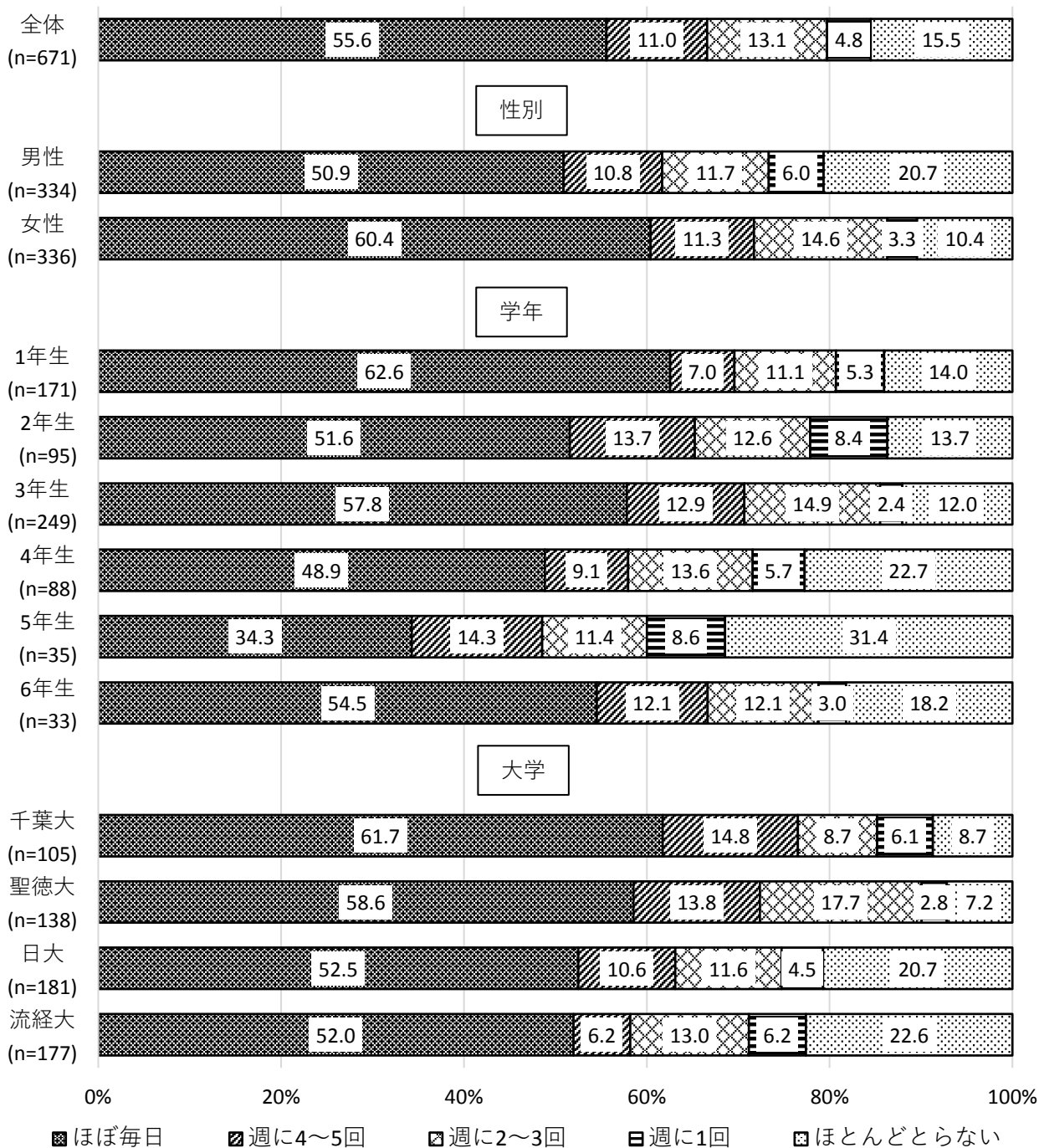
図2-5



問 11 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか。(1つに○)

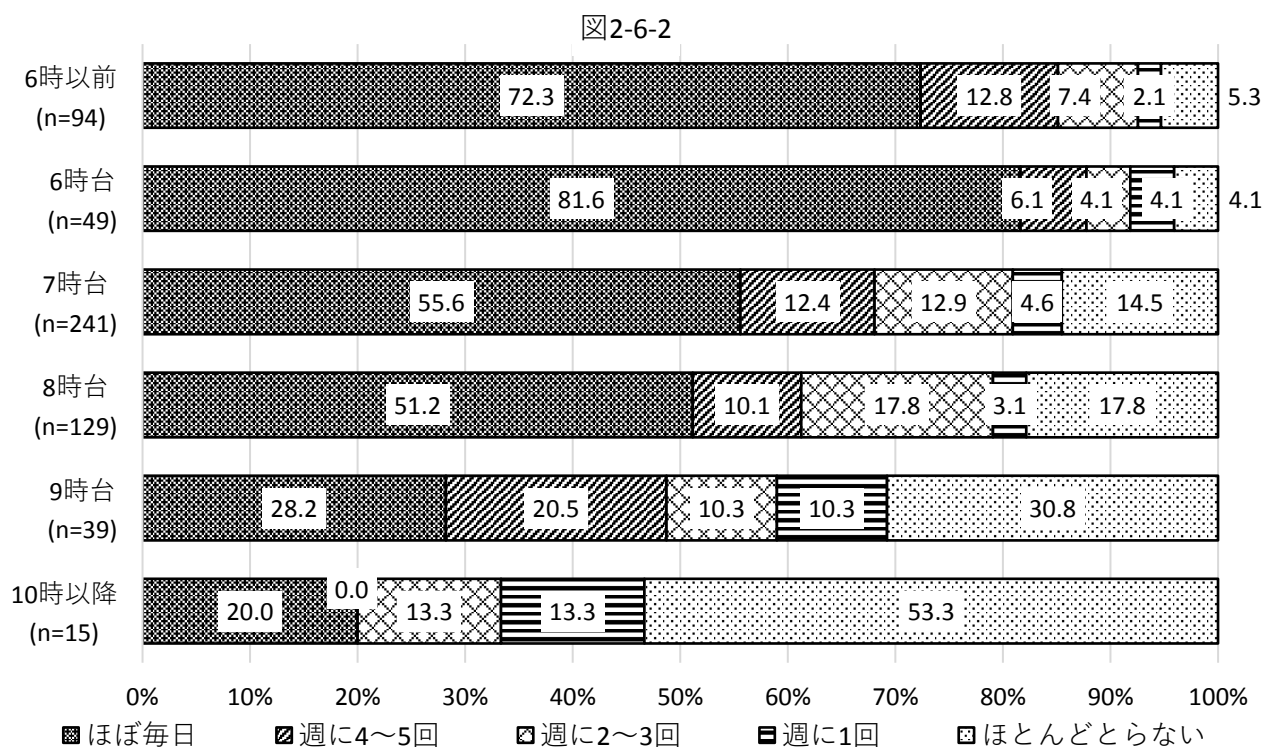
全体の半数以上が、ほぼ毎日朝食をとっているが、男女別では女性で6割と高い。また、学年が進むとその割合は低下する傾向にある。大学別では、千葉大学と聖徳大学で6割前後であるが、日本大学と流通経済大学では、5割程度となっている。

図2-6-1



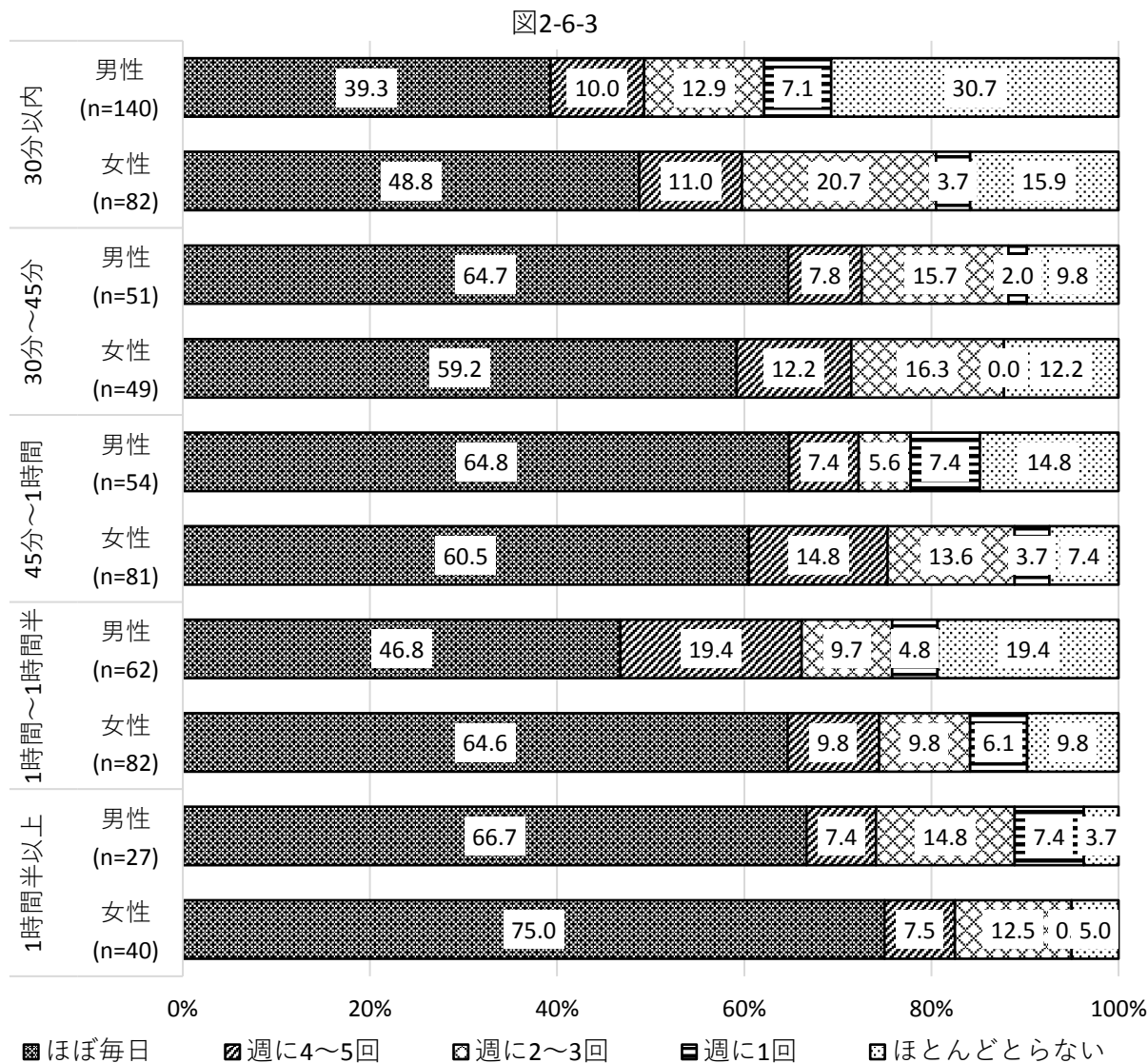
起床時間×朝食をとる頻度

起床時間と朝食をとる頻度をクロス集計すると、6時台の起床でその割合が8割を超えており最も高い。その割合は、起床時間が遅くなるとともに低下し、8時台で5割、9時台では3割を切り、10時台では2割と大きく低下する。このことから、少なくとも8時台には起きることが、朝食をとるためには重要といえる。



通学時間×朝食をとる頻度×性別

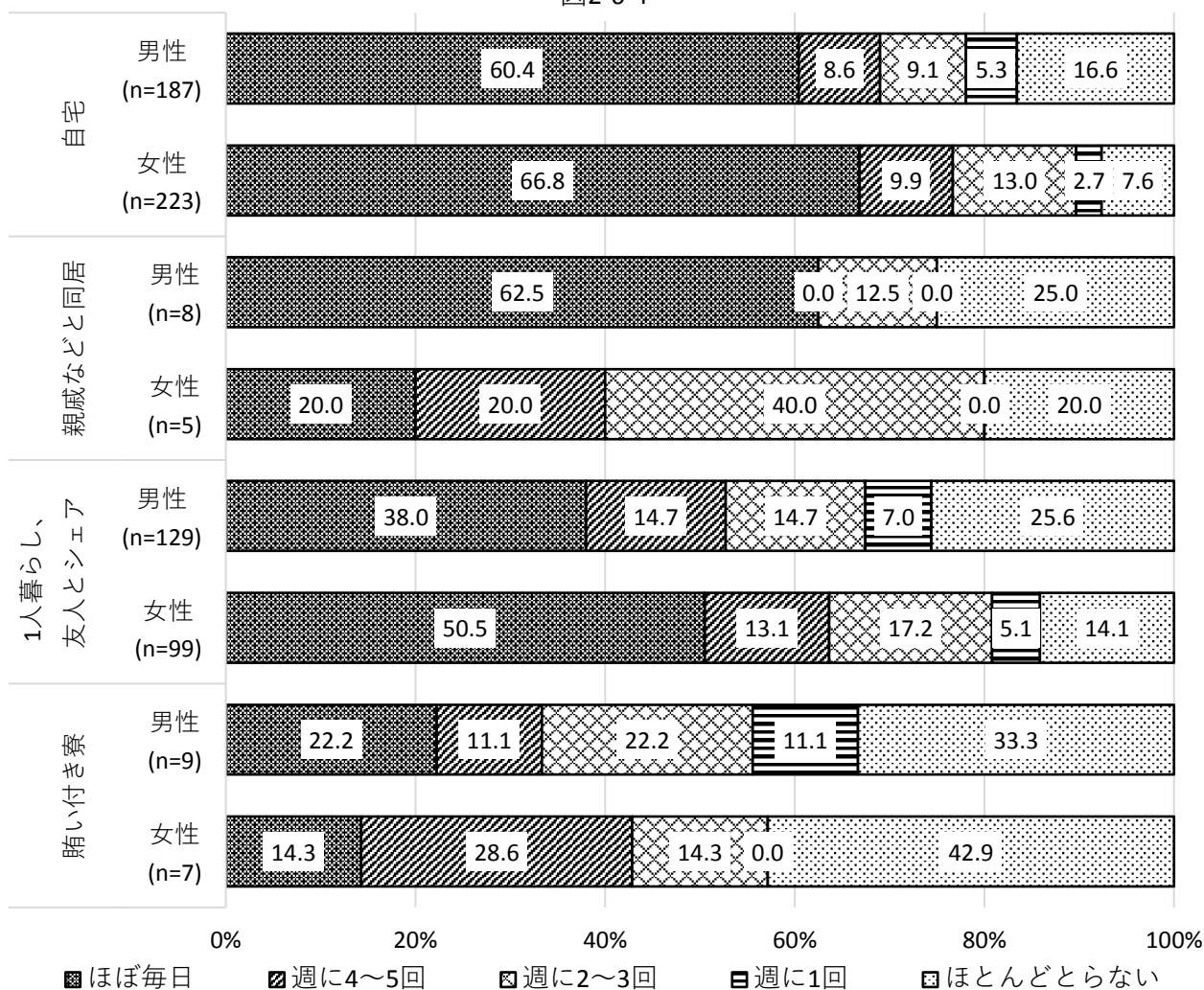
通学時間別にみると、1時間を超えると女性の方が朝食をとる割合は高いが、1時間未満では女性の方が低い傾向にあり、近いほどお化粧などの時間と朝食との代替関係が示唆される。



居住形態×朝食をとる頻度×性別

居住形態と朝食をとる頻度および性別とのクロス集計結果をみると、回答数の多い自宅生で、男女ともに6割を超えているが、女性の方が高く、3分の2を超えている。自宅外の居住者では、一人暮らしや友人とシェアしている場合、自宅生より朝食をとる頻度は低下するが、男性の低下割合が大きく、その割合は4割を切っている。これは、男女で料理の習慣の有無の違いによるものと考えられる。

図2-6-4



問 12 問 11 で「ほぼ毎日」、「週に 4～5 回」、「週に 2～3 回」と回答した方に伺います。あなたが普段とっている朝食は主にどのようなメニューですか。

全体で、8 割以上で主食をとっている。男女別では、牛乳・乳製品を除いて、他の項目で 10%以上の差はみられない。学年別では、4 年生で主食をとる割合が 7 割台へ低下する。大学別では、主食をとる割合は千葉大学と聖徳大学で 9 割前後であるのに対して、日本大学と流通経済大学では約 8 割となっている。

表 1-1 (％)

	回答者数(人)	主食	主菜	副菜	飲み物	栄養ドリンクや エナジーゼリー	牛乳・乳製品	菓子・嗜好品	果物(100% 果物ジュース)	その他	計
全体 (n=562)	562	84.5	37.2	21.5	46.1	7.3	32.9	6.9	18.7	0.0	255.2
男性 (n=263)	263	84.8	36.5	20.9	41.1	8.4	26.6	7.2	15.2	0.0	240.7
女性 (n=298)	298	84.6	37.9	21.8	50.7	6.4	38.6	6.7	21.8	0.0	268.5
1 年生 (n=149)	149	86.6	33.6	14.1	43.6	7.4	31.5	8.1	13.4	0.0	238.3
2 年生 (n=76)	76	86.8	43.4	30.3	44.7	7.9	35.5	3.9	25.0	0.0	277.6
3 年生 (n=217)	217	86.2	35.5	19.8	52.1	6.0	34.6	7.4	20.3	0.0	261.8
4 年生 (n=70)	70	75.7	45.7	31.4	37.1	10.0	35.7	7.1	15.7	0.0	258.6
5 年生 (n=23)	23	73.9	39.1	26.1	39.1	4.3	21.7	8.7	26.1	0.0	239.1
6 年生 (n=27)	27	85.2	29.6	22.2	44.4	11.1	22.2	3.7	18.5	0.0	237.0
千葉大 (n=101)	101	91.1	39.6	25.7	44.6	4.0	41.6	8.9	25.7	0.0	281.2
聖徳大 (n=167)	167	88.0	37.7	19.2	52.7	4.8	36.5	6.0	18.6	0.0	263.5
日大 (n=150)	150	79.3	40.0	26.0	46.7	14.0	29.3	8.0	19.3	3.3	266.0
流経大 (n=144)	144	79.2	31.3	16.0	38.9	5.6	26.4	5.6	12.5	0.0	215.3

問13 問11で「週に1回」、「ほとんどとらない」と回答した方に伺います。あなたが朝食をとらない理由は何ですか。(該当するもの全てに○)

全体では、食欲がないからという理由が3割程度を占めて、女性では朝食より優先したいことという理由が3割を超えており、お化粧・身支度などの時間にあてているためと考えられる。学年別では、4年生で、準備や後片付けが面倒とする割合が4割に達しており、千葉大学でその割合が高い。

表1-2

(%)

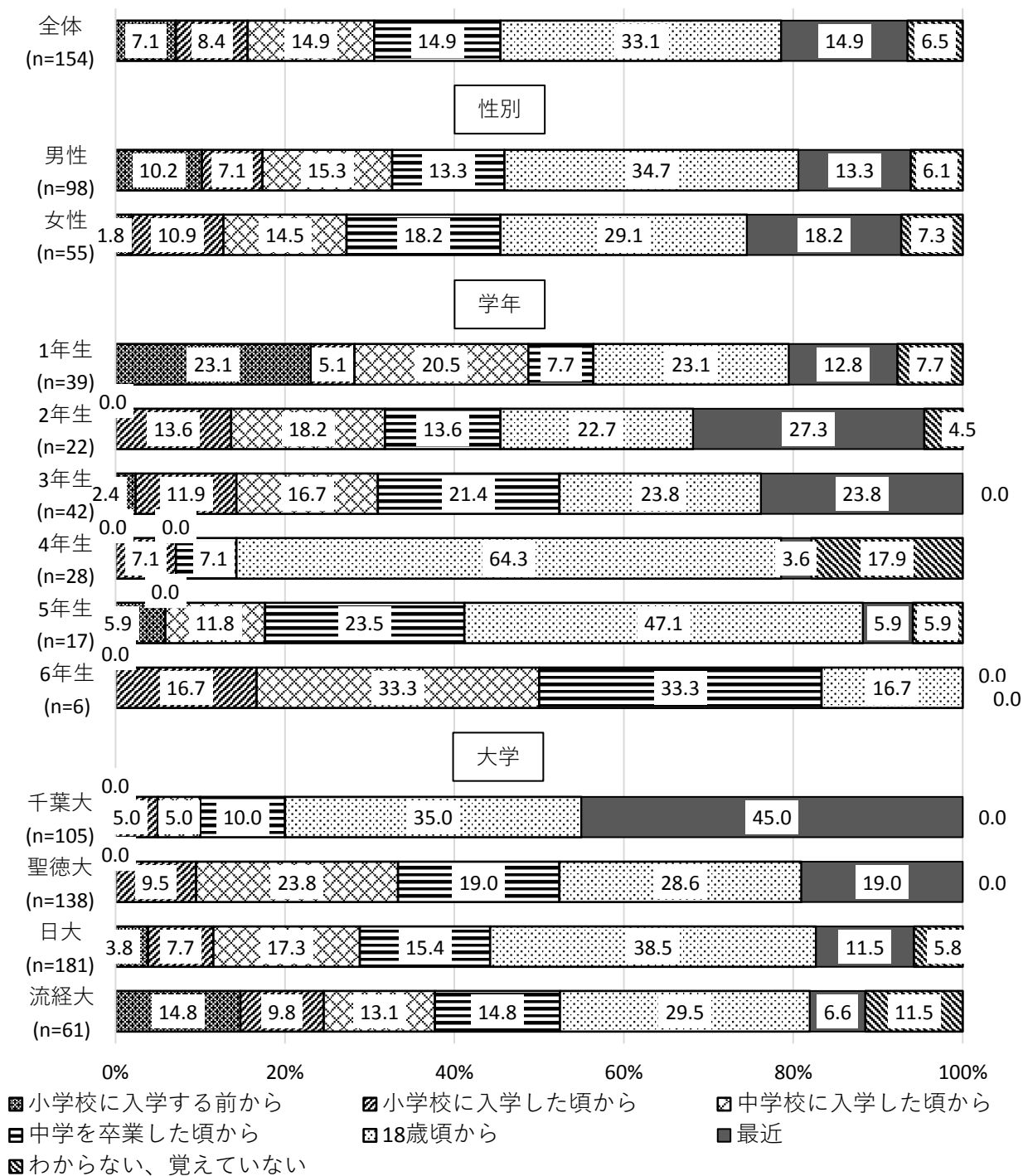
	回答者数(人)	食欲がないから	太りたくないから	朝食の準備や後片付けが面倒だから	朝食より優先したいことがあるから	お金がもつたないから	以前から食べる習慣がないから	その他	計
全体 (n=163)	163	34.4	4.3	25.8	23.9	6.7	19.6	16.0	130.7
男性 (n=104)	104	35.6	3.8	25.0	19.2	9.6	19.2	15.4	127.9
女性 (n=58)	58	32.8	5.2	27.6	32.8	0.0	20.7	17.2	136.2
1年生 (n=40)	40	35.0	7.5	27.5	25.0	2.5	25.0	7.5	130.0
2年生 (n=23)	23	30.4	4.3	26.1	26.1	4.3	13.0	30.4	134.8
3年生 (n=45)	45	40.0	2.2	17.8	28.9	6.7	11.1	13.3	120.0
4年生 (n=30)	30	26.7	6.7	40.0	16.7	16.7	23.3	16.7	146.7
5年生 (n=18)	18	38.9	0.0	22.2	16.7	0.0	22.2	22.2	122.2
6年生 (n=7)	7	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	42.9	14.3	142.9
千葉大 (n=22)	22	9.1	13.6	54.5	22.7	9.1	4.5	27.3	140.9
聖徳大 (n=22)	22	40.9	0.0	4.5	40.9	0.0	13.6	22.7	122.7
日大 (n=56)	56	37.5	1.8	25.0	19.6	8.9	33.9	16.1	142.9
流経大 (n=63)	63	38.1	4.8	23.8	22.2	6.3	14.3	9.5	119.0

(回答者数：163；回答権のない34を含む／複数回答)

問 14 問 11で「週に1回」、「ほとんどとらない」と回答した方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか。(1つに○)

18歳頃から朝食をとらなくなったとの回答が3分の1を占め、男性で特にその傾向が強い。学年別では、4年生が特異的であるが、サンプル数が少ない点を考慮する必要がある。大学別では、千葉大学で最近との回答が45%を占めており、他大学との違いをみせている。

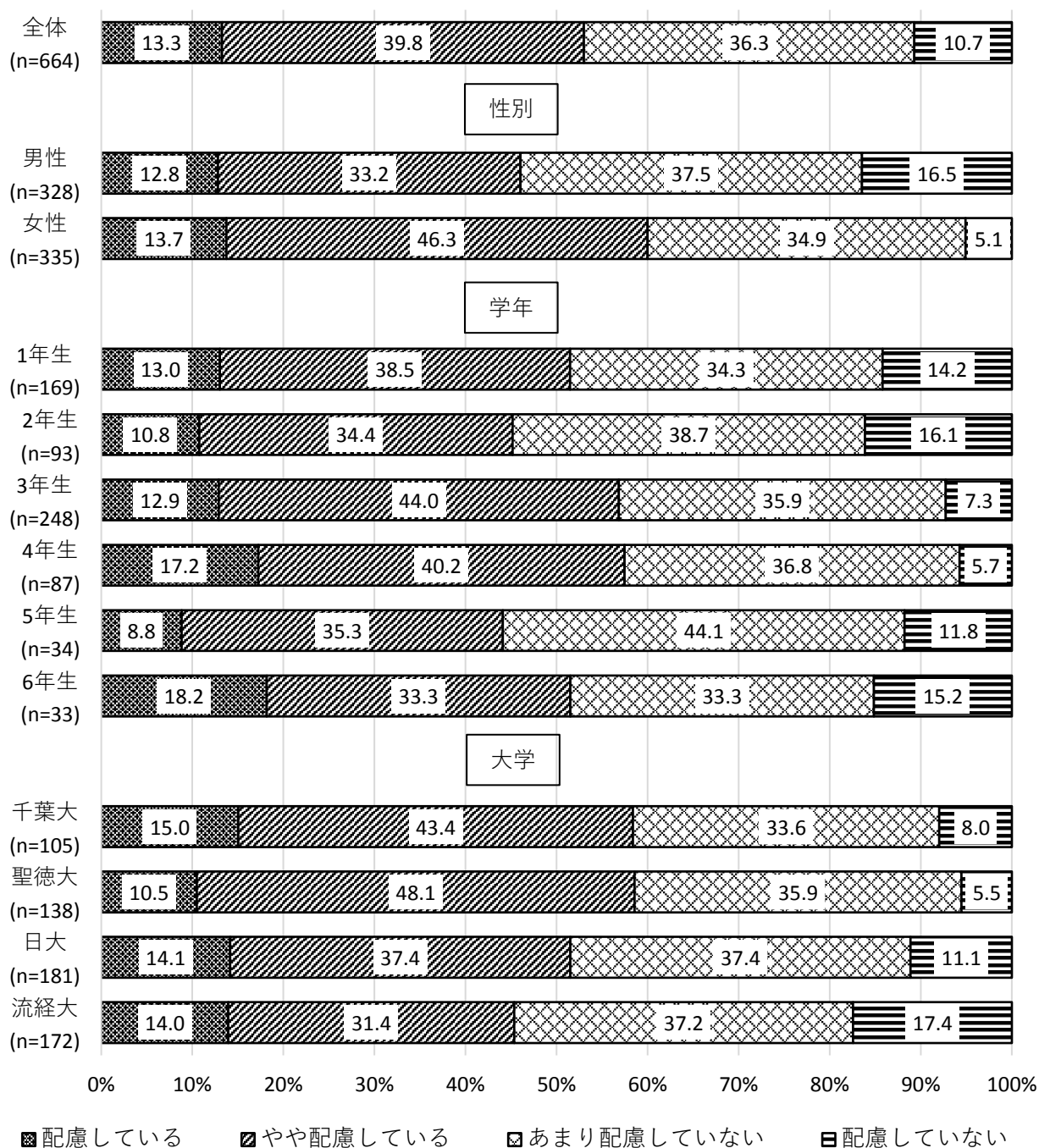
図2-7



問 15 あなたは普段の食事で、主食・主菜・副菜を組み合わせるなど、栄養バランスに配慮していますか。

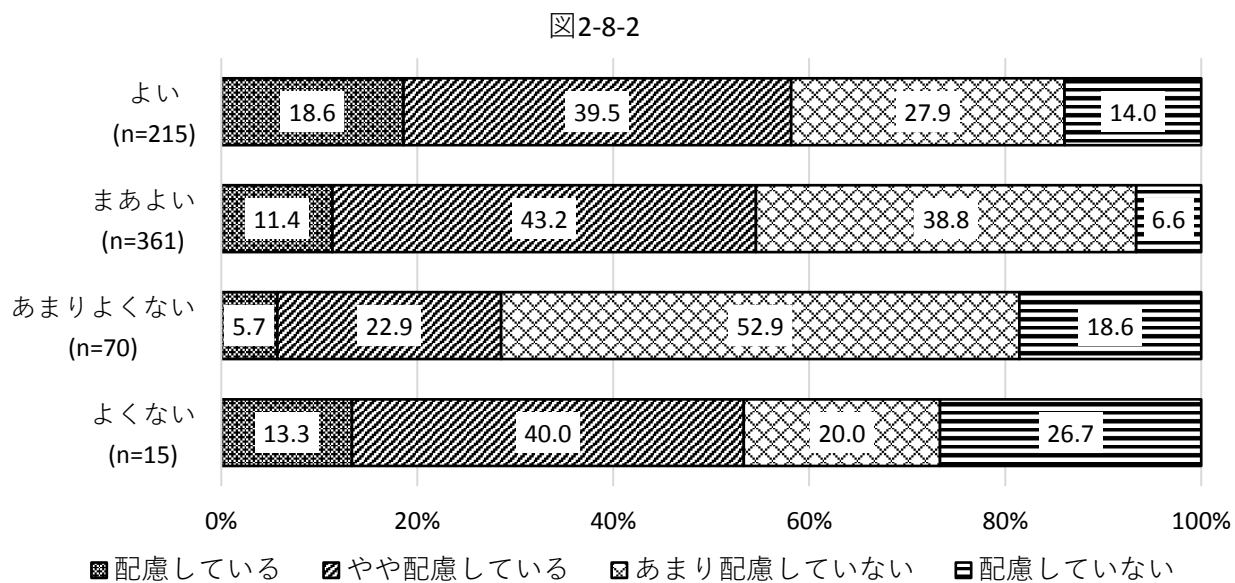
栄養バランスへの配慮の有無は、ほぼ半々であるが男女別では、女性でその割合が6割であるのに対して、男性では、5割に達していない。学年別では、3・4年生で高くなっている。大学別では、聖徳大学と千葉大学で高く、日本大学と流通経済大学で低くなっている。

図2-8-1



健康状態×栄養バランスへの配慮

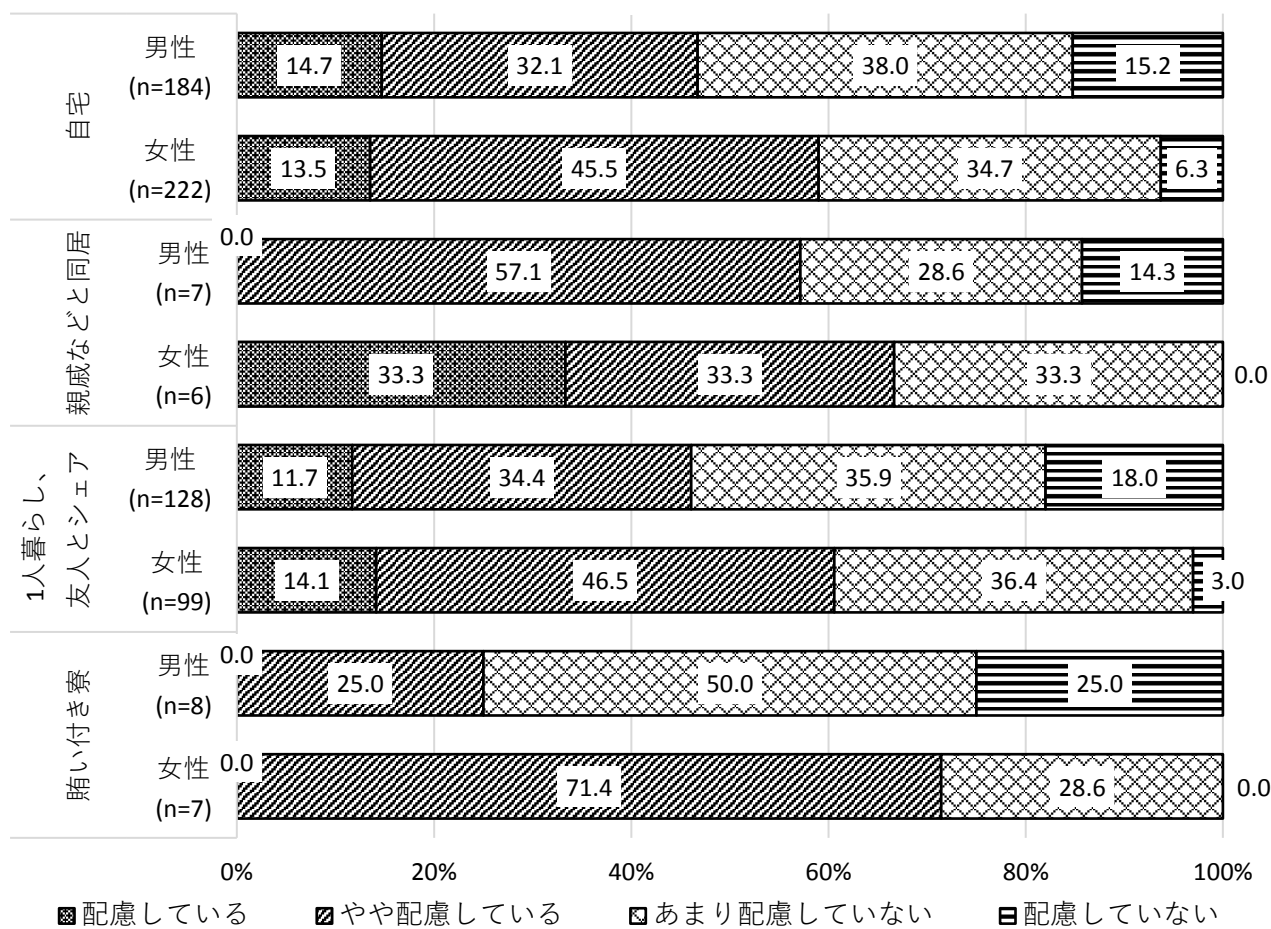
健康状態と栄養バランスのクロス集計では、両者の負の相関関係が、健康状態の「よい」、「まあよい」、「あまりよくない」で見られる。しかし、健康状態の「よくない」では栄養バランスへの配慮も見られる。



居住形態×栄養バランス配慮×性別

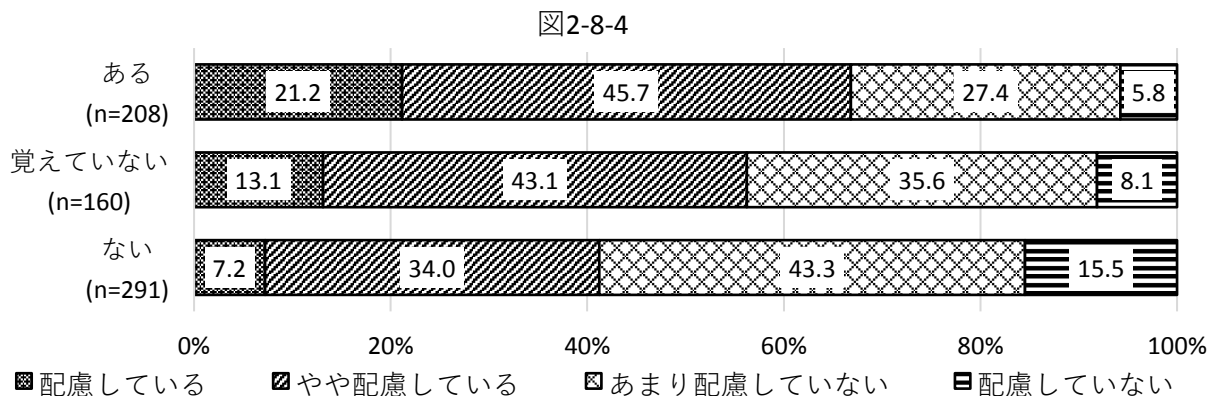
いずれの居住形態と栄養バランス配慮とのクロス集計では、総じて女性で配慮の割合が高い。

図2-8-3



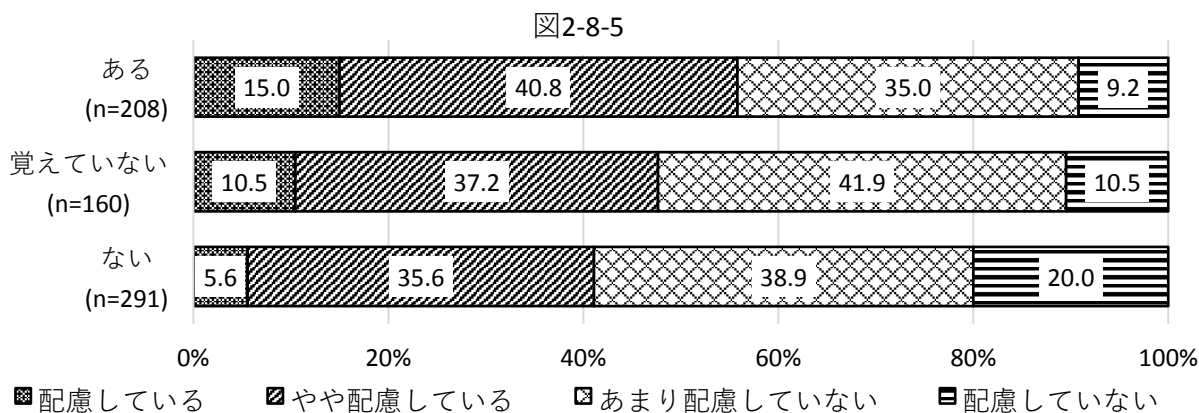
郷土料理、伝統料理、だしの取り方の教育×栄養バランスへの配慮

郷土料理、伝統料理、だしの取り方の教育と栄養バランスへの配慮は、明確な相関関係が認められる。このことから、地域や伝統的食文化の教育の重要性を指摘できる。



はし使い、三角食べなどの作法の教育×栄養バランスへの配慮

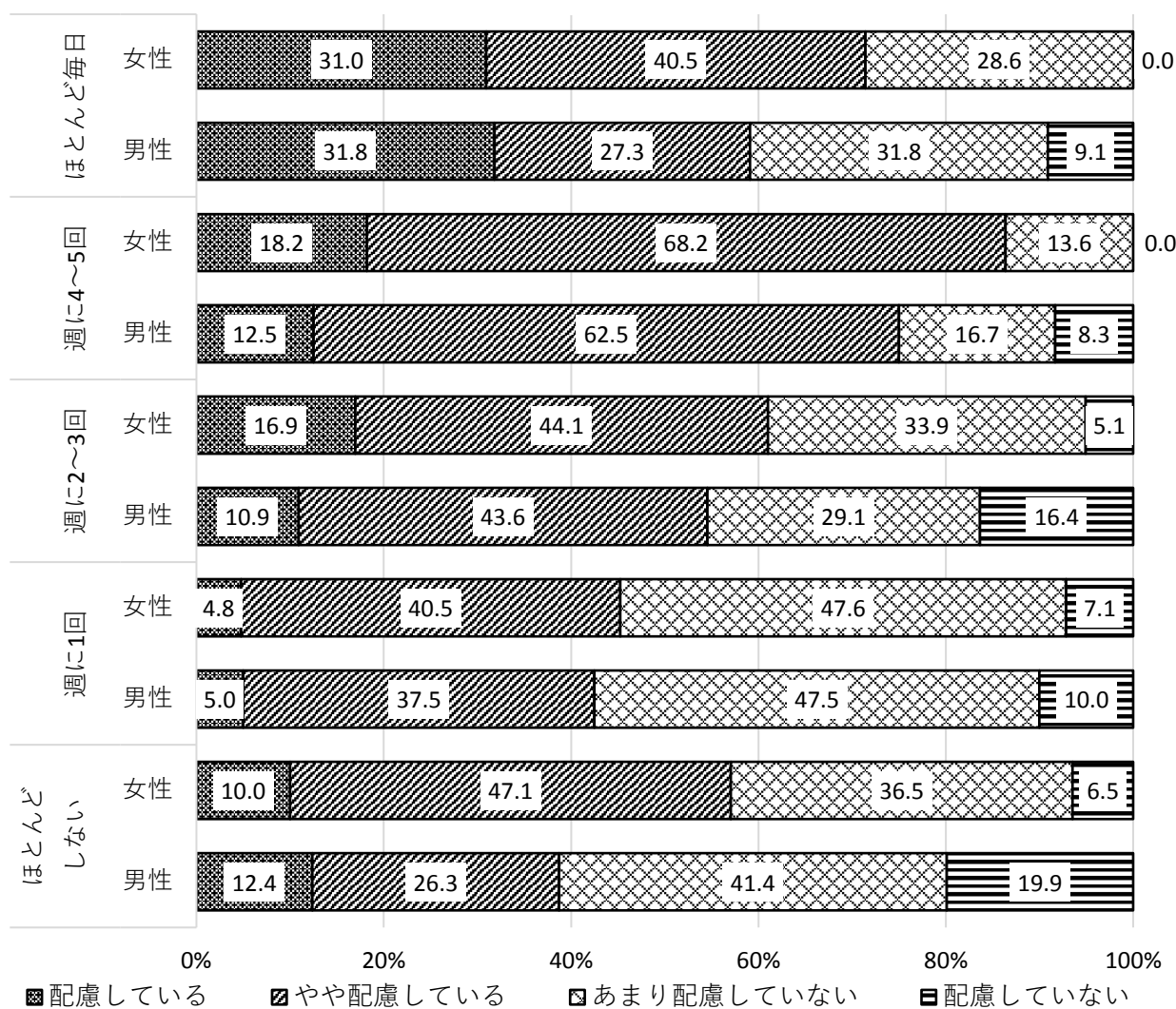
同様に、食事の作法の教育と栄養バランスへの配慮の相関も明らかである。食事作法に関する教育の重要性も指摘できる。



自炊頻度×栄養バランスへの配慮×性別

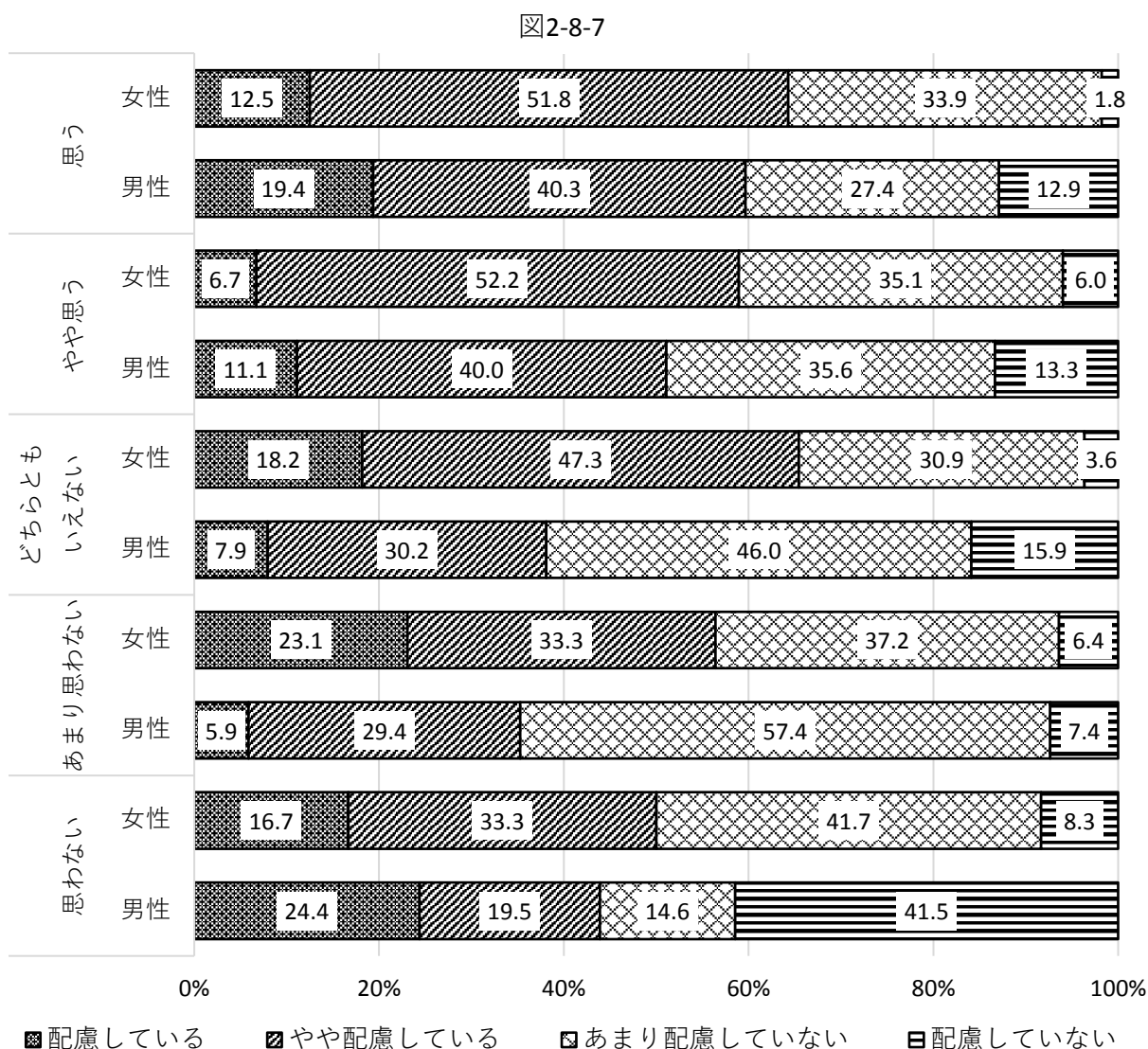
自炊頻度と栄養バランスへの配慮および性別との関係については、総じて、女性の方が栄養バランスへの配慮を行っていることと、自炊頻度が高いほど栄養バランスへの配慮も高まる傾向が読み取れる。

図2-8-6



食生活改善の意思×栄養バランスへの配慮×性別

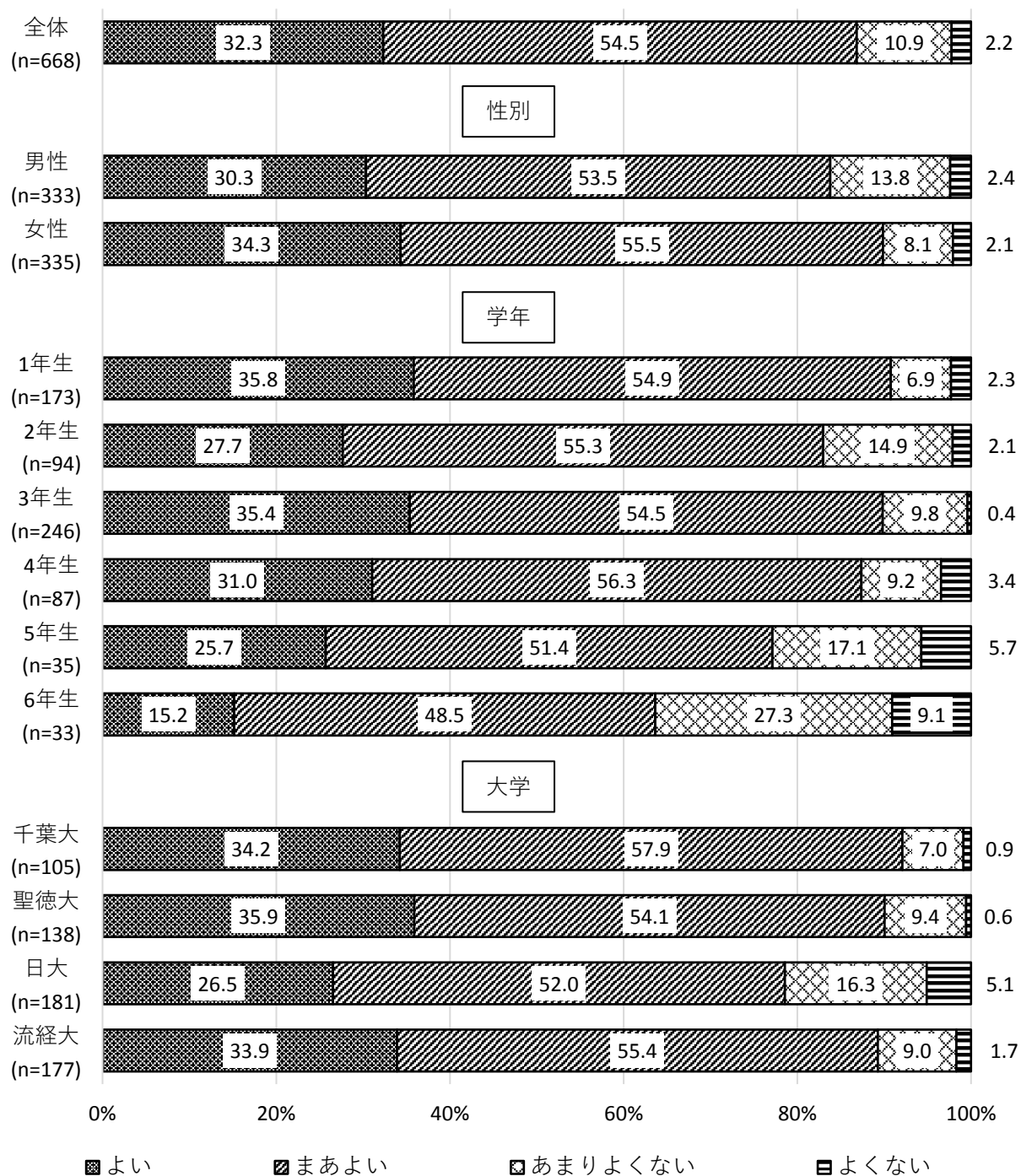
食生活改善の意思と栄養バランスへの配慮および性別との関連性についても、総じて性別では女性に比べて男性の意識が低く、食生活改善の意思と栄養バランスへの配慮との間に正の相関がみられる。このことから、食に関する意識全般の低い市民を対象とした対応の必要性を指摘できる。



問16 あなたの健康状態はどうか。(1つに○)

全体では「よい」、「まあよい」を合わせて9割近くに達しており、「あまりよくない」は1割となっている。男女別では、女性の方が健康状態がよいとの回答割合が高い。学年別では、学年が高くなるに従い、健康状態が低下する傾向が現れている。大学別では、日本大学で健康状態が他大学に比べて低くなっている。

図2-9



問 17 安全な食生活を送るため、意識して実践していることはありますか。(該当するもの全てに○)

消費期限や製造日の確認が最も一般的な行為となっており、男女別で見るとほとんどの項目で、女性で実践している割合が高い。学年別では、大きな差はみられない。大学別では、千葉大学でにおいや見た目での確認を行う割合が高い。

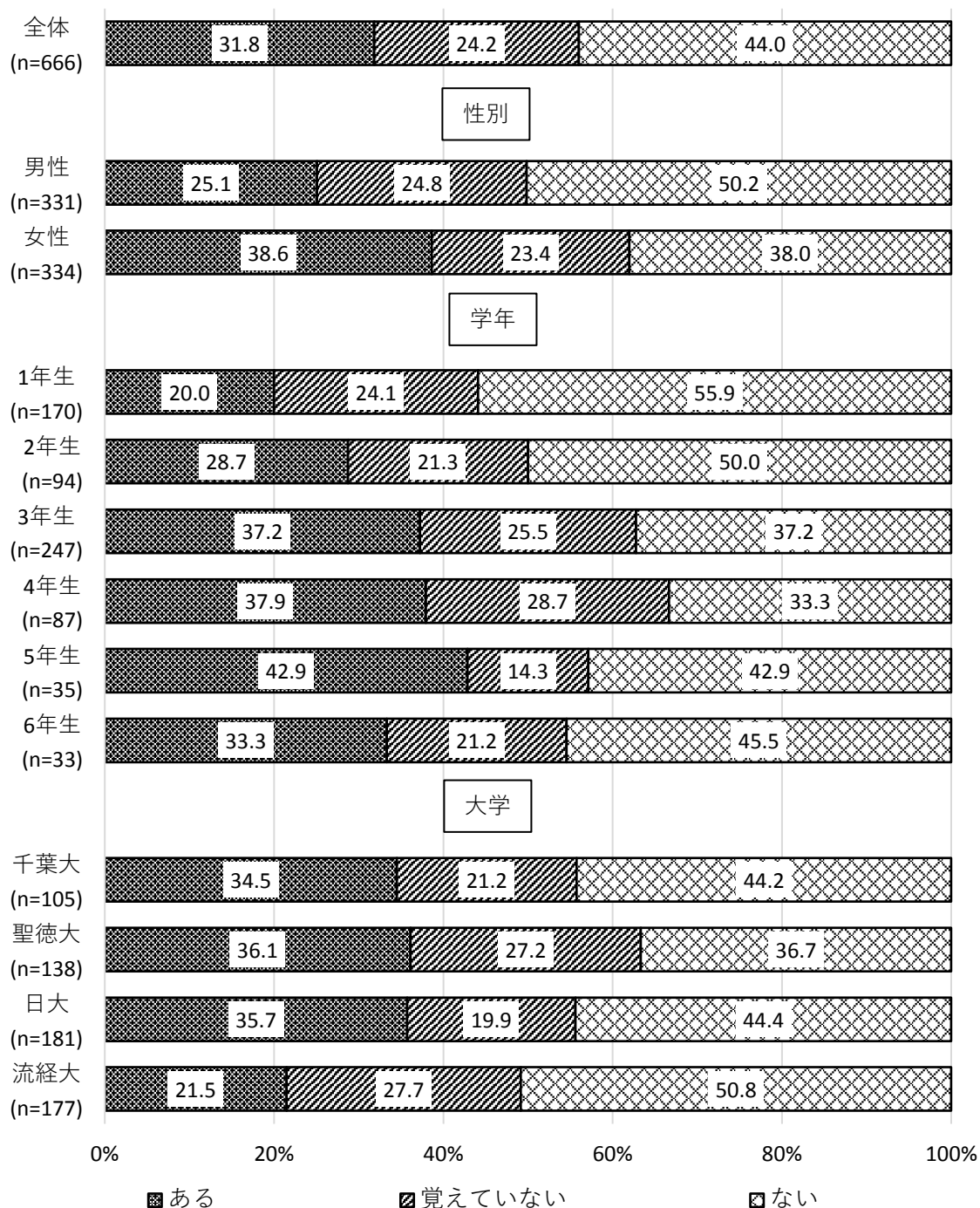
表 1-3 (％)

	回答者数(人)	消費(味)期限や製造日の確認	アレルギー表示の確認	産地の確認	保存方法や使用方法の確認	においや見た目での確認	包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒	食材や調理品の室温放置をしない	肉の十分な加熱	健康増進機能成分の摂取	その他	計
全体 (n=661)	661	73.1	8.2	20.3	33.1	50.1	19.4	27.1	43.1	9.4	0.9	284.6
男性 (n=325)	325	72.6	8.9	17.8	30.5	44.6	18.2	20.0	37.2	10.5	1.5	261.8
女性 (n=335)	335	73.7	7.2	22.7	35.8	55.5	20.6	34.0	49.0	8.4	0.3	307.2
1年生 (n=169)	169	75.1	9.5	17.2	29.0	46.2	17.8	20.1	37.3	7.1	1.2	260.4
2年生 (n=92)	92	67.4	8.7	18.5	33.7	53.3	18.5	30.4	47.8	9.8	0.0	288.0
3年生 (n=246)	246	73.2	8.5	18.7	35.4	52.0	18.7	27.6	44.7	9.8	0.0	288.6
4年生 (n=87)	87	70.1	8.0	21.8	34.5	51.7	21.8	31.0	47.1	13.8	0.0	300.0
5年生 (n=35)	35	80.0	2.9	25.7	37.1	37.1	22.9	25.7	31.4	8.6	5.7	277.1
6年生 (n=32)	32	78.1	3.1	43.8	28.1	56.3	25.0	40.6	50.0	6.3	6.3	337.5
千葉大 (n=110)	110	65.5	6.4	26.4	38.2	65.5	21.8	35.5	54.5	9.1	0.0	322.7
聖徳大 (n=181)	181	75.1	6.1	16.6	37.6	54.7	17.1	27.6	44.8	6.1	0.0	285.6
日大 (n=197)	197	75.1	8.1	28.9	28.9	50.3	25.4	34.0	45.7	12.2	2.0	310.7
流経大 (n=173)	173	73.4	11.6	10.4	30.1	35.3	13.3	13.3	31.2	9.8	1.2	229.5

問 18 あなたは親などから郷土料理、伝統料理や「だし」の取り方など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を教えてもらったことがありますか。

全体で、あると答えた割合は3割程度で、多くはないが、男女別で見ると女性では、その割合は4割近いのに対して、男性では4分の1に止まっている。学年別では、5年生までは学年が上がるに従い、あるとの回答割合が高まる傾向がみられる。

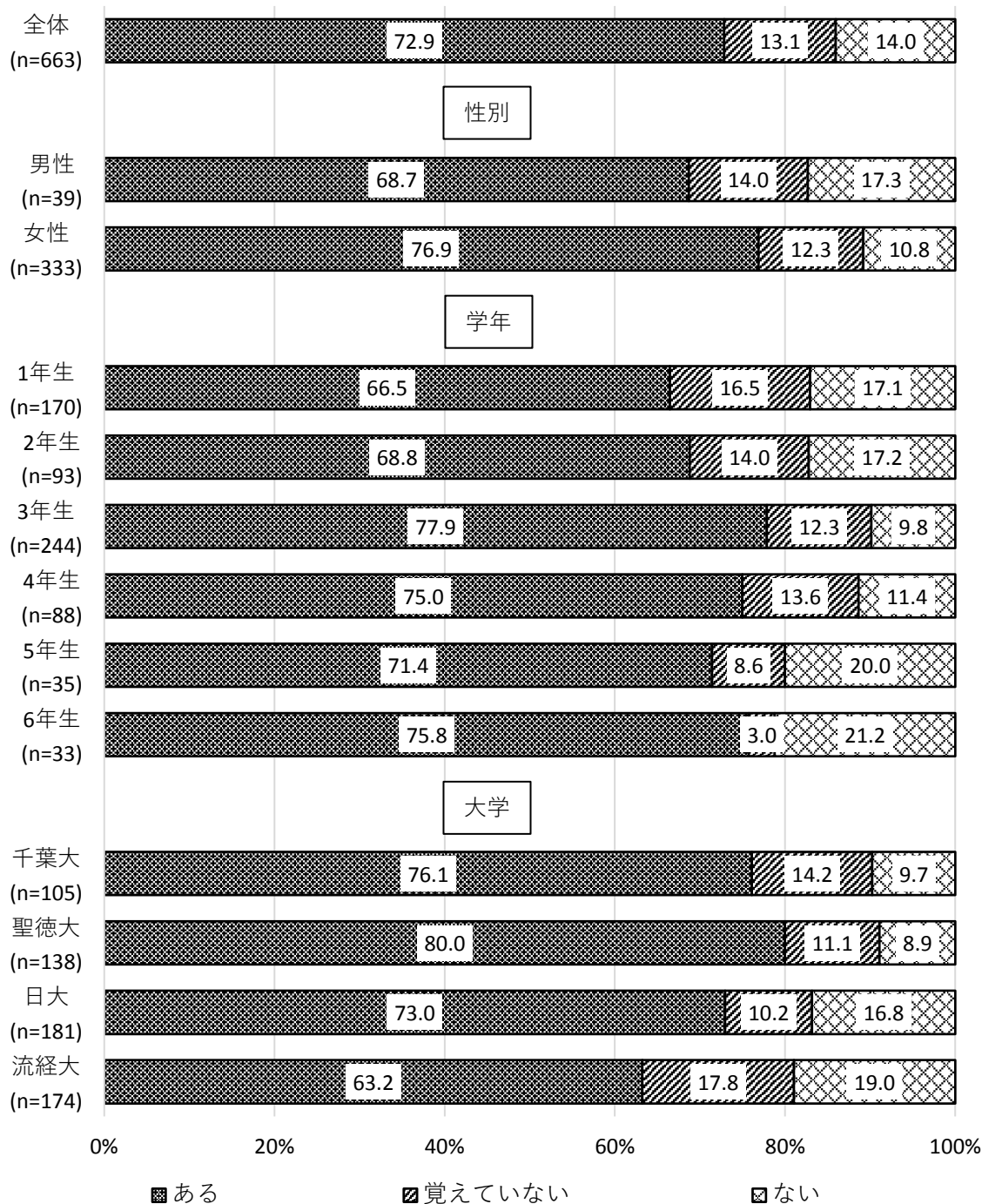
図2-10



問 19 あなたは親などから箸づかいや三角食べなどの作法を覚えてもらったことがありますか。

全体では、7割以上であると回答しているが、男女間で差がみられ、女性の方が高い。学年別では、1・2年生で低い傾向があり、大学別では聖徳大学で最も高く、流通経済大学で最も低い。

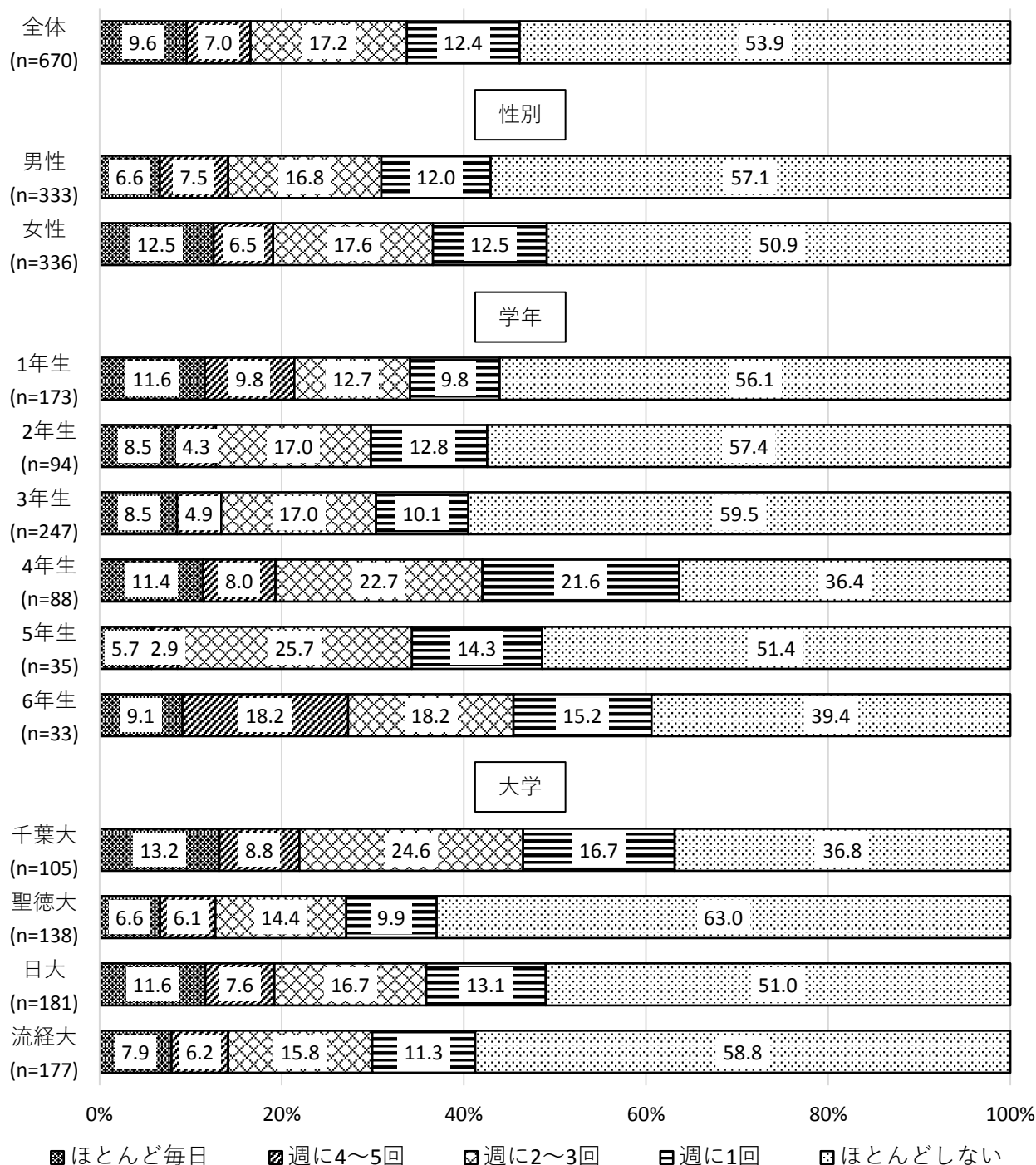
図2-11



問20 あなたは自炊をしていますか。

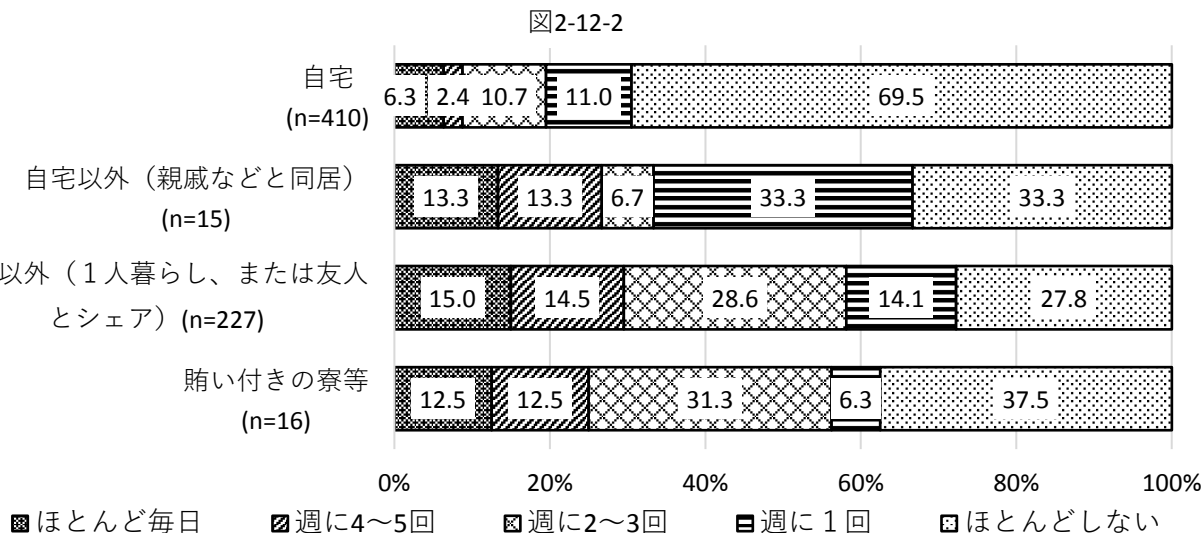
全体では、ほとんどしないが半数以上で、次いで週に2~3回（17.2%）で、ほとんど毎日自炊は1割に満たない。男女別では、自炊の割合は男性で低く、女性で高い。学年別では、4年生以降で高くなる傾向がある。大学別では、千葉大学で自炊割合が高く、聖徳大学で低い。

図2-12-1



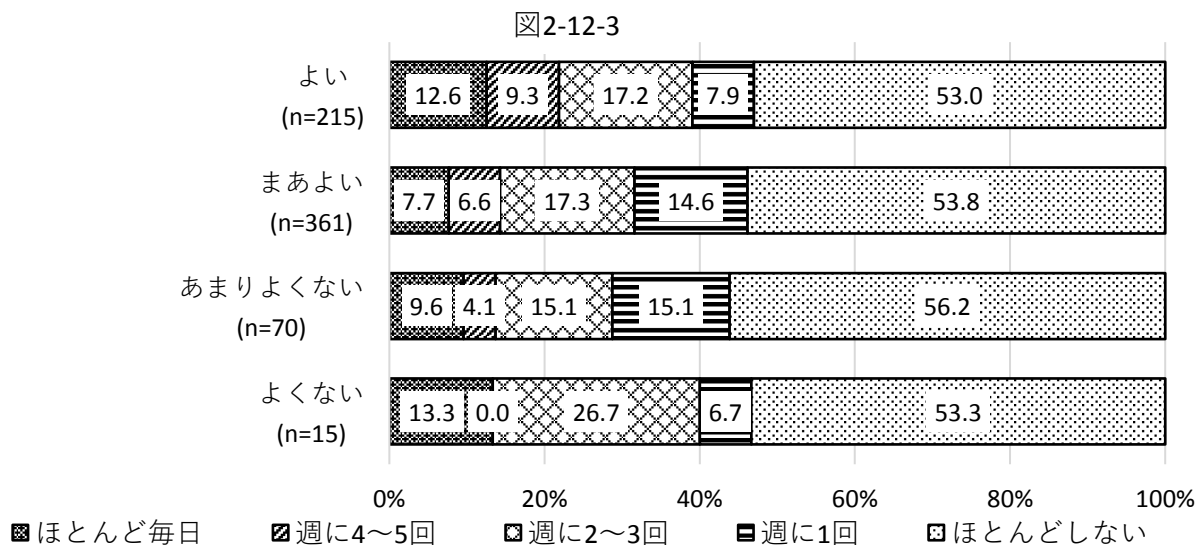
居住形態×自炊頻度

自宅生では、自炊をしていない割合は 7 割となっており、自宅以外の 1 人暮らしや友人と部屋をシェアする場合は、週に 2～3 回の自炊をしている割合が比較的高くなっている。



健康状態×自炊頻度

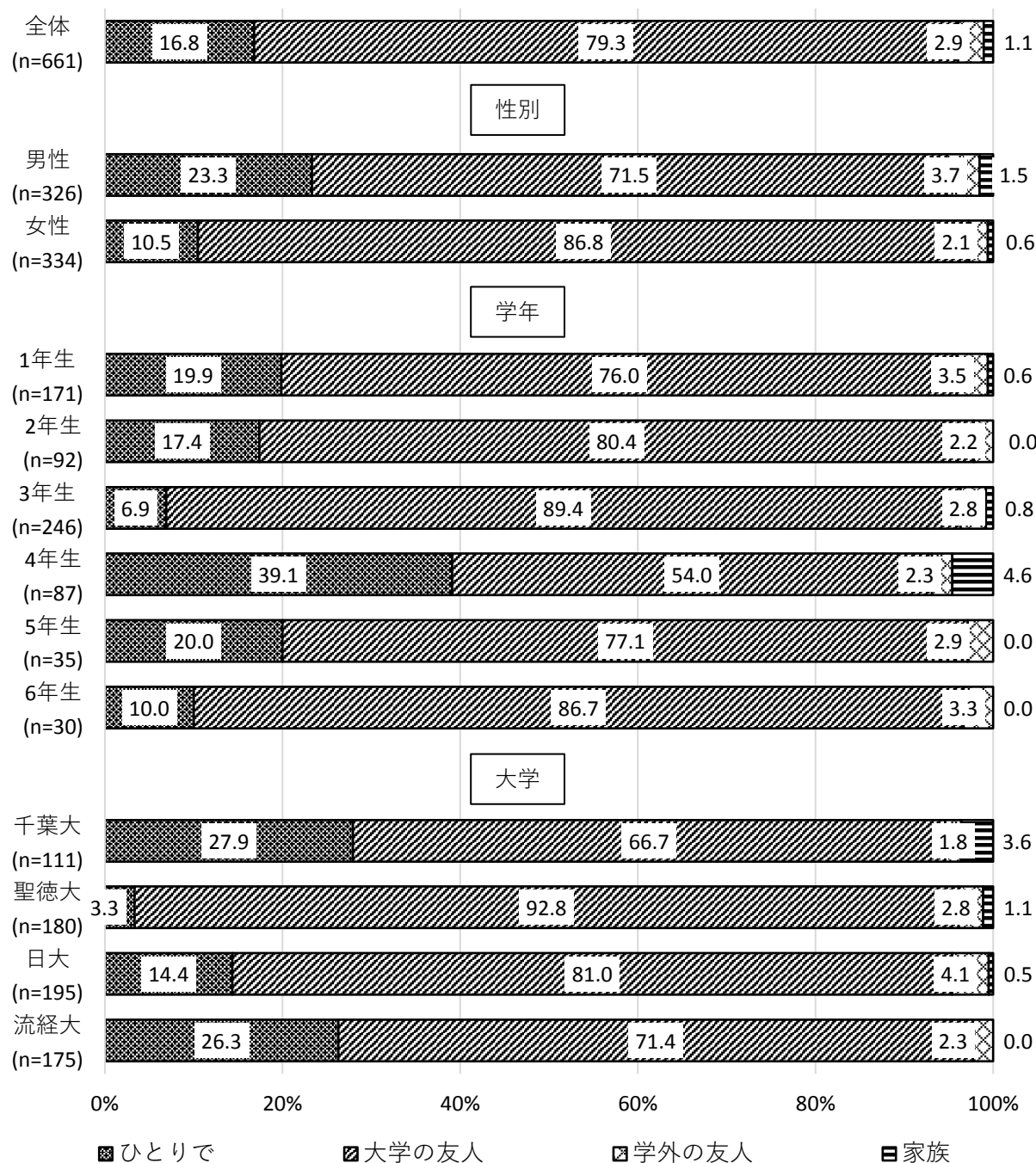
健康状態と自炊頻度との関係を見ると、顕著な関連性はみられない。



問21 あなたは普段（平日）の昼食を誰ととることが最も多いですか。（1つに○）

全体のおよそ8割が大学の友人と回答し、一人で食べるのは16.8%と少ないが、男女別では、女性では友人と食べる割合が高く、男性では一人で食べる割合は2割を超えている。学年別では、学年が進むにつれて、友人と食べる割合が高くなるが、4年生では就職活動などの影響で一人で食べる割合が高くなっている。大学別では、聖徳大学と日本大学で友人と食べる割合が高く、千葉大学と流通経済大学では、一人で食べる割合が高い。これは、カリキュラムの違いも影響していると思われる。

図2-13



問22 問21でひとりだと回答した方に伺います。あなたが普段（平日）の昼食をひとりだとする理由は何ですか。（該当するもの全てに○）

自由に時間を過ごしたいという理由が半数を占め、男性で高く、学年が進むに従いその割合は低下する。大学別では、聖徳大学でそのほかが過半数を占めており、カリキュラム上の理由も考えられる。

表 1-4 (％)

	回答者数(人)	自由に時間を過ごしたいから	周囲に気を遣わなくてすむから	声をかけるのが面倒だから	誰も誘ってくれないから	自宅（下宿など含む）で食事をとっているから	その他	計
全体 (n=122)	122	50.0	32.8	14.8	10.7	23.0	5.7	136.9
男性 (n=87)	87	54.0	32.2	14.9	13.8	20.7	3.4	139.1
女性 (n=34)	34	41.2	32.4	14.7	2.9	29.4	11.8	132.4
1年生 (n=39)	39	66.7	38.5	17.9	10.3	10.3	0.0	143.6
2年生 (n=16)	16	50.0	43.8	25.0	18.8	25.0	0.0	162.5
3年生 (n=19)	19	42.1	15.8	0.0	5.3	26.3	15.8	105.3
4年生 (n=36)	36	41.7	30.6	16.7	11.1	41.7	0.0	141.7
5年生 (n=9)	9	33.3	33.3	11.1	11.1	0.0	33.3	122.2
6年生 (n=3)	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
千葉大 (n=32)	32	43.8	40.6	21.9	6.3	43.8	0.0	156.3
聖徳大 (n=5)	5	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	100.0
日大 (n=28)	28	53.6	25.0	14.3	14.3	14.3	14.3	135.7
流経大 (n=57)	57	54.4	35.1	12.3	12.3	15.8	0.0	129.8

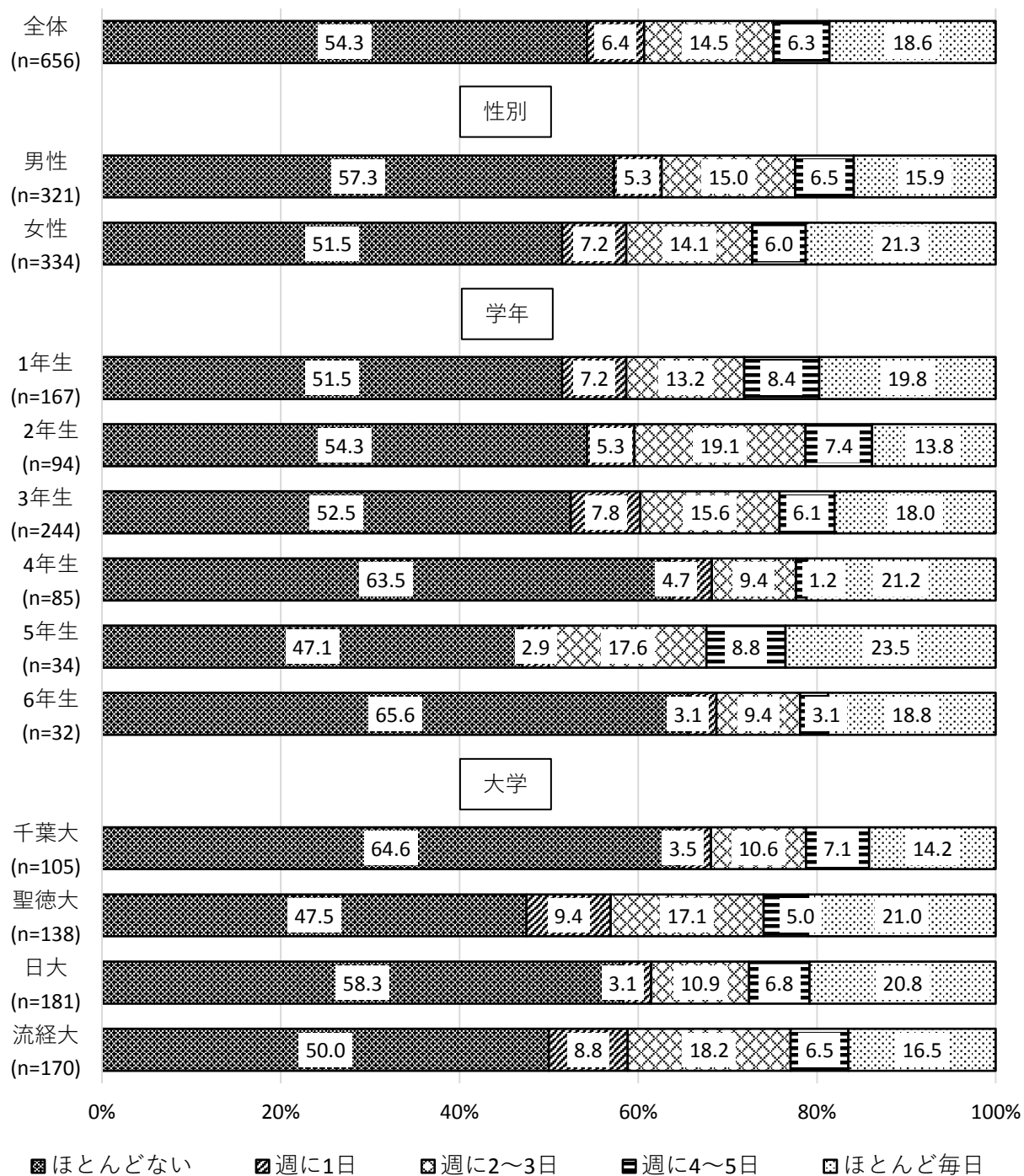
(回答者数：122；回答権なし13を含む／複数回答)

問23 あなたが1週間のうち、朝食・夕食を家族または友人などと一緒にとる日数（外食含む）はどの程度ですか。（それぞれ1つに○）

・朝食

全体では、半数以上がほとんどないと回答しており、男子でその割合が女子よりも高い。学年別では、最終学年でその割合が高くなる。大学別では、千葉大学でその割合が最も高く、聖徳大学で最も低い。

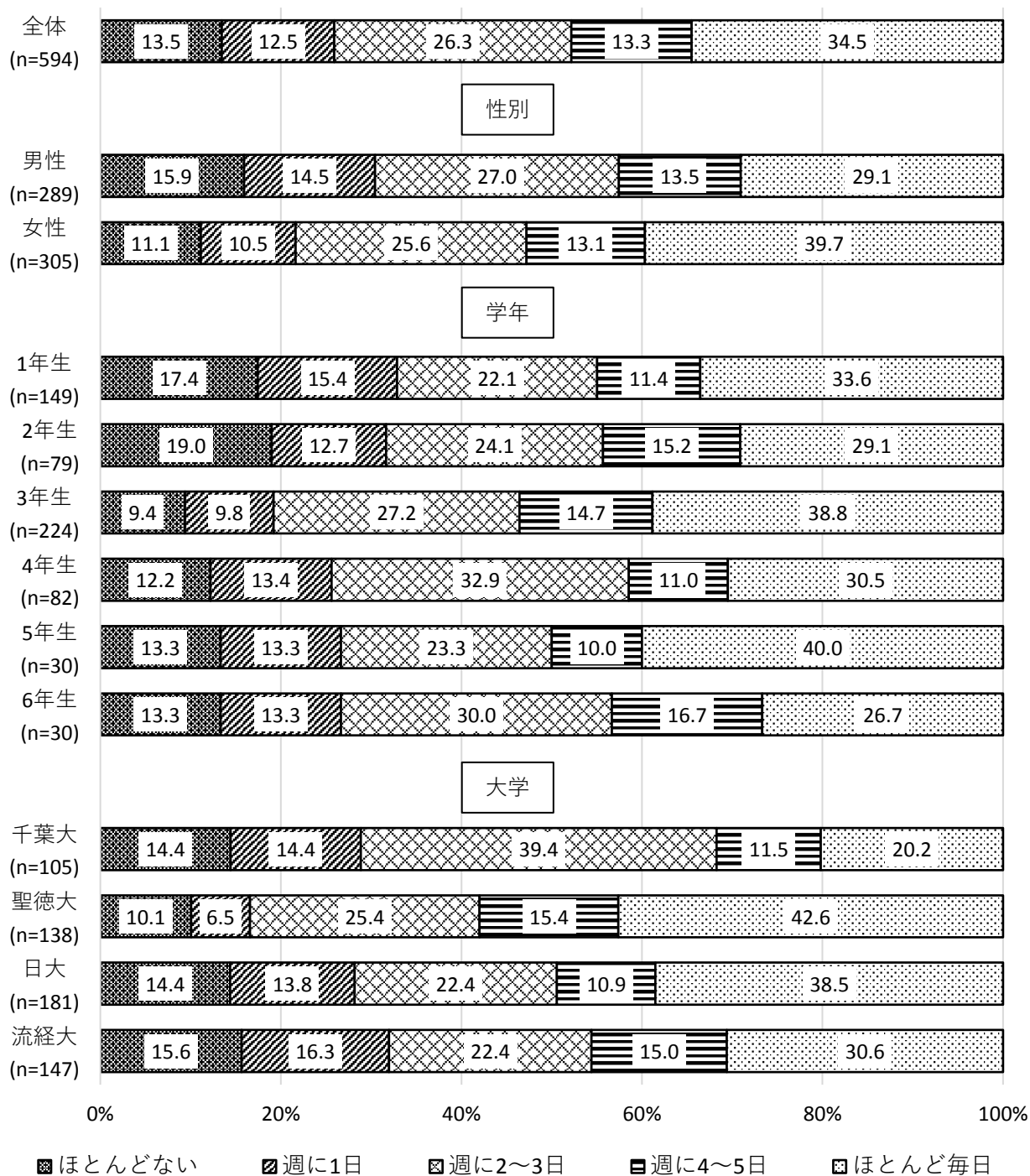
図2-14-1



・夕食

全体では、ほとんど毎日が最も多く約 3 分の 1 を占めている。男女別では、その割合は女性が 4 割であるのに対して男性は約 3 割と低い。学年別では、学年ごとに差があり、最終学年の 4 年生と 6 年生では卒業・修了研究や就活で多忙な時期であるため、週に 2~3 回の割合が最も多くなっている。大学別では、千葉大学では、週に 2~3 回の割合が 4 割近くと最も高く、他の 3 大学生と異なる特徴を示している。

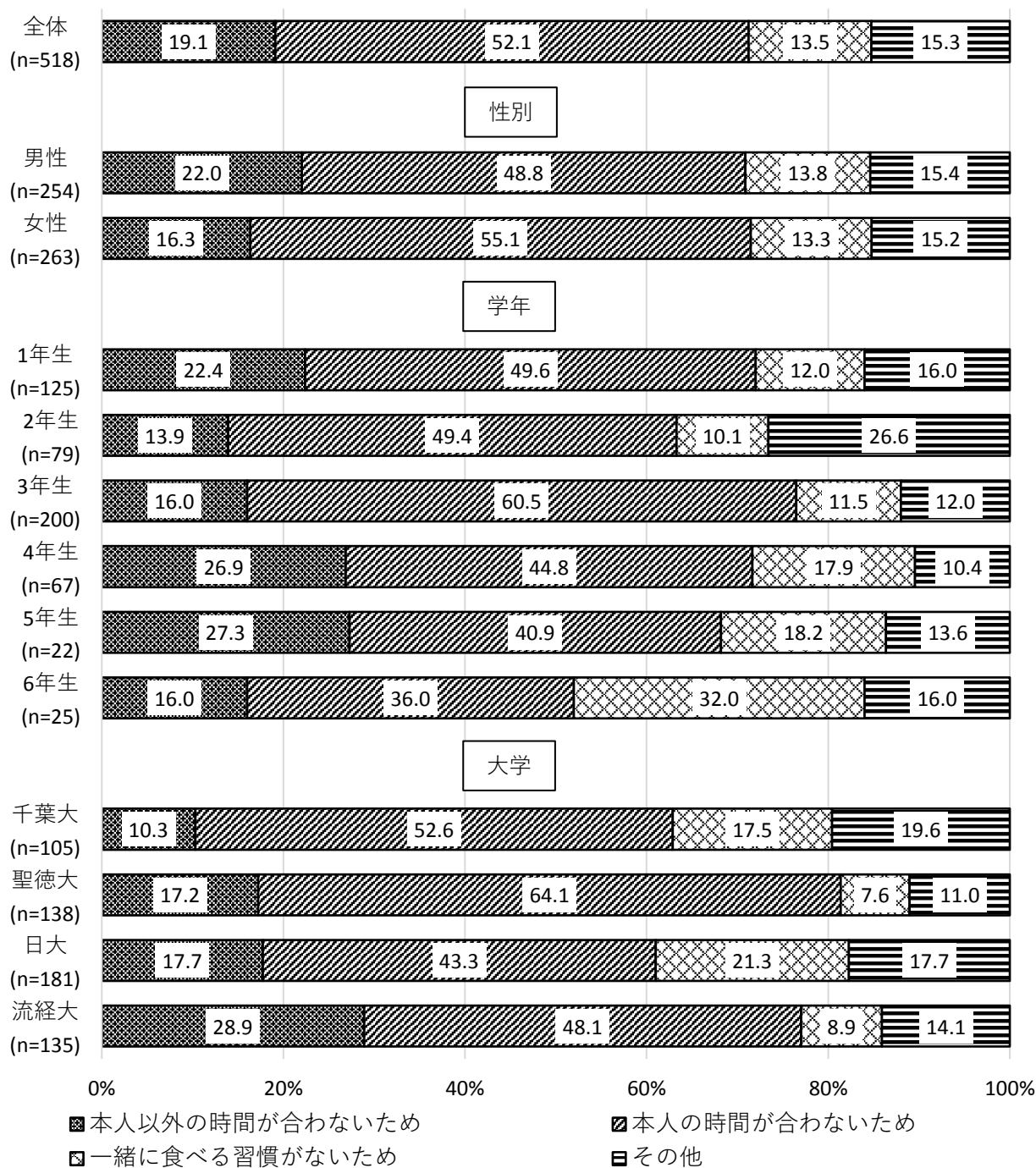
図2-14-2



問24 問23で「週に4~5回」、「週に2~3回」、「週に1回」、「ほとんどない」と回答した方に伺います。あなたが家族または友人などと一緒に食事ができない理由はなんですか。
(1つに○)

全体では、本人の時間が合わないためという理由が半数以上を占めており、女性の方がその割合がやや高い。学年別では、高学年で一緒に食べる習慣がないという理由が増える傾向がうかがえる。大学別では、流通経済大学では、本人以外の時間が合わないという理由が高くなっている。

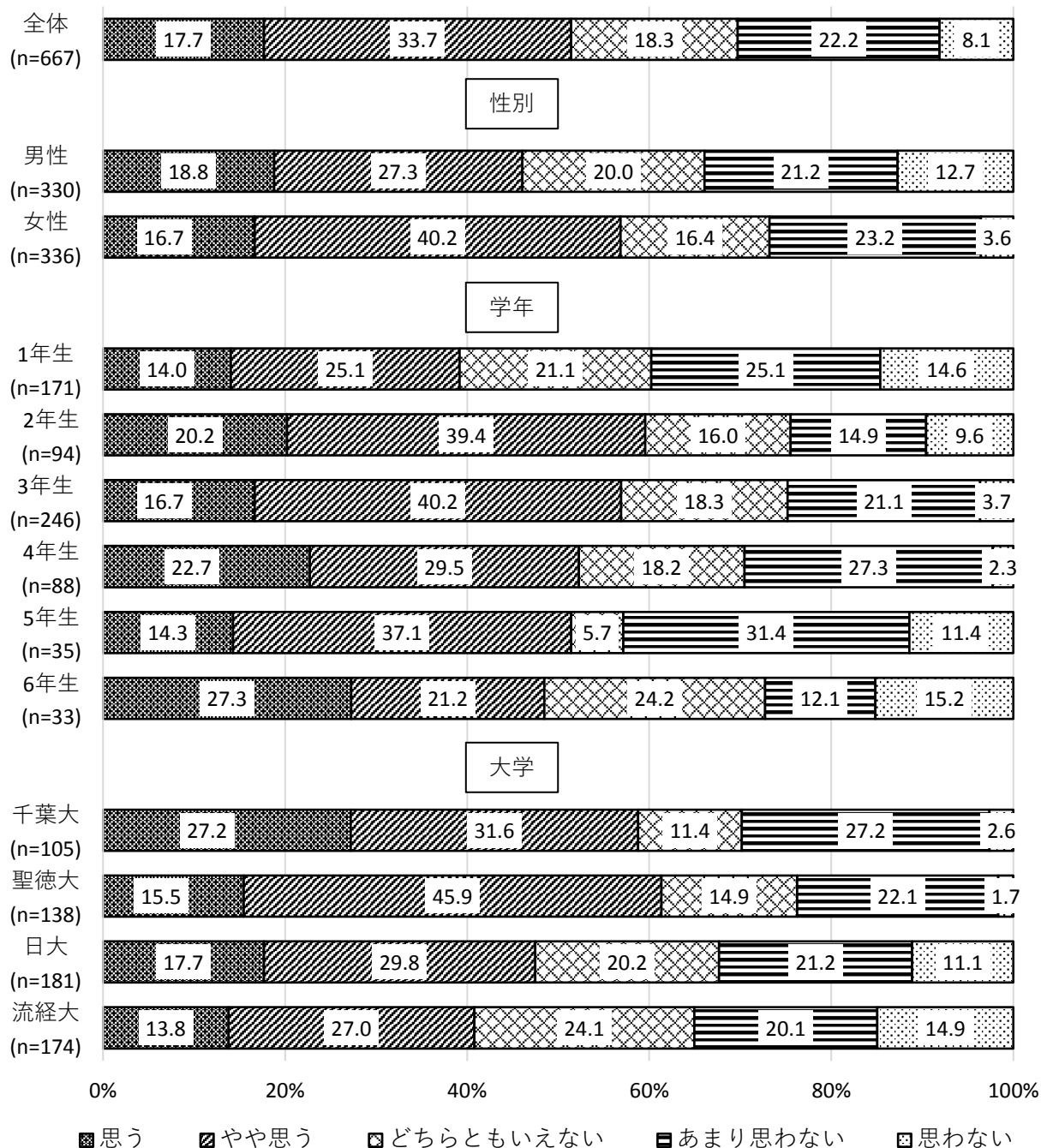
図2-15



問 25 今後食生活を改善したいと思いますか。(1つに○)

食生活改善の意向は、全体では、「思う」「やや思う」の改善意向の割合が半分を占めており、他の半分は積極的な改善の意向はない。男女別では、女性で改善意向が5割を超えており女性の方でその割合が高い。学年別では、1年生では改善意向は4割に満たないが、2年生で増加しその後はほぼ半数がその意向を有している。大学別では、聖徳大学と千葉大学が6割程度で高く、日本大学と流通経済大学では、5割未満となっている。

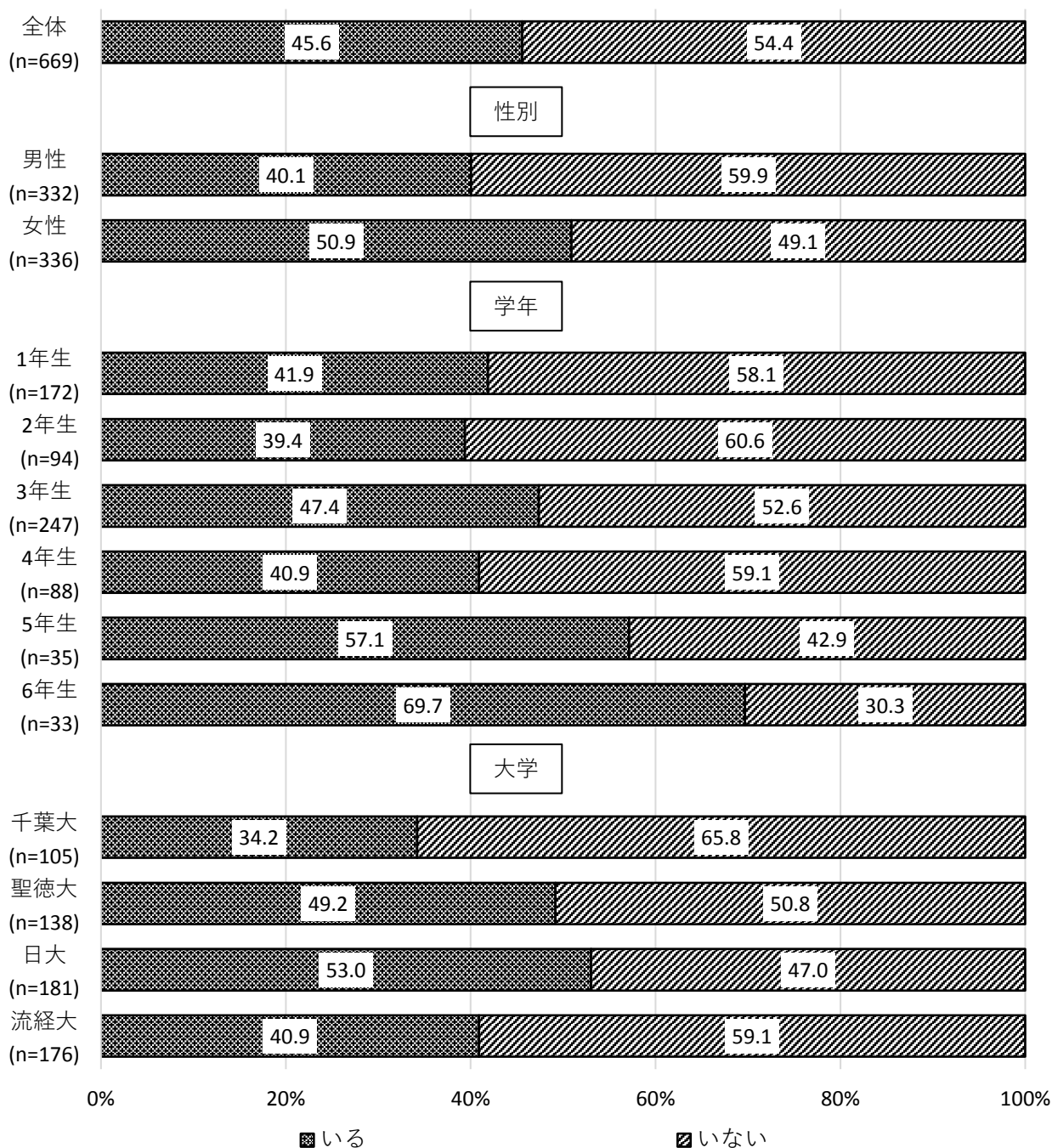
図2-16



問26 あなたには、かかりつけの歯医者さんがいますか。

全体では、かかりつけの歯医者がないとの回答は、半数以上をしめているが、男性ではその割合は6割近い。学年別では、歯学部の日本大学5年生・6年生では、他の3大学生とは、当然ながら大きな違いがみられる。大学別では、日本大学、聖徳大学で、ほぼ半数がかかりつけ歯医者者を有しているのに対して、流通経済大学で4割、千葉大学では3分の1程度にとどまっており、歯科衛生に関する認識の差が大きい。

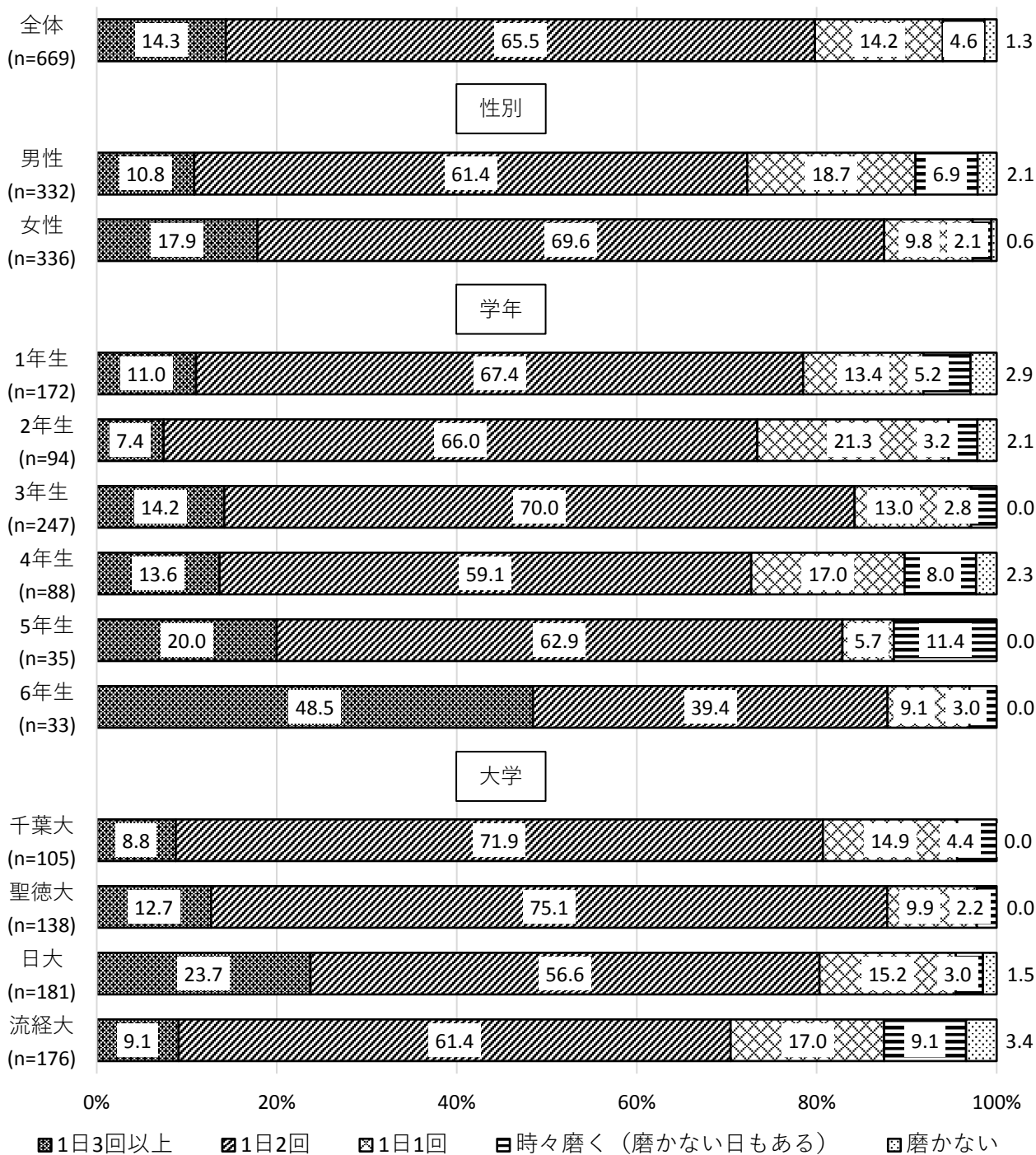
図2-17



問 27 あなたは歯磨きを1日に何回しますか。(1つに○)

全体では、1日2回の歯磨きがおよそ3分2を占めており、男女別にみると女性ではその割合はほぼ7割であるのに対して、男性では6割程度である。学年別では、日本大学6年生では、3回以上が半数近い。大学別では、日本大学で3回以上の割合が4分の1近くで最も高い。

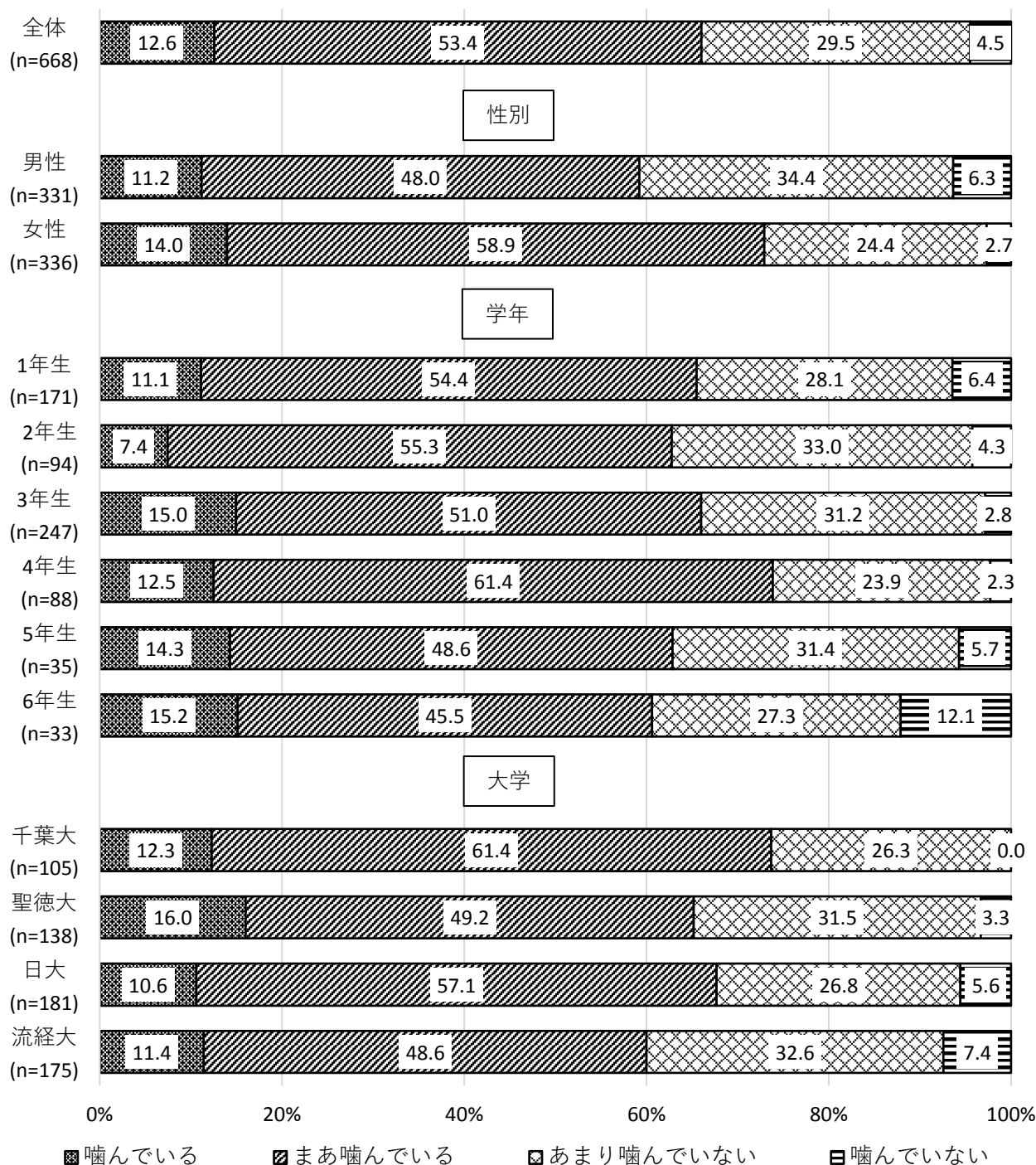
図2-18



問28 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか。(1つに○)

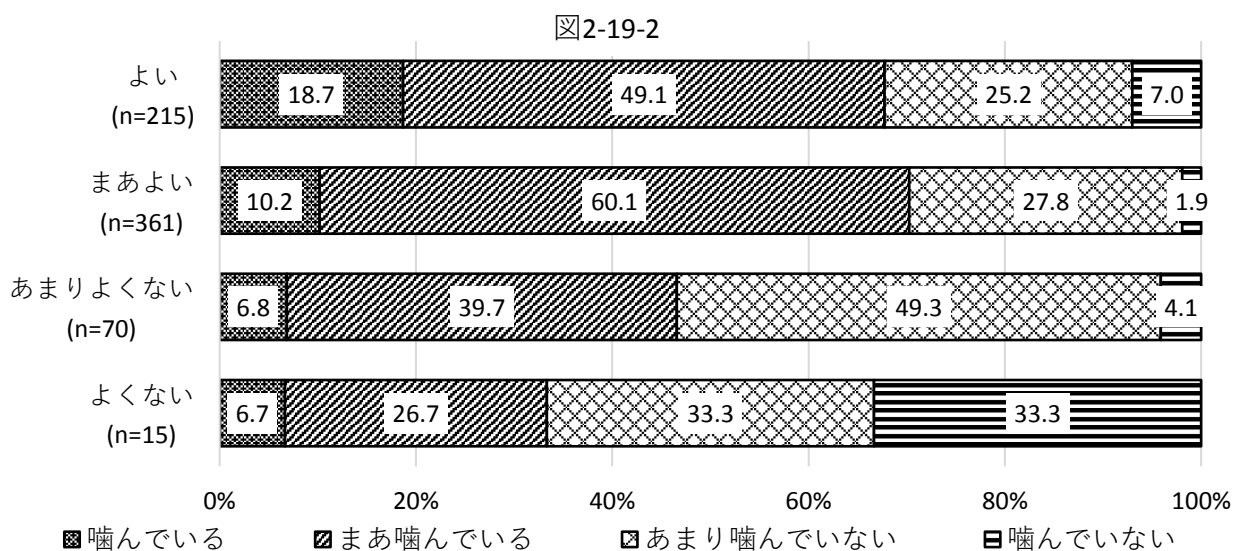
全体では、「まあ噛んでいる」の割合が半数を超えており、「噛んでいる」と合わせると3分の2を占めている。男女別では、女性の方が噛んでいる割合が高く4分の3近いが、男性では4割で噛んでいない。学年別では、4年生で最も噛んでいる割合が高い。大学別でみると、噛んでいる割合が高いのは千葉大学で、流通経済大学は最も低い。

図2-19-1



健康状態×よく噛んでいるか

健康状態とよく噛んでいるかとの関連性をみると、健康状態がよい回答者は噛んでいる割合が 7 割近いのに対して、よくない回答者では 3 分の 1 にとどまっており、両者に明らかな関連性がみられる。



第3章 質問と回答（単純集計）

問1 あなたの性別は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
男性	334	49.6
女性	338	50.1
無回答	2	0.3
計	674	100.0

問2 あなたの学年は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
1年生	173	25.7
2年生	95	14.1
3年生	250	37.1
4年生	88	13.1
5年生	34	5.0
6年生	33	4.9
無回答	1	0.1
計	674	100.0

問3 あなたの居住地は松戸市ですか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
はい	202	30.0
いいえ(千葉県内)	220	32.6
いいえ(千葉県外)	251	37.2
無回答	1	0.1
計	674	100.0

問4 通学時間はドア to ドアでどのくらいかかりますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
30分以内	224	33.2
30分～45分程度	101	15.0
45分～1時間程度	135	20.0
1時間～1時間半程度	145	21.5
1時間半以上	66	9.8
無回答	3	0.4
計	674	100.0

問5 あなたの住居形態は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
自宅	410	60.8
自宅以外(親戚など同居)	15	2.2
自宅以外(1人暮らし、あるいは友人とシェア)	229	34.0
賄い付きの寮等	16	2.4
無回答	4	0.6
計	674	100.0

問6 あなたは大学(他大学のものも含む)の部活動やサークル活動(週1回以上参加)をしていますか。(該当するもの全てに○)

項目	回答数	構成比(%)
していない	380	55.7
している(運動系)	216	31.7
している(文化系)	82	12.0
無回答	4	0.6
計	682	100.0

(このうち運動系、文化系どちらも回答あり：8件)

問7 あなたは平日、何時頃に就寝・起床していますか。(1つに○)

・就寝時刻

項目	回答数	構成比(%)
21時以前	3	0.4
21時台	0	0.0
22時台	14	2.1
23時台	61	9.1
24時台	221	32.8
夜1時台	228	33.8
夜2時台	111	16.5
夜3時以降	31	4.6
無回答	5	0.7
計	674	100.0

・起床時刻

項目	回答数	構成比(%)
6時以前	94	13.9
6時台	49	7.3
7時台	241	35.8
8時台	131	19.4
9時台	39	5.8
10時台	13	1.9
11時台	2	0.3
昼12時以降	1	0.1
無回答	104	15.4
計	674	100.0

問8 あなたはアルバイトを週に何回ぐらい、どの時間帯にしていますか。（それぞれ1つに○）

・頻度

項目	回答数	構成比(%)
していない	237	35.2
定期的にはしていない	31	4.6
週に1回	22	3.3
週に2~3回	268	39.8
週に4~5回	103	15.3
ほとんど毎日	10	1.5
無回答	3	0.4
計	674	100.0

・主な時間帯（上で「していない」を選んだ者は回答不要です）

項目	回答数	構成比(%)
朝（9時前）	19	4.1
昼（9~15時）	39	8.4
夕方（15~18時）	37	8.0
夜（18~24時）	333	71.6
深夜（24時以降）	17	3.7
無回答	20	4.3
計	465	100.0

（上の質問で「していない」と回答の分と無回答を除いた数：434）

（単数回答の質問だが複数回答あり）

問9 あなたの1ヶ月の食費（外食や飲み物を含む）を教えてください。

項目	回答数	構成比(%)
ほとんど使わない	44	6.5
5千円	94	13.9
1万円	132	19.6
1万5千円	78	11.6
2万円	106	15.7
2万5千円	60	8.9
3万円以上	150	22.3
無回答	10	1.5
計	674	100.0

問10 あなたは「食育」に関心がありますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
ない	72	10.7
あまりない	99	14.7
どちらともいえない	127	18.8
ややある	246	36.5
ある	126	18.7
無回答	4	0.6
計	674	100.0

問11 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
ほとんどとらない	103	15.3
週に1回	32	4.7
週に2~3回	88	13.1
週に4~5回	74	11.0
ほぼ毎日	373	55.3
無回答	4	0.6
計	674	100.0

問12 問11で「ほぼ毎日」、「週に4~5回」、「週に2~3回」と回答した方に伺います。あなたが普段とっている朝食は主にどのようなメニューですか。

項目	回答数	構成比(%)
主食	455	32.7
主菜	202	14.5
副菜	117	8.4
飲み物	247	17.8
栄養ドリンクやエナジーゼリー	41	2.9
牛乳、乳製品	182	13.1
菓子、嗜好品	35	2.5
果物（100%果物ジュース）	103	7.4
その他	8	0.6
無回答	1	0.1
計	1405	100.0

（回答者数：535）

問13 問11で「週に1回」、「ほとんどとらない」と回答した方に伺います。あなたが朝食をとらない理由は何ですか。（該当するもの全てに○）

項目	回答数	構成比(%)
食欲がないから	46	25.3
太りたくないから	5	2.7
朝食の準備や後片付けが面倒だから	32	17.6
朝食より優先したいことがあるから	29	15.9
お金がもったいないから	9	4.9
以前から食べる習慣がないから	31	17.0
その他	23	12.6
無回答	7	3.8
計	182	100.0

（回答数：135）

問14 問11で「週に1回」、「ほとんどとらない」と回答した方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
小学校に入学する前から	10	7.4
小学校に入学した頃から	10	7.4
中学校に入学した頃から	19	14.1
中学を卒業した頃から	17	12.6
18歳頃から	39	28.9
最近	16	11.9
わからない、覚えていない	8	5.9
無回答	16	11.9
計	135	100.0

(回答数：135)

問15 あなたは普段の食事で、主食・主菜・副菜を組み合わせるなど、栄養バランスに配慮していますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
配慮している	71	10.5
やや配慮している	240	35.6
あまり配慮していない	264	39.2
配慮していない	88	13.1
無回答	11	1.6
計	674	100.0

問 1 6 あなたの健康状態はどうか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
よい	216	32.0
まあよい	363	53.9
あまりよくない	73	10.8
よくない	15	2.2
無回答	7	1.0
計	674	100.0

問 1 7 安全な食生活を送るため、意識して実践していることはありますか。(該当するもの全てに○)

項目	回答数	構成比(%)
消費(味)期限や製造日の確認	482	25.4
アレルギー表示の確認	54	2.9
産地の確認	134	7.1
保存方法や使用方法の確認	219	11.6
においや見た目での確認	331	17.5
包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒	128	6.8
食材や調理品の室温放置をしない	179	9.5
肉の十分な加熱	285	15.0
健康増進機能成分の摂取	62	3.3
その他	6	0.3
無回答	14	0.7
計	1894	100.0

問18 あなたは親などから郷土料理、伝統料理や「だし」の取り方など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を教えてもらったことがありますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
ない	292	43.3
ある	212	31.5
覚えていない	161	23.9
無回答	9	1.3
計	674	100.0

問19 あなたは親などから箸づかいや三角食べなどの作法を教えてもらったことがありますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
ない	93	13.8
ある	482	71.5
覚えていない	87	12.9
無回答	12	1.8
計	674	100.0

問20 あなたは自炊をしていますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
ほとんどしない	360	53.4
週に1回	83	12.3
週に2~3回	115	17.1
週に4~5回	47	7.0
ほとんど毎日	64	9.5
無回答	5	0.7
計	674	100.0

問2 1 あなたは普段（平日）の昼食を誰ととることが最も多いですか。（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)
ひとりで	111	16.5
大学の友人	523	77.6
学外の友人	19	2.8
家族	7	1.0
その他	5	0.7
無回答	9	1.3
計	674	100.0

問2 2 問2 1でアと回答した方に伺います。あなたが普段（平日）の昼食をひとりでとる理由は何ですか。（該当するもの全てに○）

項目	回答数	構成比 (%)
自由に時間を過ごしたいから	54	34.6
周囲に気を遣わなくてすむから	36	23.1
声をかけるのが面倒だから	18	11.5
誰も誘ってくれないから	12	7.7
自宅（下宿など含む）で食事をとっているから	27	17.3
その他	7	4.5
無回答	2	1.3
計	156	100.0

（回答数：111）

問23 あなたが1週間のうち、朝食・夕食を家族または友人などと一緒にとる日数（外食含む）はどの程度ですか。（それぞれ1つに○）

・朝食

項目	回答数	構成比(%)
ほとんどない	356	52.8
週に1日	42	6.2
週に2~3日	94	13.9
週に4~5日	41	6.1
ほとんど毎日	122	18.1
無回答	19	2.8
計	674	100.0

・夕食

項目	回答数	構成比(%)
ほとんどない	80	11.9
週に1日	74	11.0
週に2~3日	155	23.0
週に4~5日	79	11.7
ほとんど毎日	205	30.4
無回答	81	12.0
計	674	100.0

問24 問23で選択肢「週に4~5回」、「週に2~3回」、「週に1回」、「ほとんどない」と回答した方に伺います。あなたが家族または友人などと一緒に食事ができない理由はなんですか。（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
本人以外の時間が合わないため	98	14.5
本人の時間が合わないため	270	39.9
一緒に食べる習慣がないため	70	10.4
その他	79	11.7
無回答	159	23.5
計	676	100.0

(回答数：676件／複数回答2件を含む)

問25 今後食生活を改善したいと思いますか。（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
思う	54	8.0
やや思う	148	22.0
どちらともいえない	122	18.1
あまり思わない	224	33.2
思わない	118	17.5
無回答	8	1.2
計	674	100.0

問26 あなたには、かかりつけの歯医者さんがいますか。

項目	回答数	構成比(%)
いない	363	53.9
いる	305	45.3
無回答	6	0.9
計	674	100.0

問27 あなたは歯磨きを1日に何回しますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
磨かない	9	1.3
時々磨く(磨かない日もある)	31	4.6
1日1回	95	14.1
1日2回	437	64.8
1日3回以上	96	14.2
無回答	6	0.9
計	674	100.0

問28 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
噛んでいない	30	4.5
あまり噛んでいない	197	29.2
まあ噛んでいる	356	52.8
噛んでいる	84	12.5
無回答	7	1.0
計	674	100.0

問29 あなたの大学は以下のどれですか。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
千葉大学園芸学部	115	17.1
聖徳大学	182	27.0
日本大学松戸歯学部	198	29.4
流通経済大学	179	26.6
無回答	0	0.0
計	674	100.0

付録 調査票

大学生の食育について考えるためのアンケート調査

本調査は、松戸市の食育推進計画策定の基礎資料を得るために、市内4大学の学生の皆さんに、協力をお願いするものです。

平成28年7月

松戸市長 本郷谷 健次

問1 あなたの性別は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

ア 男性 イ 女性

問2 あなたの学年は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

ア 1年生 イ 2年生 ウ 3年生 エ 4年生 オ 5年生 カ 6年生

問3 あなたの居住地は松戸市ですか。(1つに○)

ア はい イ いいえ(千葉県内) ウ いいえ(千葉県外)

問4 通学時間はドアtoドアでどのくらいかかりますか。(1つに○)

ア 30分以内 イ 30分～45分程度 ウ 45分～1時間程度 エ 1時間～1時間半程度 オ 1時間半以上

問5 あなたの住居形態は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

ア 自宅 イ 自宅以外(親戚など同居) ウ 自宅以外(1人暮らし、または友人とシェア) エ 賄い付きの寮等

問6 あなたは大学(他大学のものも含む)の部活動やサークル活動(週1回以上参加)をしていますか。

(該当するもの全てに○)

ア していない イ している(運動系) ウ している(文化系)

問7 あなたは平日、何時頃に就寝・起床してしますか。(1つに○)

・就寝時刻:ア 21時以前 イ 22時台 ウ 23時台 エ 24時台 オ 夜1時台 カ 夜2時台 キ 夜3時以降
 ・起床時刻:ア 6時以前 イ 7時台 ウ 8時台 エ 9時台 オ 10時台 カ 11時台 キ 昼12時以降

問8 あなたはアルバイトをどの程度、どの時間帯にしていますか。(それぞれ1つに○)

・頻度:

ア していない イ 定期的にはしていない ウ 週に1回 エ 週に2～3回 オ 週に4～5回 カ ほとんど毎日

・主な時間帯(上でアを選んだ者は回答不要です):

ア 朝(9時前) イ 昼(9～15時) ウ 夕方(15～18時) エ 夜(18～24時) オ 深夜(24時以降)

問9 あなたの1ヶ月の食費(外食や飲み物を含む)を教えてください。

ア ほとんど使わない イ 5千円 ウ 1万円 エ 1万5千円 オ 2万円 カ 2万5千円 キ 3万円以上

問10 あなたは「食育」に関心がありますか。(1つに○)

「食育」とは食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。「規則正しい食生活」、「栄養バランスのとれた食事の実践」、「食を通じたコミュニケーション」、「食事のマナーやあいさつ」、「自然の恵みへの感謝」や「伝統的な食文化」も含まれます。

ア ない イ あまりない ウ どちらともいえない エ ややある オ ある

問11 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか。(1つに○)

この調査で朝食としてみなすもの	この調査で朝食としてみなさないもの
エネルギー源となる食べ物、飲み物	砂糖、ミルクを加えないお茶類(お茶、コーヒー、紅茶など) 錠剤や顆粒状の特定の栄養素のみ摂取する目的のサプリメント等

ア ほとんどとらない イ 週に1回 ウ 週に2～3回 エ 週に4～5回 オ ほぼ毎日

問12 問11でウ～オと回答した方に伺います。あなたが普段とっている朝食は主にどのようなメニューですか。

(複数の項目のものを食べている場合には該当する全てに○を、例えばお菓子のみの場合には《キ》のみに○をして下さい。)

ア 主食 イ 主菜 ウ 副菜 エ 飲み物 オ 栄養ドリンクやエナジーゼリー カ 牛乳、乳製品
 キ 菓子、嗜好品 ク 果物(100%果物ジュース) ケ その他()

※主食:「ご飯、パン、麺などの穀類」を主な材料にした料理

主菜:「魚、肉、卵、大豆」を主な材料にした料理

副菜:「野菜、海藻」を主な材料にした料理(汁物や野菜ジュースも含む)

裏面へお進みください。

松戸市 食育に関するアンケート調査：大学生

- 問13 問11でア～イと回答した方に伺います。あなたが朝食をとらない理由は何ですか。（該当するもの全てに○）
 ア 食欲がないから イ 太りたくないから ウ 朝食の準備や後片付けが面倒だから
 エ 朝食より優先したいことがあるから オ お金ももったいないから
 カ 以前から食べる習慣がないから キ その他
- 問14 問11でア～イと回答した方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか。（1つに○）
 ア 小学校に入学する前から イ 小学校に入学した頃から ウ 中学校に入学した頃から
 エ 中学を卒業した頃から オ 18歳頃から カ 最近 キ わからない、覚えていない
- 問15 あなたは普段の食事で、主食・主菜・副菜を組み合わせるなど、栄養バランスに配慮していますか。
 ア 配慮していない イ あまり配慮していない ウ やや配慮している エ 配慮している
- 問16 あなたの健康状態はどうか。（1つに○）
 ア よい イ まあよい ウ あまりよくない エ よくない
- 問17 安全な食生活を送るため、意識して実践していることはありますか。（該当するもの全てに○）
 ア 消費（味）期限や製造日の確認 イ アレルギー表示の確認 ウ 産地の確認
 エ 保存方法や使用方法の確認 オ においや見た目での確認
 カ 包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒 キ 食材や調理品の室温放置をしない
 ク 肉の十分な加熱 ケ 健康増進機能成分の摂取 コ その他（ ）
- 問18 あなたは親などから郷土料理、伝統料理や「だし」の取り方など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を教えてもらったことがありますか。
 ア ない イ ある ウ 覚えていない
- 問19 あなたは親などから箸づかいや三角食べなどの作法を教えてもらったことがありますか。
 三角食べとは、和食特有の食べ方で、ごはん、主菜、副菜（汁物）をバランス良く食べていく食べ方です。
 ア ない イ ある ウ 覚えていない
- 問20 あなたは自炊をしていますか。
 ア ほとんどしない イ 週に1回 ウ 週に2～3回 エ 週に4～5回 オ ほとんど毎日
- 問21 あなたは普段（平日）の昼食を誰ととることが最も多いですか。（1つに○）
 ア ひとりで イ 大学の友人 ウ 学外の友人 エ 家族 オ その他（ ）
- 問22 問21でアと回答した方に伺います。あなたが普段（平日）の昼食をひとりでとる理由は何ですか。（該当するもの全てに○）
 ア 自由に時間を過ごしたいから イ 周囲に気を遣わなくてすむから ウ 声をかけるのが面倒だから
 エ 誰も誘ってくれないから オ 自宅（下宿など含む）で食事をとっているから カ その他（ ）
- 問23 あなたが1週間のうち、朝食・夕食を家族または友人などと一緒にとる日数（外食含む）はどの程度ですか。（それぞれ1つに○）
 ※外食などの際、馴染みの店員や客とのコミュニケーションを伴う食事は一緒と見なします。
 ・朝食 ア ほとんどない イ 週に1日 ウ 週に2～3日 エ 週に4～5日 オ ほとんど毎日
 ・夕食 ア ほとんどない イ 週に1日 ウ 週に2～3日 エ 週に4～5日 オ ほとんど毎日
- 問24 問23で選択肢ア～エと回答した方に伺います。あなたが家族または友人などと一緒に食事ができない理由は何ですか。（1つに○）
 ア あなた以外の時間が合わないため イ あなたの時間が合わないため ウ 一緒に食べる習慣がないため エ その他
- 問25 今後食生活を改善したいと思いますか。（1つに○）
 ア 思わない イ あまり思わない ウ どちらともいえない エ やや思う オ 思う
- 問26 あなたには、かかりつけの歯医者がいますか。
 ア いない イ いる
- 問27 あなたは歯磨きをどの程度していますか。（1つに○）
 ア 磨かない イ 時々磨く（磨かない日もある） ウ 1日1回 エ 1日2回 オ 1日3回以上
- 問28 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか。（1つに○）
 ア 噛んでいない イ あまり噛んでいない ウ まあ噛んでいる エ 噛んでいる
- 問29 あなたの大学は以下のどれですか。（1つに○）
 ア 千葉大学園芸学部 イ 聖徳大学 ウ 日本大学松戸歯学部 エ 流通経済大学

ご協力ありがとうございました。

発行 松戸市

健康福祉部 健康福祉政策課
松戸市根本387番地の5
電話：047-366-1111（代表）